

# 協働のまちづくりに関する 区民意識調査 報告書



平成 22 年 9 月  
(平成 22 年 6 月実施)  
豊 島 区



# 目 次

## I. 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の設計	1
3 調査内容	1
4 回収結果	1
5 基本的な表記等	1
6 回答者の基本属性	2

## II. 調査結果

第1章 豊島区の印象について	7
1-① 住み心地〔問1〕	7
1-② 住み心地の変化〔問1-2〕	10
1-③ 住み心地の変化の理由〔問1-3〕	13
2 定住意向〔問2〕	17
3 地域への愛着〔問3〕	20
第2章 地域の生活環境について	23
〔設問設定の考え方〕	23
1 目指すべき生活環境に対する「最近の評価」〔問4〕	26
① 福祉	26
② 健康	27
③ 子育て	28
④ 教育	29
⑤ コミュニティ・協働	30
⑥ 環境	31
⑦ 都市再生	32
⑧ 安心・安全	33
⑨ 観光・産業	34
⑩ 文化	35
● グループ全体を通して見た「最近の評価」	36
2 目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」〔問4〕	37
① 福祉	37
② 健康	38
③ 子育て	39
④ 教育	40
⑤ コミュニティ・協働	41
⑥ 環境	42
⑦ 都市再生	43
⑧ 安心・安全	44

⑨ 観光・産業	45
⑩ 文化	46
3 「最近の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析〔問4〕	47
① 福祉	48
② 健康	50
③ 子育て	52
④ 教育	54
⑤ コミュニティ・協働	56
⑥ 環境	58
⑦ 都市再生	60
⑧ 安心・安全	62
⑨ 観光・産業	64
⑩ 文化	66
4 総合分析の経年比較〔問4〕	68
① 福祉	68
② 健康	69
③ 子育て	69
④ 教育	70
⑤ コミュニティ・協働	70
⑥ 環境	71
⑦ 都市再生	71
⑧ 安心・安全	72
⑨ 観光・産業	72
⑩ 文化	73
第3章 区の政策について	75
1-① 区の情報を知るための手段〔問5〕	75
1-② 広報紙の入手方法〔問5-1〕	77
1-③ 豊島区公式ホームページを見るための手段〔問5-2〕	79
2 行政情報番組の視聴経験〔問6〕	80
3 豊島区の「セーフコミュニティ」活動について〔問7〕	81
4 事故やけが、犯罪、災害などに対する安心感について〔問8〕	83
5 生活の中の不安の変化について〔問9〕	86
6-① 過去1年間のなかで最も印象に残っているけがや事故〔問10〕	87
6-② けがや事故、ヒヤリ体験の内容と場所〔問10-1〕	89
7 近所の方との付き合いの程度〔問11〕	93
8 地域の安全・安心を守るために重要になること〔問12〕	101
9 区政全般への要望〔問13〕	104
● 総合分析	111
Ⅲ. 調査票	113

# I. 調査の概要

## 1 調査の目的

この調査は、区民をはじめ、町会や自治会、商店街、NPO、企業、学校など、地域の多様な主体との協働を基本とした新しい区政運営を実現するため、区民の地域の生活環境や身近なまちづくりへの参加・協働のあり方等についての意見や要望を把握し、これからの計画づくりや行政サービスのあり方の検討、区民との協働の仕組みづくり等に活用するための基礎資料を得ることを目的とする。

## 2 調査の設計

- (1) 調査区域：豊島区全域
- (2) 調査対象：区内に2年以上在住する18歳以上の区民
- (3) 標本数：区民 5,000人
- (4) 抽出方法：住民基本台帳から区内を5地域に分割し、各地域より1,000人を無作為抽出
- (5) 調査方法：自記式調査票による郵送配布・郵送回収
- (6) 調査時期：平成22年6月10日（木）～ 6月30日（水）

## 3 調査内容

- 豊島区の印象について
- 地域の生活環境について
- 区の政策について
- 調査対象者の基本属性について

## 4 回収結果

発送数	回収数	回収率
5,000件	2,040件	40.8%

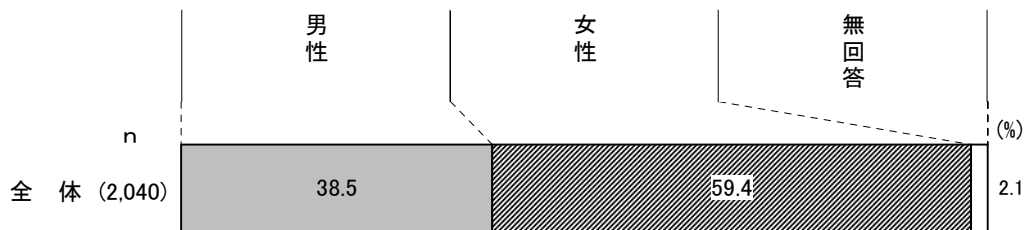
## 5 基本的な表記等

- (1) 図・表中のnとは、設問や選択肢に対する回答者数のことである。
- (2) 回答は百分率で算出している。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体の示す数値と一致しないことがある。  
なお、回答者を絞った設問では、設問該当者を100%としている。
- (3) 図・表中の“—”は当該選択肢を選んだ回答者がいないことを示す。
- (4) 複数選択肢ができる設問では、回答者比率の合計が100%を超える。なお、その場合には、グラフ中に「※2つ選択」や「※あてはまるものすべて選択」などと記載している。
- (5) 図・表において、回答の選択肢表記を簡略化している場合がある。

## 6. 回答者の基本属性

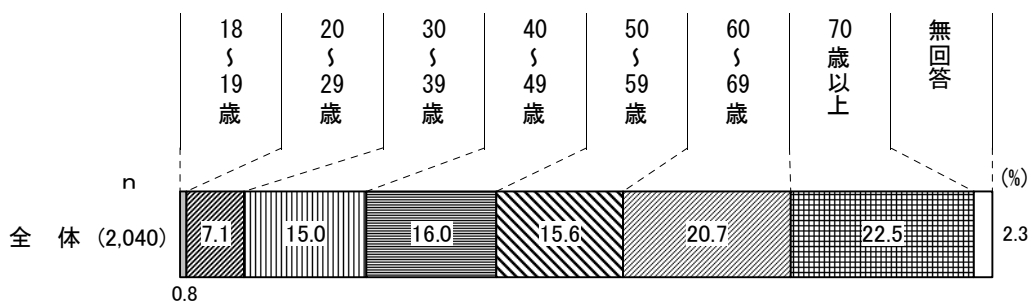
### (1) 性別

- 「女性」が約6割、「男性」が約4割である。



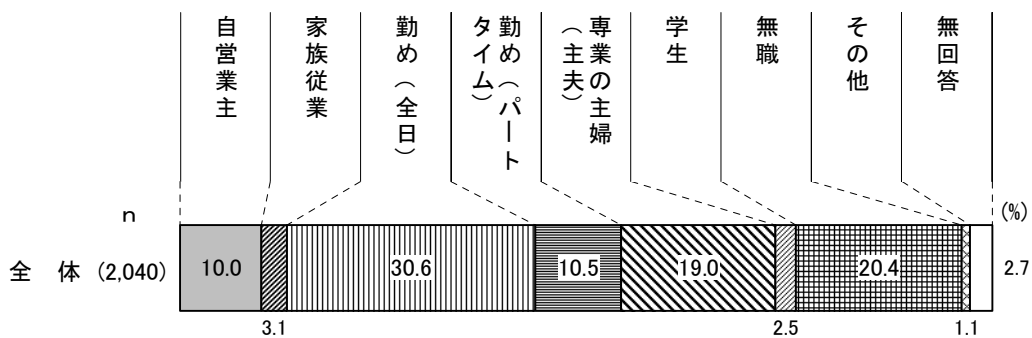
### (2) 年齢

- 「60歳代」と「70歳以上」がそれぞれ2割を超えており、次いで「30歳代」、「40歳代」、「50歳代」がほぼ同数で続いている。「18～29歳」は1割未満である。



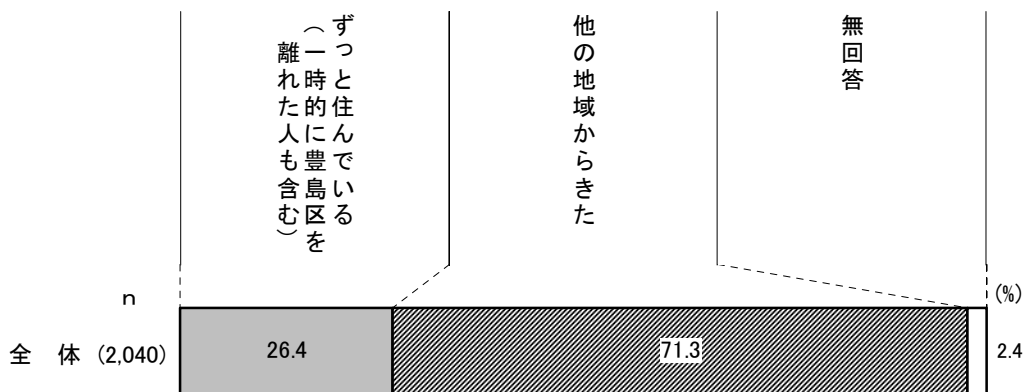
### (3) 職業

- 「勤め（全日）」(30.6%)が最も高く、「無職」(20.4%)、「専業の主婦（主夫）」(19.0%)が次いでいる。



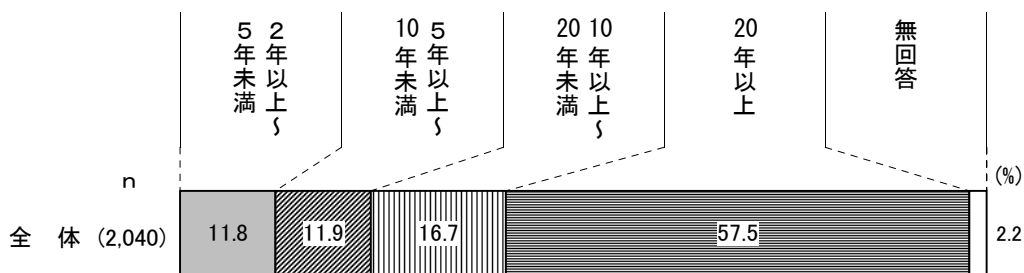
(4) 居住歴

- 「他の地域からきた」が7割を超え、「ずっと住んでいる（一時的に豊島区を離れた人も含む）」は2割台半ばである。



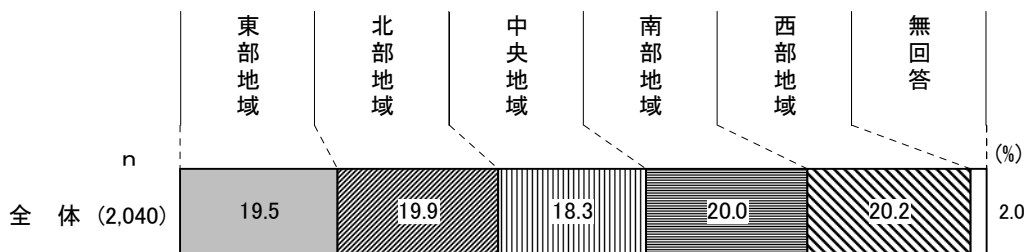
(5) 居住年数

- 「20年以上」(57.5%)が最も高く、「10年以上～20年未満」が1割台半ばで次いでいる。「5年以上～10年未満」と「2年以上～5年未満」はほぼ同数となっている。



(6) 居住地域

- 5地区区分では、東部 (19.5%)・北部 (19.9%)・中央 (18.3%)・南部 (20.0%)・西部 (20.2%)とそれぞれの地域が約2割である。

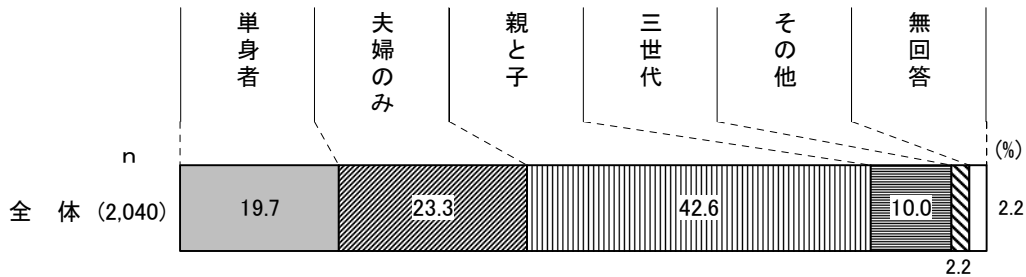


注) 5地区の町丁構成

- 東部地域 (駒込、巣鴨、北大塚1・2丁目、南大塚)
- 北部地域 (西巣鴨、北大塚3丁目、上池袋、池袋本町)
- 中央地域 (東池袋、南池袋1・2丁目、西池袋1・3・5丁目、池袋)
- 南部地域 (南池袋3・4丁目、西池袋2・4丁目、雑司が谷、高田、目白)
- 西部地域 (南長崎、長崎、千早、要町、高松、千川)

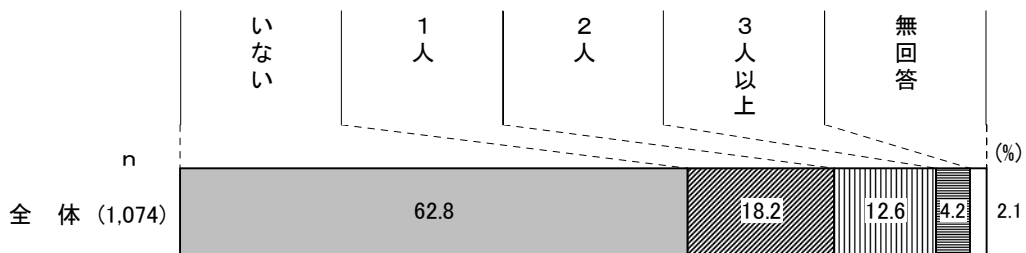
### (7) 世帯構成

- 「親と子」の世帯構成が4割を超えて最も高く、次いで「夫婦のみ」が2割台半ば、「単身者」が約2割で続いている。「三世代」は1割である。



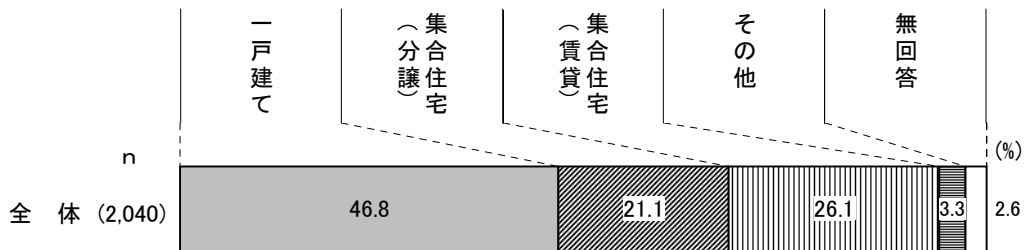
### (8) 中学生以下の子どもの有無

- 「親と子」及び「三世代」の世帯構成のうち、「(中学生以下の子どもは) いない」が6割を超えている。
- 中学生以下の子どもの数は、「1人」が最も高く、「2人」、「3人以上」の順である。



### (9) 住まい形態

- 「一戸建て」が4割台半ばと最も高く、「集合住宅(賃貸)」(26.1%)、「集合住宅(分譲)」(21.1%)と続いている。





## 《今回調査と前回（平成19年度）調査の回答者の基本属性比較》

(%)

		平成22年度 調査(今回) (n=2,040)	平成19年度 調査(前回) (n=1,471)
①性別	男性	38.5	37.5
	女性	59.4	60.0
	無回答	2.1	2.4
②年齢	18～19歳	0.8	1.1
	20～29歳	7.1	8.2
	30～39歳	15.0	15.8
	40～49歳	16.0	16.2
	50～59歳	15.6	19.4
	60～69歳	20.7	18.4
	70歳以上	22.5	19.1
	無回答	2.3	1.8
③職業	自営業主	10.0	11.2
	家族従業	3.1	3.1
	勤め(全日)	30.6	35.1
	勤め(パートタイム)	10.5	9.7
	専業の主婦(主夫)	19.0	23.9
	学 生	2.5	3.1
	無 職	20.4	
	その他	1.1	10.6
④居住歴	ずっと居住	26.4	31.1
	他の地域から	71.3	66.3
	無回答	2.4	2.6
⑤居住年数	2年以上～5年未満	11.8	9.9
	5年以上～10年未満	11.9	13.2
	10年以上～20年未満	16.7	15.0
	20年以上	57.5	60.2
	無回答	2.2	1.8
⑥居住地域	東部地域	19.5	20.7
	北部地域	19.9	19.6
	中央地域	18.3	16.3
	南部地域	20.0	21.3
	西部地域	20.2	20.1
	無回答	2.0	2.0
⑦世帯構成	単身者	19.7	19.0
	夫婦のみ	23.3	22.1
	親と子	42.6	45.0
	三世代	10.0	10.2
	その他	2.2	2.1
	無回答	2.2	1.6
⑧中学生以下の 子どもの有無	いない	62.8	67.4
	1人	18.2	15.1
	2人	12.6	11.0
	3人以上	4.2	3.4
	無回答	2.1	3.1
⑨住まい形態	一戸建て	46.8	49.0
	集合住宅(分譲)	21.1	20.0
	集合住宅(賃貸)	26.1	25.2
	その他	3.3	4.4
	無回答	2.6	1.4

注) 平成19年度調査は、平成19年8月実施の「協働のまちづくりに関する区民意識調査」の回答結果である。



## Ⅱ．調査結果

### 第1章

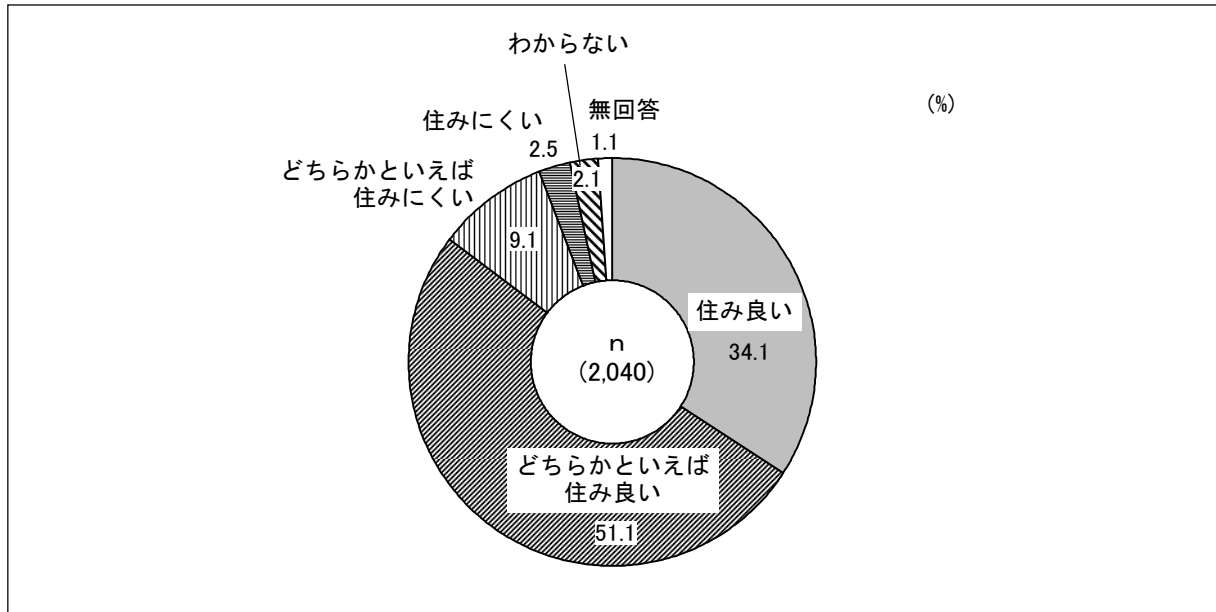
豊島区の印象について



# 第1章 豊島区の印象について

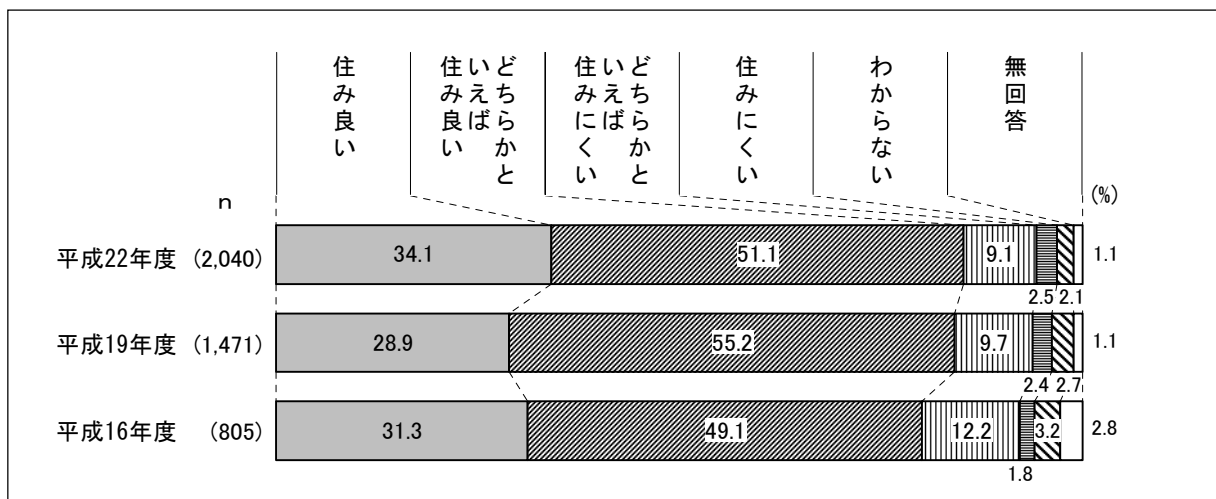
## 1-① 住み心地〔問1〕

- 豊島区の住み心地を聞いたところ、「どちらかといえば住み良い」(51.1%)が最も高く、「住み良い」(34.1%)と合わせた“住み良い”(85.2%)としてみると、8割台半ばとなっている。
- 「どちらかといえば住みにくい」(9.1%)と「住みにくい」(2.5%)を合わせた“住みにくい”(11.6%)としてみると、1割を超える程度となっている。



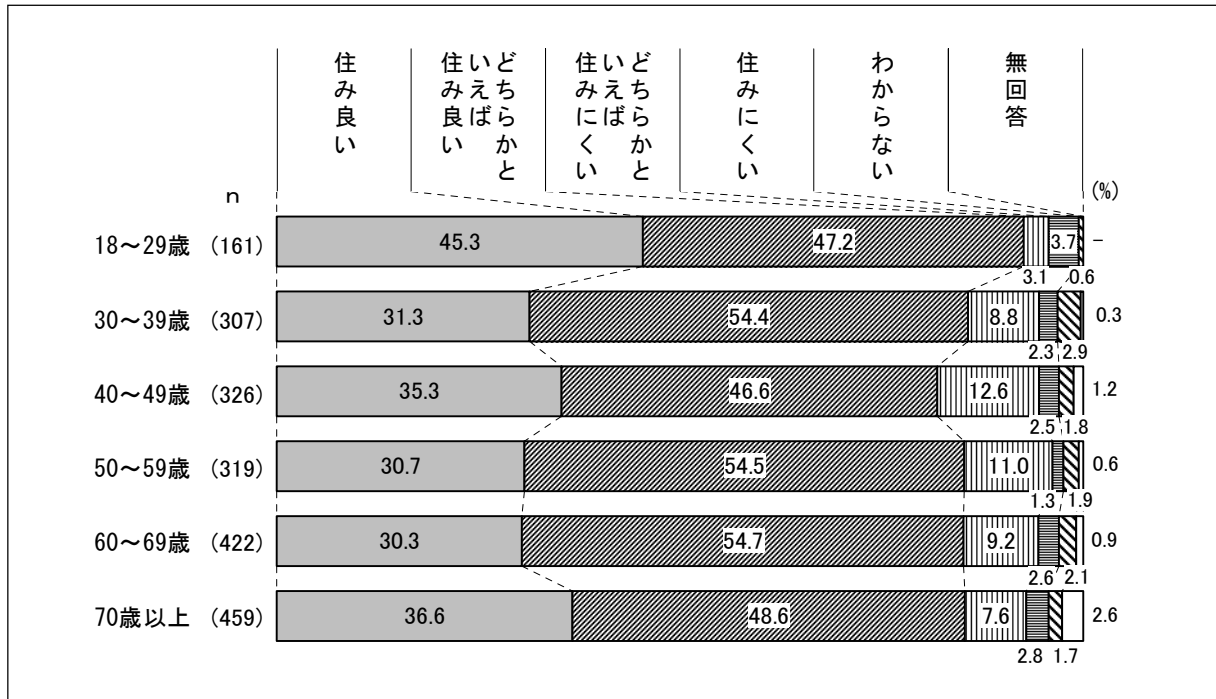
### 【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、“住み良い”は平成16年度調査から4.8ポイント高くなっている。



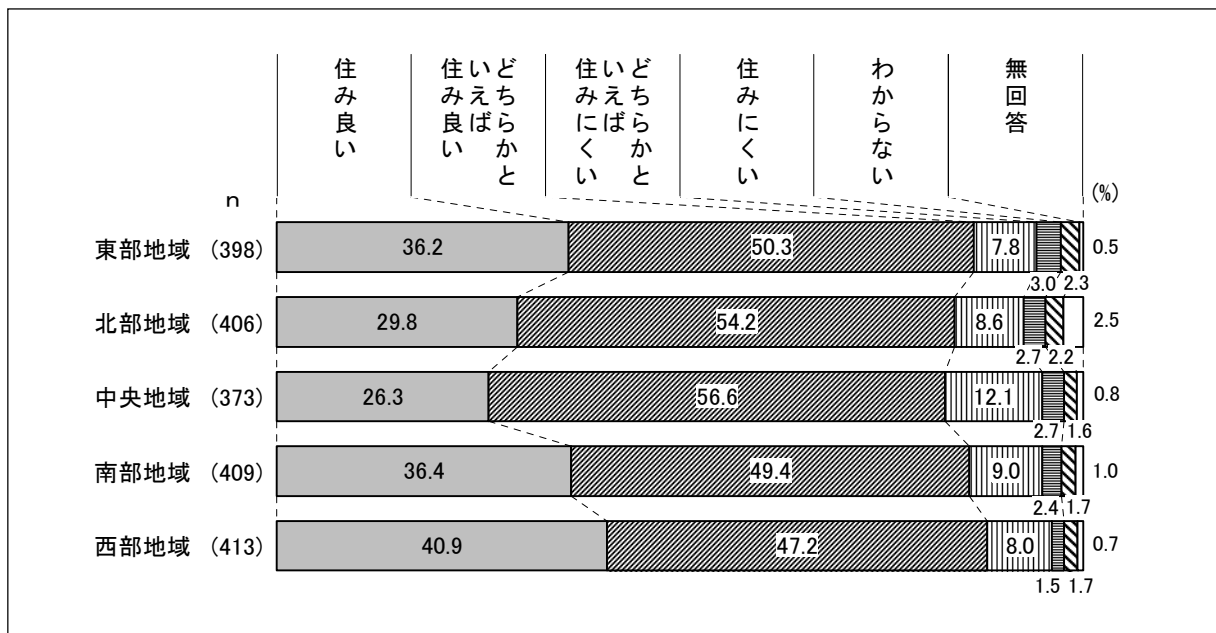
【年齢別】

- “住み良い” は18～29歳（92.5%）で9割を超えている。
- “住みにくい” は40～49歳（15.1%）で1割台半ばとなっている。



【地域別】

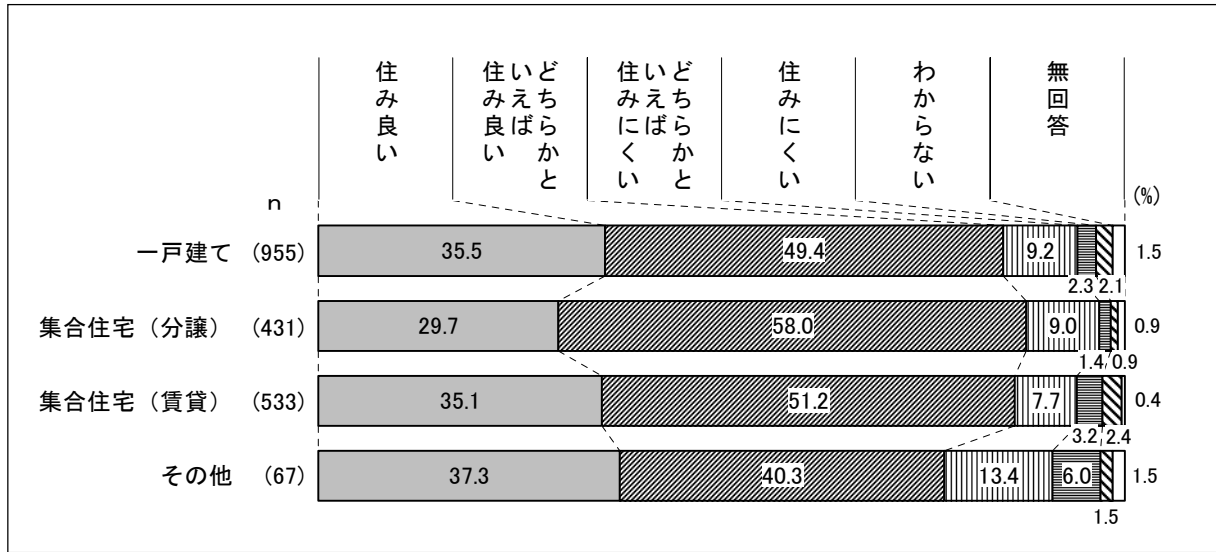
- “住み良い” は西部地域（88.1%）で約9割となっている。
- “住みにくい” は中央地域（14.8%）で1割台半ばとなっている。



※ 地域の具体的区分は3ページの(6)居住地域名を参照

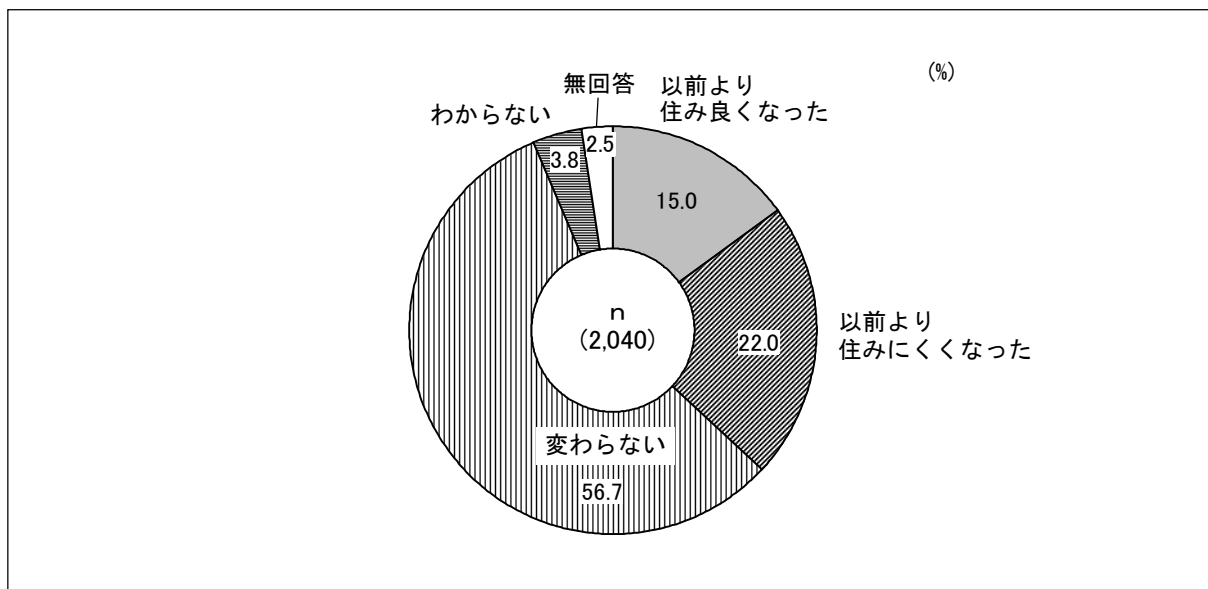
【住まい形態別】

- “住み良い” は集合住宅（分譲）（87.7%）と集合住宅（賃貸）（86.3%）で8割台半ばを超えている。



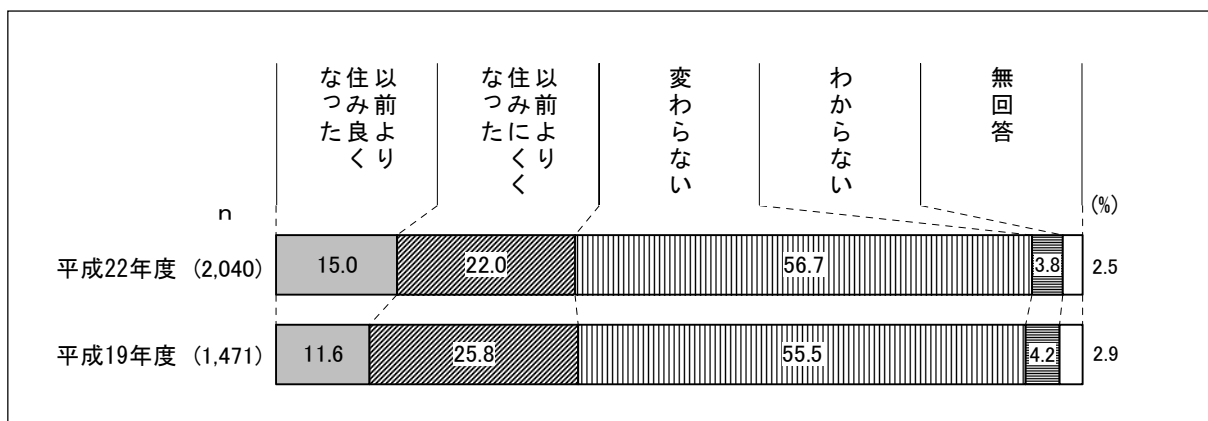
## 1-② 住み心地の変化〔問1-2〕

- 以前と比べた住み心地の変化を聞いたところ、「変わらない」(56.7%)が5割台半ばを超えて最も高くなっている。
- 「以前より住みにくくなった」(22.0%)が「以前より住み良くなった」(15.0%)よりも7ポイント高くなっている。



### 【経年比較】

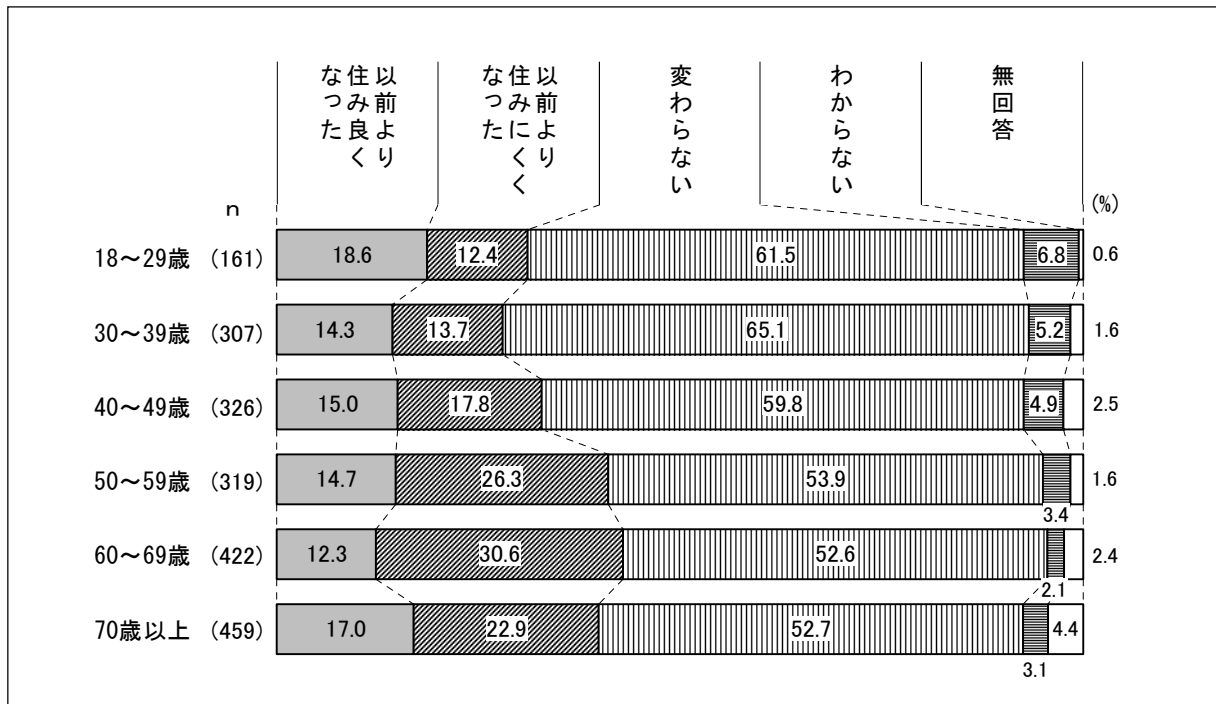
- 前回の調査結果と比較すると、全ての項目で大きな違いはみられない。





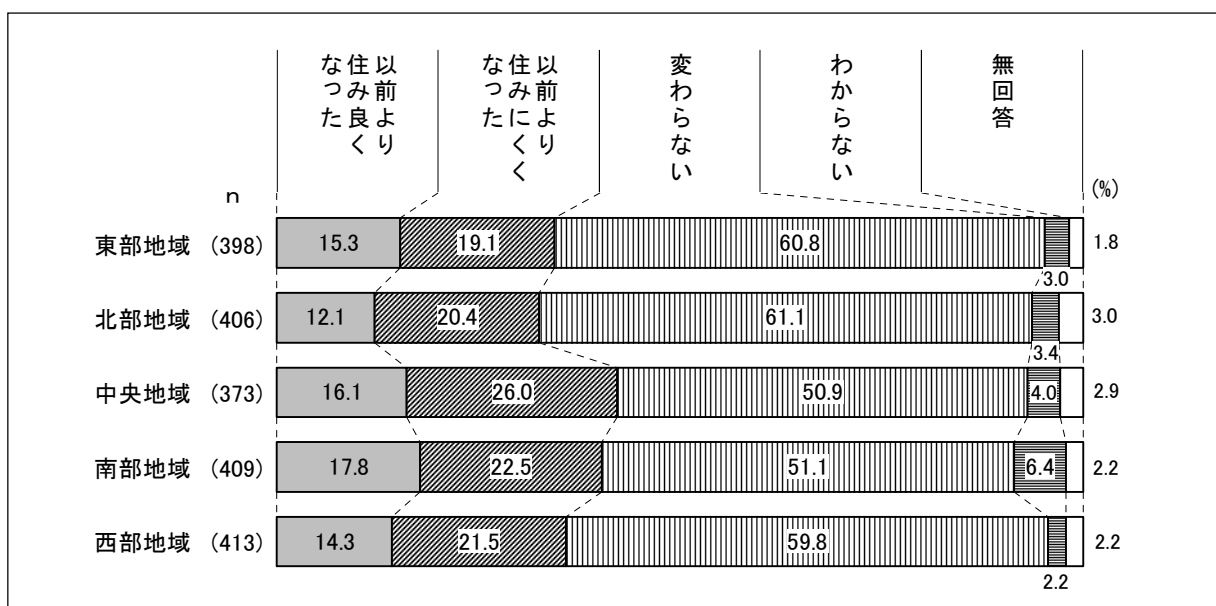
【年齢別】

- 「以前より住み良くなった」は18～29歳（18.6%）で約2割となっている。
- 「以前より住みにくくなった」は60～69歳（30.6%）で3割、50～59歳（26.3%）で2割台半ばとなっている。



【地域別】

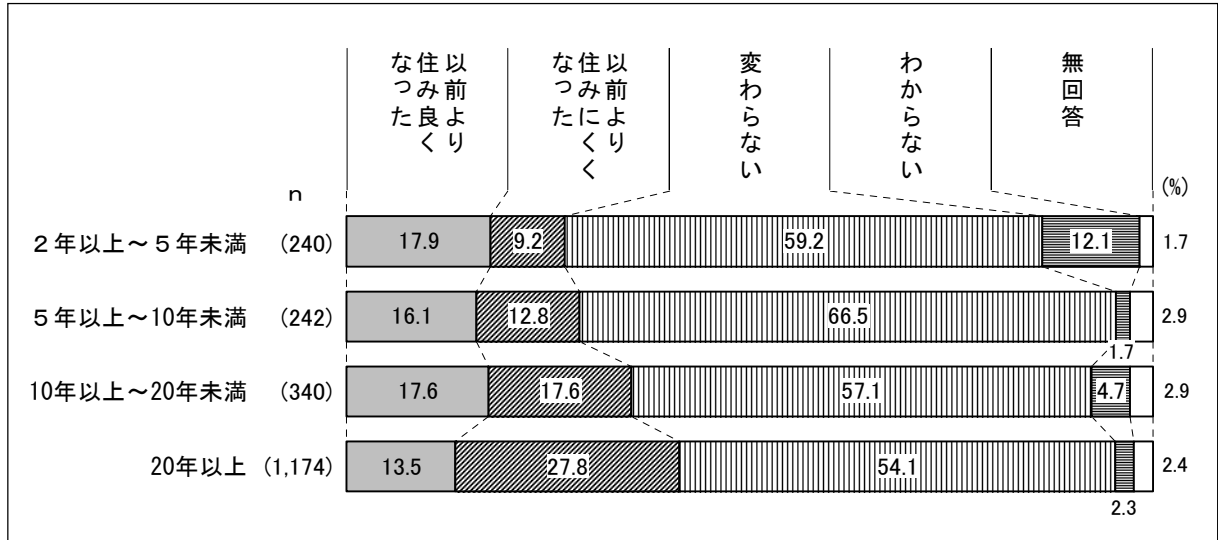
- 「以前より住み良くなった」は南部地域（17.8%）で最も高くなっている。
- 「以前より住みにくくなった」は中央地域（26.0%）で2割台半ばとなっている。



※ 地域の具体的区分は3ページの（6）居住地域名を参照

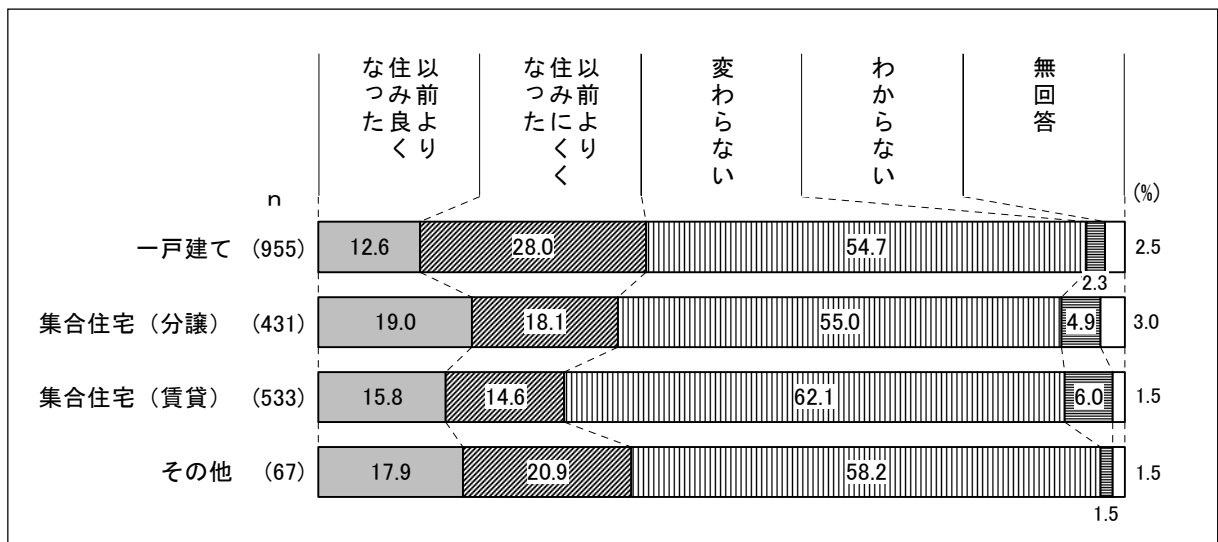
### 【居住年数別】

- 「以前より住み良くなった」は2年以上～5年未満（17.9%）と10年以上～20年未満（17.6%）でほぼ同じ割合となっている。
- 「以前より住みにくくなった」は居住年数が長くなるほど高くなり、20年以上（27.8%）で最も高くなっている。



### 【住まい形態別】

- 「以前より住み良くなった」は集合住宅（分譲）（19.0%）で約2割となっている。
- 「以前より住みにくくなった」は一戸建て（28.0%）で約3割となっている。



### 1-③ 住み心地の変化の理由〔問1-3〕

〔問1-2〕で「以前よりも住みよくなった」「以前よりも住みにくくなった」と回答した人に、その理由を尋ねた。自由回答形式の回答を分類すると、下表のとおりとなった。

#### 【以前よりも住みよくなった主な理由】

区 分	件 数	主 な 意 見
街づくり	133件	道路が整備された
		駅前などの放置自転車が少なくなった
		駅のバリアフリー化が進んだ
		歩道が整備された
		駅前・駅周辺がきれいになった
		公園ができた
		駅が改装された
		駅がきれいになった
		街がきれいになった
		大塚駅が改装されて南北通路ができた
		マンションが建設された
		駐輪場が整備された
		カラス、鳩、野良猫が減った
		再開発で景観がよくなった
		環境がよくなった
		池袋駅周辺の活性化
		防災公園ができた
		道路がきれいになった
		日当たりがよくなった
		街の整備が進んでいる
空き地に住宅ができた		
交通の便がよくなった	103件	地下鉄が開通した
		駅が近くなった
		バスの便がよくなった
		道路が整備された
		高速道路が完成した
		横断歩道・信号が増えた
		幹線道路の整備が終わり、交通機関も増えどこへ行くにも楽になった
		首都高速道路の入口、出口が近くにできた
買い物が便利になった	47件	近所にスーパーができた
		近所にコンビニができた
		様々な店が増えた
		巣鴨駅に駅ビルができた
		商店街が近くにある
		飲食店が増えた
		デパートの地下食品売場が便利になった
各種施設ができた	14件	図書館ができた
		スポーツクラブができた
		病院ができた

区分	件数	主な意見
治安がよくなった	12件	昔の池袋の危険なイメージが少なくなり、夜も安心できるようになった
		10年位前は夜は外国人女性が多く立っていたので歩きにくい感じがしたが、今はよくなった
		悪質な業者や風俗めいた人が少なくなった
		南大塚は風俗店がなく、夜道も安心
		麻薬の売人らしい外国人や若者を見かけなくなった
		マンション荒らし等の犯罪がなくなった
		近くに大型スーパーができ、遅い時間でも明るいので安心感がある
		夜も通りが明るく犯罪が少ない
住居がよくなった	9件	住宅を建て替えた
		住宅がオール電化で安心して生活ができる
		都営住宅に入居できた
		部屋が広くなった
人間関係がよくなった	8件	近所の人との人間関係がよくなった
		会話、挨拶など人間関係がよくなった
騒音がなくなった	7件	静かで環境がよい
		大きな道路に面していないため、車の音が気にならなくなった
		家の前にあった印刷工場がなくなったため、業務用の車が来なくなり、機械の騒音がなくなった
		子どもが少なくなって静かになった
行政がよくなった	7件	区職員の対応がよくなった
		行政サービスがよくなった
		子育てサポートが素晴らしいと感じる
		シルバーパスを使い外出が楽しくなった

#### 【以前よりも住みにくくなった主な理由】

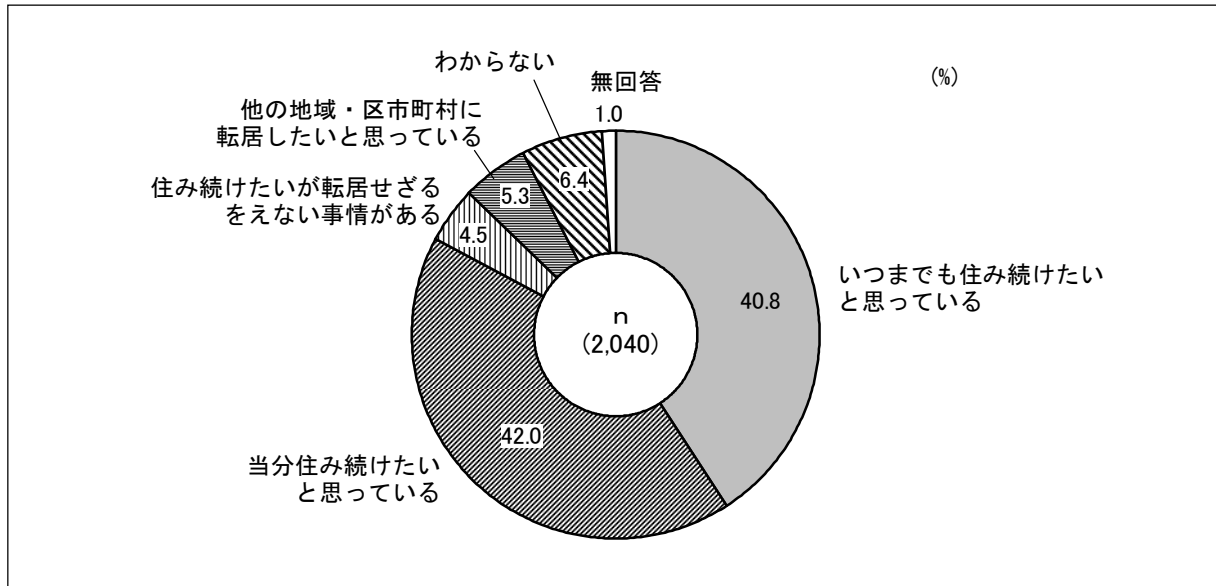
区分	件数	主な意見
治安・マナー	187件	治安が悪くなった
		外国人が増えて不安
		マナーの悪い・ルールを守らない人が増えた
		ごみの回収日・収集場所・分別のルールを守らない人が増えた
		マンション・アパートの住民がごみ出しのルールを守らない
		自転車に乗っている人のマナーが悪い
		外国人が増え、騒音が多い
		野良猫が多く糞害に困っている
		ホームレスが多い
		マンション・アパートの住民の騒音が多い
		夜中の騒音が多い
		空き巣が多い
		飼い犬の鳴き声がうるさい
		防犯が心配
		飼い猫の糞害に困っている
		放置自転車がある
庭木の手入れをしない家がある		

区 分	件 数	主 な 意 見
		路上看板があり歩きにくい タバコのポイ捨てがある ごみを漁る人がいる 住宅地の近くに風俗営業のホテルがある 飼い犬の糞を放置する人がいる
新しくマンションや住宅が建設され、住環境が悪化した	88件	マンションが増えた 日当たりが悪くなった 風害がひどくなった 土地が分割されて建売住宅が増えた 風通しが悪くなった 眺望が悪くなった 目の前や隣にマンションができた 静かな環境が失われた 景観が損なわれた マンション建設による騒音がある 住宅密集度が高くなった 家が建て込み防災上問題がある 高層建築が増えて圧迫感がある
コミュニティ・近隣関係	68件	近所付き合いが減った 新しいマンション・アパートにどんな人が住んでいるかわからない 知らない人が増えた 昔からの住民が減った 町会に入会する人が減った 地域に問題のある人がいる 人と人とのコミュニケーションがなくなっている 人に対する思いやりが少なくなった 若い家族が自己中心的・非協力的 子どもが大きくなり交流がなくなった 他人と関わらない人が増えた 挨拶をしない
近所に商店がなくなり買い物が不便になった	66件	個人商店が減った 商店街が衰退している 買い物が不便 近所にスーパーがない 近所にコンビニがない 日用品を買う店がない
交通	38件	交通量が増えた 駐輪場が少ない・利用料金が高い 駅から遠くなった 道路工事が終わらない 道路が完成し排気ガスが増えた 行き過ぎた放置自転車対策で自転車が使いづらい
騒音	30件	宗教の音楽などがうるさい 交通量が増え、騒音がひどくなった 救急車・消防車・パトカーのサイレンの音量が大きい

区 分	件 数	主 な 意 見
緑・オープンスペース	28件	緑が少なくなった
		公園が減った
		子どもの遊び場が少ない
		カラスが多い
各種施設	18件	保育園に空きがない
		銭湯がなくなり不便
		病院がなくなった
行政	11件	税金が高い
		福祉・介護サービスが悪い
住居	7件	家や部屋が狭い
		家賃が高い

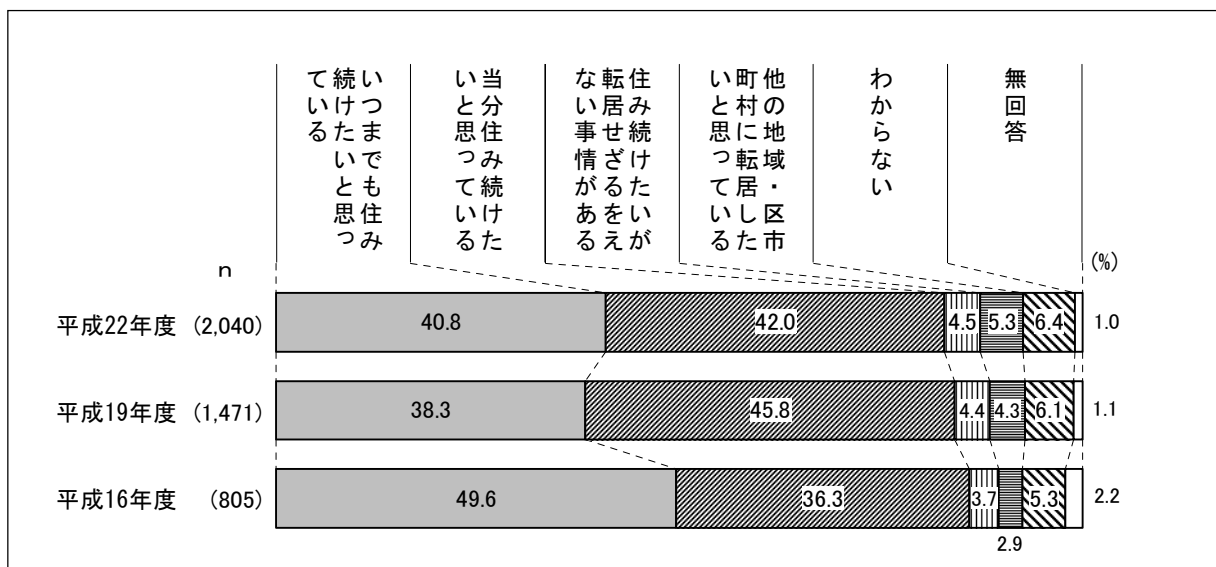
## 2 定住意向〔問2〕

- 定住意向について聞いたところ、「当分住み続けたいと思っている」(42.0%)が最も高く、「いつまでも住み続けたいと思っている」(40.8%)と合わせた“住み続けたい”(82.8%)としてみると、8割を超えている。
- 「他の地域・区市町村に転居したいと思っている」(5.3%)、「住み続けたいが転居せざるをえない事情がある」(4.5%)はともに1割を下回っている。



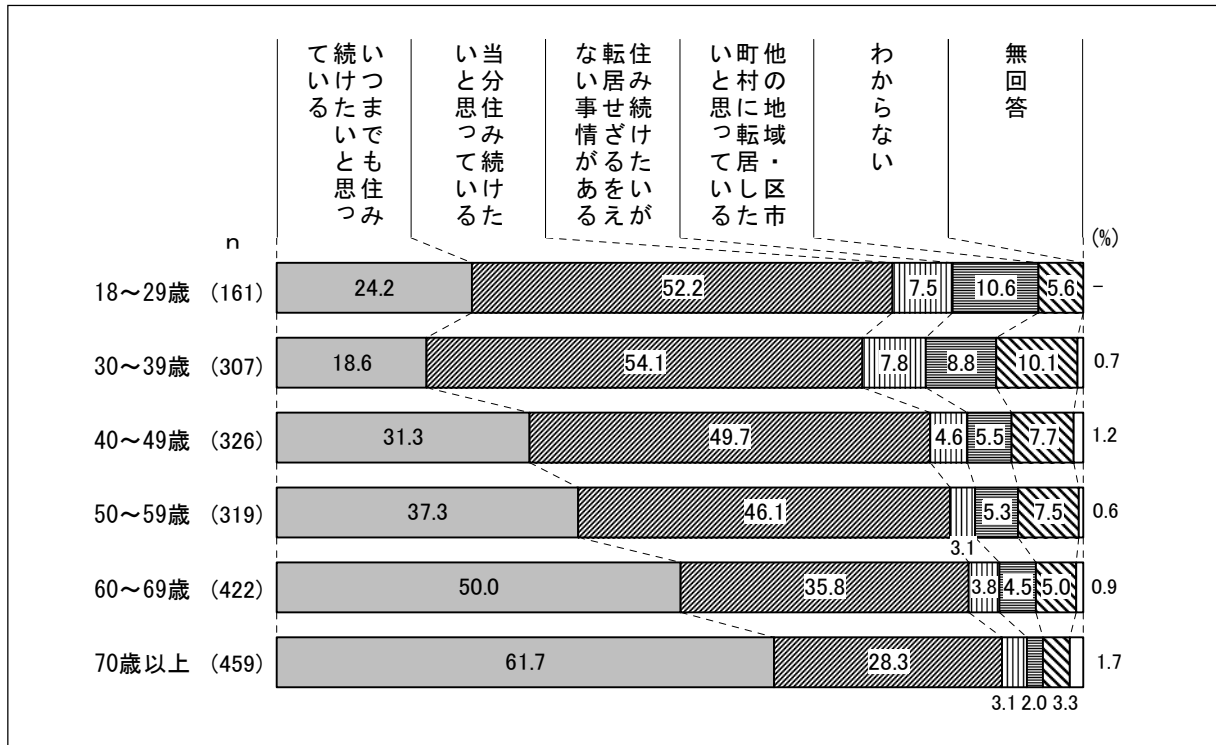
### 【経年比較】

- 平成19年度と比較すると大きな違いはみられないが、平成16年度と比較すると、「いつまでも住み続けたいと思っている」は8.8ポイント減少する一方で、「当分住み続けたいと思っている」は5.7ポイント増加している。



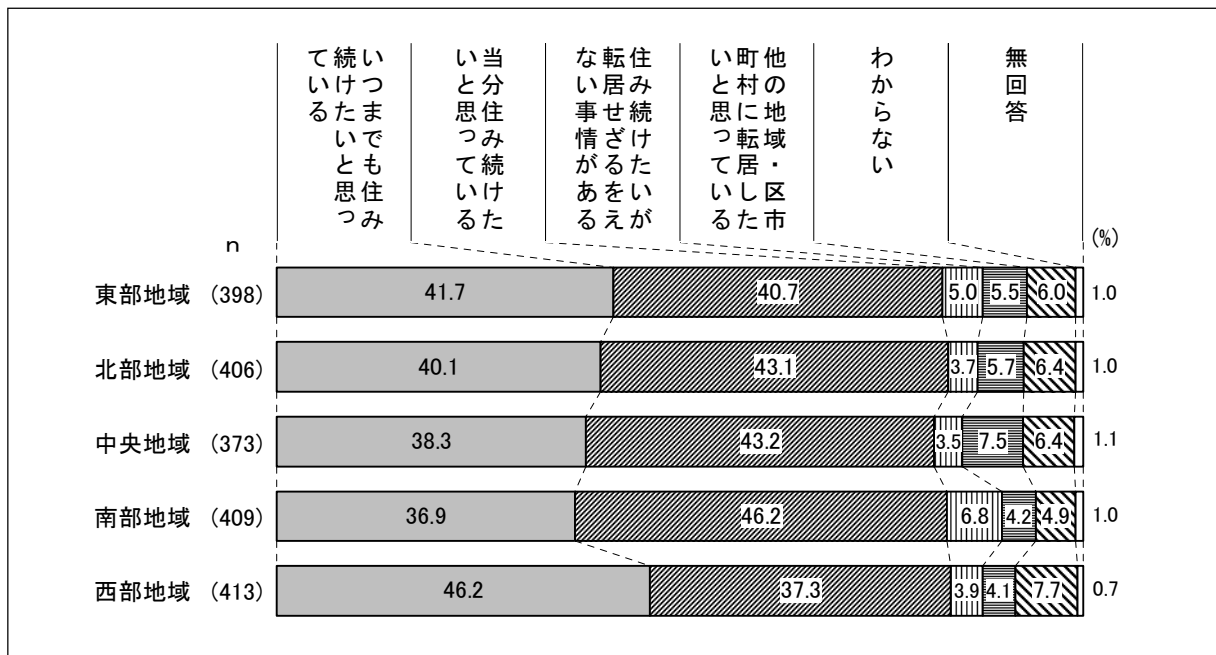
【年齢別】

- “住み続けたい”はおおむね年齢が上がるほど高くなる傾向がみられ、70歳以上（90.0%）で9割となっている。
- 「他の地域・区市町村に転居したいと思っている」は18～29歳（10.6%）で1割となっている。



【地域別】

- 「いつまでも住み続けたいと思っている」は西部地域（46.2%）で4割台半ばとなっているが、“住み続けたい”としてみると、大きな違いはみられない。

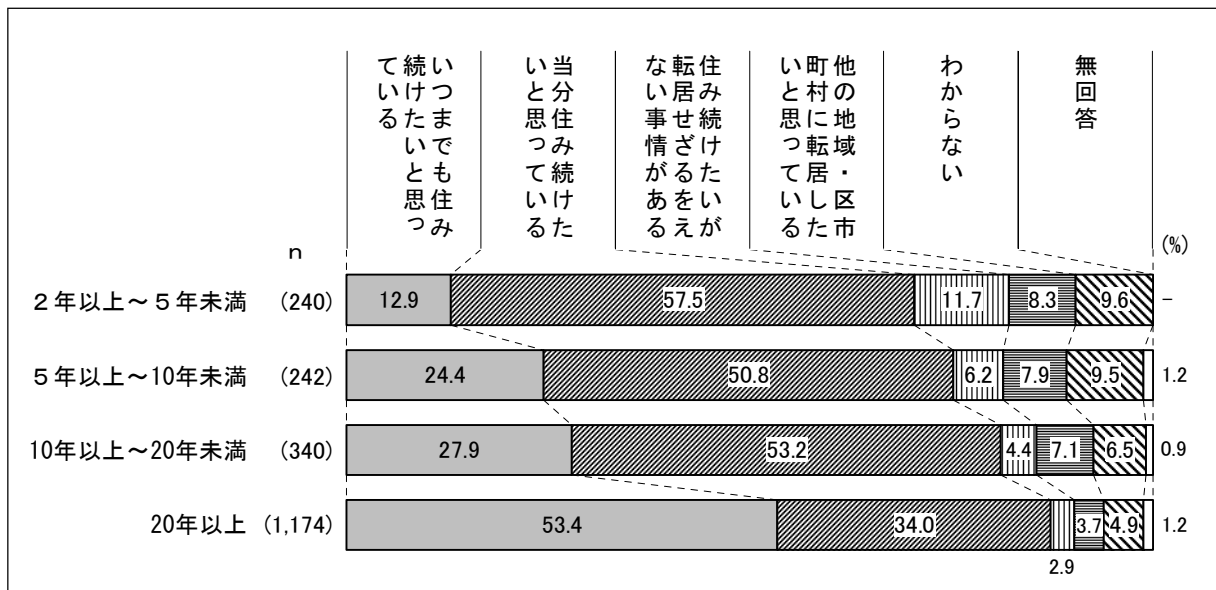


※ 地域の具体的区分は3ページの（6）居住地域名を参照



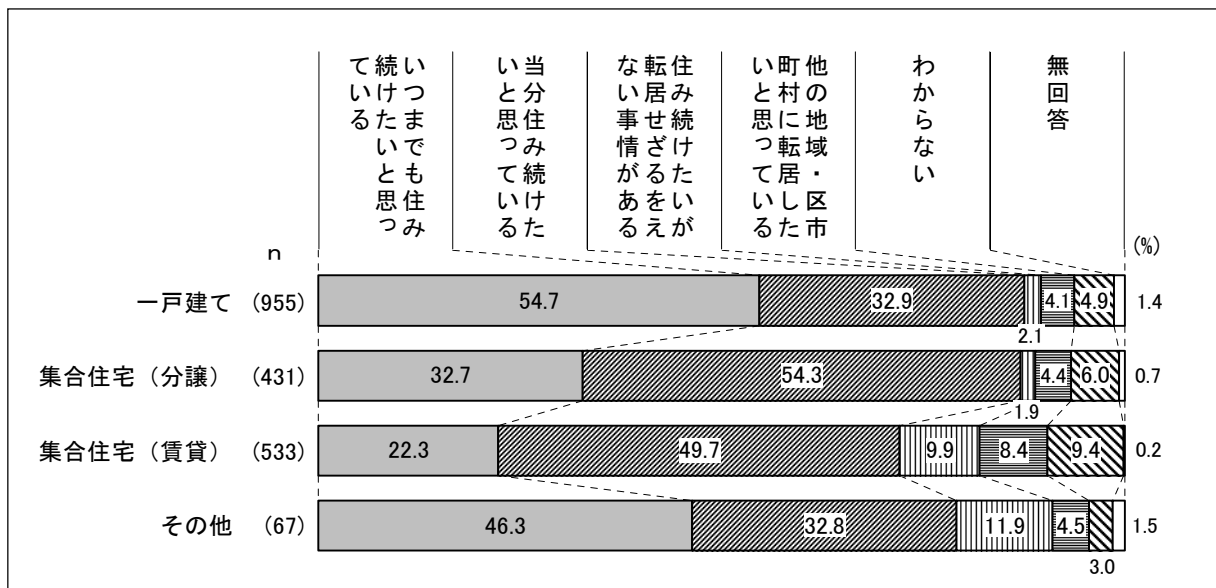
【居住年数別】

- “住み続けたい” は居住年数が長くなるほど高くなり、20年以上（87.4%）で最も高くなっている。



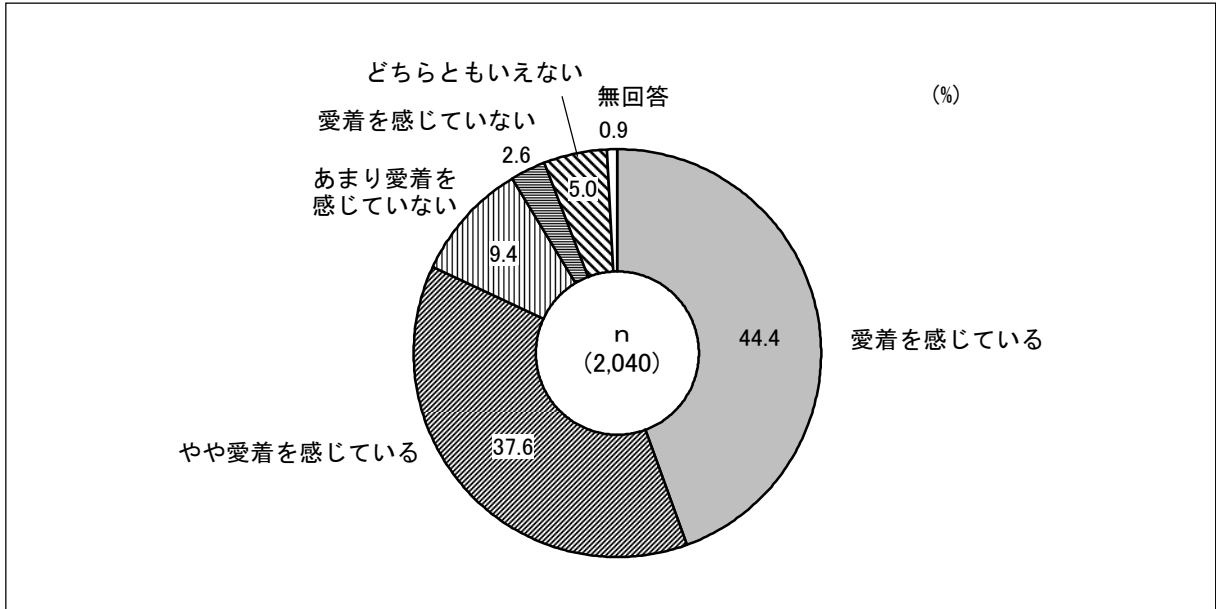
【住まい形態別】

- “住み続けたい” は一戸建て（87.6%）と集合住宅（分譲）（87.0%）でほぼ同じ割合で高くなっている。
- 「他の地域・区市町村に転居したいと思っている」は集合住宅（賃貸）（8.4%）で約1割となっている。



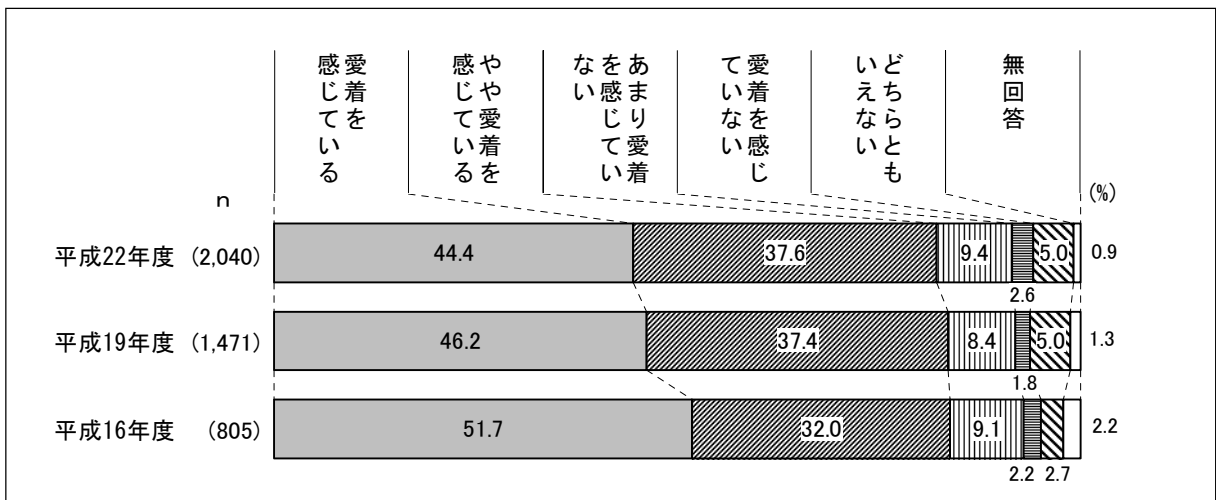
### 3 地域への愛着〔問3〕

- 地域への愛着について聞いたところ、「愛着を感じている」(44.4%)で4割台半ばと最も高く、「やや愛着を感じている」(37.6%)と合わせた“愛着を感じている”(82.0%)としてみると8割を超えている。
- 「あまり愛着を感じていない」(9.4%)と「愛着を感じていない」(2.6%)を合わせた“愛着を感じていない”(12.0%)としてみると、1割を超える程度となっている。



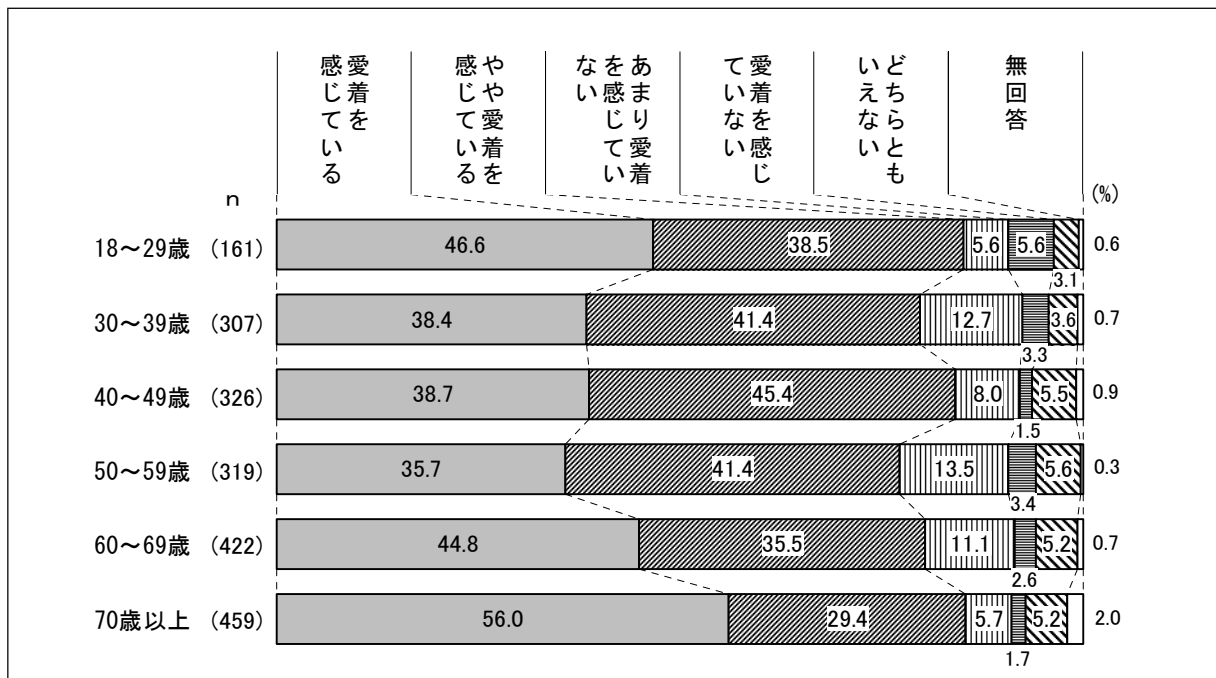
#### 【経年比較】

- 過去の調査と比較すると、「愛着を感じている」は平成16年度から7.3ポイント低くなっているが、“愛着を感じている”としてみると、大きな違いはみられない。



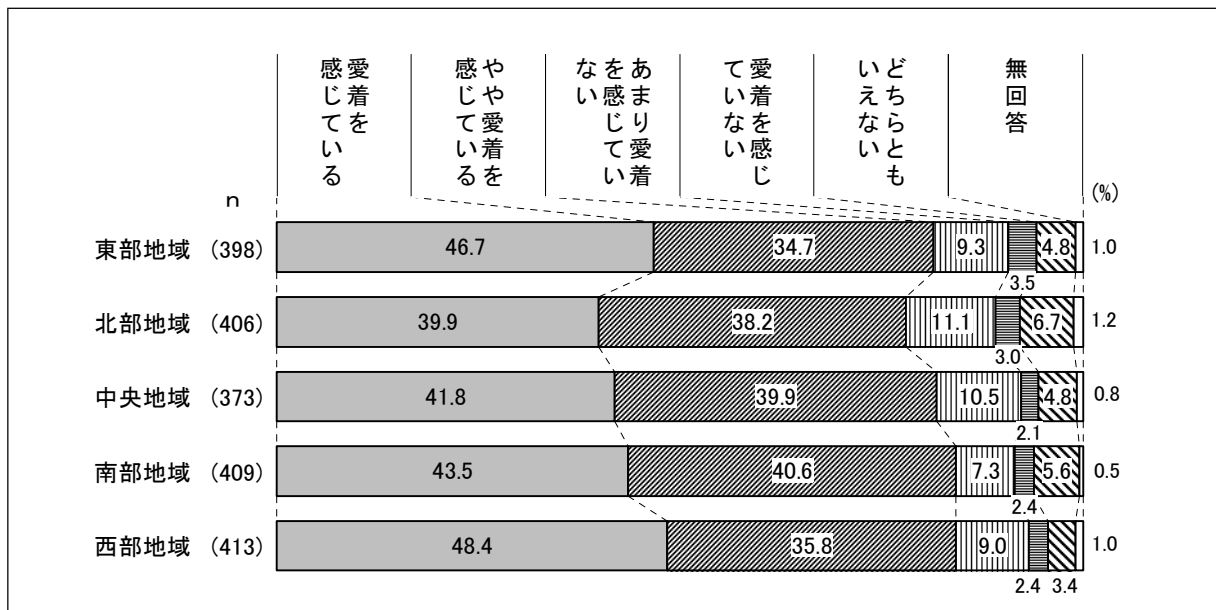
【年齢別】

- “愛着を感じている” は70歳以上（85.4%）と18～29歳（85.1%）、40～49歳（84.1%）で8割台半ばとなっている。



【地域別】

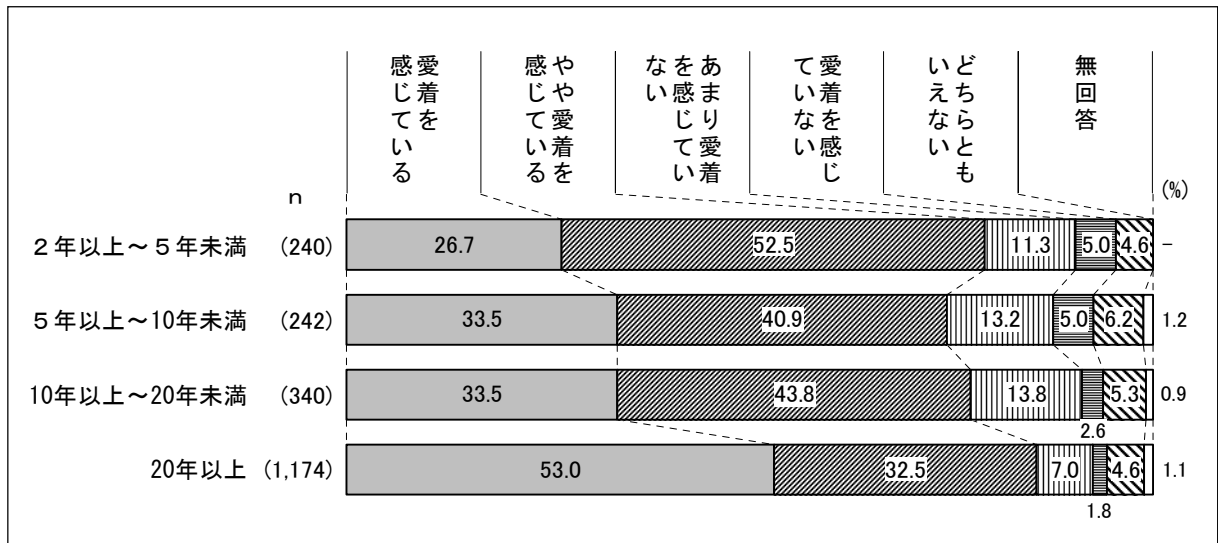
- “愛着を感じている” は西部地域（84.2%）と南部地域（84.1%）で8割台半ばとなっている。
- “愛着を感じていない” は北部地域（14.1%）で1割台半ばとなっている。



※ 地域の具体的区分は3ページの（6）居住地域名を参照

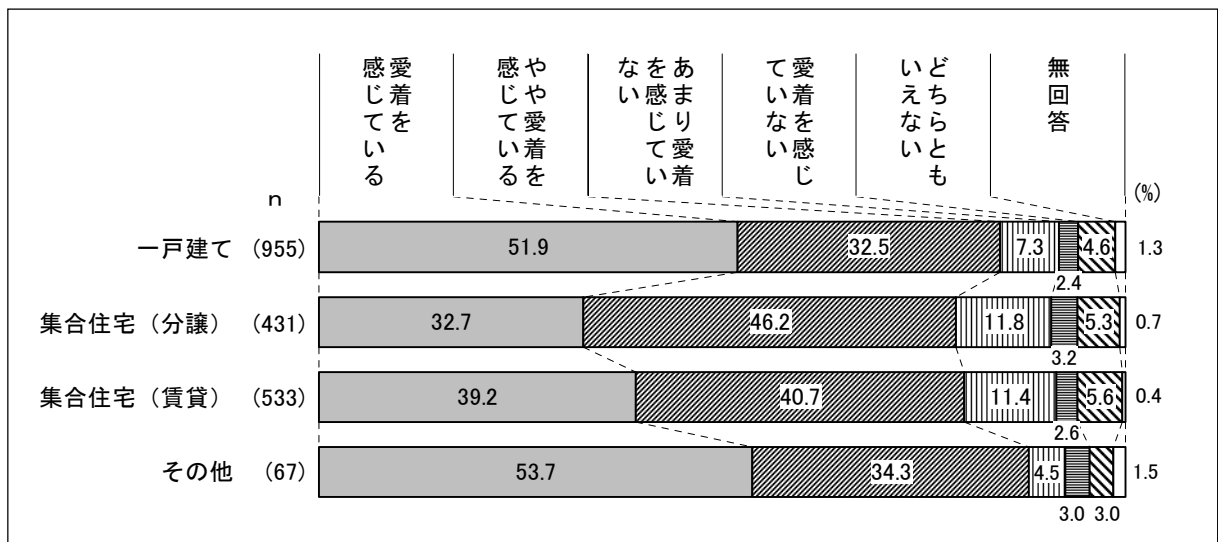
### 【居住年数別】

- “愛着を感じている”は20年以上（85.5%）で8割台半ばと最も高くなっている。また、20年以上は唯一「愛着を感じている」（53.0%）が「やや愛着を感じている」（32.5%）よりも高くなっている。



### 【住まい形態別】

- “愛着を感じている”は一戸建て（84.4%）で8割台半ばとなっている。
- “愛着を感じていない”は集合住宅（分譲）（15.0%）と集合住宅（賃貸）（14.0%）で1割台半ばとなっている。



# 第2章

## 地域の生活環境について



## 第2章 地域の生活環境について

### 〔設問設定の考え方〕

「豊島区基本計画」（平成18年3月策定）及び「豊島区未来戦略推進プラン」の政策体系に対応するかたちで、生活環境に関して大きく10のグループを設定し、さらに、各グループにおいて複数の「目指すべき生活環境の姿」を設定した。

設定した「目指すべき生活環境の姿」は、全部で69項目であり、10のグループごとに、各項目について、「最近の評価」と「今後の優先度」の回答を求めた。

また、「最近の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析を行った。

#### 《調査にあたり策定した10のグループ》

①福祉 ②健康 ③子育て ④教育 ⑤コミュニティ・協働	⑥環境 ⑦都市再生 ⑧安心・安全 ⑨観光・産業 ⑩文化
---	---

（参考：平成19年度調査で設定したグループ）

①福祉 ②健康 ③子育て ④教育 ⑤コミュニティ ⑥環境	⑦都市再生 ⑧安心・安全 ⑨観光・産業 ⑩文化 ⑪その他 ⑫池袋副都心のまちづくり
---	--

#### ①目指すべき生活環境に対する「最近の評価」

- ※ “どちらかというと思う” “どちらともいえない” “どちらかというと思わない” の3つから実感に近いものを選択。
- ※ “どちらかというと思う” から “どちらかというと思わない” の割合を引いた数値を比較して、それが高いほど、当該項目に対する生活環境の満足度が高いものとして集計した。

#### ②目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」

- ※ 各グループにおける複数の「目指すべき生活環境の姿」の中から、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を2つ又は3つまで選択。

## 《グループと「評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿」一覧》

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿
① 福祉	1	地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある
	2	高齢者等一人ひとりの状態に合わせた、きめ細やかな介護や生活支援サービスが受けられる
	3	民間事業者等による介護や福祉のサービスの質が高く、安心して利用できる
	4	生活保護など、生活の保障がなされ、安定した生活をおくることができる
	5	必要な支援を受けながら、高齢者や障害者が自立した生活を営むことができる
	6	高齢者や障害者が、社会参加し、交流しながら、いきいきと自己実現している
	7	要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある
	8	グループホームや特別養護老人ホームなどが地域の中に整備されている
② 健康	9	子どもから高齢者まで、健康づくりに取り組むための、多様な機会や場、情報がある
	10	健康診断や保健指導、相談など、疾病を予防するための保健サービスが充実している
	11	感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない
	12	地域の医療機関やサービスが充実している
③ 子育て	13	家庭・学校・地域の中で、子どもの視点に立った子育てが行われている
	14	いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている
	15	子どもが、友だちと交流しながらのびのびと遊ぶことができる
	16	子育ての悩みを一人で抱えることなく、気軽に相談したり、親同士が交流する場や機会がある
	17	一時保育や延長保育、医療費助成など、多様な子育てサービスが利用できる
	18	地域ぐるみで子どもを見守り、子育てを支援するような意識が広がり、活動が行われている
④ 教育	19	地域・家庭と幼稚園・保育園等が協力しあい、充実した幼児教育が行われている
	20	子どもの基礎的な学力や豊かな人間性が身についている
	21	学校づくりに保護者や地域住民が関心を持ち、積極的に連携を深めている
	22	小・中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている
	23	学校の周辺及び通学路が安全である
	24	家庭が主体となり、子どもに社会道徳やモラルを身に付けさせている
	25	学校施設が地域に開放され、活動の場として活用されている
⑤ コミュニティ・協働	26	地域の課題に対する関心が高まり、地域活動やまちづくりへの参加が広がっている
	27	地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している
	28	町会等の活動やボランティア活動など様々な地域活動が活発に行われている
	29	さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる
	30	地域で外国人との交流がある
	31	地域社会において平和と人権が尊重されている
	32	男女が共同で社会に参画できる

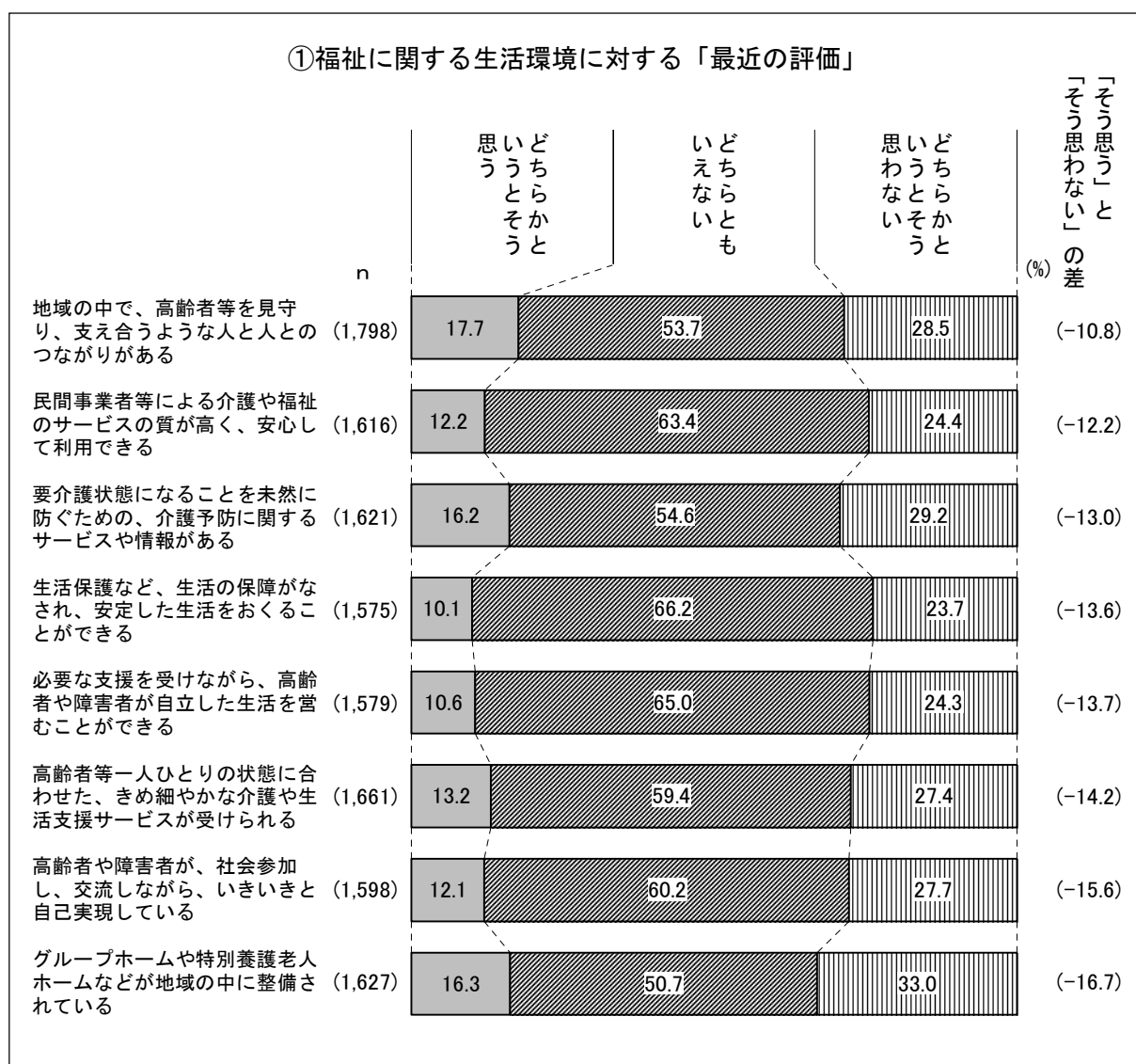


グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿
⑥ 環 境	33	運動ができ、災害時にも有効な比較的規模の大きな公園がある
	34	街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い
	35	騒音、大気汚染などに悩まされることがない
	36	ヒートアイランド対策や地球温暖化対策など、環境に配慮した行動が広がっている
	37	道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである
	38	ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている
	39	地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている
⑦ 都 市 再 生	40	地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている
	41	まちの中で地域の個性や文化、歴史を感じることができる
	42	駅及び駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている
	43	公営住宅など、住宅に困窮する世帯が、地域に住みつづけるためのセーフティネットが確保されている
	44	单身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている
	45	身近な生活道路が快適に通行できる
	46	駅周辺に駐輪場が整備され、放置自転車が少ない
	47	鉄道・バス等の交通が便利である
	48	広場、道路等がバリアフリー化され、池袋駅を中心とした東西の行き来がしやすくなっている
49	池袋周辺で、新宿、渋谷などにない魅力あるまちづくりが進んでいる	
⑧ 安 心 ・ 安 全	50	家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている
	51	震災時の避難、救援体制など、街全体として災害への備えができている
	52	建物の耐火・耐震化や、狭い路地の解消など、災害に強いまちづくりが進んでいる
	53	集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない
	54	治安がよく、安心して暮らせる
	55	交通事故が少ない
⑨ 観 光 ・ 産 業	56	商業地や鉄道駅周辺地域がにぎわい、多くの人を訪れている
	57	テレビや新聞・雑誌で、豊島区をイメージアップする情報がよく紹介される
	58	観光情報や物産など、地方の情報に接することができる
	59	新たに区内で事業を起こそうとする人が増えている
	60	地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している
	61	消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している
⑩ 文 化	62	文化・芸術活動が生活やまちに活力を与えている
	63	文化イベントなどによる新たな文化・芸術の育成、発信が活発である
	64	歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている
	65	劇場や美術館、博物館など、文化・芸術を鑑賞する施設や機会が多い
	66	文化・芸術活動に参加できる場があり、リーダーとなる人材も育っている
	67	図書館や公開講座など、多様な生涯学習を選択する機会がある
	68	地域のなかで自主的に生涯学習活動を行う人材が育っている
	69	地域でスポーツに親しむ環境や機会がある

# 1 目指すべき生活環境に対する「最近の評価」〔問4〕

## ① 福祉

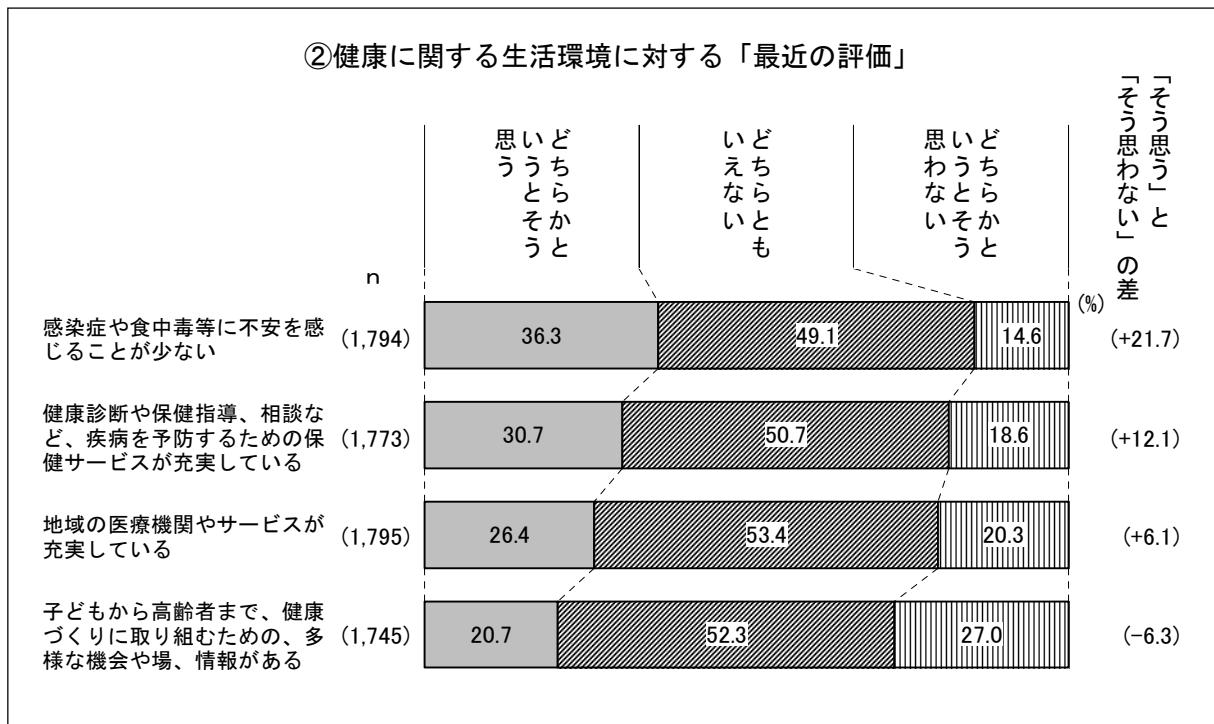
- 福祉に関する生活環境について、下記の8つの項目を設定して、最近の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある」であり、以下、「民間事業者等による介護や福祉のサービスの質が高く、安心して利用できる」、「要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある」などと続いている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「グループホームや特別養護老人ホームなどが地域の中に整備されている」である。



※生活環境に関する各項目において、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値の高い項目順に並べ替えた。  
 ※各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

## ② 健康

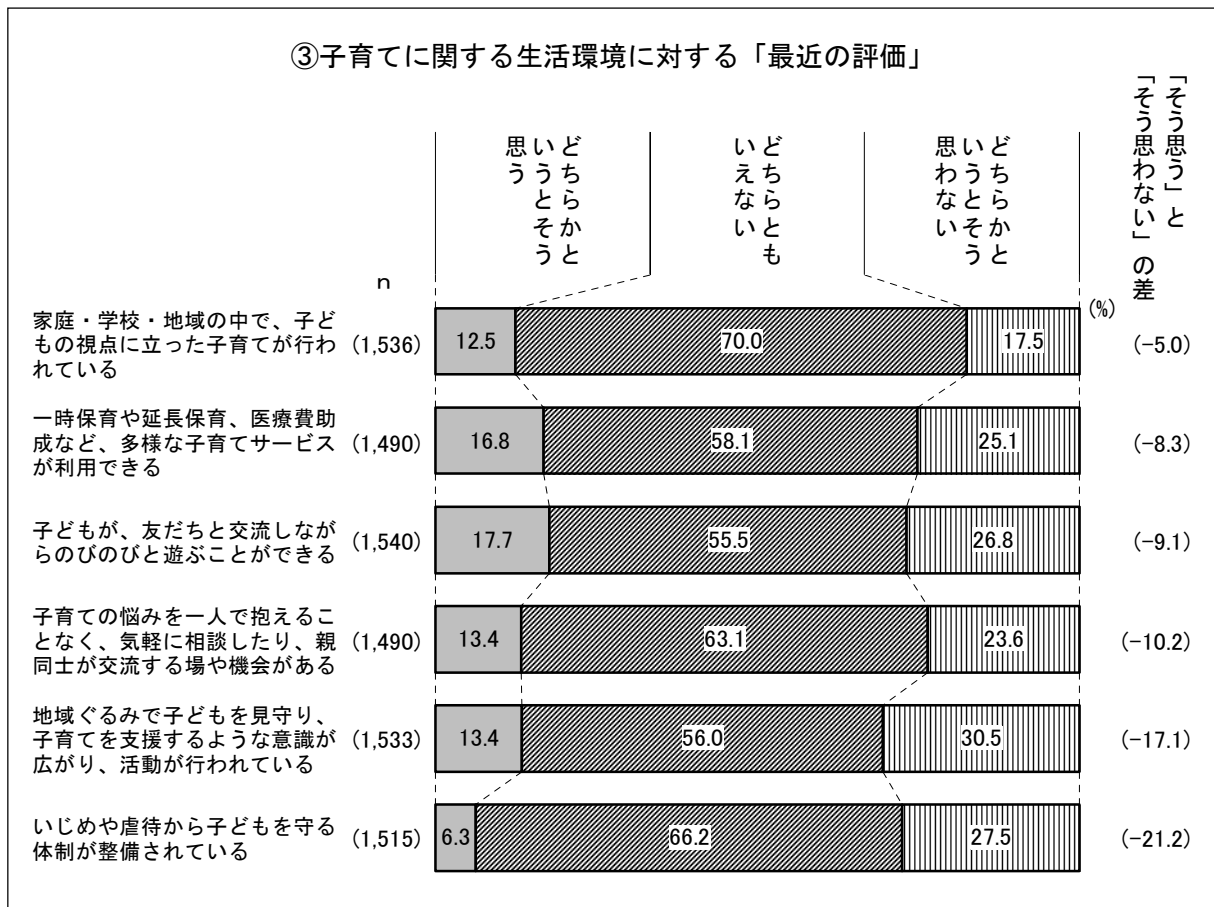
- 健康に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、最近の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない」であり、以下、「健康診断や保健指導、相談など、疾病を予防するための保健サービスが充実している」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「子どもから高齢者まで、健康づくりに取り組むための、多様な機会や場、情報がある」である。



※生活環境に関する各項目において、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値の高い項目順に並べ替えた。  
 ※各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

### ③ 子育て

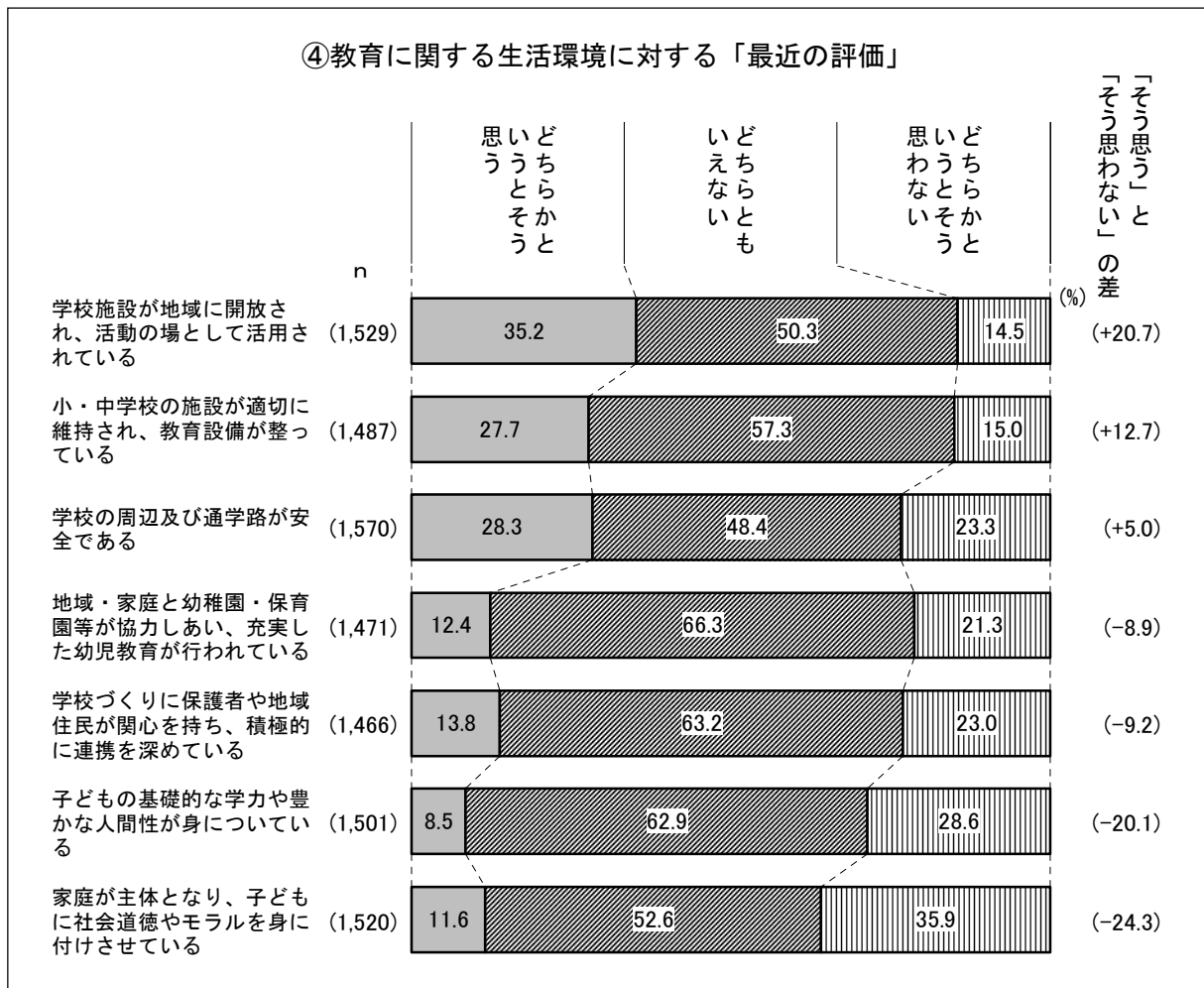
- 子育てに関する生活環境について、下記の6つの項目を設定して、最近の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「家庭・学校・地域の中で、子どもの視点に立った子育てが行われている」であり、以下、「一時保育や延長保育、医療費助成など、多様な子育てサービスが利用できる」、「子どもが、友だちと交流しながらのびのびと遊ぶことができる」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている」である。



※生活環境に関する各項目において、「どちらかという思う」から「どちらかという思わない」を引いた数値の高い項目順に並べ替えた。  
 ※各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

#### ④ 教育

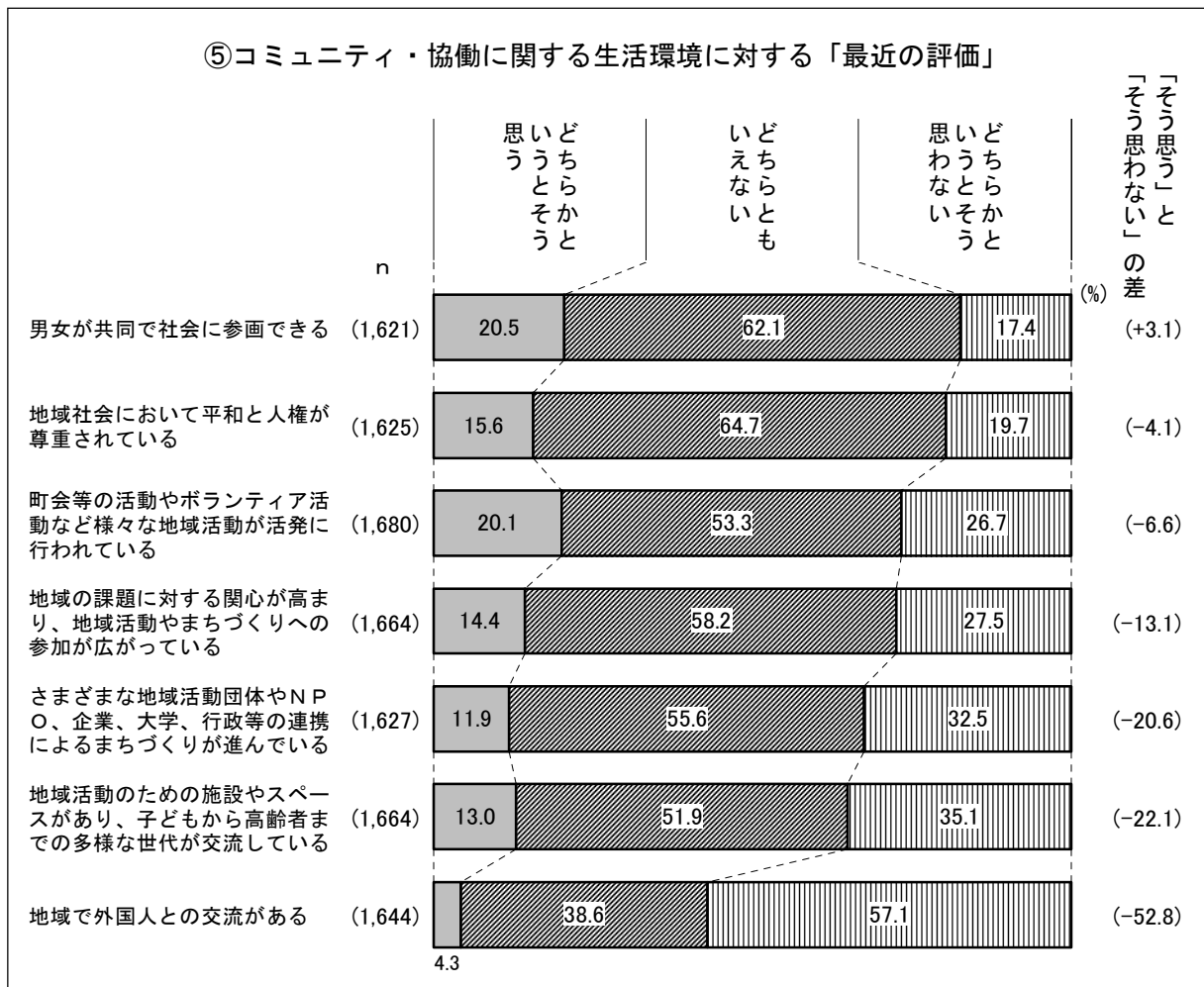
- 教育に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、最近の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「学校施設が地域に開放され、活動の場として活用されている」であり、以下、「小・中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている」、「学校の周辺及び通学路が安全である」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「家庭が主体となり、子どもに社会道徳やモラルを身に付けさせている」である。



※生活環境に関する各項目において、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値の高い項目順に並べ替えた。  
 ※各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

## ⑤ コミュニティ・協働

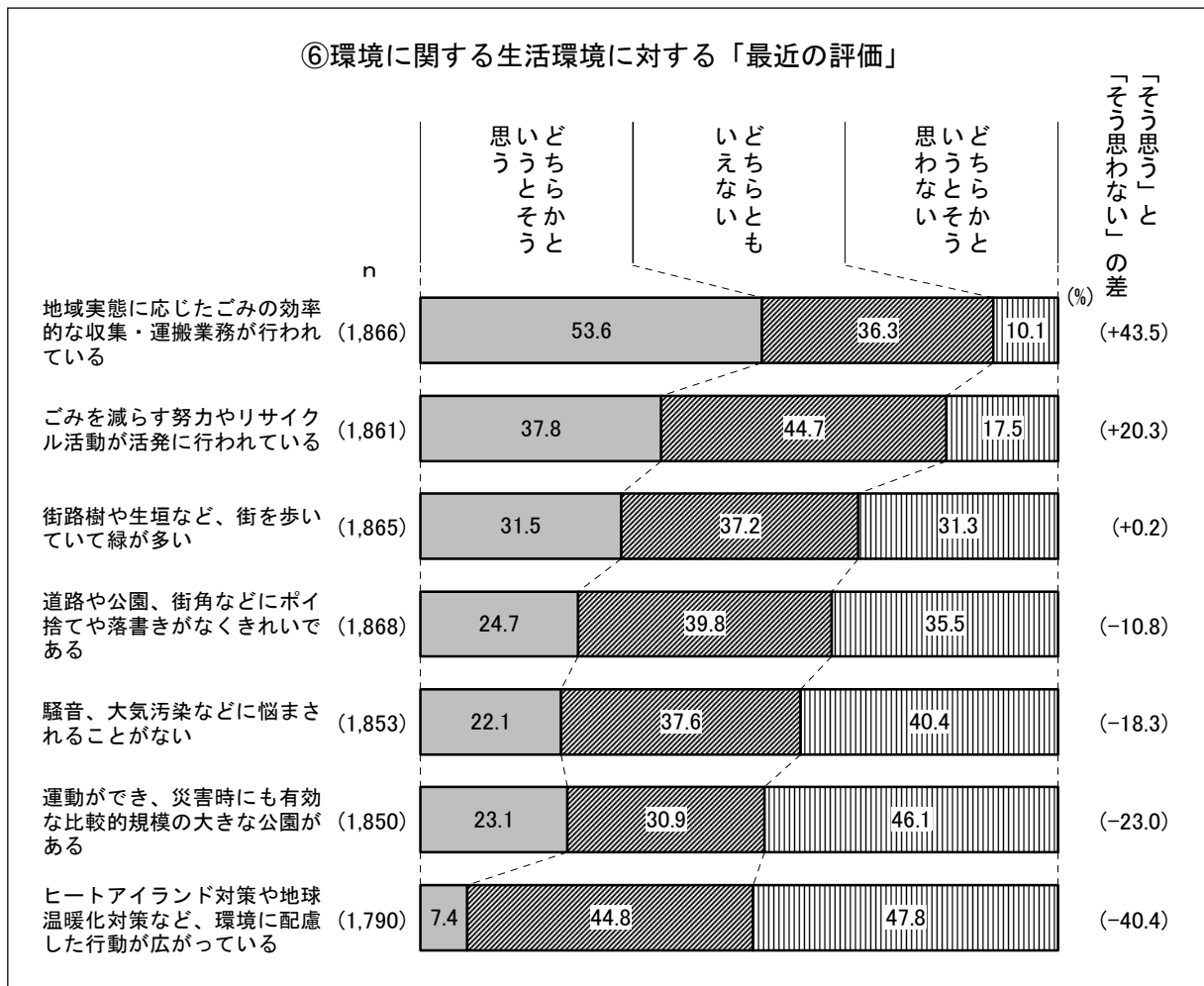
- コミュニティ・協働に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、最近の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「男女が共同で社会に参画できる」であり、以下、「地域社会において平和と人権が尊重されている」、「町会等の活動やボランティア活動など様々な地域活動が活発に行われている」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「地域で外国人との交流がある」である。



※生活環境に関する各項目において、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値の高い項目順に並べ替えた。  
 ※各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

⑥ 環境

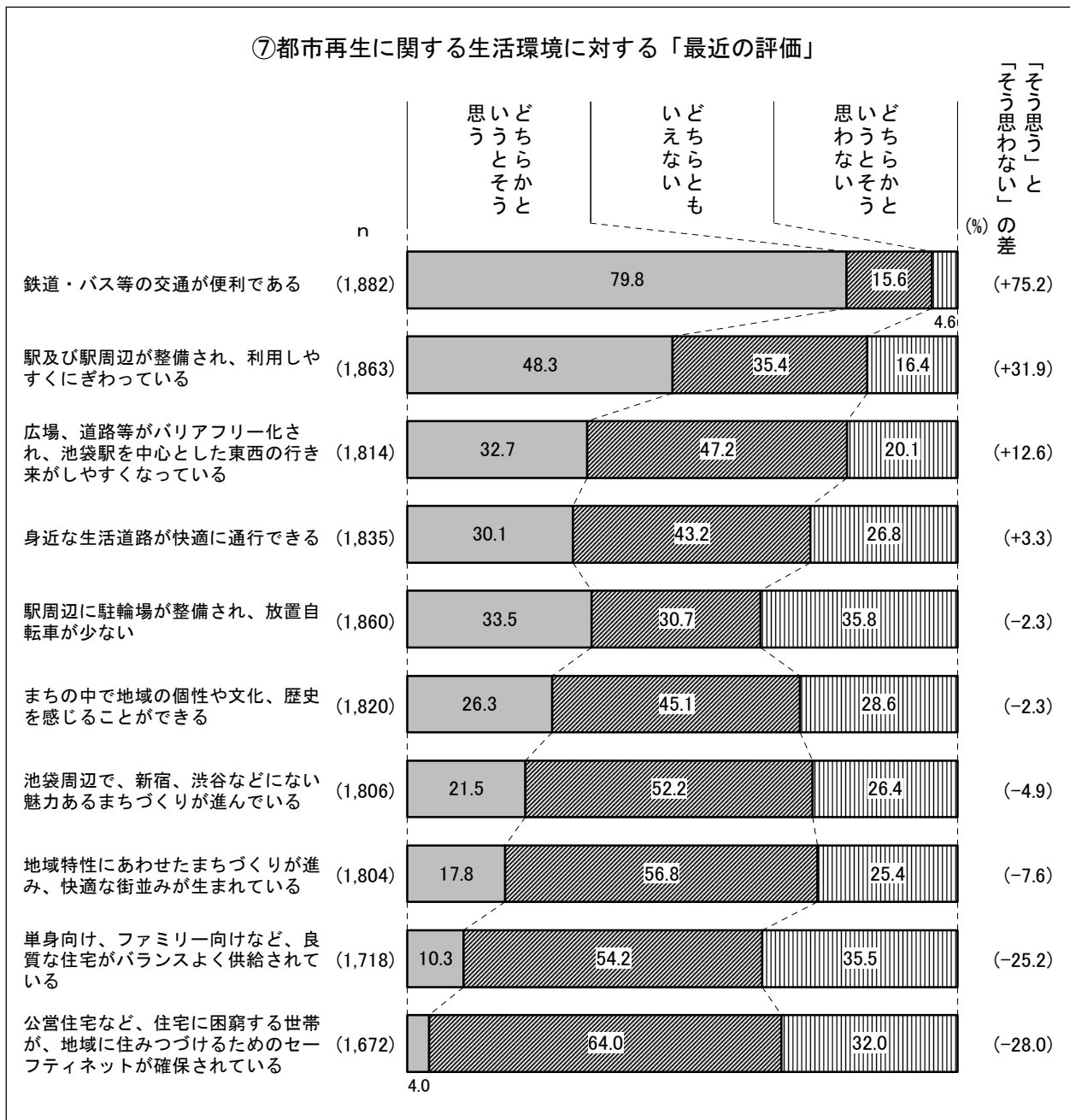
- 環境に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、最近の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている」であり、以下、「ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている」、「街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「ヒートアイランド対策や地球温暖化対策など、環境に配慮した行動が広がっている」である。



※生活環境に関する各項目において、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値の高い項目順に並べ替えた。  
 ※各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

## ⑦ 都市再生

- 都市再生に関する生活環境について、下記の10の項目を設定して、最近の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「鉄道・バス等の交通が便利である」であり、以下、「駅及び駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている」、「広場、道路等がバリアフリー化され、池袋駅を中心とした東西の行き来がしやすくなっている」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「公営住宅など、住宅に困窮する世帯が、地域に住みつけるためのセーフティネットが確保されている」である。

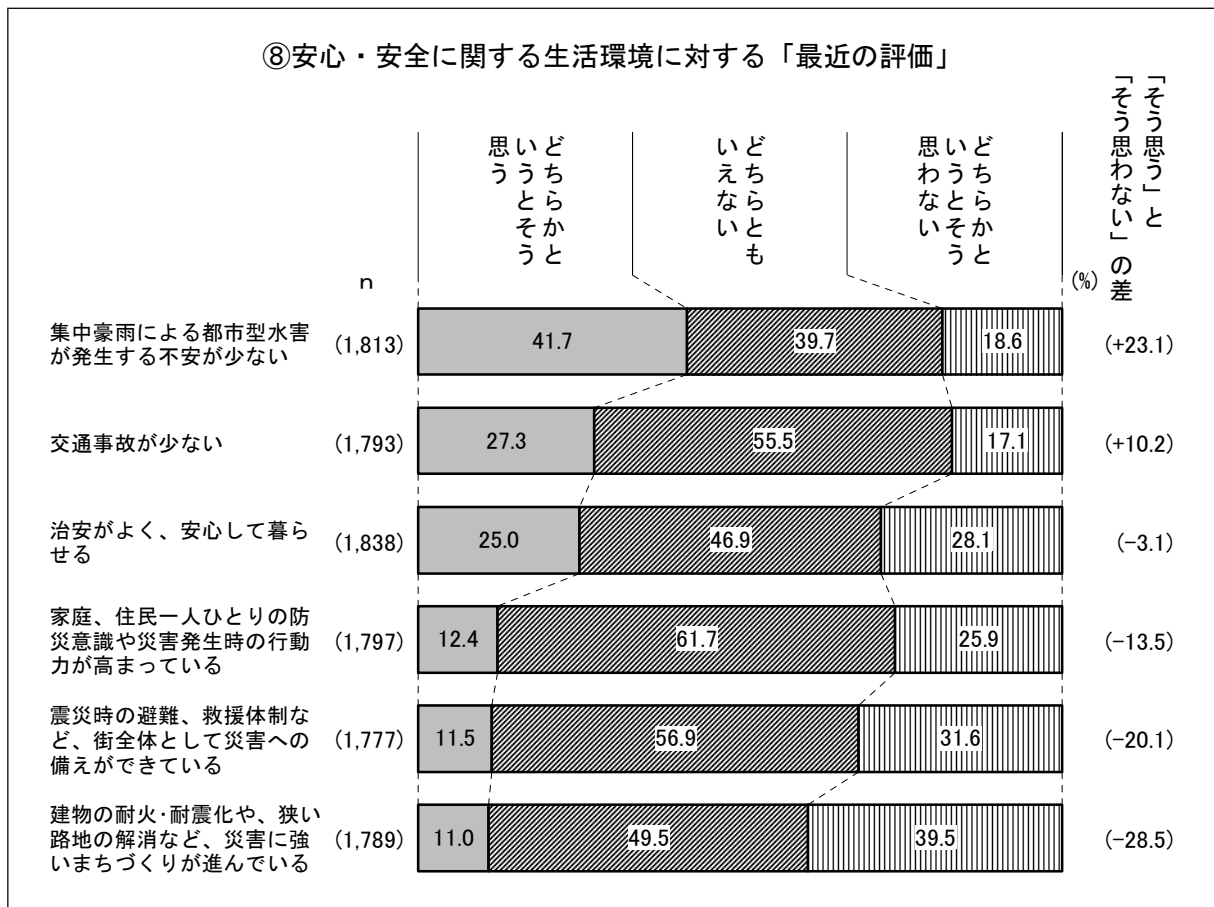


※生活環境に関する各項目において、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値の高い項目順に並べ替えた。  
 ※各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。



## ⑧ 安心・安全

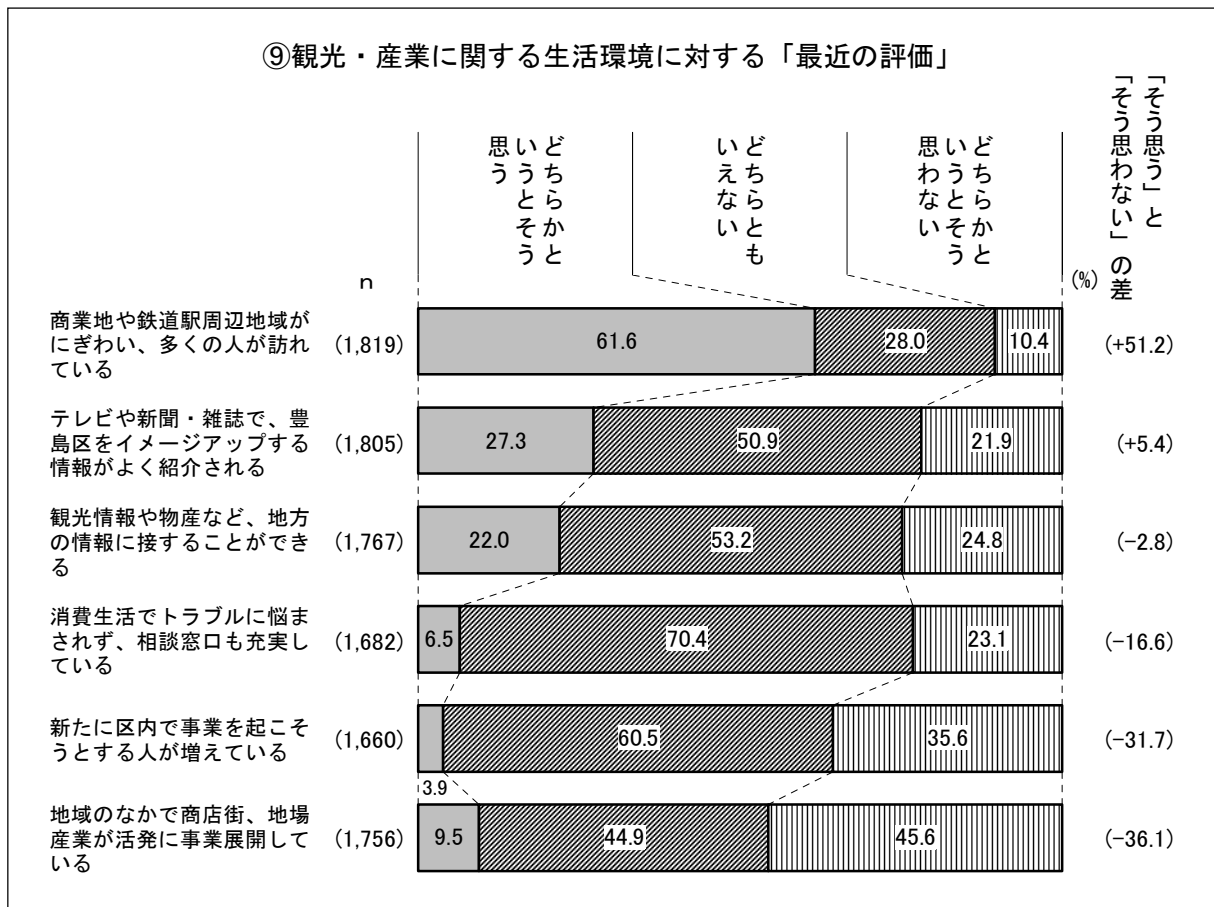
- 安心・安全に関する生活環境について、下記の6つの項目を設定して、最近の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない」であり、以下、「交通事故が少ない」、「治安がよく、安心して暮らせる」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「建物の耐火・耐震化や、狭い路地の解消など、災害に強いまちづくりが進んでいる」である。



※生活環境に関する各項目において、「どちらかという思う」から「どちらかという思わない」を引いた数値の高い項目順に並べ替えた。  
 ※各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

## ⑨ 観光・産業

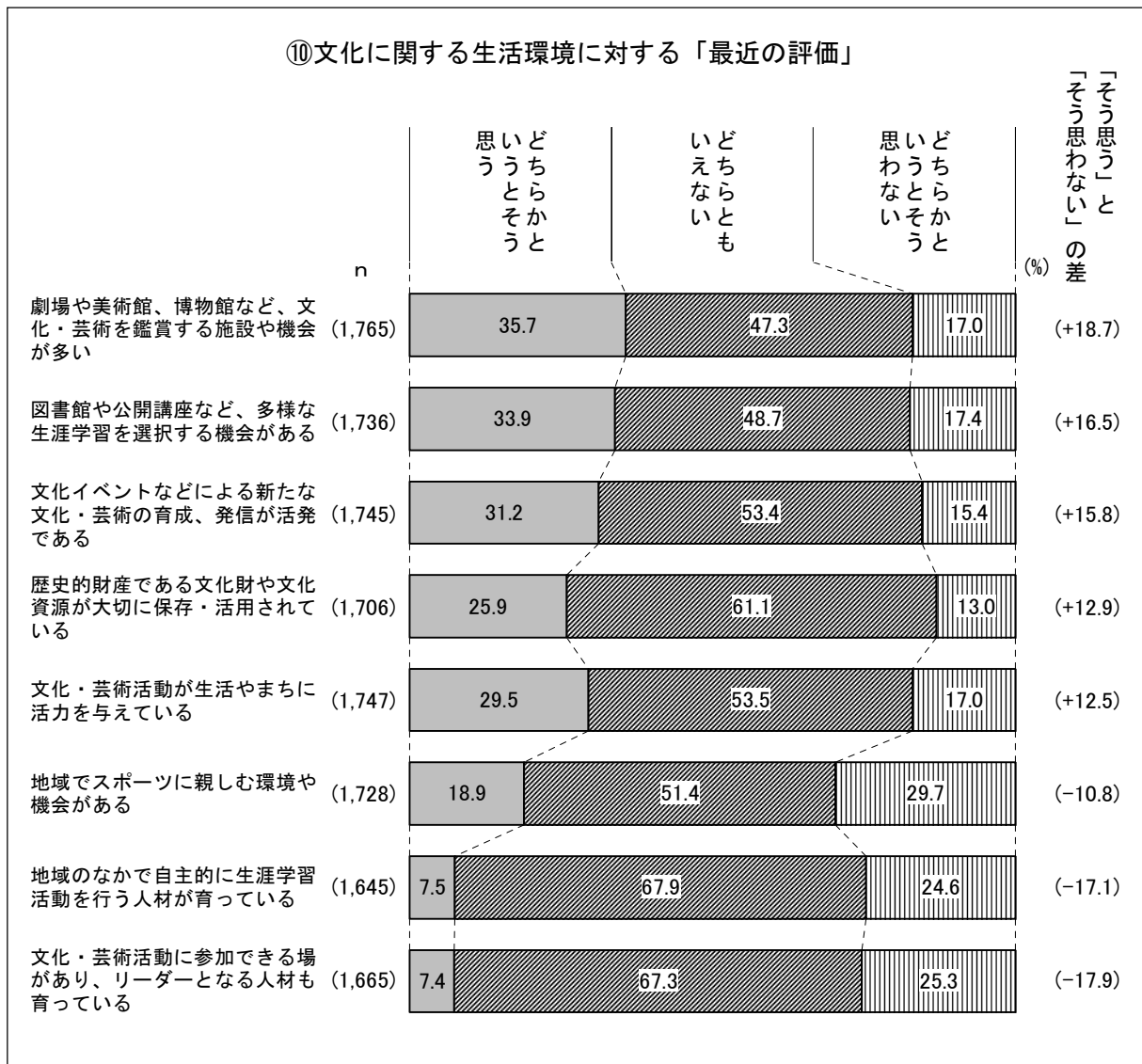
- 観光・産業に関する生活環境について、下記の6つの項目を設定して、最近の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「商業地や鉄道駅周辺地域がにぎわい、多くの人を訪れている」であり、以下、「テレビや新聞・雑誌で、豊島区をイメージアップする情報がよく紹介される」、「観光情報や物産など、地方の情報に接することができる」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している」である。



※生活環境に関する各項目において、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値の高い項目順に並べ替えた。  
 ※各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

## ⑩ 文化

- 文化に関する生活環境について、下記の8つの項目を設定して、最近の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「劇場や美術館、博物館など、文化・芸術を鑑賞する施設や機会が多い」であり、以下、「図書館や公開講座など、多様な生涯学習を選択する機会がある」、「文化イベントなどによる新たな文化・芸術の育成、発信が活発である」などとなっている。
- 一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「文化・芸術活動に参加できる場があり、リーダーとなる人材も育っている」である。



※生活環境に関する各項目において、「どちらかという思う」から「どちらかという思わない」を引いた数値の高い項目順に並べ替えた。  
 ※各設問に対する割合は、無回答を除く母数で除した割合を算出している。

## ● グループ全体を通してみた「最近の評価」

### ア 「最近の評価（満足度）」が高い項目

生活環境について設定した全69項目のうち、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」の割合を引いた数値が高い（満足度が高い）項目は以下のとおりである。

順位	グループ	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	満足度
第1位	⑦都市再生	鉄道・バス等の交通が便利である	75.2
第2位	⑨観光・産業	商業地や鉄道駅周辺地域がにぎわい、多くの人を訪れている	51.2
第3位	⑥環境	地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている	43.5
第4位	⑦都市再生	駅及び駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている	31.9
第5位	⑧安心・安全	集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない	23.1
第6位	②健康	感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない	21.7
第7位	④教育	学校施設が地域に開放され、活動の場として活用されている	20.7
第8位	⑥環境	ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている	20.3
第9位	⑩文化	劇場や美術館、博物館など、文化・芸術を鑑賞する施設や機会が多い	18.7
第10位	⑩文化	図書館や公開講座など、多様な生涯学習を選択する機会がある	16.5

### イ 「最近の評価（満足度）」が低い項目

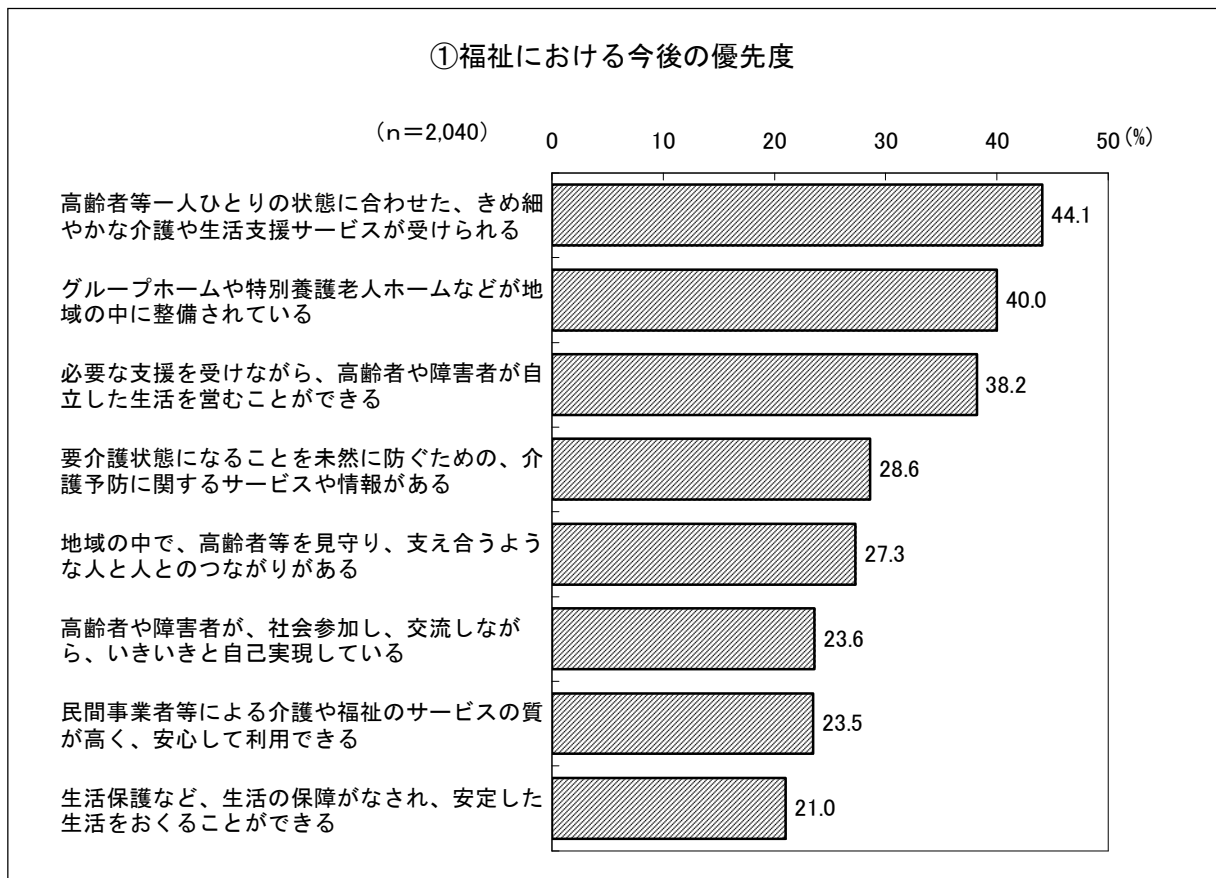
生活環境について設定した全69項目のうち、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」の割合を引いた数値が低い（満足度が低い）項目は以下のとおりである。

順位	グループ	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	満足度
第1位	⑤コミュニティ・協働	地域で外国人との交流がある	-52.8
第2位	⑥環境	ヒートアイランド対策や地球温暖化対策など、環境に配慮した行動が広がっている	-40.4
第3位	⑨観光・産業	地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している	-36.1
第4位	⑨観光・産業	新たに区内で事業を起こそうとする人が増えている	-31.7
第5位	⑧安心・安全	建物の耐火・耐震化や、狭い路地の解消など、災害に強いまちづくりが進んでいる	-28.5
第6位	⑦都市再生	公営住宅など、住宅に困窮する世帯が、地域に住みつづけるためのセーフティネットが確保されている	-28.0
第7位	⑦都市再生	単身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている	-25.2
第8位	④教育	家庭が主体となり、子どもに社会道徳やモラルを身に付けさせている	-24.3
第9位	⑥環境	運動ができ、災害時にも有効な比較的規模の大きな公園がある	-23.0
第10位	⑤コミュニティ・協働	地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している	-22.1

## 2 目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」〔問4〕

### ① 福祉

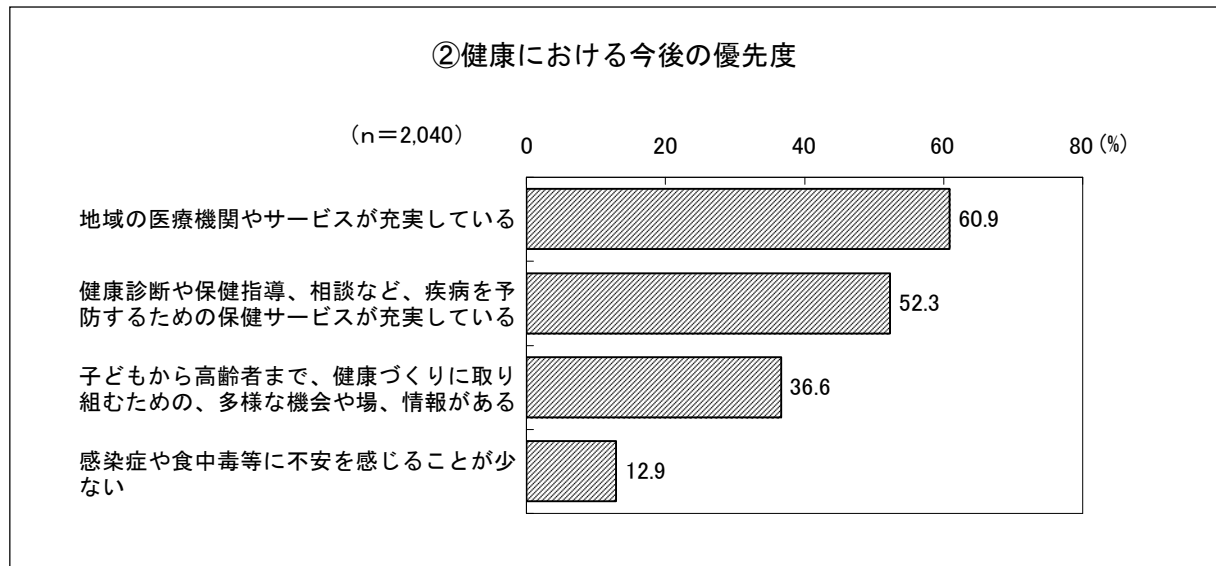
- 福祉に関する生活環境について、下記の8つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「高齢者や一人ひとりの状態に合わせた、きめ細やかな介護や生活支援サービスが受けられる」(44.1%)が4割台半ばと最も高く、以下、「グループホームや特別養護老人ホームなどが地域の中に整備されている」、「必要な支援を受けながら、高齢者や障害者が自立した生活を営むことができる」などとなっている。



※3つ選択

## ② 健康

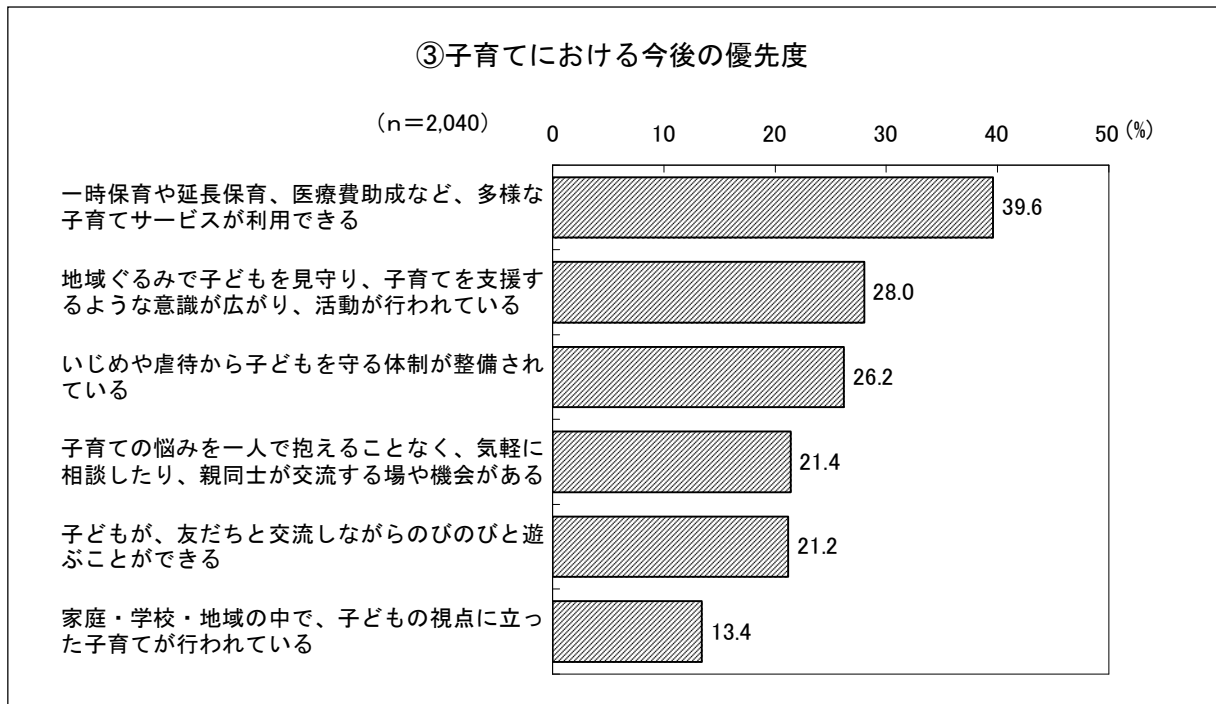
- 健康に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「地域の医療機関やサービスが充実している」(60.9%)が6割と最も高く、以下、「健康診断や保健指導、相談など、疾病を予防するための保健サービスが充実している」(52.3%)、「子どもから高齢者まで、健康づくりに取り組むための、多様な機会や場、情報がある」(36.6%)などとなっている。



※2つ選択

### ③ 子育て

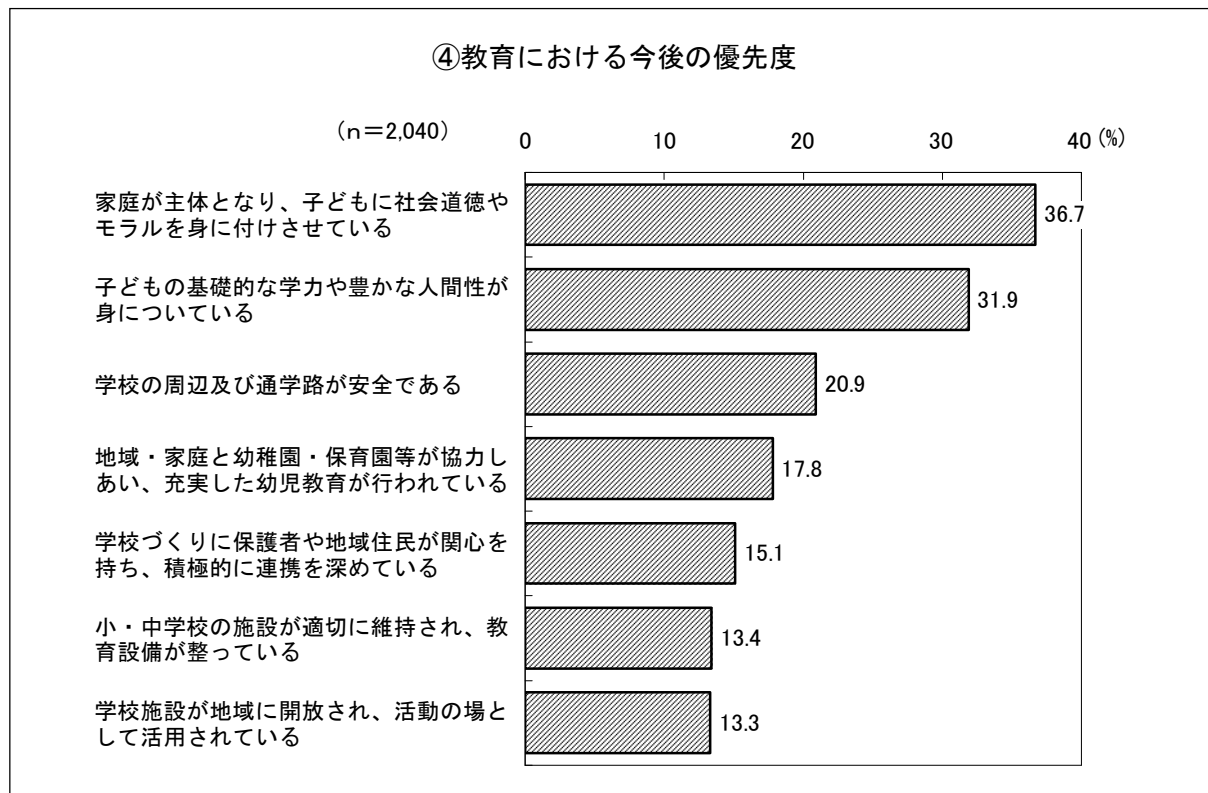
- 子育てに関する生活環境について、下記の6つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「一時保育や延長保育、医療費助成など、多様な子育てサービスが利用できる」(39.6%)が約4割と最も高く、以下、「地域ぐるみで子どもを見守り、子育てを支援するような意識が広がり、活動が行われている」(28.0%)、「いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている」(26.2%)などとなっている。



※ 2つ選択

#### ④ 教育

- 教育に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「家庭が主体となり、子どもに社会道徳やモラルを身に付けさせている」(36.7%)が3割台半ばと最も高く、以下、「子どもの基礎的な学力や豊かな人間性が身についている」(31.9%)、「学校の周辺及び通学路が安全である」(20.9%)などとなっている。

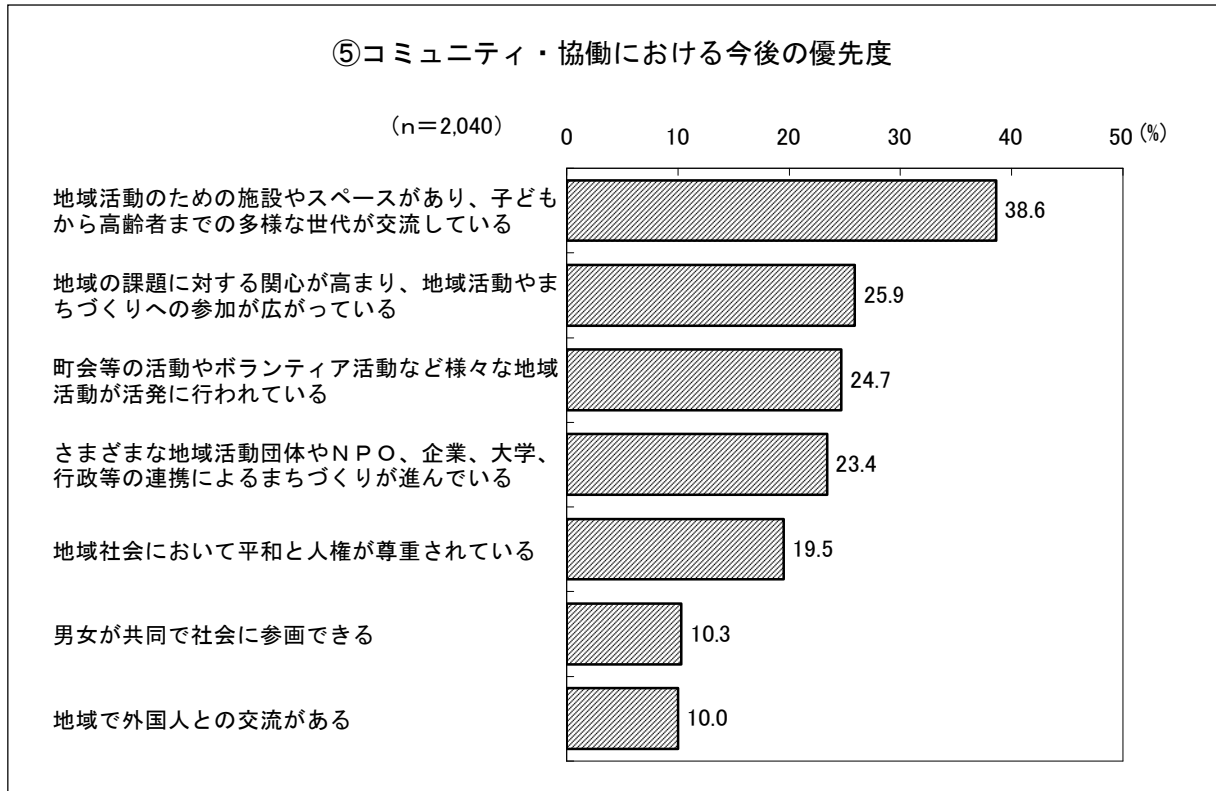


※2つ選択



## ⑤ コミュニティ・協働

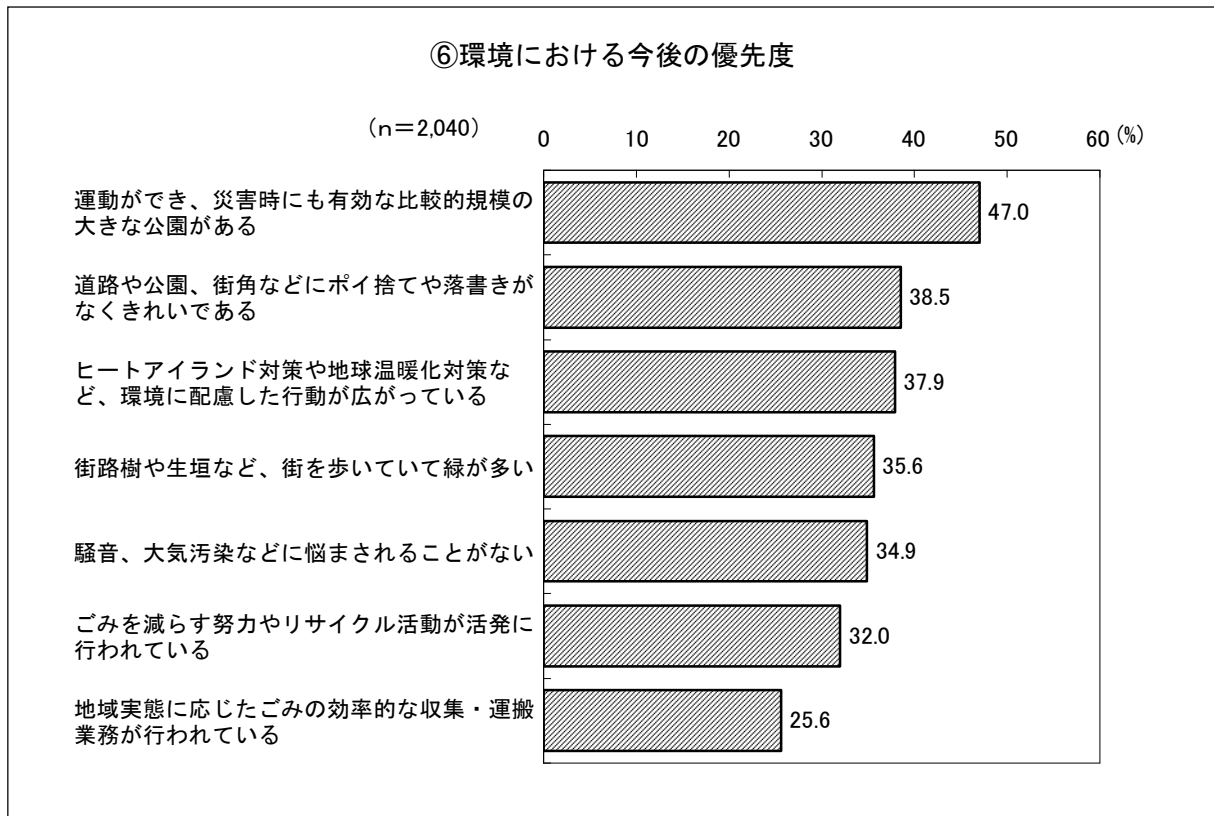
- コミュニティ・協働に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」(38.6%)が約4割と最も高く、以下、「地域の課題に対する関心が高まり、地域活動やまちづくりへの参加が広がっている」(25.9%)、「町会等の活動やボランティア活動など様々な地域活動が活発に行われている」(24.7%)などとなっている。



※2つ選択

## ⑥ 環境

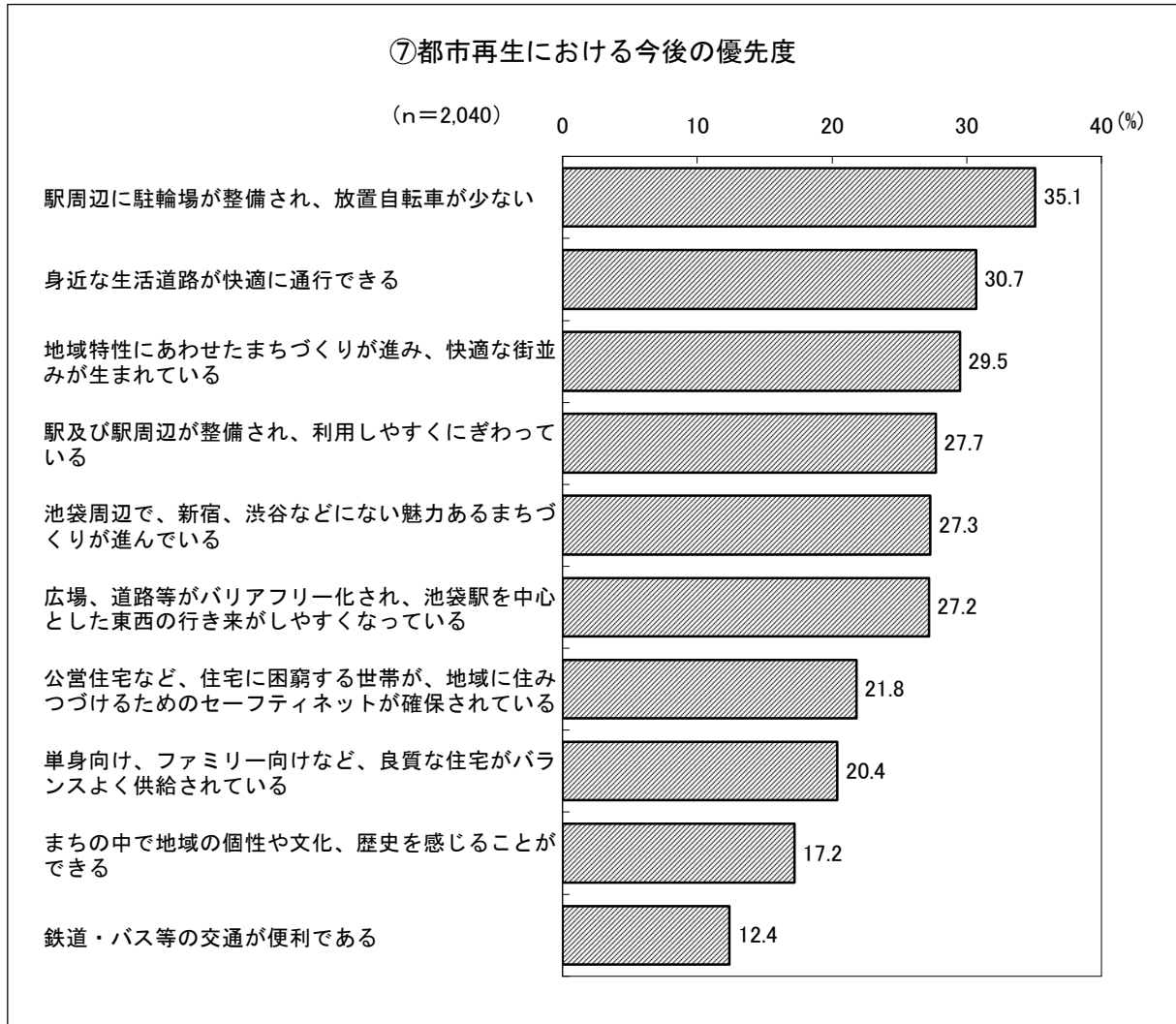
- 環境に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「運動ができ、災害時にも有効な比較的規模の大きな公園がある」(47.0%) が最も高く、以下、「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである」(38.5%)、「ヒートアイランド対策や地球温暖化対策など、環境に配慮した行動が広がっている」(37.9%) などとなっている。



※ 3つ選択

## ⑦ 都市再生

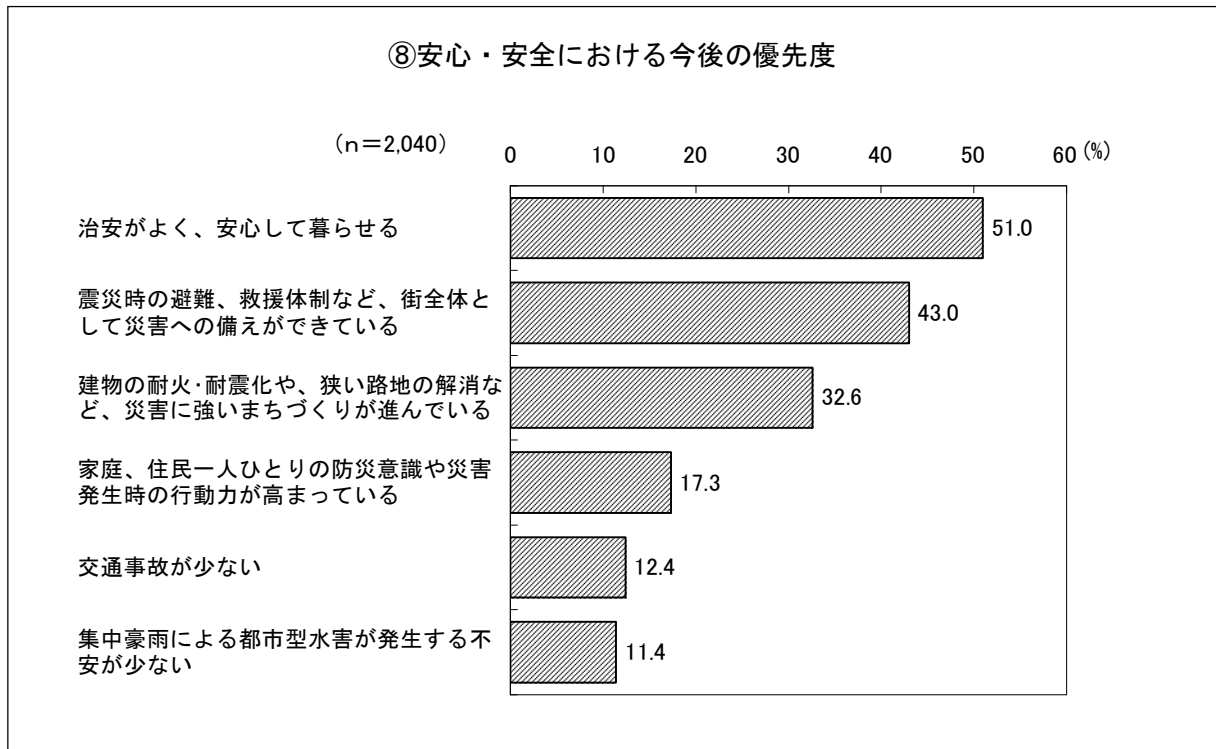
- 都市再生に関する生活環境について、下記の10の項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「駅周辺に駐輪場が整備され、放置自転車が少ない」(35.1%)が3割台半ばと最も高く、以下、「身近な生活道路が快適に通行できる」(30.7%)、「地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」(29.5%)などとなっている。



※3つ選択

## ⑧ 安心・安全

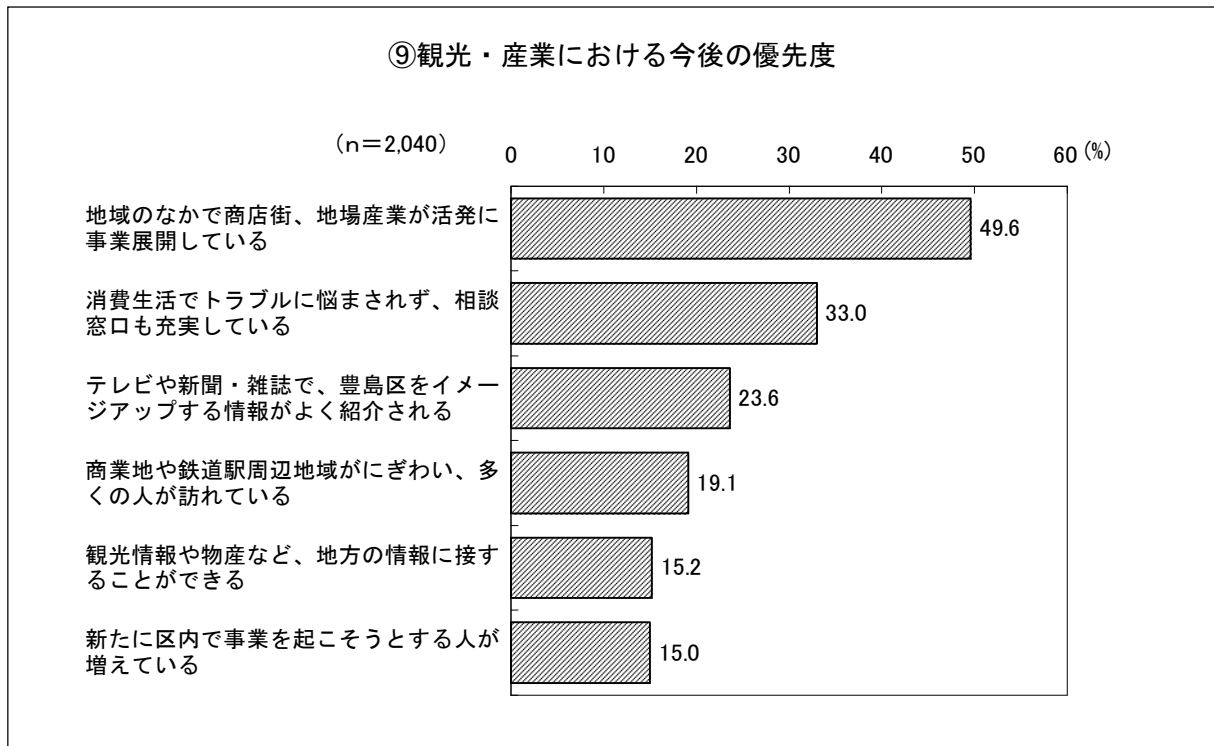
- 安心・安全に関する生活環境について、下記の6つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「治安がよく、安心して暮らせる」(51.0%)が5割を超えて最も高く、以下、「震災時の避難、救援体制など、街全体として災害への備えができている」(43.0%)、「建物の耐火・耐震化や、狭い路地の解消など、災害に強いまちづくりが進んでいる」(32.6%)などとなっている。



※ 2つ選択

## ⑨ 観光・産業

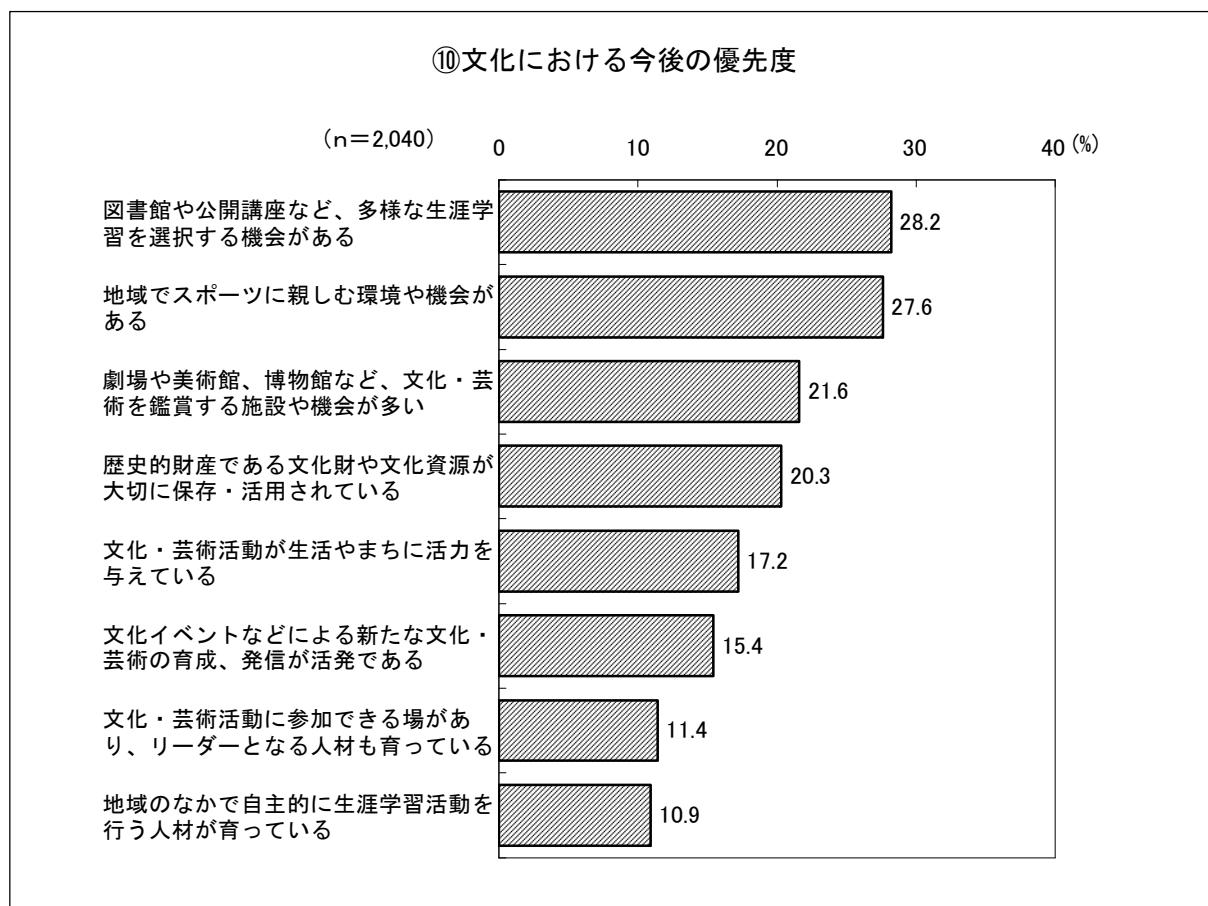
- 観光・産業に関する生活環境について、下記の6つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している」(49.6%)が約5割と最も高く、以下、「消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している」(33.0%)、「テレビや新聞・雑誌で豊島区をイメージアップする情報がよく紹介されている」(23.6%)などとなっている。



※2つ選択

## ⑩ 文化

- 文化に関する生活環境について、下記の8つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「図書館や公開講座など、多様な生涯学習を選択する機会がある」(28.2%)が約3割と最も高く、以下、「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」(27.6%)、「劇場や美術館、博物館など、文化・芸術を鑑賞する施設や機会が多い」(21.6%)などとなっている。

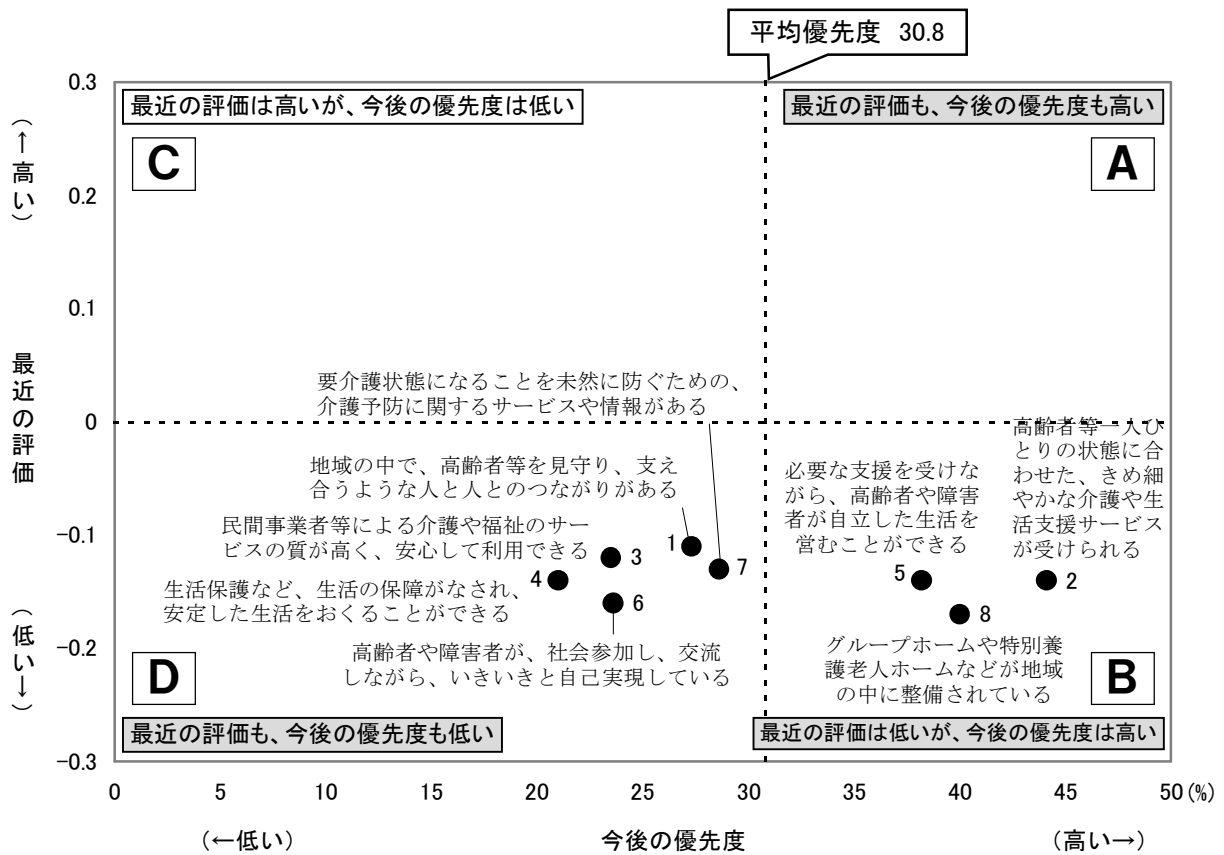


※ 2つ選択



## ① 福祉

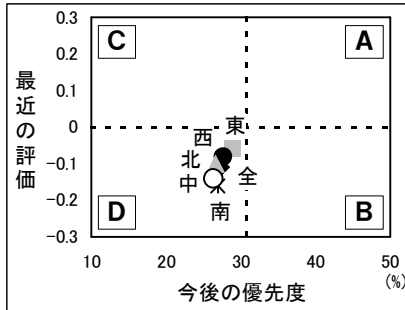
- 福祉に関する生活環境では、8項目のうち3項目が「(B) 最近の評価は低い、今後の優先度は高い」に、また、5項目が「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(A) 最近の評価も、今後の優先度も高い」「(C) 最近の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置する項目はみられない。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 最近の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「高齢者等一人ひとりの状態に合わせた、きめ細やかな介護や生活支援サービスが受けられる」「グループホームや特別養護老人ホームなどが地域の中に整備されている」「必要な支援を受けながら、高齢者や障害者が自立した生活を営むことができる」が位置している。



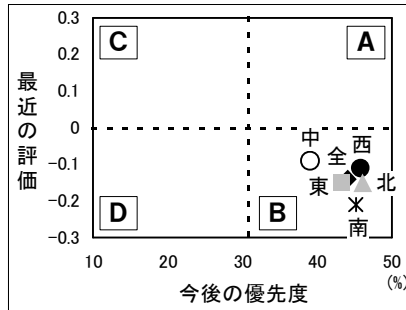


【地域別比較】

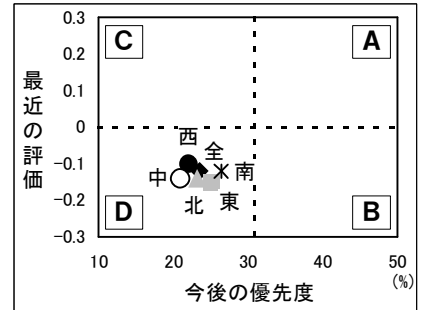
1 地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある



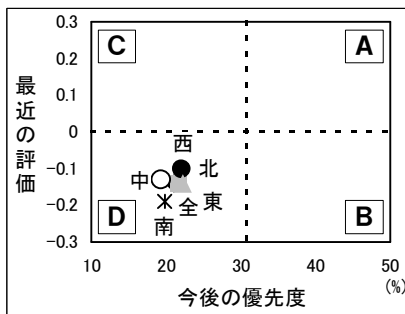
2 高齢者等一人ひとりの状態に合わせた、きめ細やかな介護や生活支援サービスが受けられる



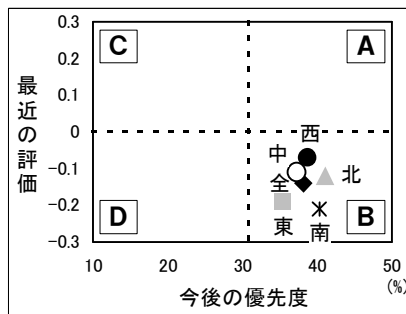
3 民間事業者等による介護や福祉のサービスの質が高く、安心して利用できる



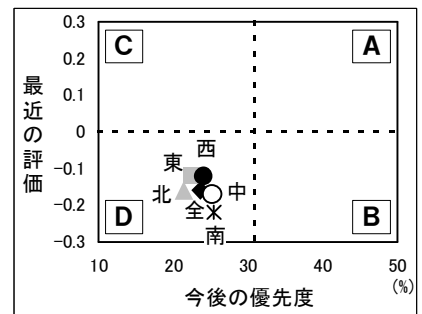
4 生活保護など、生活の保障がなされ、安定した生活をおくることができる



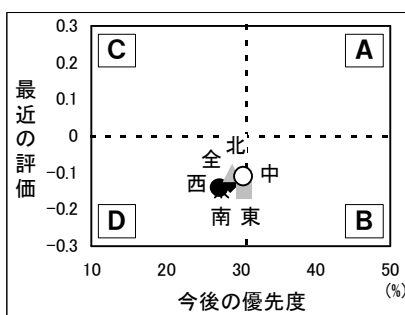
5 必要な支援を受けながら、高齢者や障害者が自立した生活を営むことができる



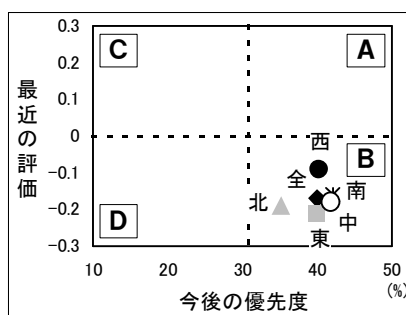
6 高齢者や障害者が、社会参加し、交流しながら、いきいきと自己実現している



7 要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある



8 グループホームや特別養護老人ホームなどが地域の中に整備されている



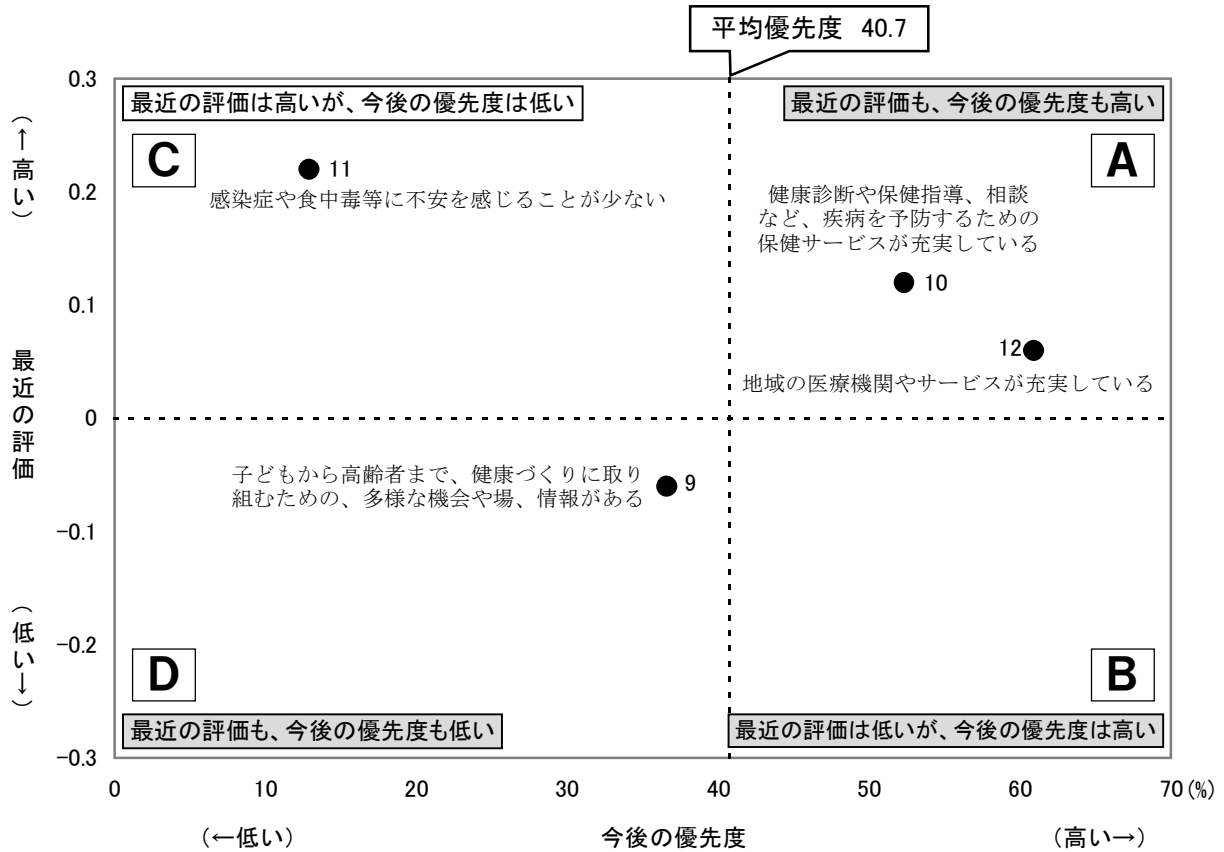
【凡例】

全 (◆) : 区全体      東 (■) : 東部地域      西 (●) : 西部地域      南 (\* ) : 南部地域  
 北 (▲) : 北部地域      中 (○) : 中央地域

※ 地域の具体的区分は3ページの(6)居住地域名を参照

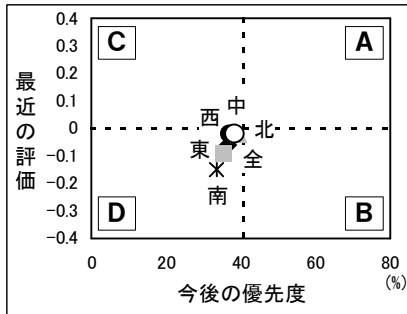
## ② 健康

- 健康に関する生活環境では、4項目のうち2項目が、「(A) 最近の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。1項目が「(C) 最近の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、また、1項目が「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」に位置する項目はみられない。

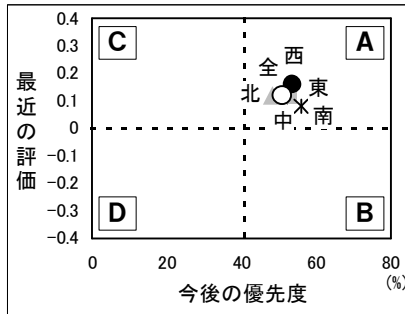


【地域別比較】

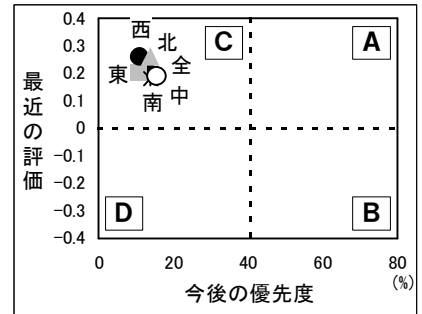
9 子どもから高齢者まで、健康づくりに取り組むための、多様な機会や場、情報がある



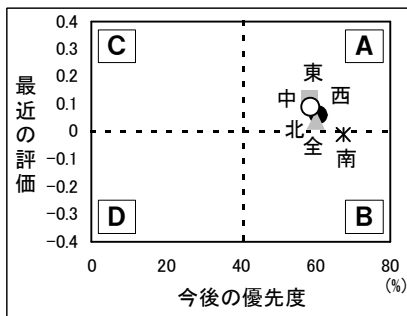
10 健康診断や保健指導、相談など、疾病を予防するための保健サービスが充実している



11 感染症や食中毒等に不安を感じることが少ない



12 地域の医療機関やサービスが充実している



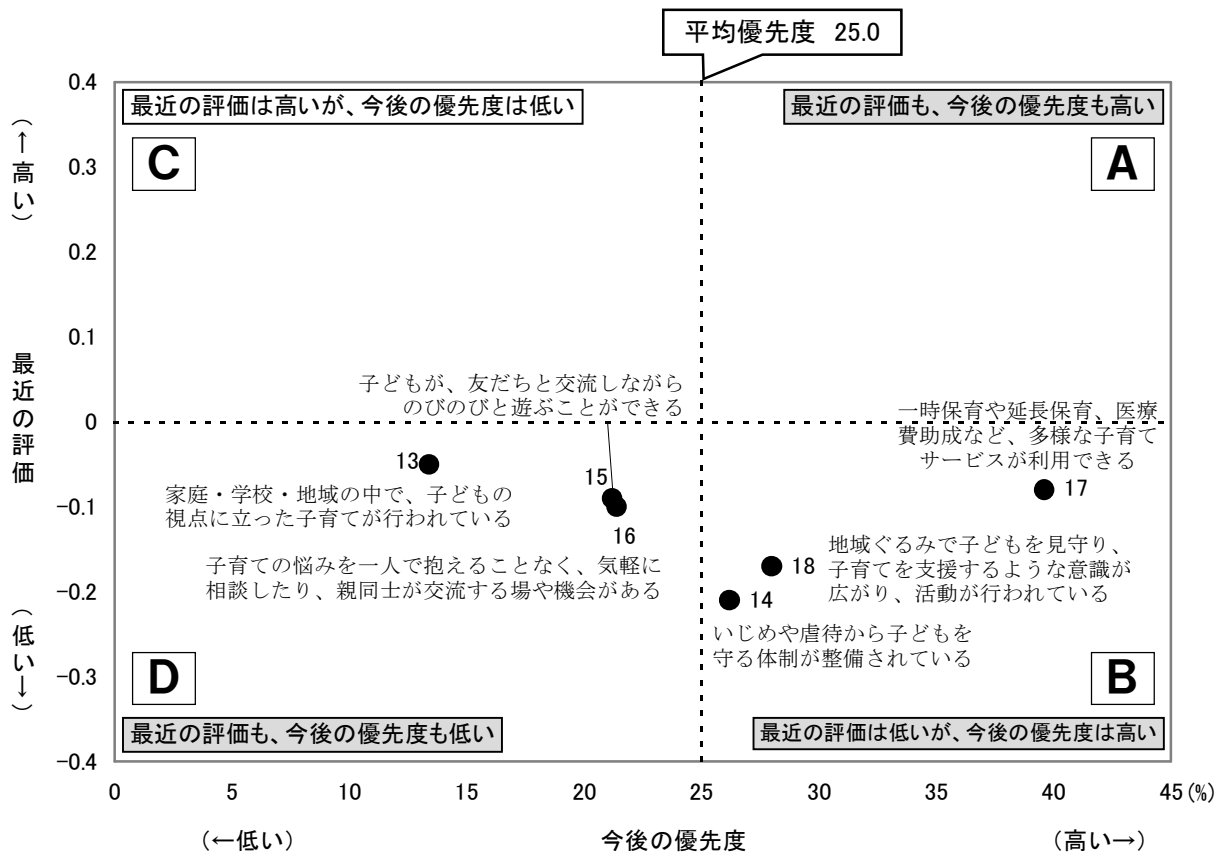
【凡例】

全 (◆) : 区全体      東 (■) : 東部地域      西 (●) : 西部地域      南 (\*) : 南部地域  
 北 (▲) : 北部地域      中 (○) : 中央地域

※ 地域の具体的区分は3ページの(6)居住地域名を参照

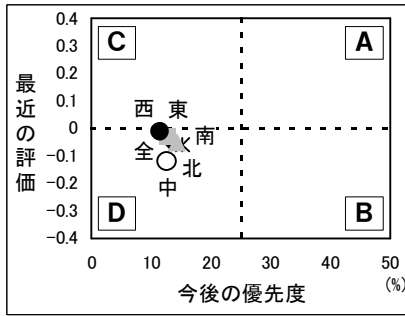
### ③ 子育て

- 子育てに関する生活環境では、6項目のうち3項目が「(B) 最近の評価は低い、今後の優先度は高い」に位置している、また、3項目が「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(A) 最近の評価も、今後の優先度も高い」「(C) 最近の評価は高い、今後の優先度は低い」に位置する項目はみられない。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 最近の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「一時保育や延長保育、医療費助成など、多様な子育てサービスが利用できる」「地域ぐるみで子どもを見守り、子育てを支援するような意識が広がり、活動が行われている」「いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている」が位置している。

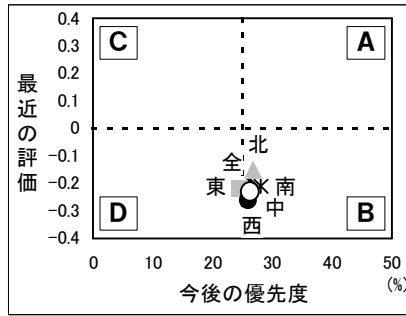


【地域別比較】

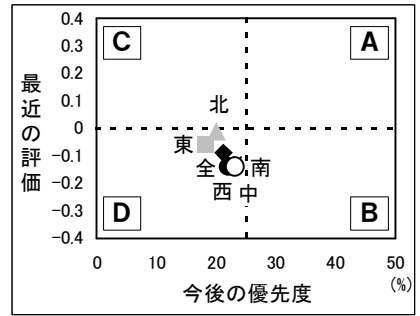
13 家庭・学校・地域の中で、子どもの視点に立った子育てが行われている



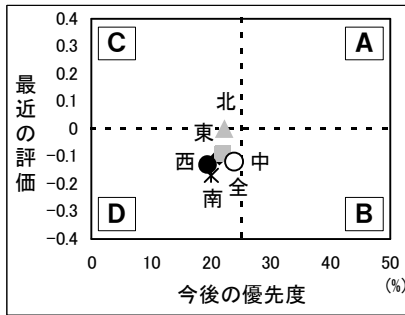
14 いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている



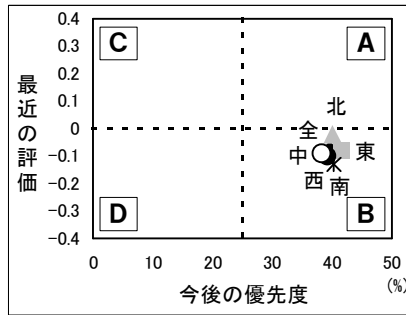
15 子どもが、友だちと交流しながらのびのびと遊ぶことができる



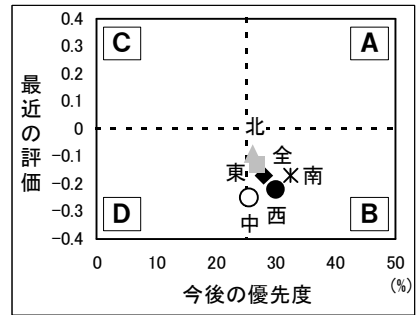
16 子育ての悩みを一人で抱えることなく、気軽に相談したり、親同士が交流する場や機会がある



17 一時保育や延長保育、医療費助成など、多様な子育てサービスが利用できる



18 地域ぐるみで子どもを見守り、子育てを支援するような意識が広がり、活動が行われている



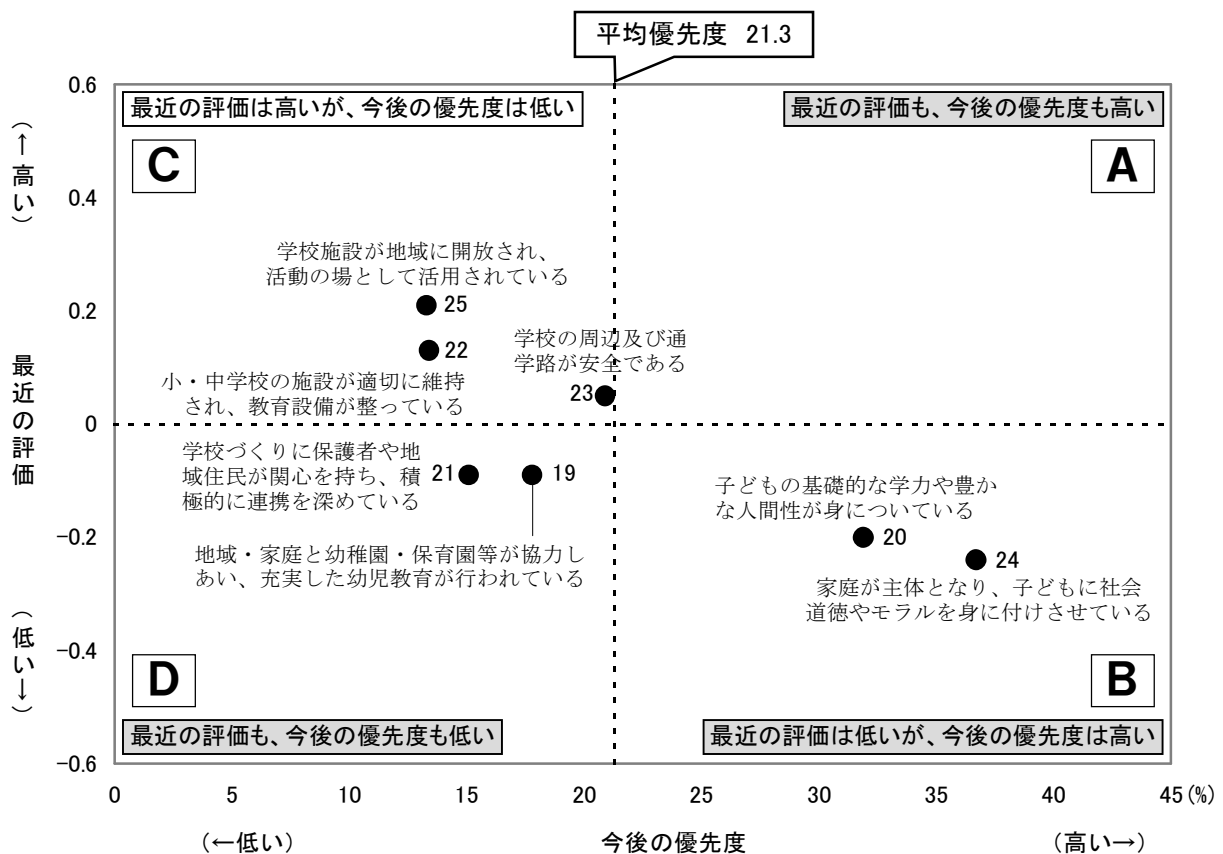
【凡例】

全 (◆) : 区全体      東 (■) : 東部地域      西 (●) : 西部地域      南 (\*): 南部地域  
 北 (▲) : 北部地域      中 (○) : 中央地域

※ 地域の具体的区分は3ページの(6)居住地域名を参照

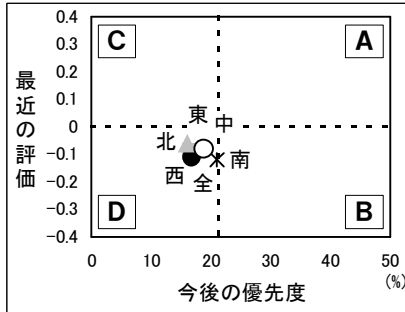
#### ④ 教育

- 教育に関する生活環境では、7項目のうち2項目が、「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」に位置している。3項目が「(C) 最近の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、また、2項目が「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(A) 最近の評価も、今後の優先度も高い」に位置する項目はみられない。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「家庭が主体となり、子どもに社会道徳やモラルを身に付けさせている」「子どもの基礎的な学力や豊かな人間性が身についている」が位置している。

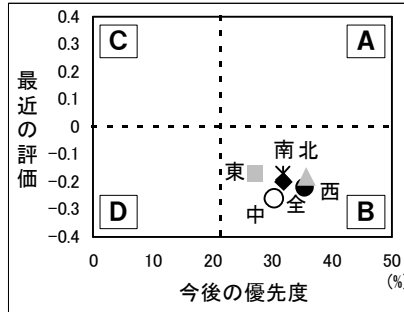


【地域別比較】

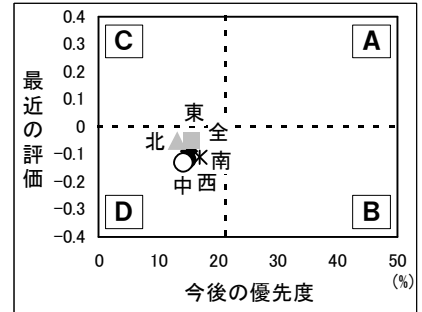
19 地域・家庭と幼稚園・保育園等が協力しあい、充実した幼児教育が行われている



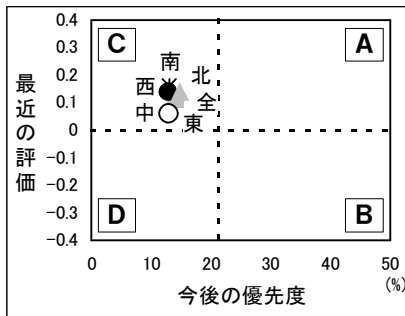
20 子どもの基礎的な学力や豊かな人間性が身についている



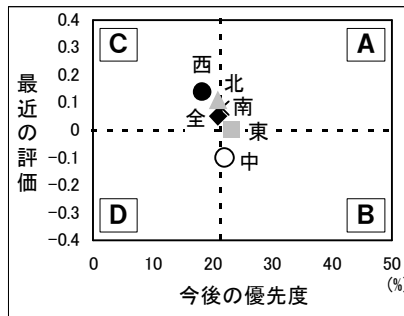
21 学校づくりに保護者や地域住民が関心を持ち、積極的に連携を深めている



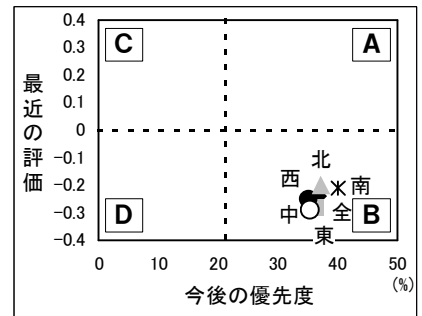
22 小・中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている



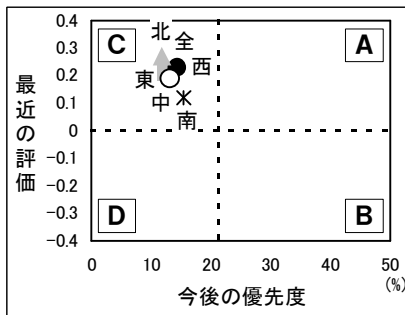
23 学校の周辺及び通学路が安全である



24 家庭が主体となり、子どもに社会道徳やモラルを身に付けさせている



25 学校施設が地域に開放され、活動の場として活用されている



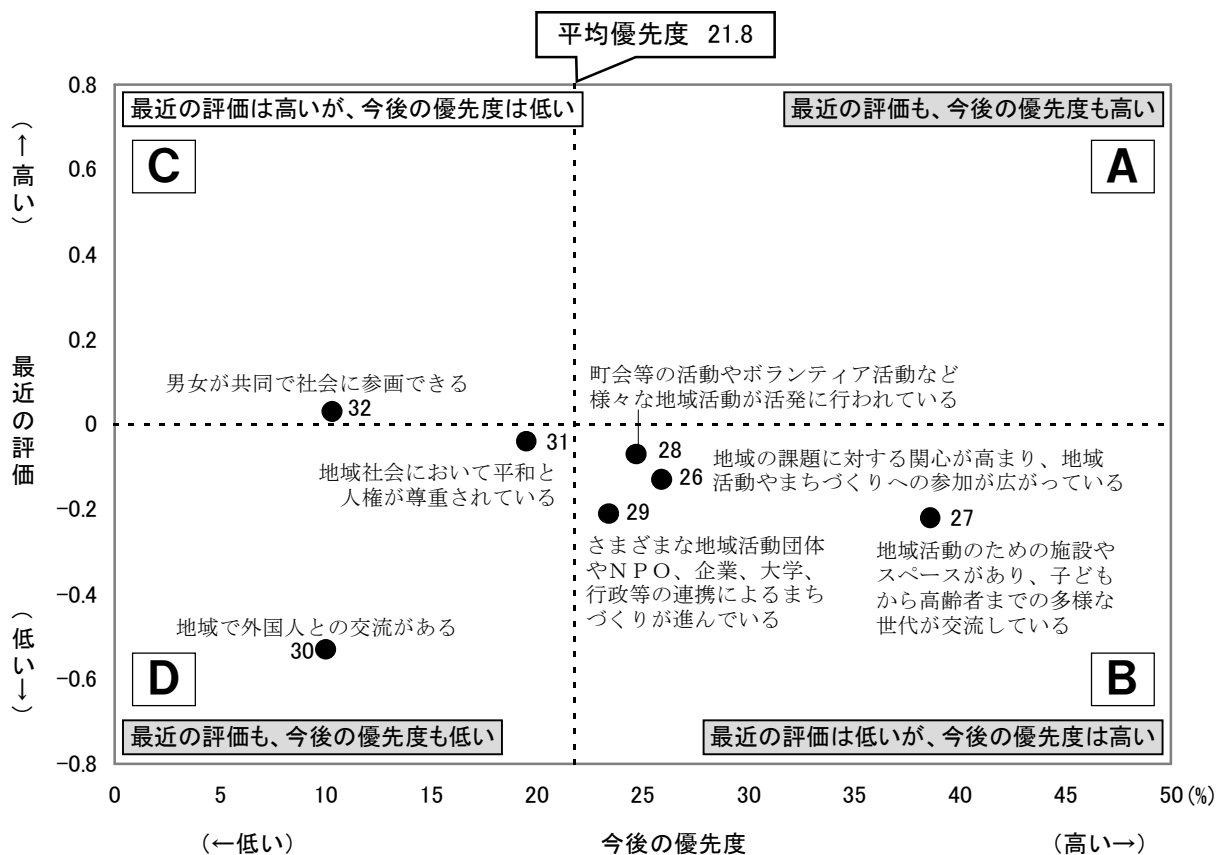
【凡例】

全 (◆) : 区全体      東 (■) : 東部地域      西 (●) : 西部地域      南 (\*): 南部地域  
 北 (▲) : 北部地域      中 (○) : 中央地域

※ 地域の具体的区分は3ページの(6)居住地域名を参照

## ⑤ コミュニティ・協働

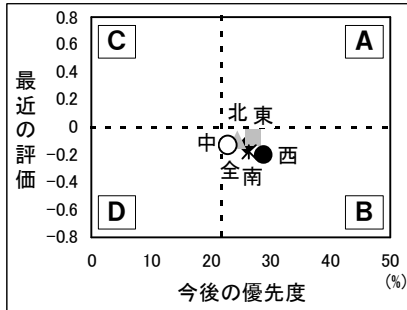
- コミュニティ・協働に関する生活環境では、7項目のうち4項目が、「(B) 最近の評価は低い、今後の優先度は高い」に位置している。1項目が「(C) 最近の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、また、2項目が「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(A) 最近の評価も、今後の優先度も高い」に位置する項目はみられない。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 最近の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」「地域の課題に対する関心が高まり、地域活動やまちづくりへの参加が広がっている」「町会等の活動やボランティア活動など様々な地域活動が活発に行われている」「さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる」が位置している。



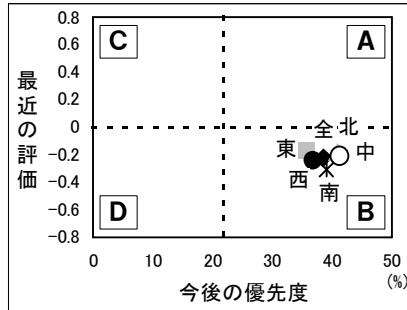


【地域別比較】

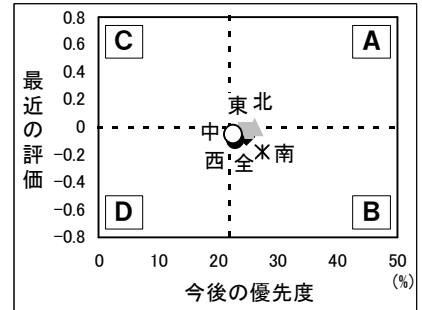
26 地域の課題に対する関心が高まり、地域活動やまちづくりへの参加が広がっている



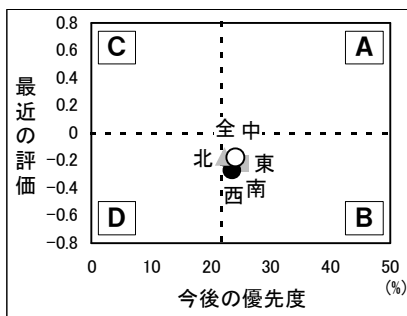
27 地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している



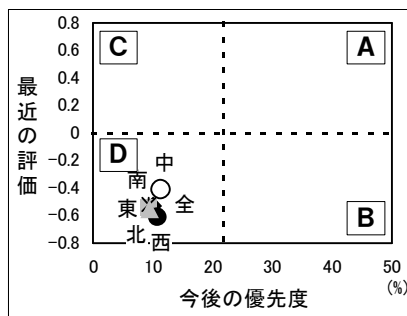
28 町会等の活動やボランティア活動など様々な地域活動が活発に行われている



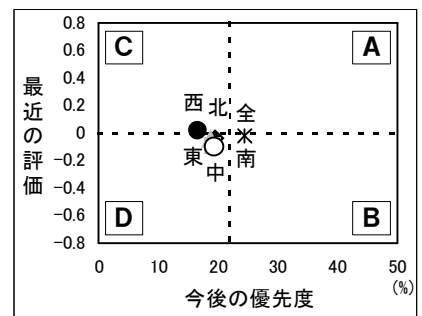
29 さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる



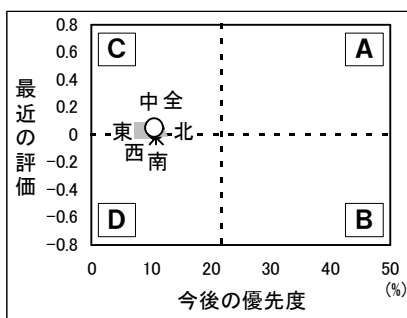
30 地域で外国人との交流がある



31 地域社会において平和と人権が尊重されている



32 男女が共同で社会に参画できる



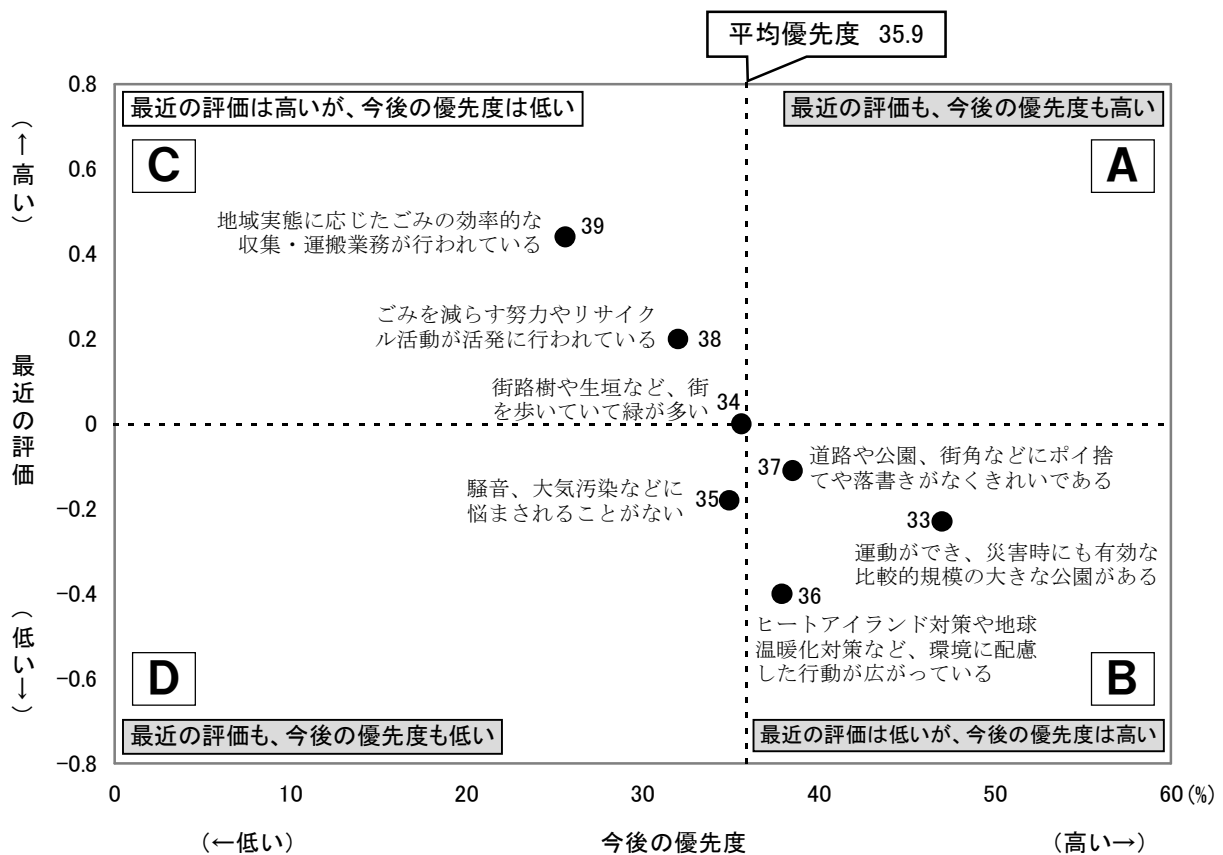
【凡例】

全 (◆) : 区全体      東 (■) : 東部地域      西 (●) : 西部地域      南 (\*): 南部地域  
 北 (▲) : 北部地域      中 (○) : 中央地域

※ 地域の具体的区分は3ページの(6)居住地域名を参照

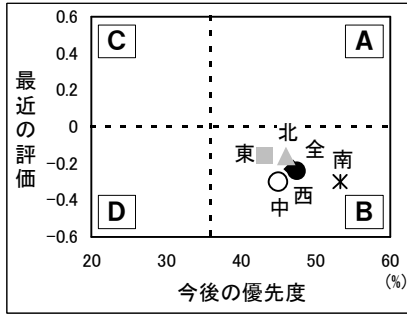
## ⑥ 環境

- 環境に関する生活環境では、7項目のうち3項目が、「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」に位置している。2項目が「(C) 最近の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、また、1項目が「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」に、1項目が(C)と(D)の間に位置している。なお、「(A) 最近の評価も、今後の優先度も高い」に位置する項目はみられない。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「運動ができ、災害時にも有効な比較的規模の大きな公園がある」「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである」「ヒートアイランド対策や地球温暖化対策など、環境に配慮した行動が広がっている」が位置している。

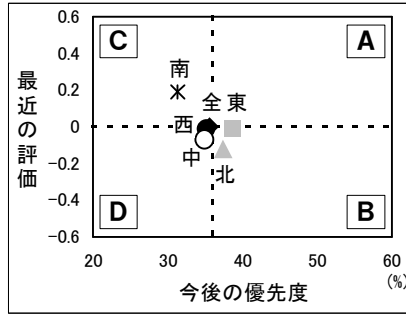


【地域別比較】

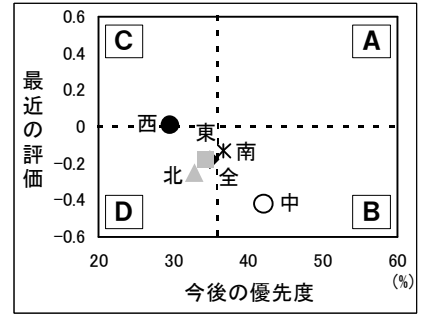
33 運動ができ、災害時にも有効な比較的規模の大きな公園がある



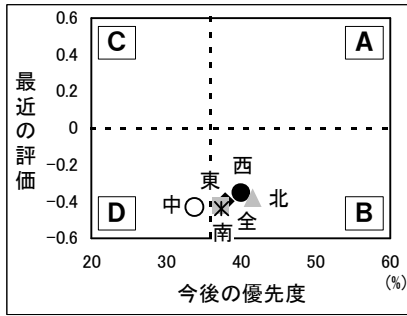
34 街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い



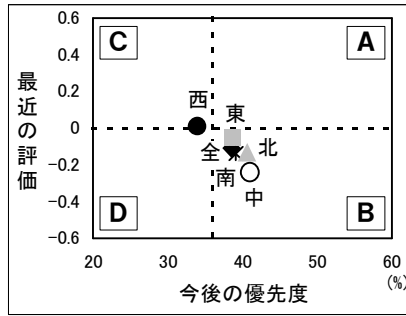
35 騒音、大気汚染などに悩まされることがない



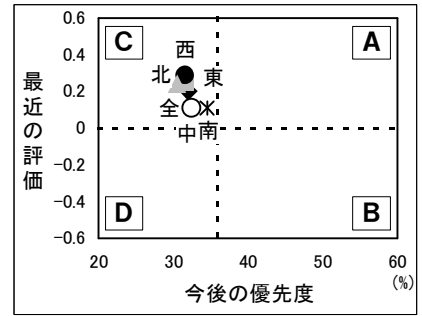
36 ヒートアイランド対策や地球温暖化対策など、環境に配慮した行動が広がっている



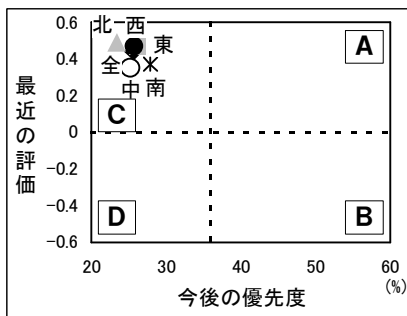
37 道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである



38 ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている



39 地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている



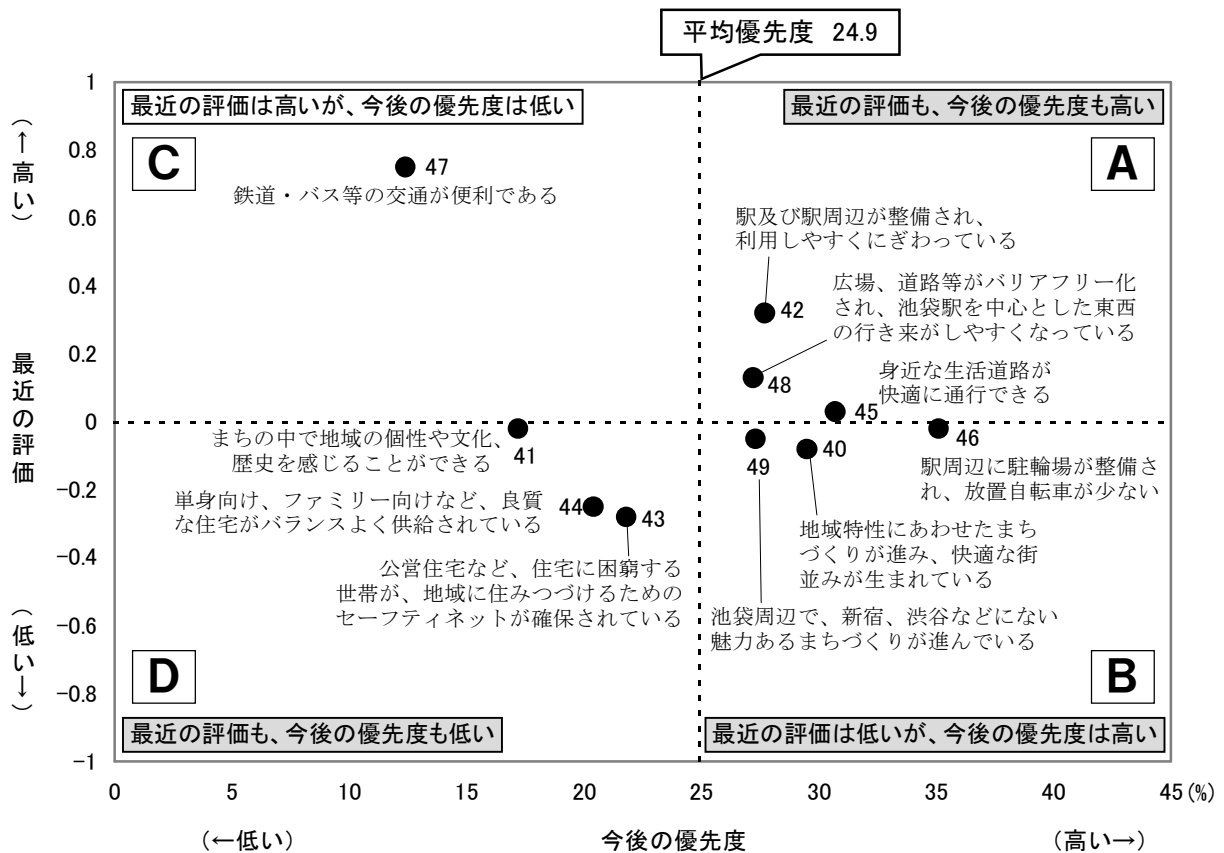
【凡例】

全 (◆) : 区全体      東 (■) : 東部地域      西 (●) : 西部地域      南 (\*): 南部地域  
 北 (▲) : 北部地域      中 (○) : 中央地域

※ 地域の具体的区分は3ページの(6)居住地域名を参照

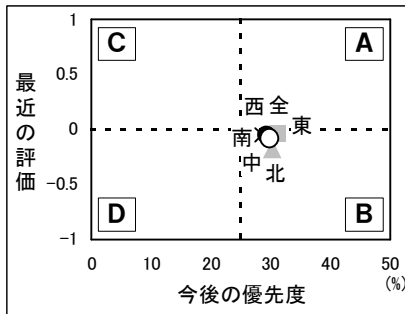
## ⑦ 都市再生

- 都市再生に関する生活環境では、10項目のうち3項目が、「(A) 最近の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。3項目が「(B) 最近の評価は低い、今後の優先度は高い」に、1項目が「(C) 最近の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、また、3項目が「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 最近の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「駅周辺に駐輪場が整備され、放置自転車が少なく」「地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」「池袋周辺で、新宿、渋谷などない魅力あるまちづくりが進んでいる」が位置している。

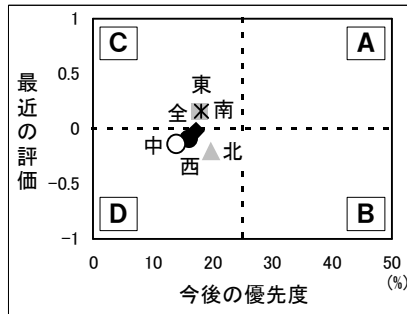


【地域別比較】

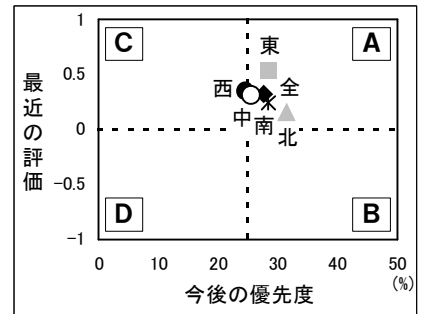
40 地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている



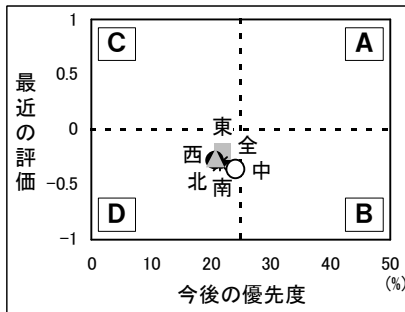
41 まちの中で地域の個性や文化、歴史を感じることができる



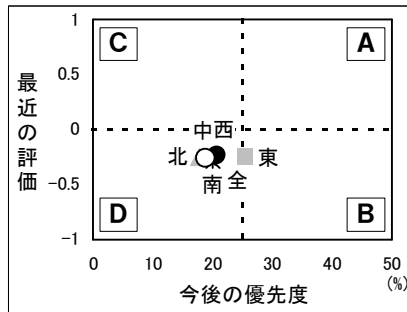
42 駅及び駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている



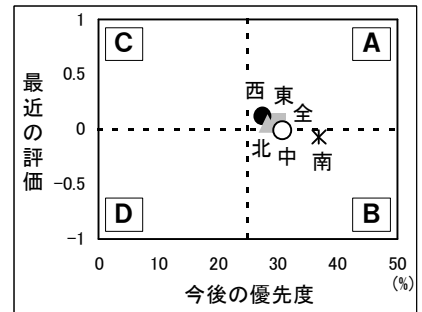
43 公営住宅など、住宅に困窮する世帯が、地域に住みつけるためのセーフティネットが確保されている



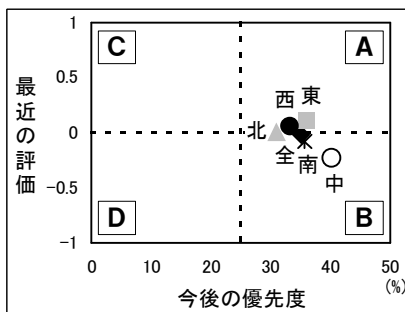
44 単身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている



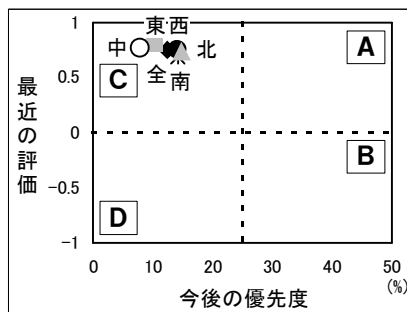
45 身近な生活道路が快適に通行できる



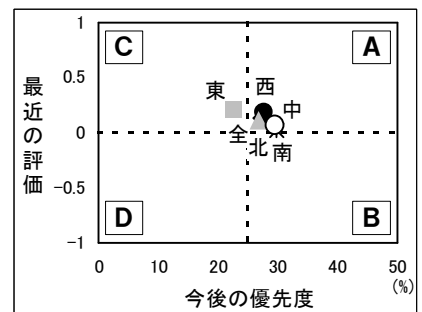
46 駅周辺に駐輪場が整備され、放置自転車が少ない



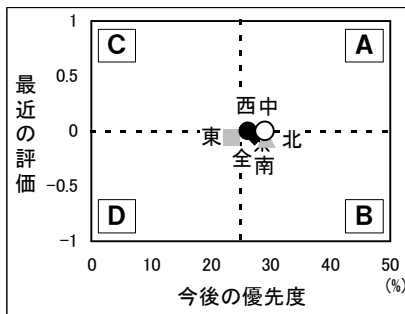
47 鉄道・バス等の交通が便利である



48 広場、道路等がバリアフリー化され、池袋駅を中心とした東西の行き来がしやすくなっている



49 池袋周辺で、新宿、渋谷などにはない魅力あるまちづくりが進んでいる



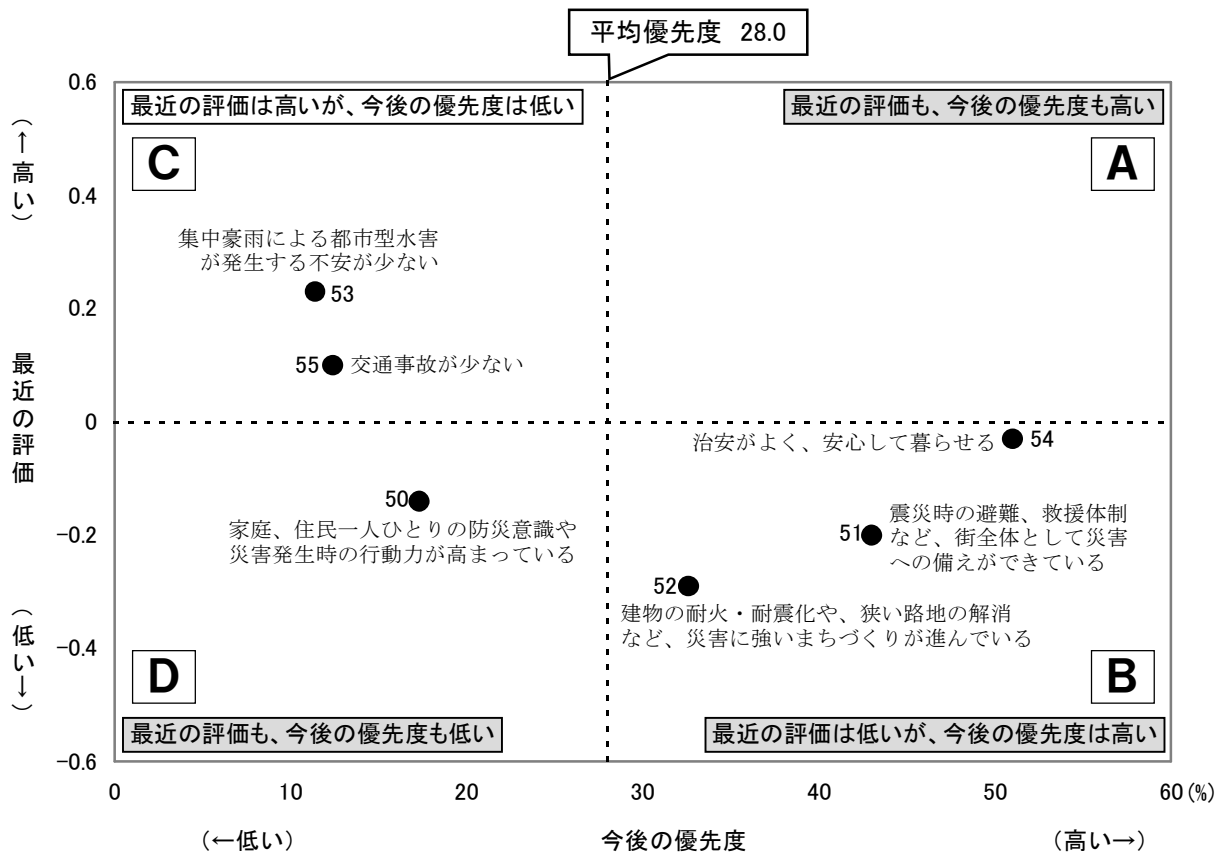
【凡例】

全 (◆) : 区全体      東 (■) : 東部地域      西 (●) : 西部地域      南 (\*): 南部地域  
 北 (▲) : 北部地域      中 (○) : 中央地域

※ 地域の具体的区分は3ページの(6)居住地域名を参照

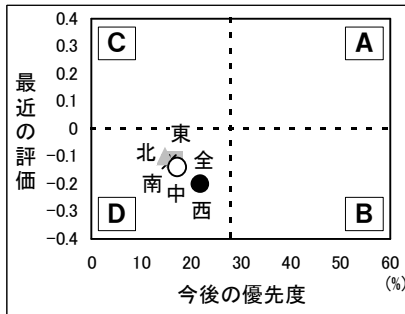
## ⑧ 安心・安全

- 安心・安全に関する生活環境では、6項目のうち3項目が、「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」に位置している。2項目が「(C) 最近の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、また、1項目が「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(A) 最近の評価も、今後の優先度も高い」に位置する項目はみられない。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 最近の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「治安がよく、安心して暮らせる」「震災時の避難、救援体制など、街全体として災害への備えができて」「建物の耐火・耐震化や、狭い路地の解消など、災害に強いまちづくりが進んでいる」が位置している。

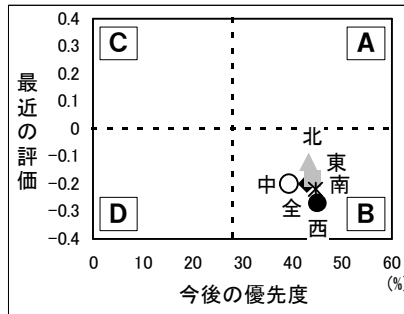


【地域別比較】

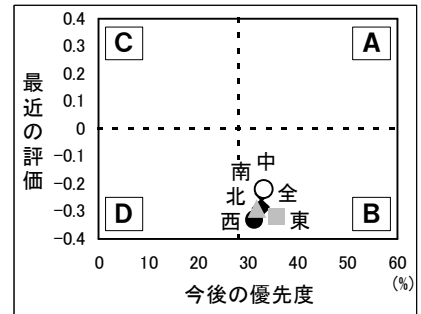
50 家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている



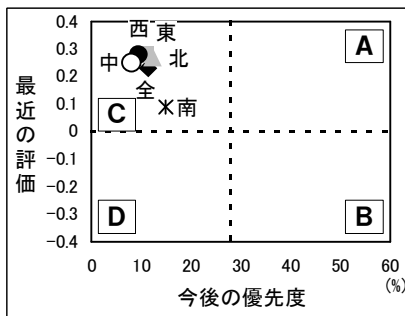
51 震災時の避難、救援体制など、街全体として災害への備えができています



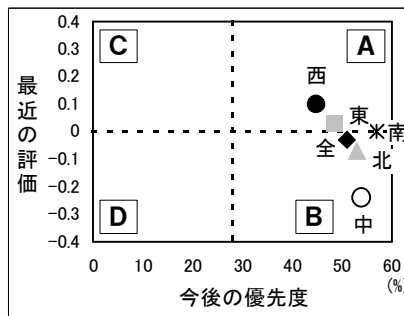
52 建物の耐火・耐震化や、狭い路地の解消など、災害に強いまちづくりが進んでいる



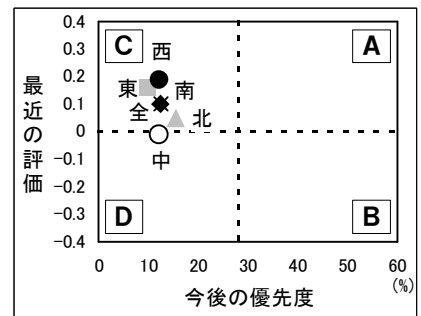
53 集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない



54 治安がよく、安心して暮らせる



55 交通事故が少ない



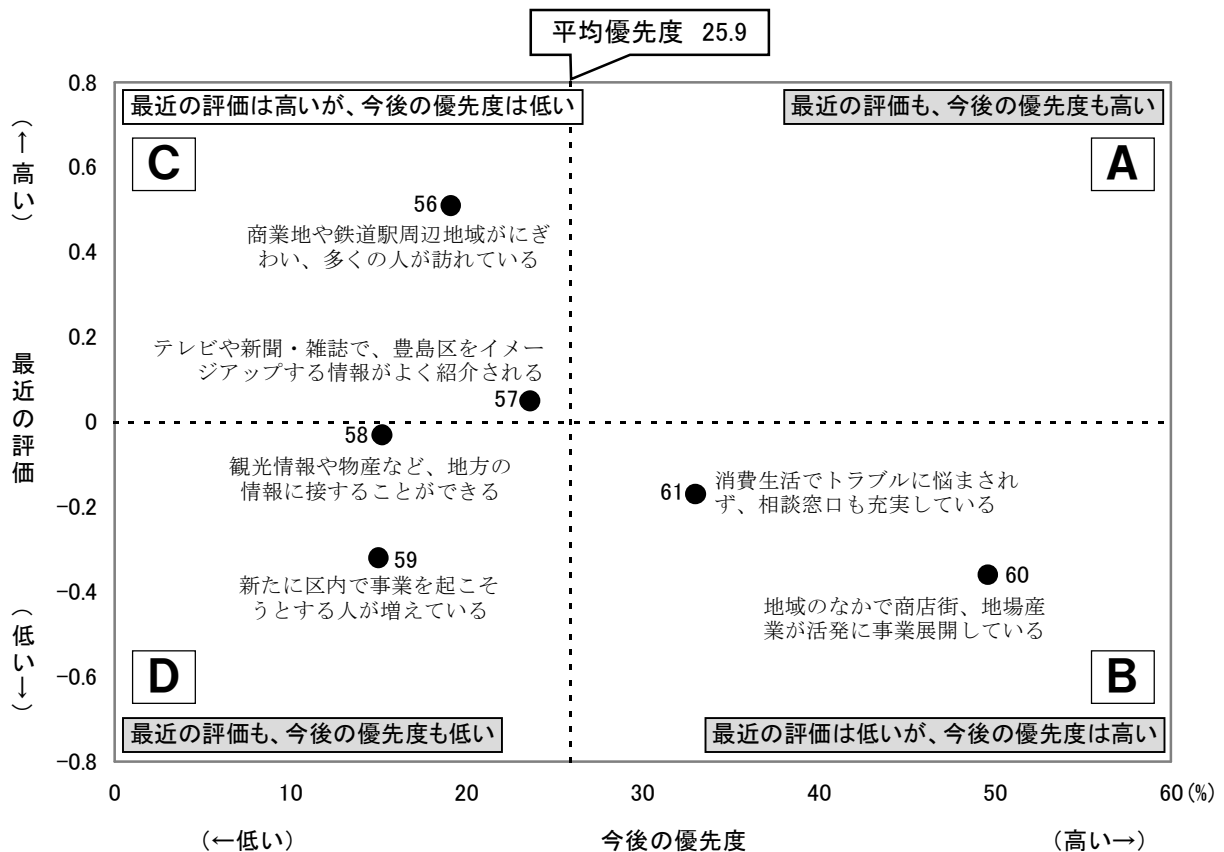
【凡例】

全 (◆) : 区全体      東 (■) : 東部地域      西 (●) : 西部地域      南 (\*): 南部地域  
 北 (▲) : 北部地域      中 (○) : 中央地域

※ 地域の具体的区分は3ページの(6)居住地域名を参照

## ⑨ 観光・産業

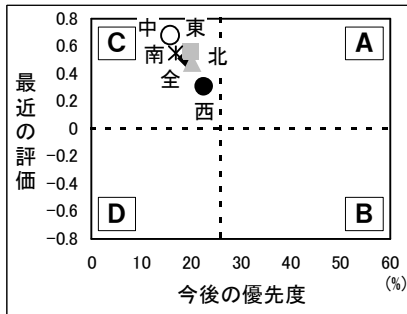
- 観光・産業に関する生活環境では、6項目のうち2項目が、「(B) 最近の評価は低い、今後の優先度は高い」に位置している。2項目が「(C) 最近の評価は高い、今後の優先度は低い」に、また、2項目が「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(A) 最近の評価も、今後の優先度も高い」に位置する項目はみられない。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 最近の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している」「消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している」が位置している。



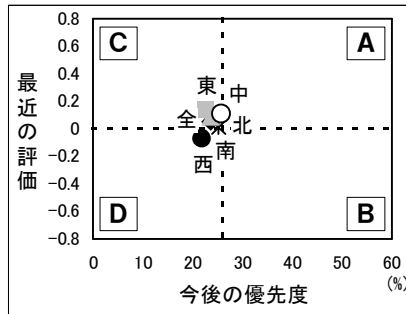


【地域別比較】

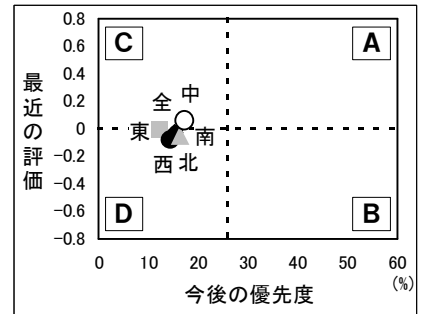
56 商業地や鉄道駅周辺地域がにぎわい、多くの人が訪れている



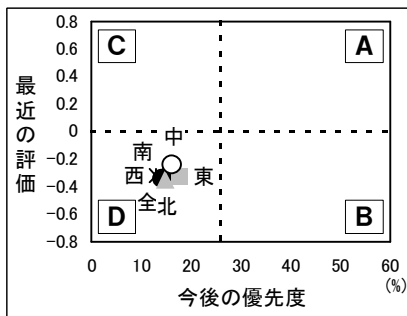
57 テレビや新聞・雑誌で、豊島区をイメージアップする情報がよく紹介される



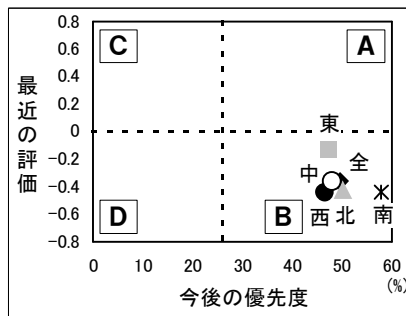
58 観光情報や物産など、地方の情報に接することができる



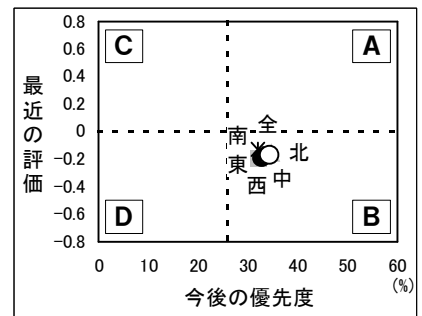
59 新たに区内で事業を起こそうとする人が増えている



60 地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している



61 消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している



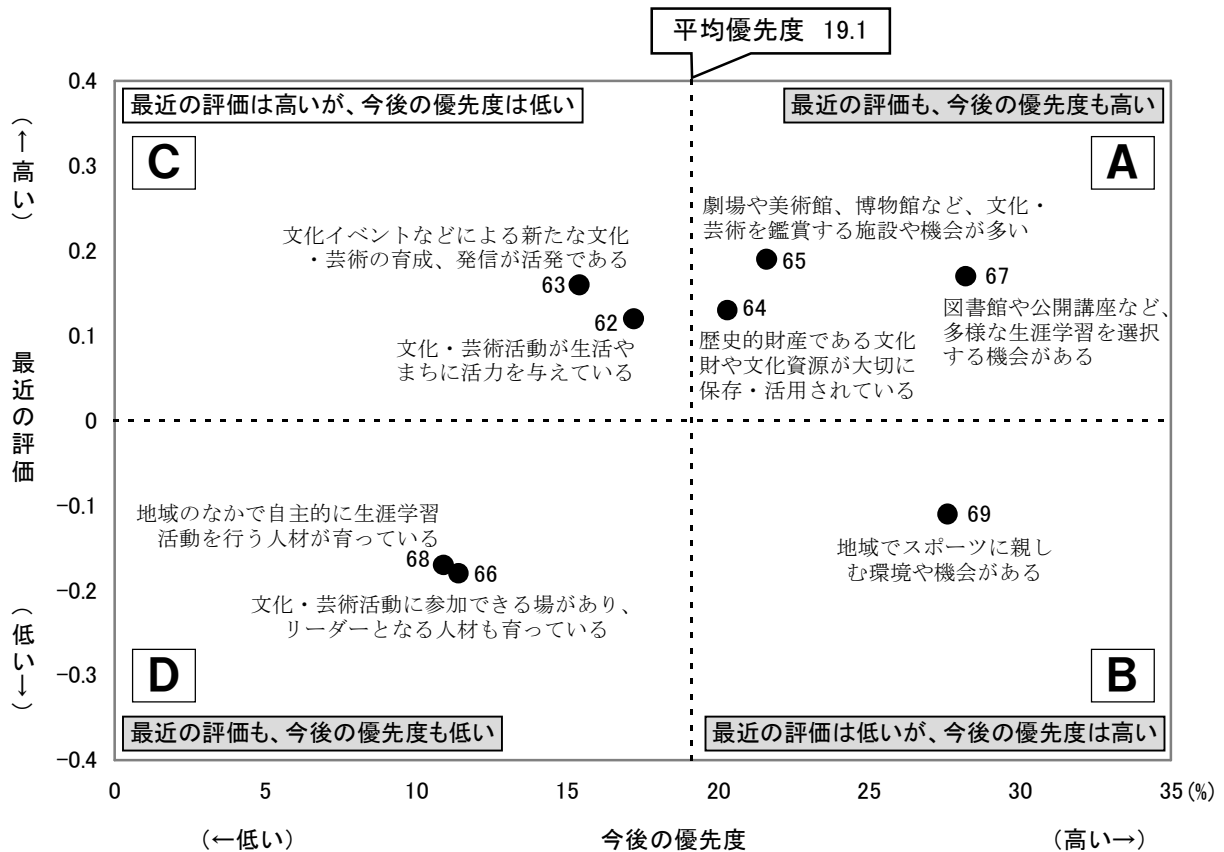
【凡例】

全 (◆) : 区全体      東 (■) : 東部地域      西 (●) : 西部地域      南 (\*): 南部地域  
 北 (▲) : 北部地域      中 (○) : 中央地域

※ 地域の具体的区分は3ページの(6)居住地域名を参照

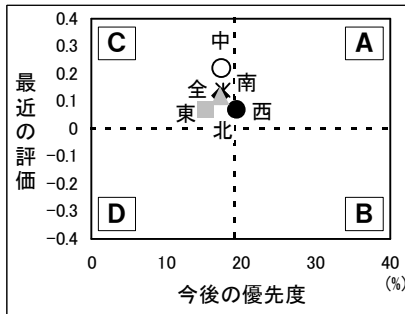
## ⑩ 文化

- 文化に関する生活環境では、8項目のうち3項目が、「(A) 最近の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。1項目が「(B) 最近の評価は低い、今後の優先度は高い」に、2項目が「(C) 最近の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、また、2項目が「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。
- 改善に向けて取り組む必要のある「(B) 最近の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」が位置している。

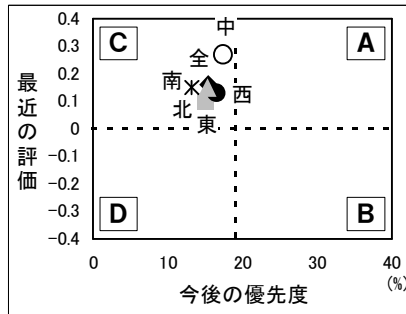


【地域別比較】

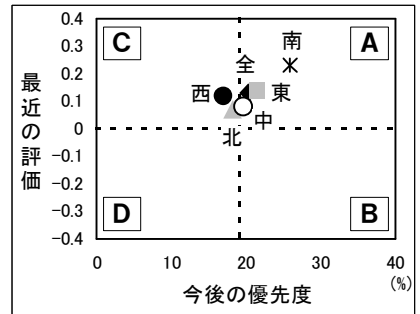
62 文化・芸術活動が生活やまちに活力を与えている



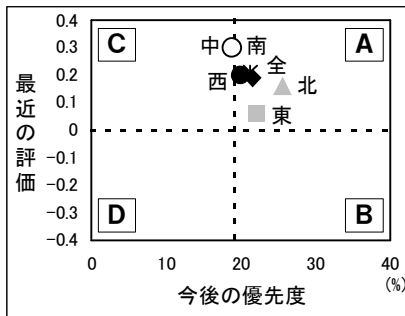
63 文化イベントなどによる新たな文化・芸術の育成、発信が活発である



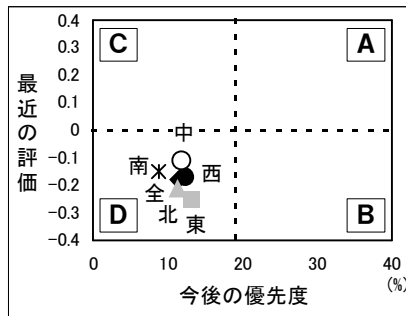
64 歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている



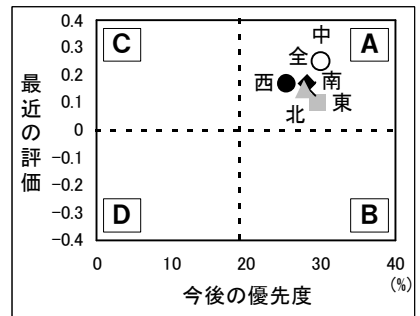
65 劇場や美術館、博物館など、文化・芸術を鑑賞する施設や機会が多い



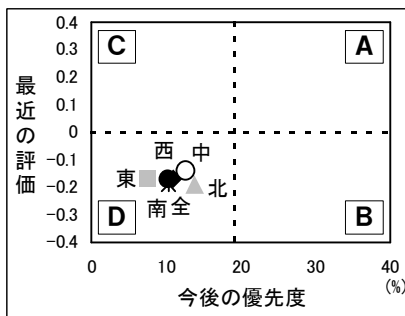
66 文化・芸術活動に参加できる場があり、リーダーとなる人材も育っている



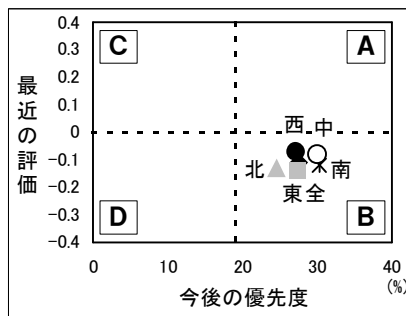
67 図書館や公開講座など、多様な生涯学習を選択する機会がある



68 地域のなかで自主的に生涯学習活動を行う人材が育っている



69 地域でスポーツに親しむ環境や機会がある



【凡例】

全 (◆) : 区全体      東 (■) : 東部地域      西 (●) : 西部地域      南 (\*) : 南部地域  
 北 (▲) : 北部地域      中 (○) : 中央地域

※ 地域の具体的区分は3ページの(6)居住地域名を参照

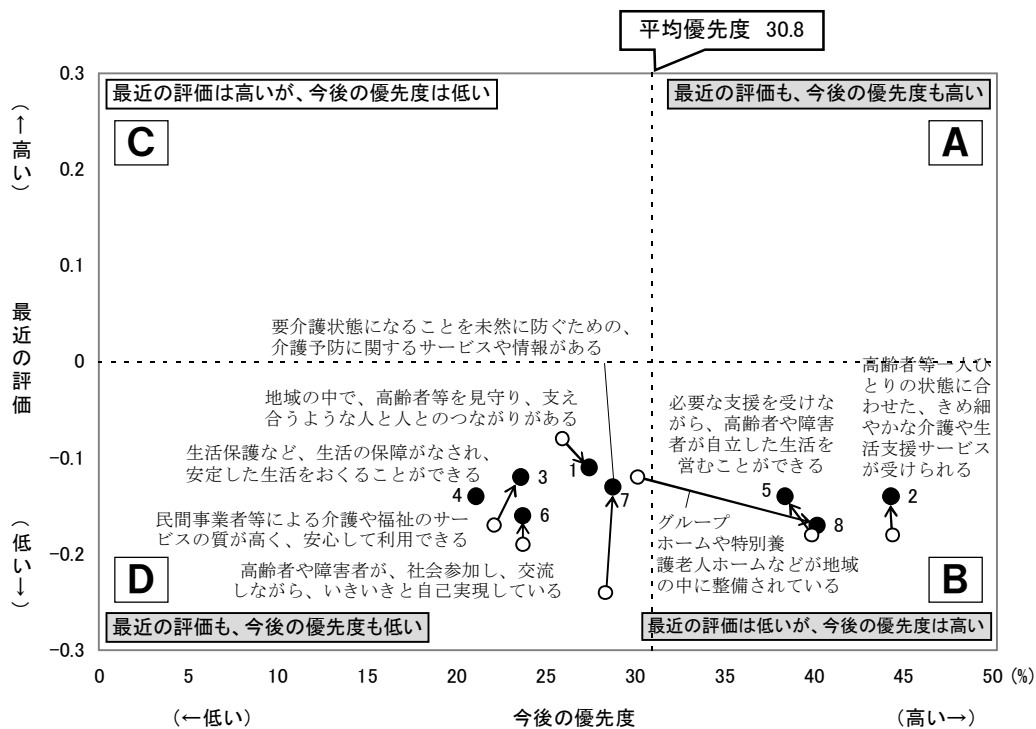
## 4 総合分析の経年比較〔問4〕

総合分析を前回調査と比較した。●が今回調査、○が前回調査、前回から今回への推移を矢印で表している。

なお、前回調査から①福祉などのグループに含まれる項目を一部変更しているため、選択数を限定した「今後の優先度」の数値については参考とする。

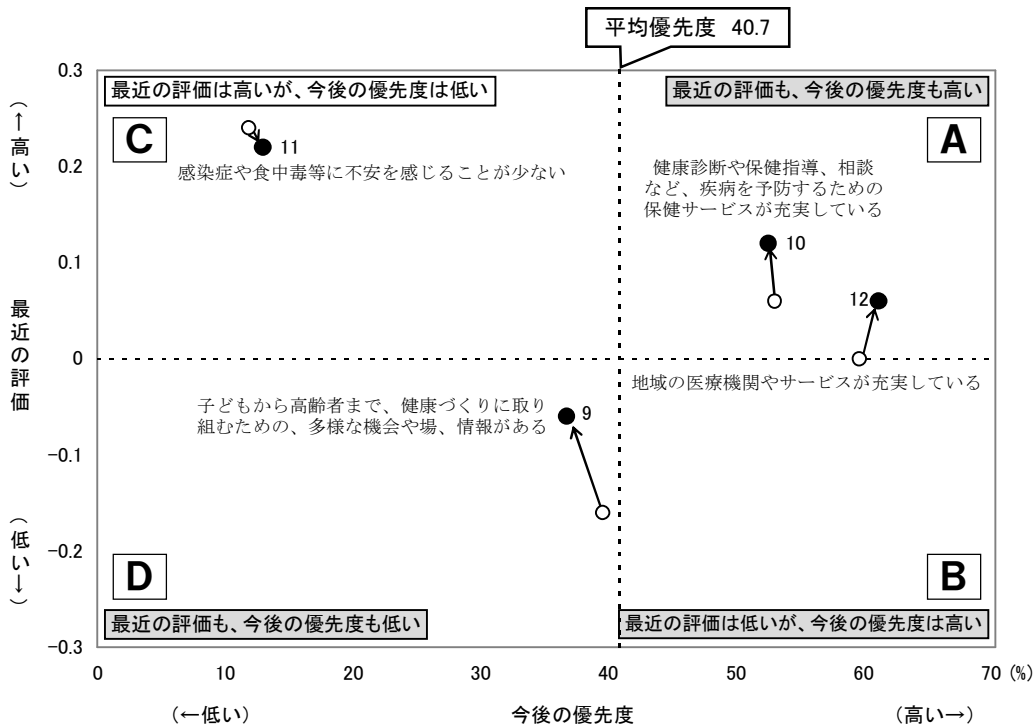
### ① 福祉

- 福祉に関する生活環境では、「グループホームや特別養護老人ホームなどが地域の中に整備されている」の優先度が高くなり、「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」から「(B) 最近の評価は低い、今後の優先度は高い」へ移動した。



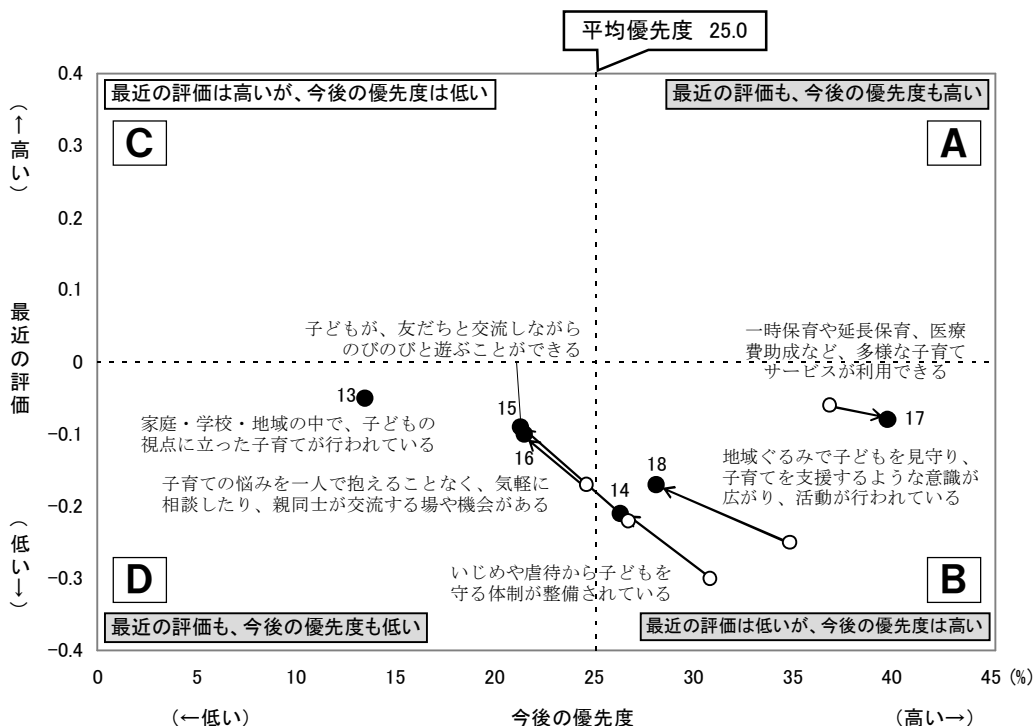
## ② 健康

- 健康に関する生活環境では、大きな違いはみられない。



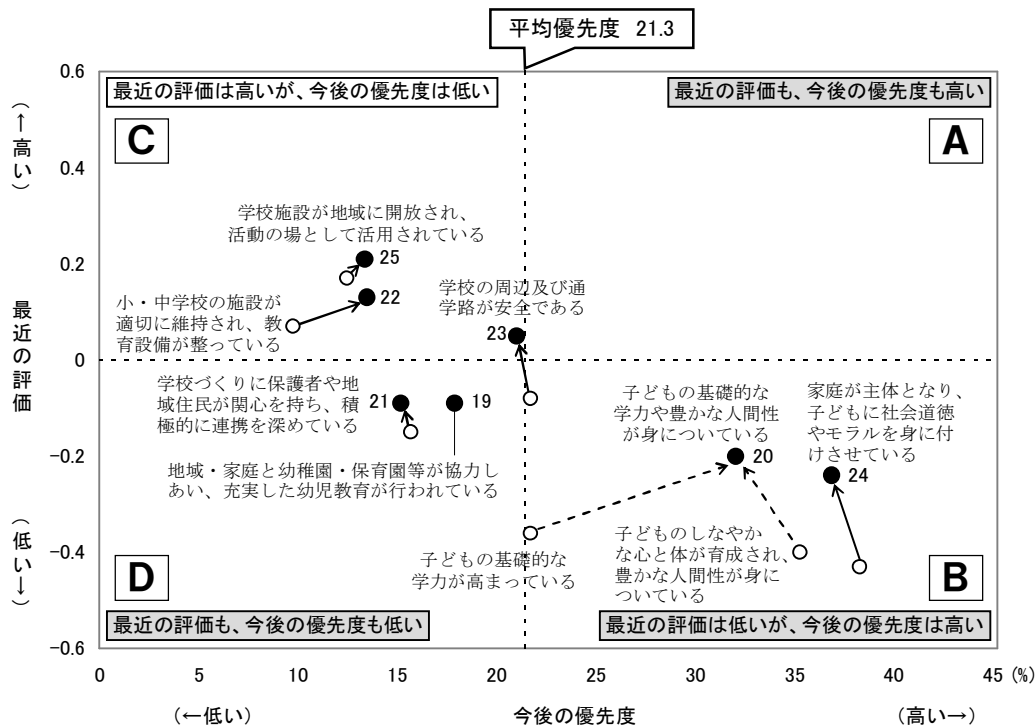
## ③ 子育て

- 子育てに関する生活環境では、「子どもが、友だちと交流しながらのびのびと遊ぶことができる」が「(B) 最近の評価は低い、今後の優先度は高い」から「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」へ移動した。



#### ④ 教育

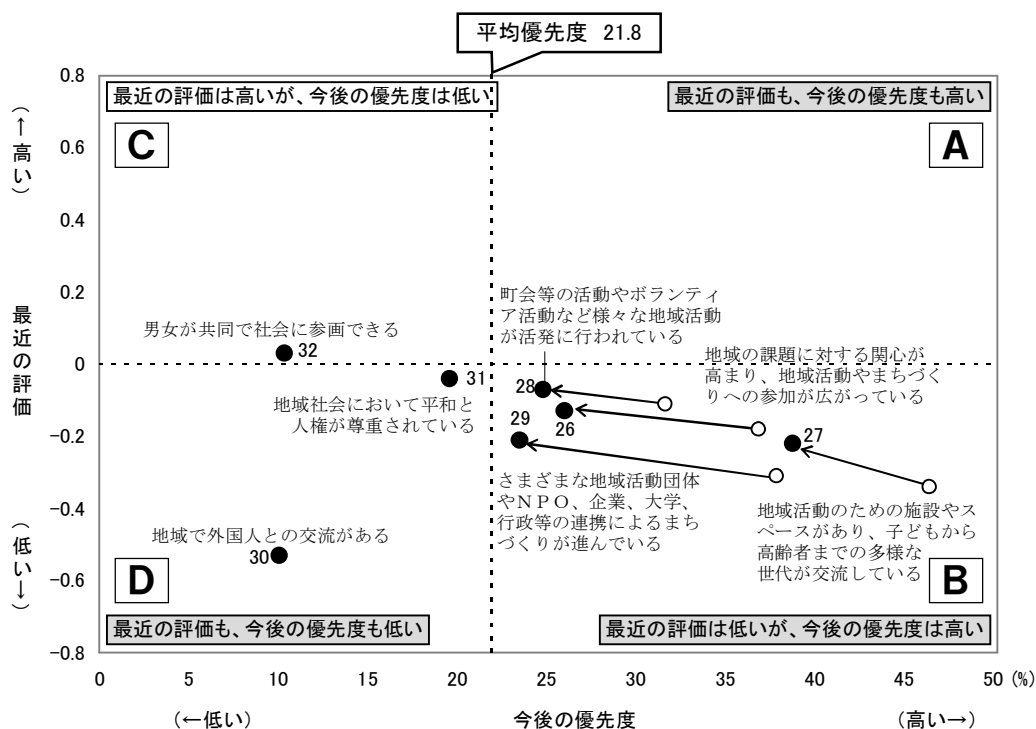
- 教育に関する生活環境では、「学校の周辺及び通学路が安全である」の最近の評価が高くなり、「(B) 最近の評価は低い、今後の優先度は高い」から「(C) 最近の評価は高い、今後の優先度は低い」へ移動した。



※「子どもの基礎的な学力や豊かな人間性が身についている」は、前は「子どもの基礎的な学力が高まっている」と「子どものしなやかな心と身体が育成され、豊かな人間性が身についている」であった。

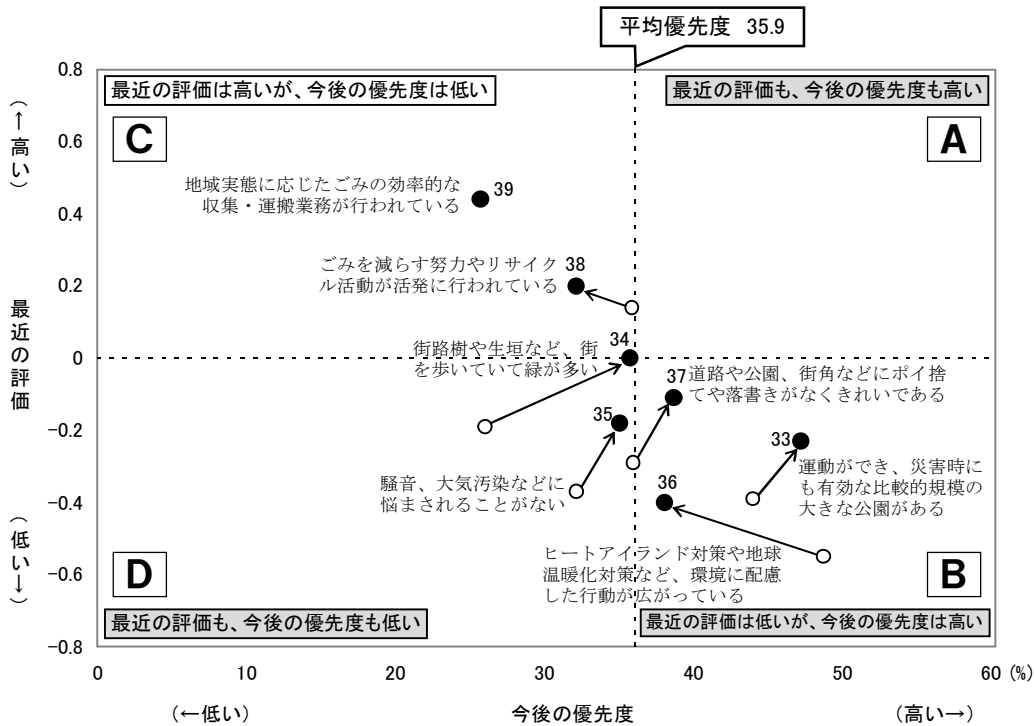
#### ⑤ コミュニティ・協働

- コミュニティ・協働に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。



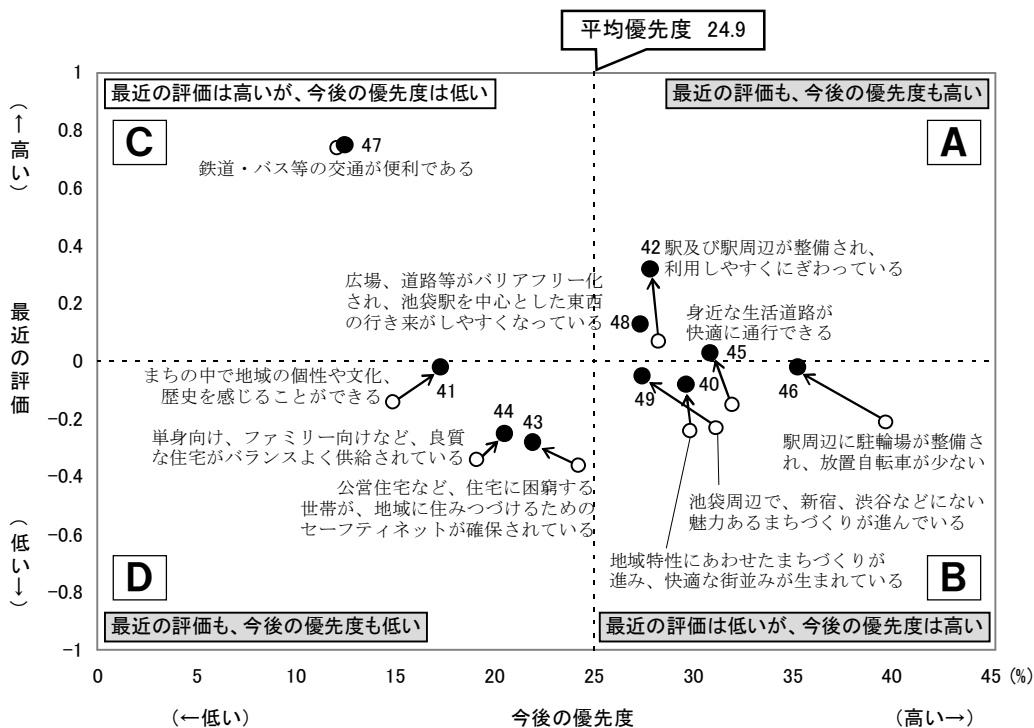
## ⑥ 環境

- 環境に関する生活環境では、「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである」が「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」から「(B) 最近の評価は低い、今後の優先度は高い」へ移動した。



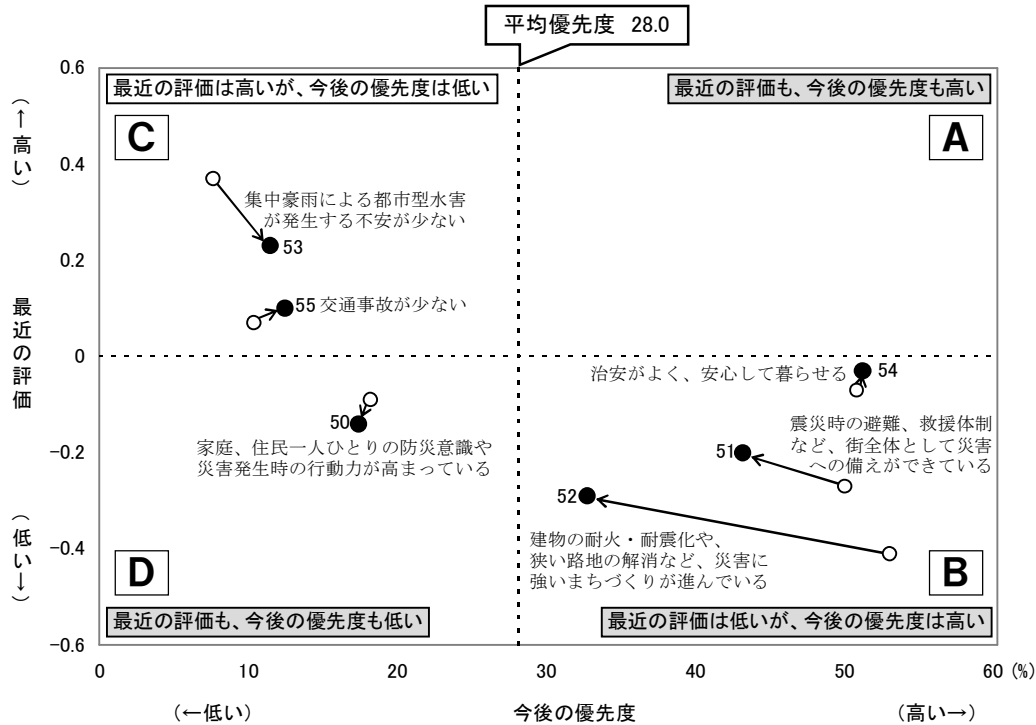
## ⑦ 都市再生

- 都市再生に関する生活環境では、「身近な生活道路が快適に通行できる」が「(B) 最近の評価は低い、今後の優先度は高い」から「(A) 最近の評価も、今後の優先度も高い」へ移動した。



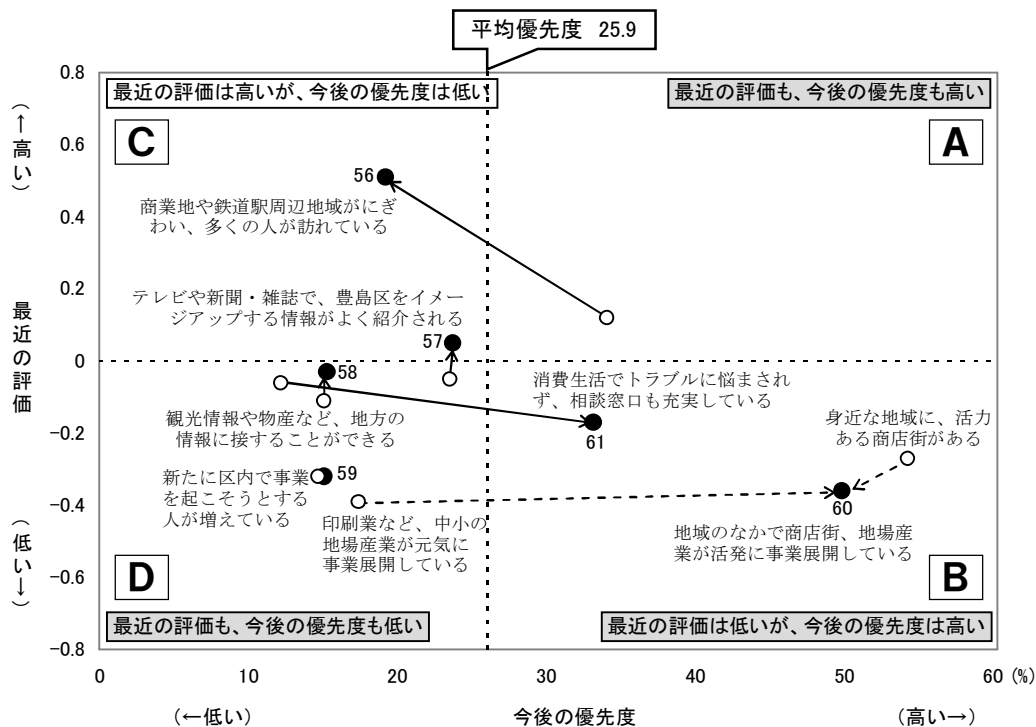
## ⑧ 安心・安全

- 安心・安全に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。



## ⑨ 観光・産業

- 観光・産業に関する生活環境では、「消費生活トラブルに悩まされず、相談窓口も充実している」の今後の優先度が高くなり、「(D) 最近の評価も、今後の優先度も低い」から「(B) 最近の評価は低い、今後の優先度は高い」へ移動した。

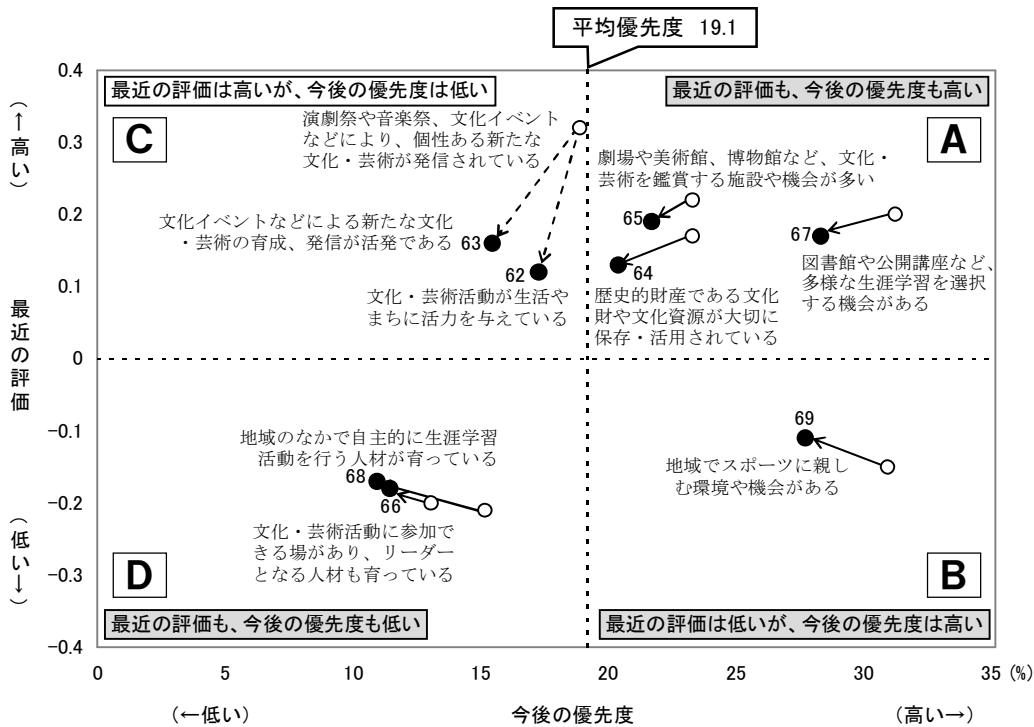


※「地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している」は、前回は「身近な地域に、活力ある商店街がある」と「印刷業など、中小の地場産業が元気に事業展開している」であった。



⑩ 文化

- 文化に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。



※ 「文化イベントなどによる新たな文化・芸術の育成、発信が活発である」と「文化・芸術活動が生活やまちに活力を与えている」は、前は「演劇祭や音楽祭、文化イベントなどにより、個性ある新たな文化・芸術が発信されている」であった。



# 第3章

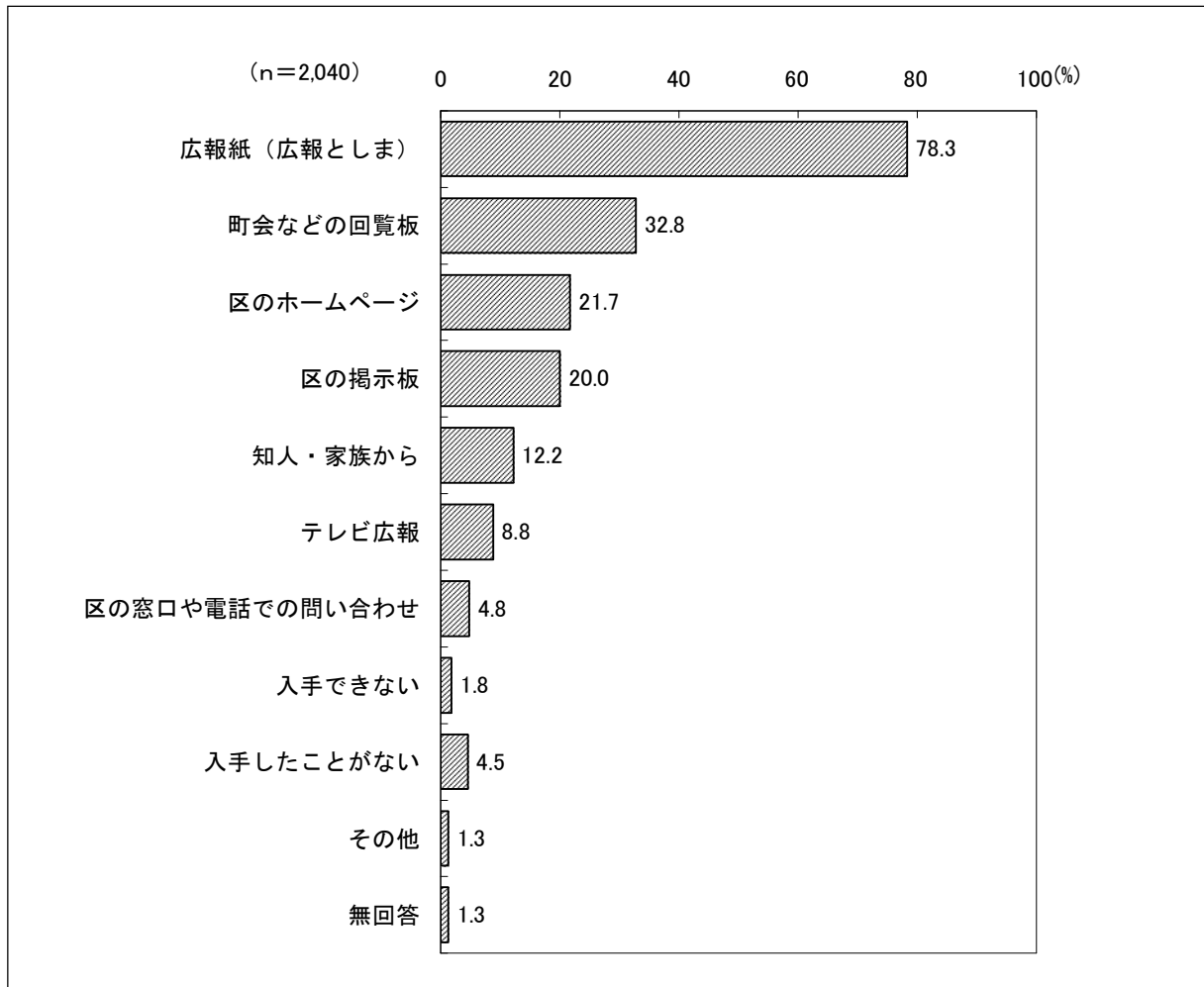
## 区の政策について



## 第3章 区の政策について

### 1-① 区の情報を知るための手段〔問5〕

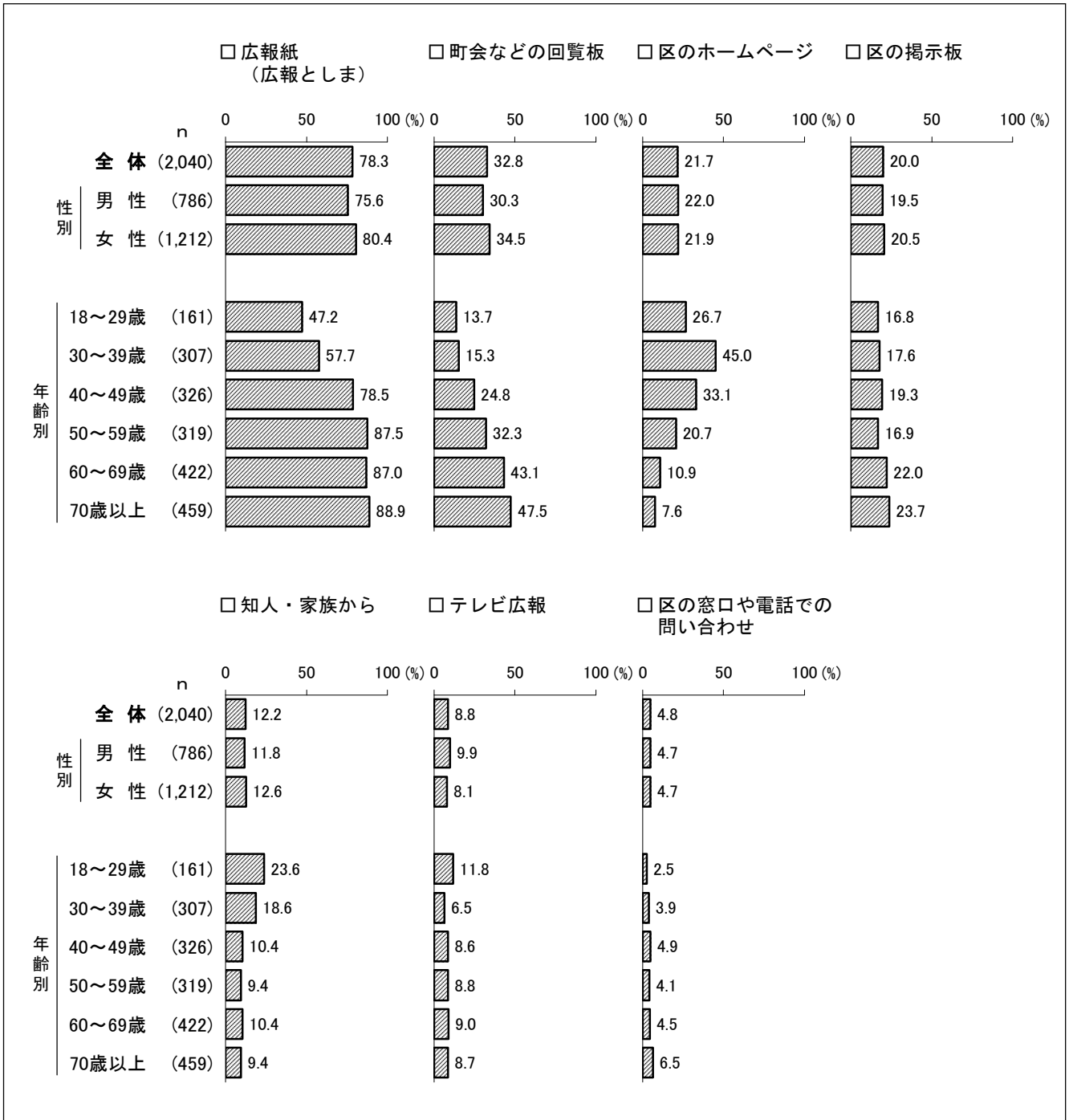
- 区の情報を知るための手段について聞いたところ、「広報紙（広報としま）」（78.3%）が約8割と最も高く、以下、「町会などの回覧板」（32.8%）、「区のホームページ」（21.7%）、「区の掲示板」（20.0%）などとなっている。



※あてはまるものすべて選択

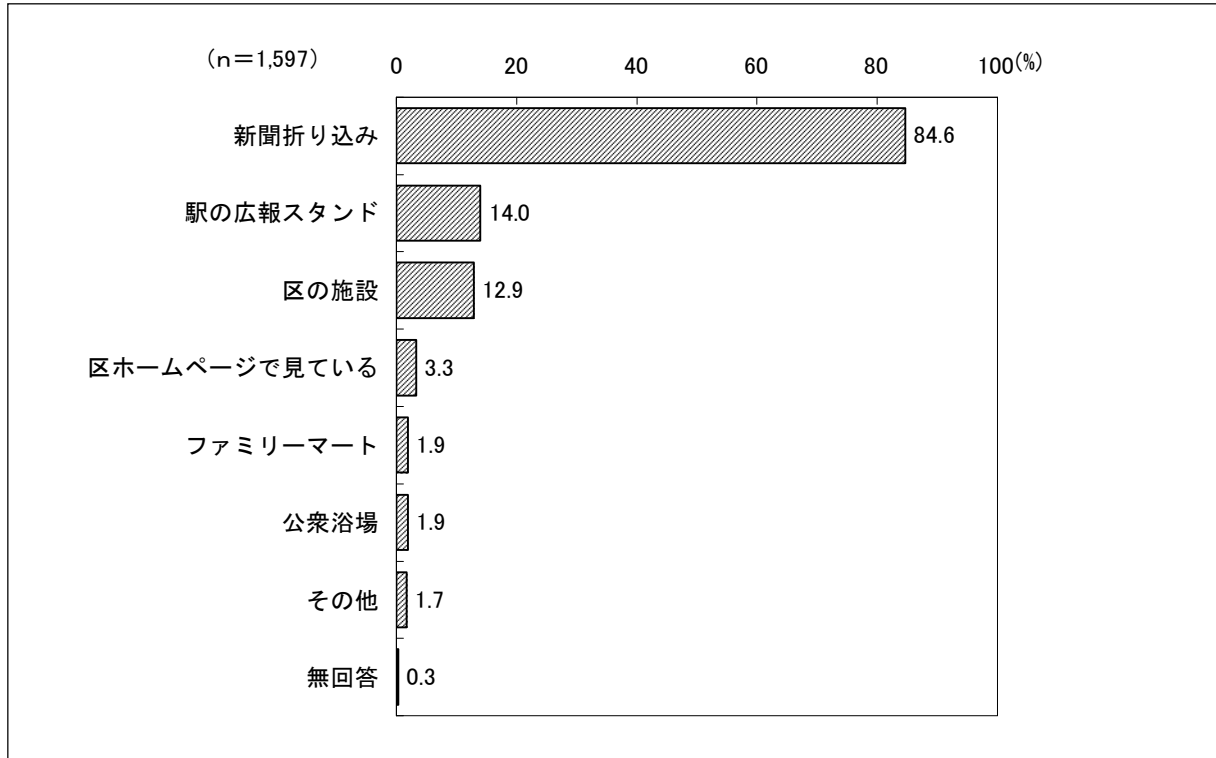
【性別・年齢別】

- 性別で見ると、「広報紙（広報としま）」は、女性（80.4%）が男性（75.6%）よりも4.8ポイント高くなっている。その他の項目では大きな違いはみられない。
- 年齢別で見ると、「広報紙（広報としま）」は年齢が上がるほど高くなり、70歳以上（88.9%）で約9割となっている。また、「町会などの回覧板」も年齢が上がるほど高くなり、70歳以上（47.5%）で最も高くなっている。



## 1-② 広報紙の入手方法〔問5-1〕

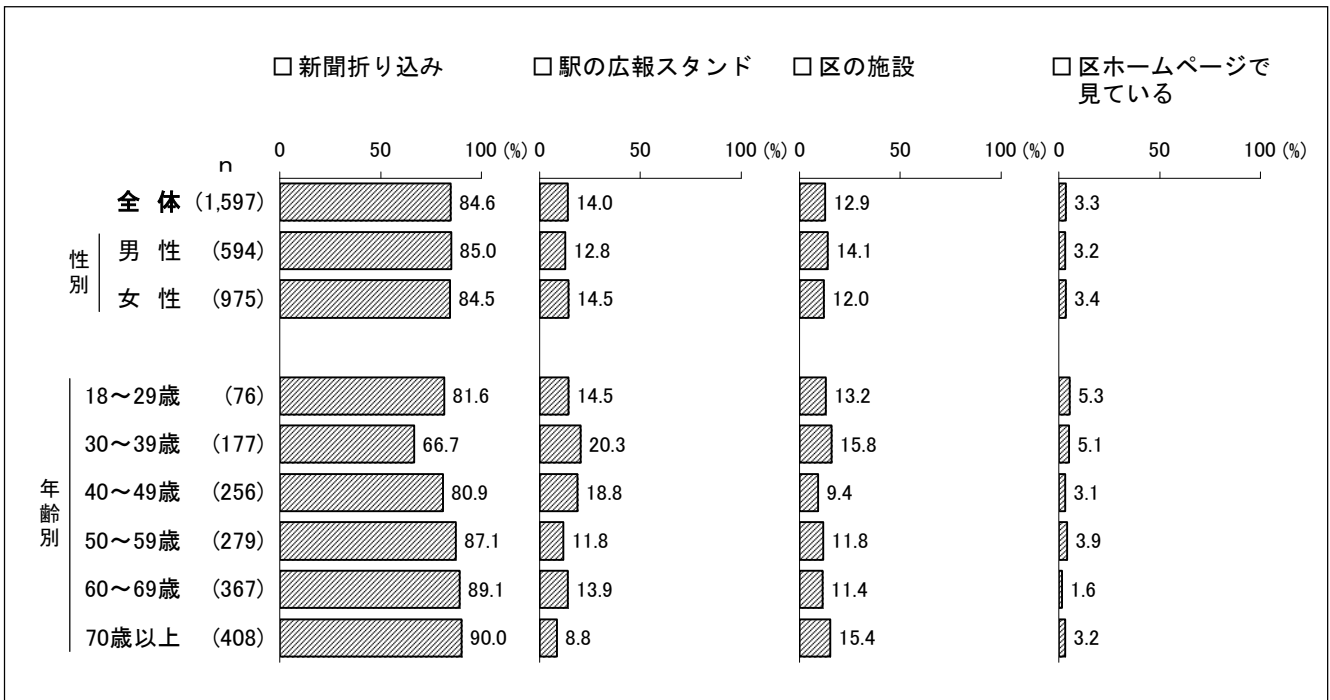
- 〔問5〕の区の情報を知るための手段についての設問に対し、「広報紙（広報としま）」と答えた方に、広報紙の入手方法について聞いたところ、「新聞折り込み」（84.6%）が8割台半ばと最も高く、以下、「駅の広報スタンド」（14.0%）、「区の施設」（12.9%）などとなっている。



※あてはまるものすべて選択

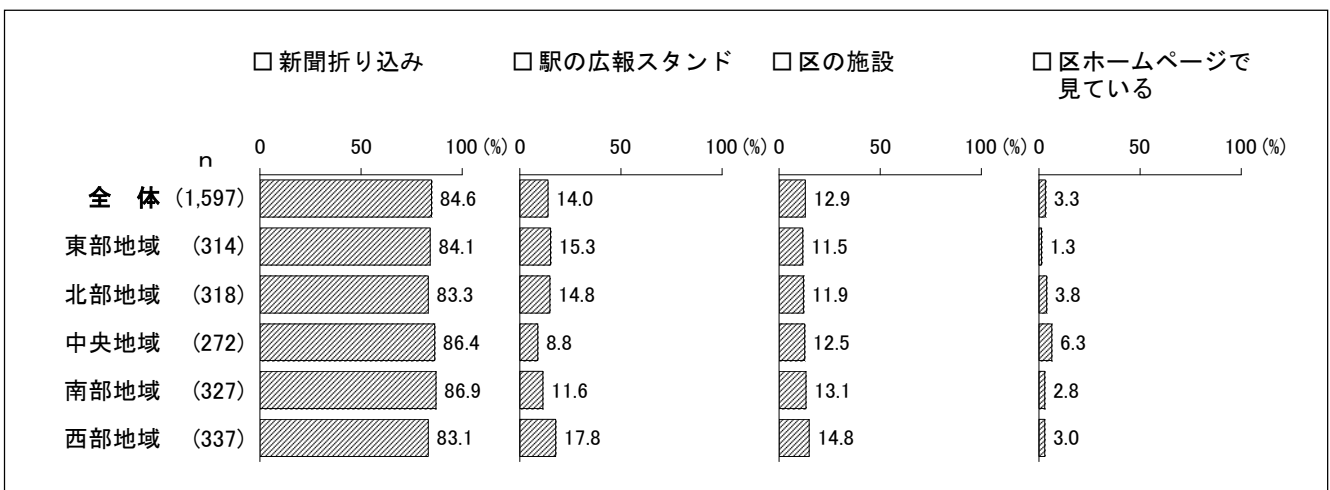
【性別・年齢別（上位4項目）】

- 性別で見ると、どの項目でも大きな違いはみられない。
- 年齢別で見ると、「新聞折り込み」は30～39歳（66.7%）を除く全ての年齢で、8割を超えている。「駅の広報スタンド」は30～39歳（20.3%）で2割となっている。



【地域別（上位4項目）】

- 「駅の広報スタンド」は中央地域（8.8%）を除く全ての地域で、1割を超えている。

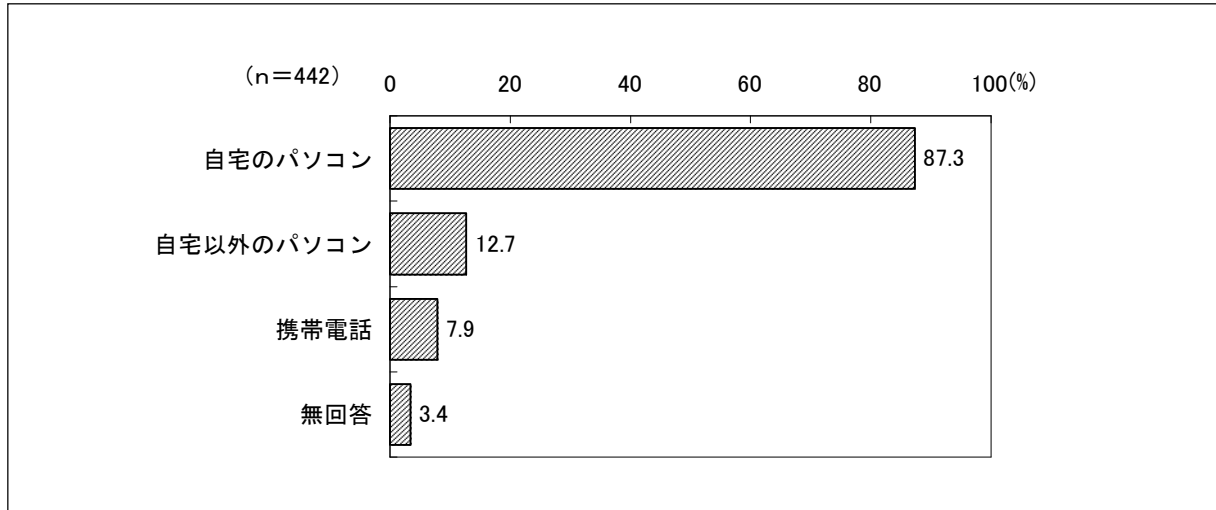


※ 地域の具体的区分は3ページの（6）居住地域名を参照



### 1-③ 豊島区公式ホームページを見るための手段〔問5-2〕

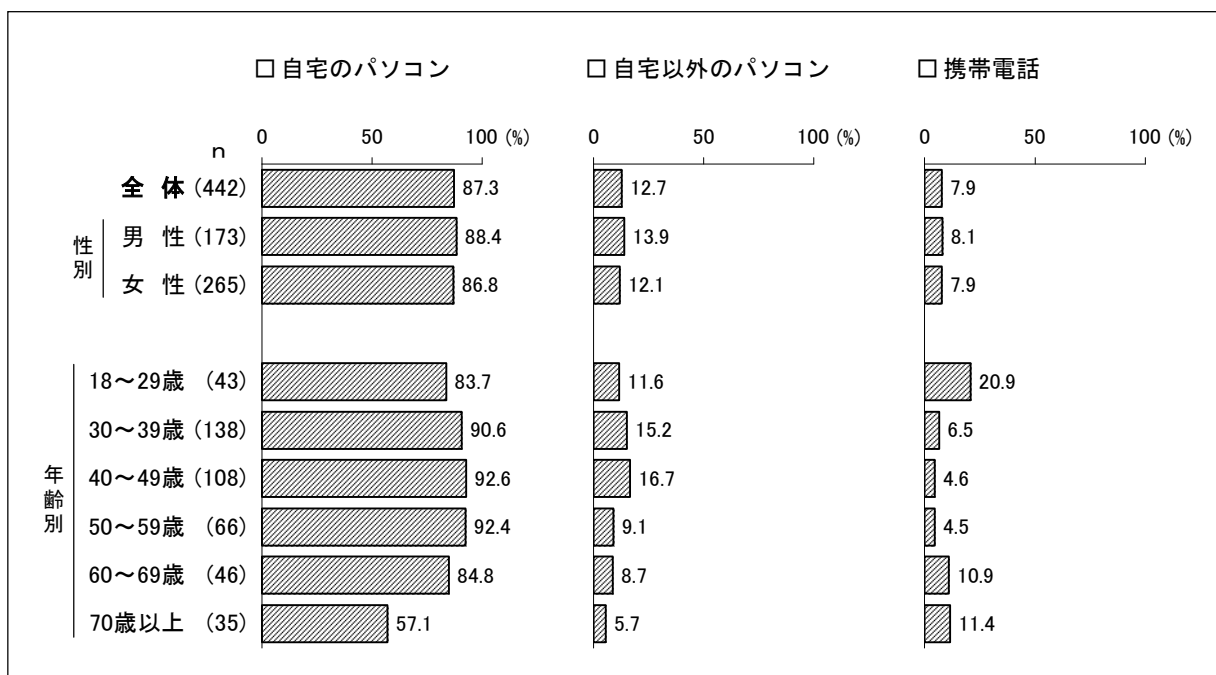
- [問5]の区の情報を知るための手段についての設問に対し、「区のホームページ」と答えた方に、豊島区公式ホームページを見るための手段について聞いたところ、「自宅のパソコン」(87.3%)が最も高くなっている。



※あてはまるものすべて選択

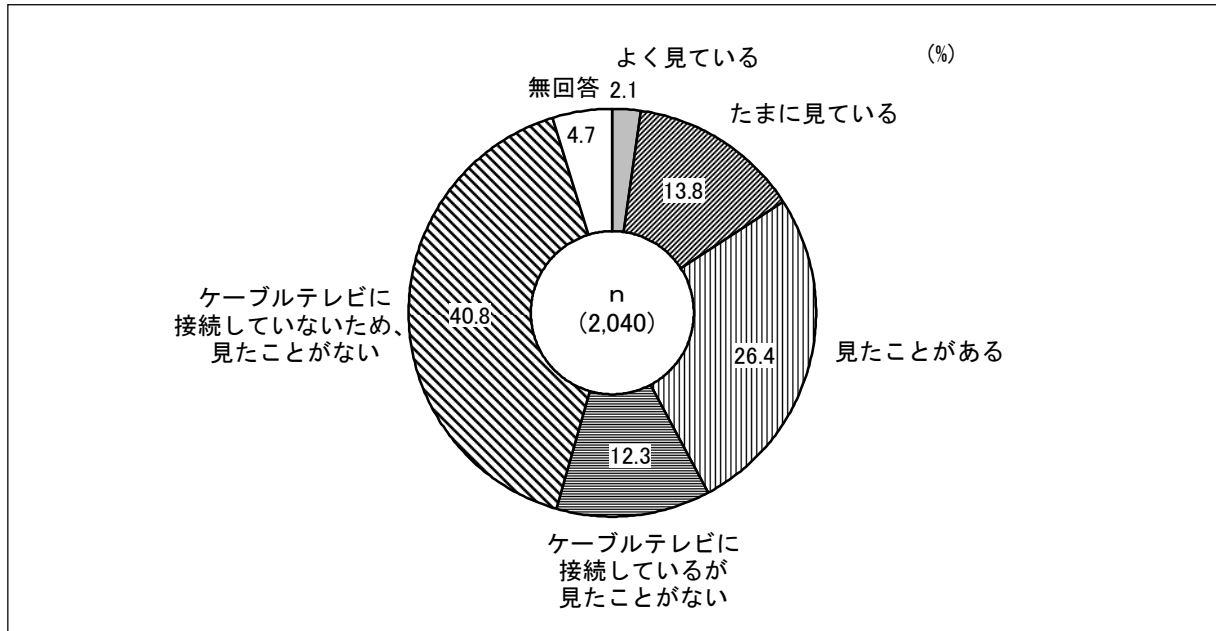
#### 【性別・年齢別】

- 性別で見ると、全ての項目で大きな違いはみられない。
- 年齢別で見ると、「自宅のパソコン」は40～49歳(92.6%)と50～59歳(92.4%)、30～39歳(90.6%)で9割台となっている。「携帯電話」は18～29歳(20.9%)で2割となっている。



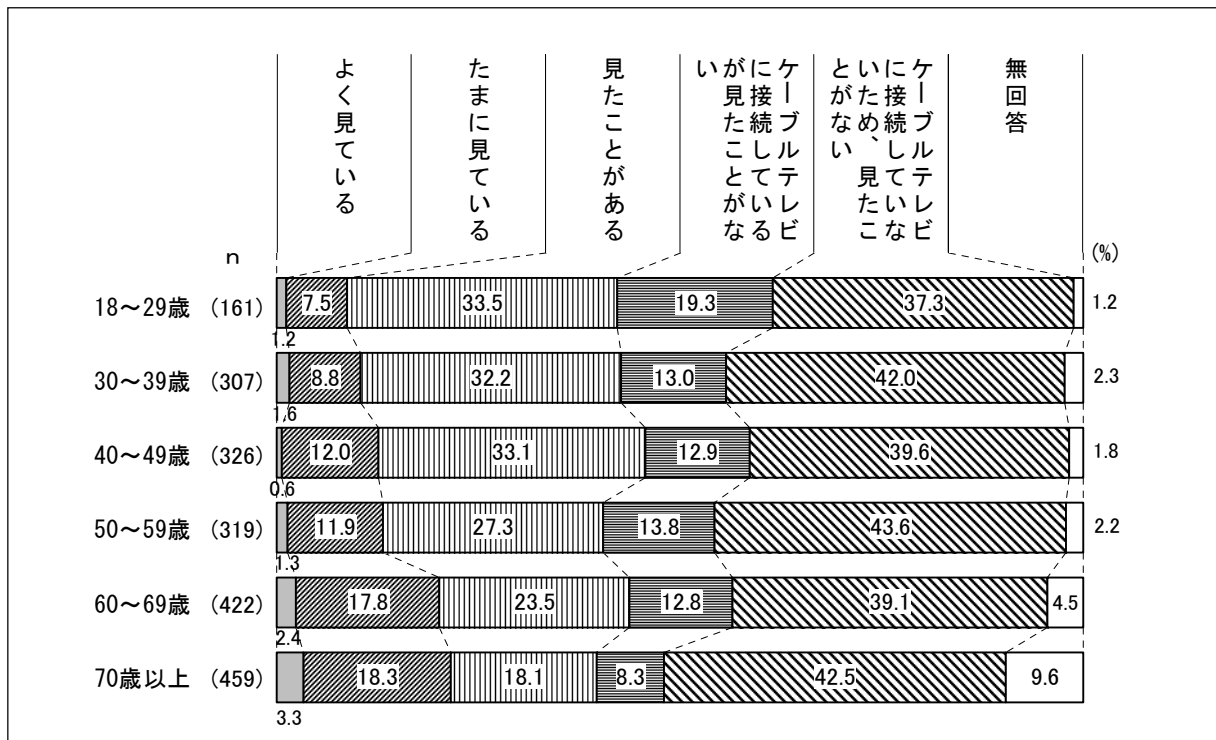
## 2 行政情報番組の視聴経験〔問6〕

- 行政情報番組の視聴経験について聞いたところ、「ケーブルテレビに接続していないため、見たことがない」(40.8%) が4割と最も高くなっている。
- 「よく見ている」(2.1%) と「たまに見ている」(13.8%) を合わせた“見る” (15.9%) が1割台半ばとなっている。



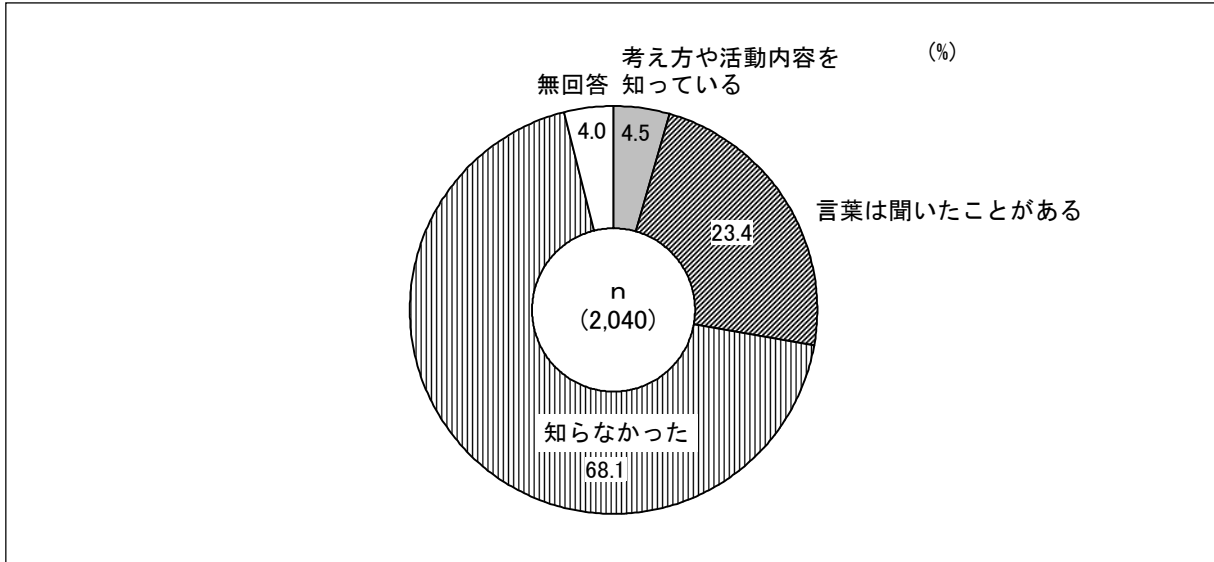
### 【年齢別】

- “見る” は70歳以上 (21.6%) で2割を超えている。
- どの年齢でも「ケーブルテレビに接続していないため、見たことがない」が高くなっている。



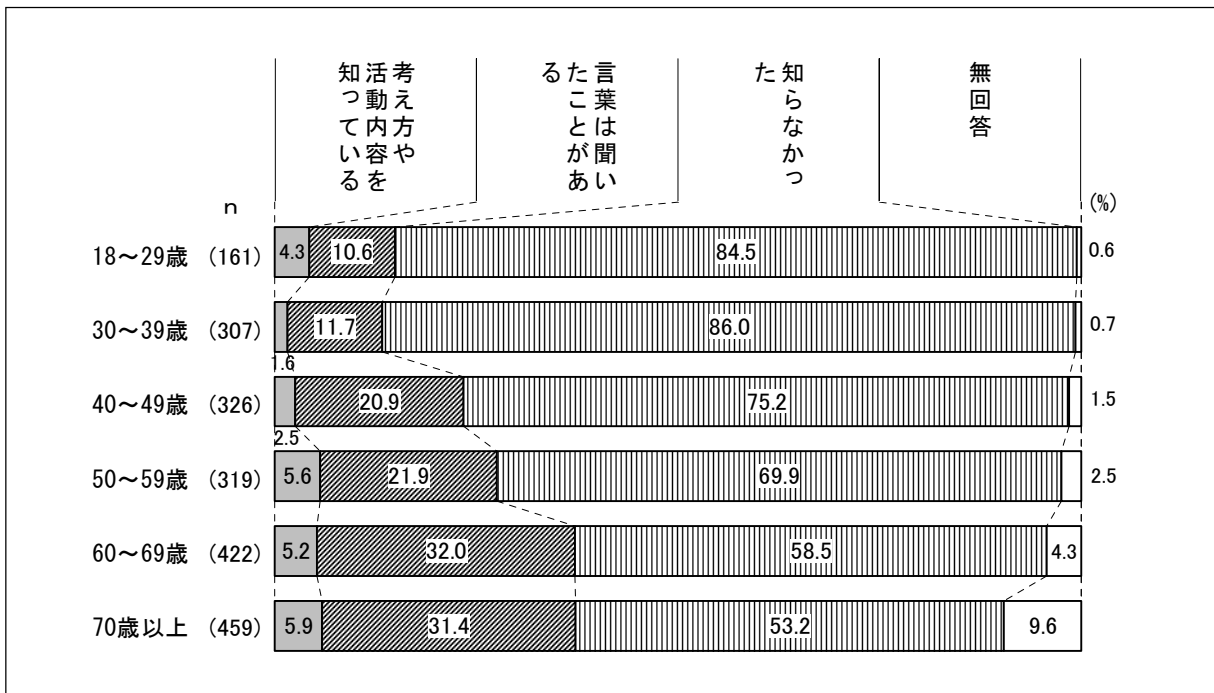
### 3 豊島区の「セーフコミュニティ」活動について〔問7〕

- 豊島区の「セーフコミュニティ」活動について聞いたところ、「知らなかった」(68.1%)が約7割、「考え方や活動内容を知っている」(4.5%)と「言葉を聞いたことがある」(23.4%)を合わせた“知っている”(27.9%)が約3割となっている。



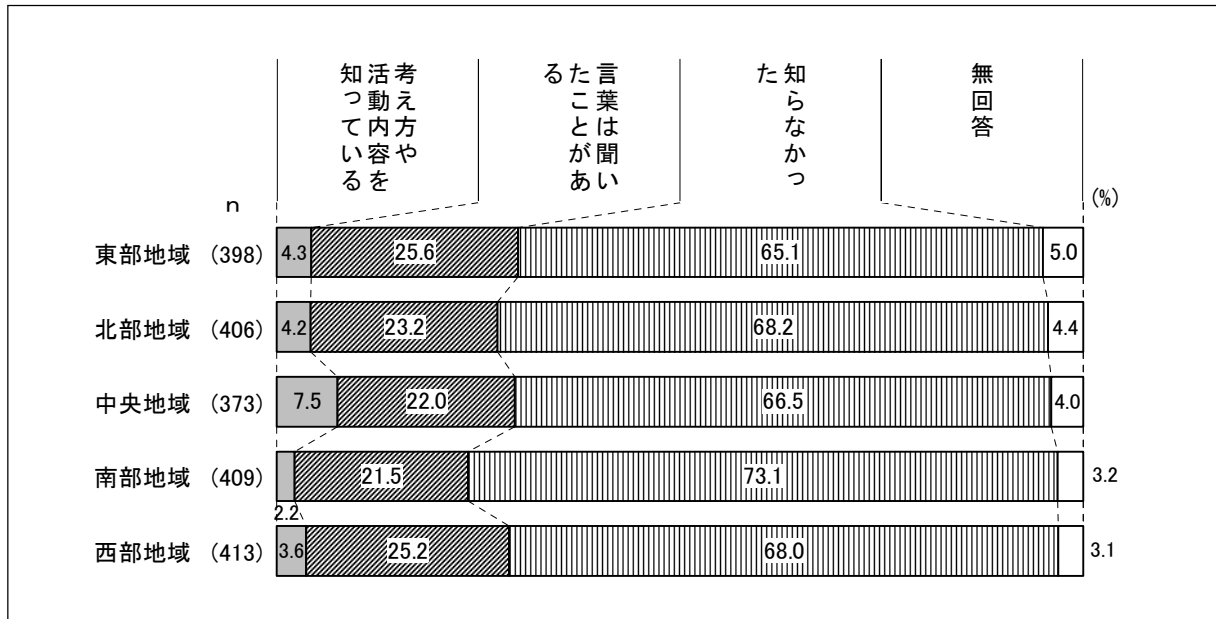
#### 【年齢別】

- “知っている”は60～69歳(37.2%)と70歳以上(37.3%)でほぼ同じ割合で高くなっている。



【地域別】

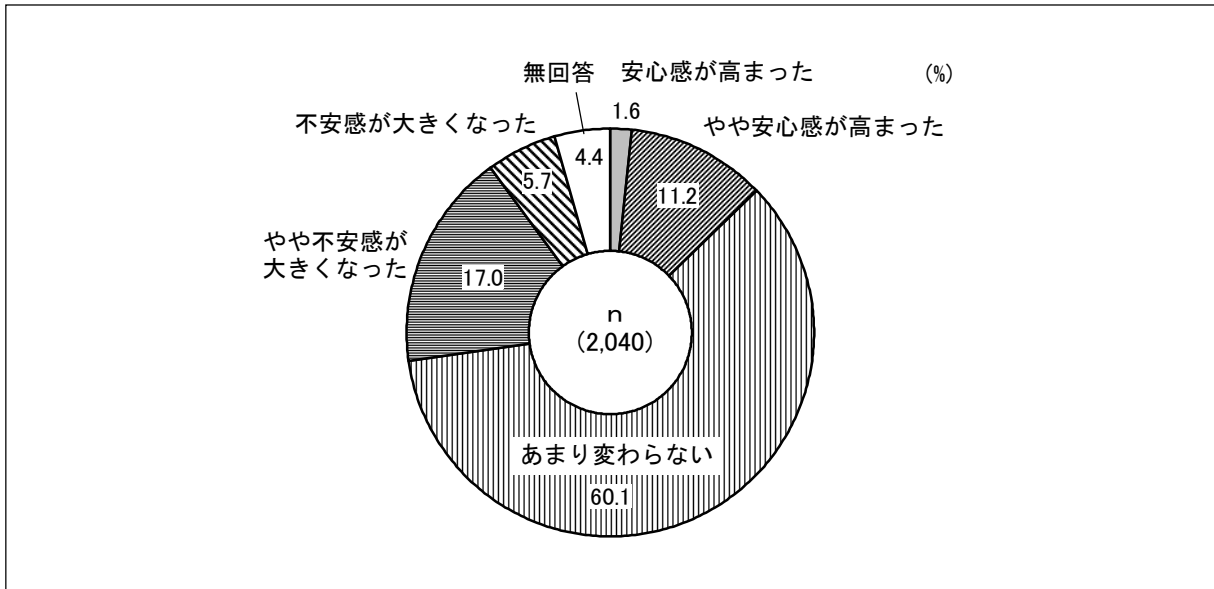
- “知っている” は北部地域（27.4%）と南部地域（23.7%）を除く地域で約3割となっている。



※ 地域の具体的区分は3ページの(6)居住地域名を参照

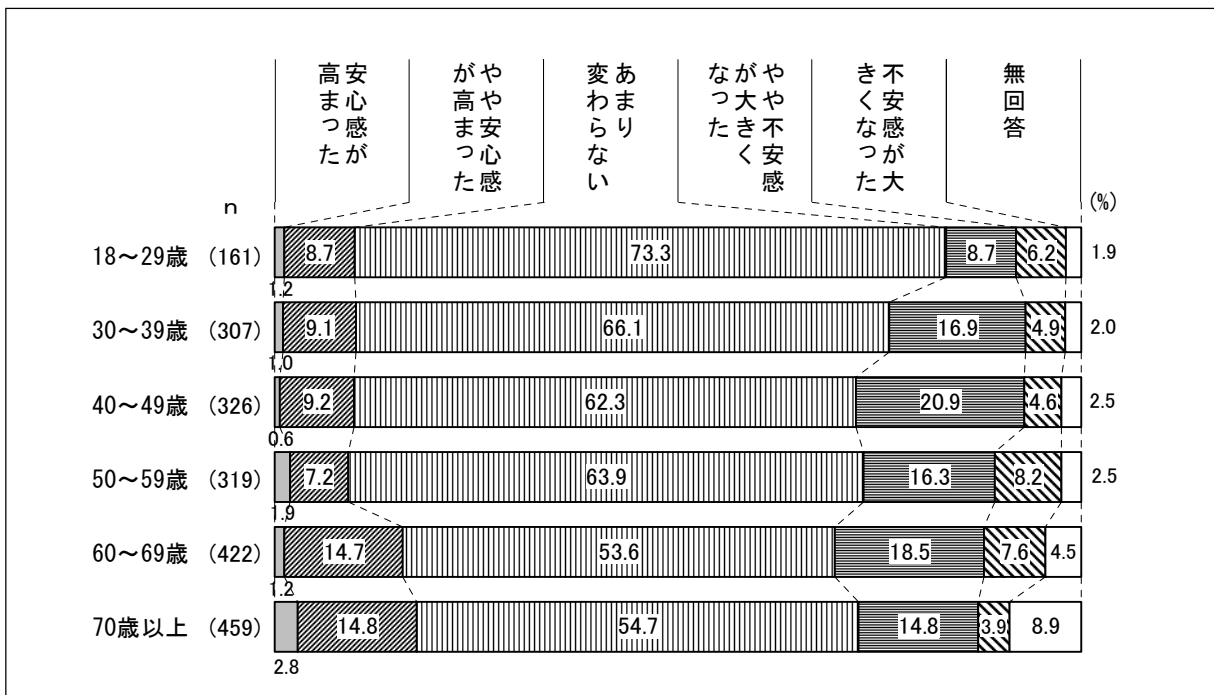
## 4 事故やけが、犯罪、災害などに対する安心感について〔問8〕

- 事故やけが、犯罪、災害などに対する安心感について聞いたところ、「あまり変わらない」(60.1%)が6割と最も高くなっている。
- 「安心感が高まった」(1.6%)と「やや安心感が高まった」(11.2%)を合わせた“安心感が高まった” (12.8%)は1割を超えている。
- 「やや不安感が大きくなった」(17.0%)と「不安感が大きくなった」(5.7%)を合わせた“不安感が大きくなった” (22.7%)は2割を超えている。



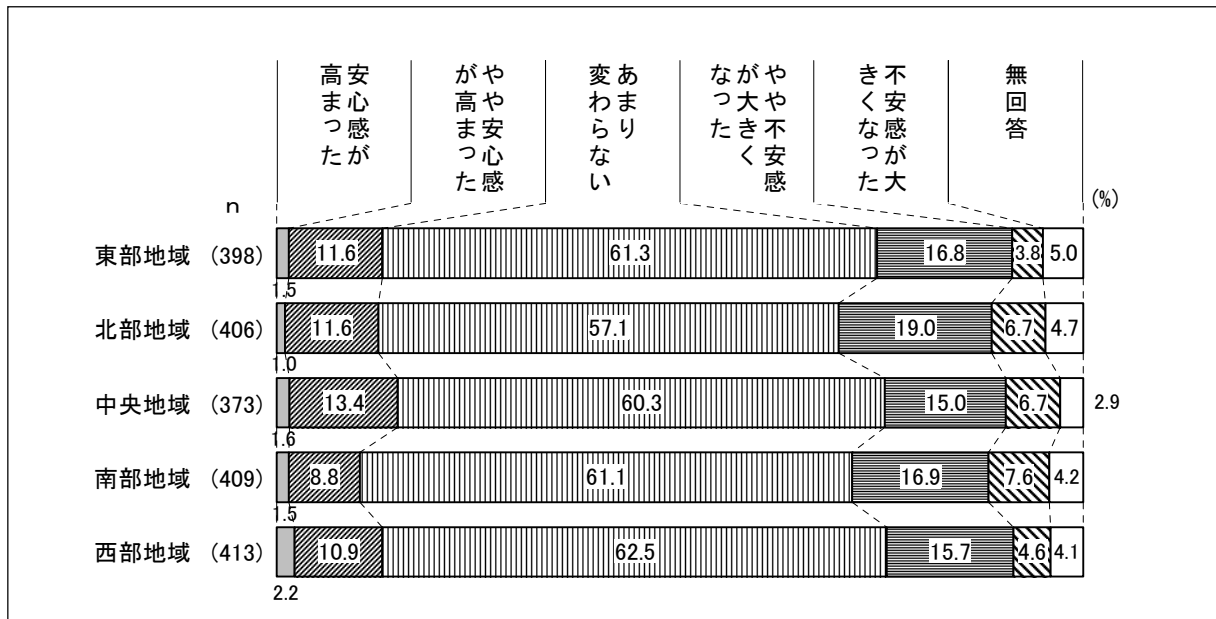
### 【年齢別】

- “安心感が高まった”は70歳以上 (17.6%)で最も高くなっている。
- “不安感が大きくなった”は40～49歳 (25.5%)、50～59歳 (24.5%)、60～69歳 (26.1%)で2割台半ば、30～39歳 (21.8%)で2割を超えている。



【地域別】

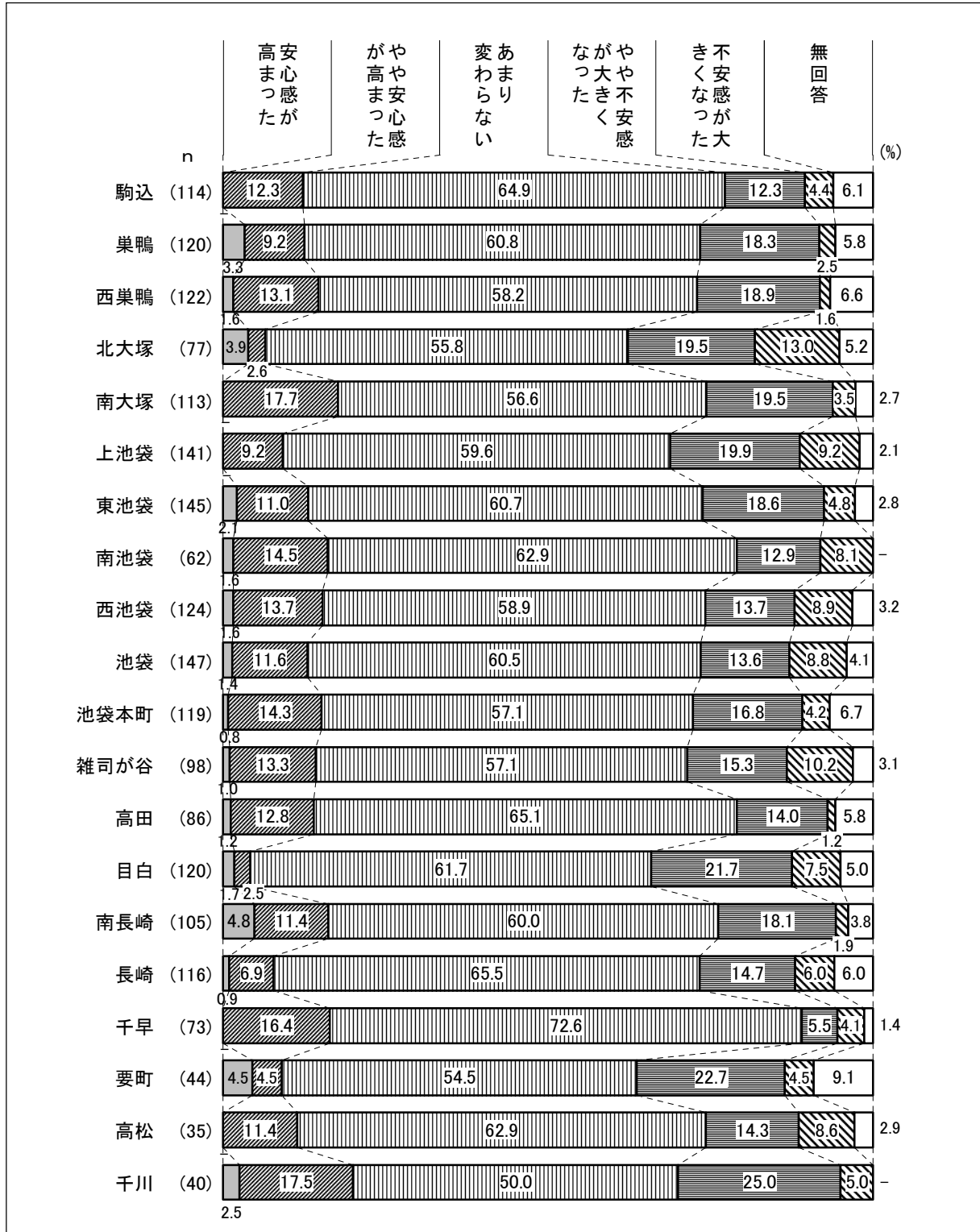
- “安心感が高まった”は中央地域（15.0%）で最も高くなっている。
- “不安感が大きくなった”は北部地域（25.7%）と南部地域（24.5%）で2割台半ばとなっている。



※ 地域の具体的区分は3ページの(6)居住地域名を参照

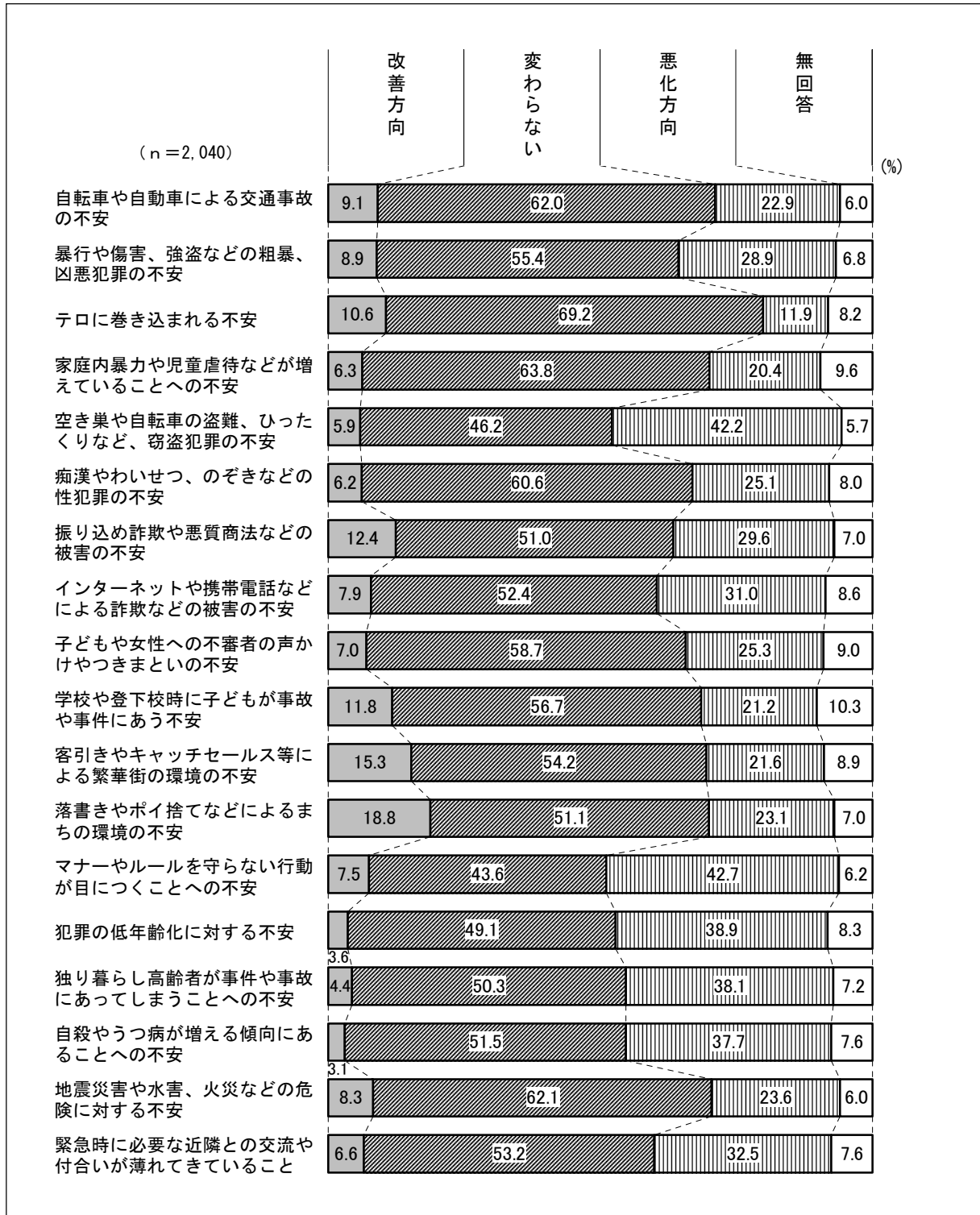
【町別】

- “安心感が高まった”は千川（20.0%）が、“不安感が大きくなった”は北大塚（32.5%）が最も高い割合となっている。
- 千早では唯一“安心感が高まった”（16.4%）の方が“不安感が大きくなった”（9.6%）よりも高くなっている。



## 5 生活の中の不安の変化について〔問9〕

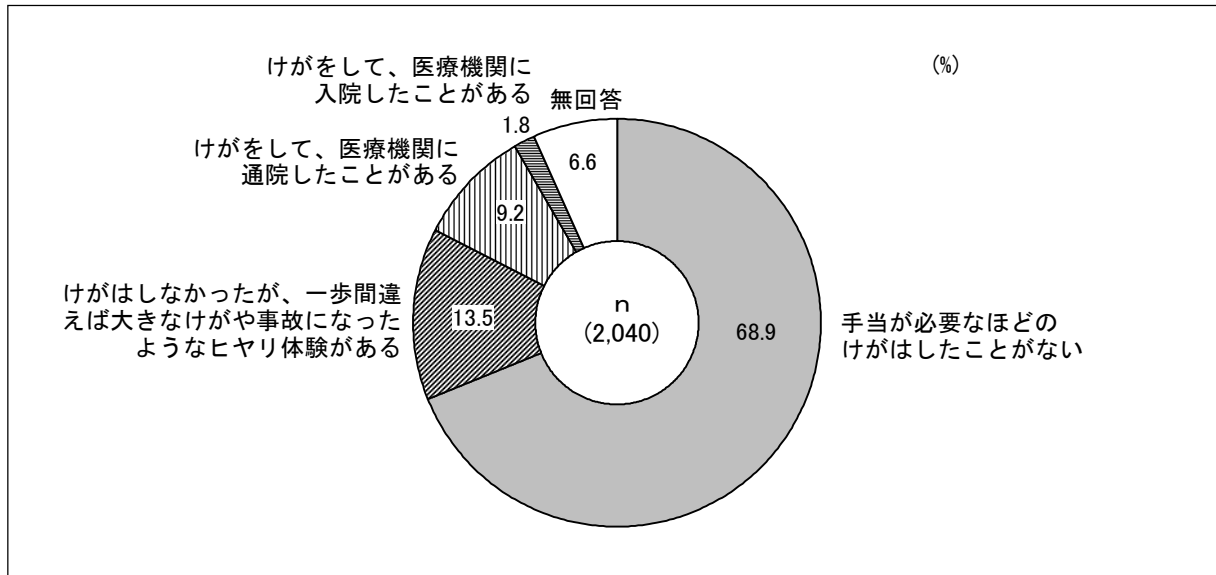
- 生活の中の不安の変化について聞いたところ、「改善方向」は“落書きやポイ捨てなどによるまちの環境の不安”（18.8%）で約2割と最も高く、以下、“客引きやキャッチセールス等による繁華街の環境の不安”（15.3%）、“振り込め詐欺や悪質商法などの被害の不安”（12.4%）などとなっている。





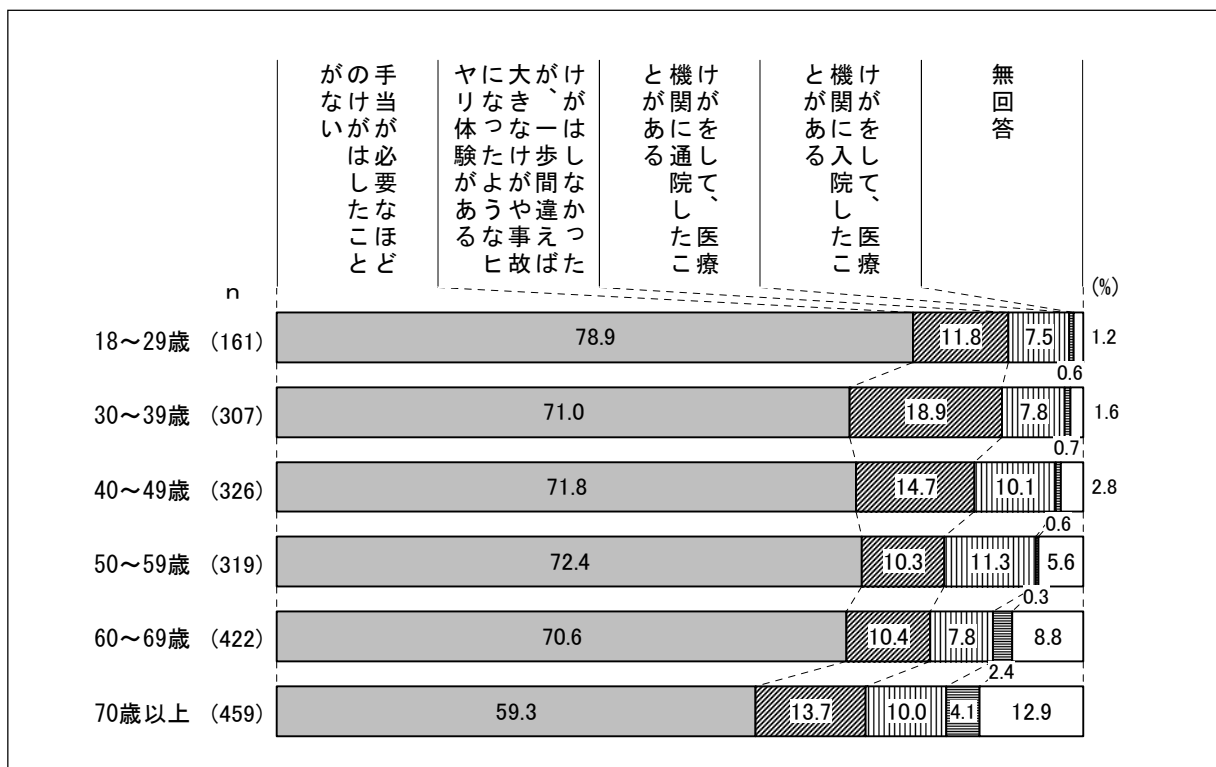
## 6-① 過去1年間のなかで最も印象に残っているけがや事故〔問10〕

- 過去1年間のなかで最も印象に残っているけがや事故の経験を聞いたところ、「手当が必要なほどのけがはしたことがない」(68.9%)が約7割と最も高く、以下、「けがはしなかったが、一歩間違えば大きなけがや事故になったようなヒヤリ体験がある」(13.5%)、「けがをして、医療機関に通院したことがある」(9.2%)などとなっている。



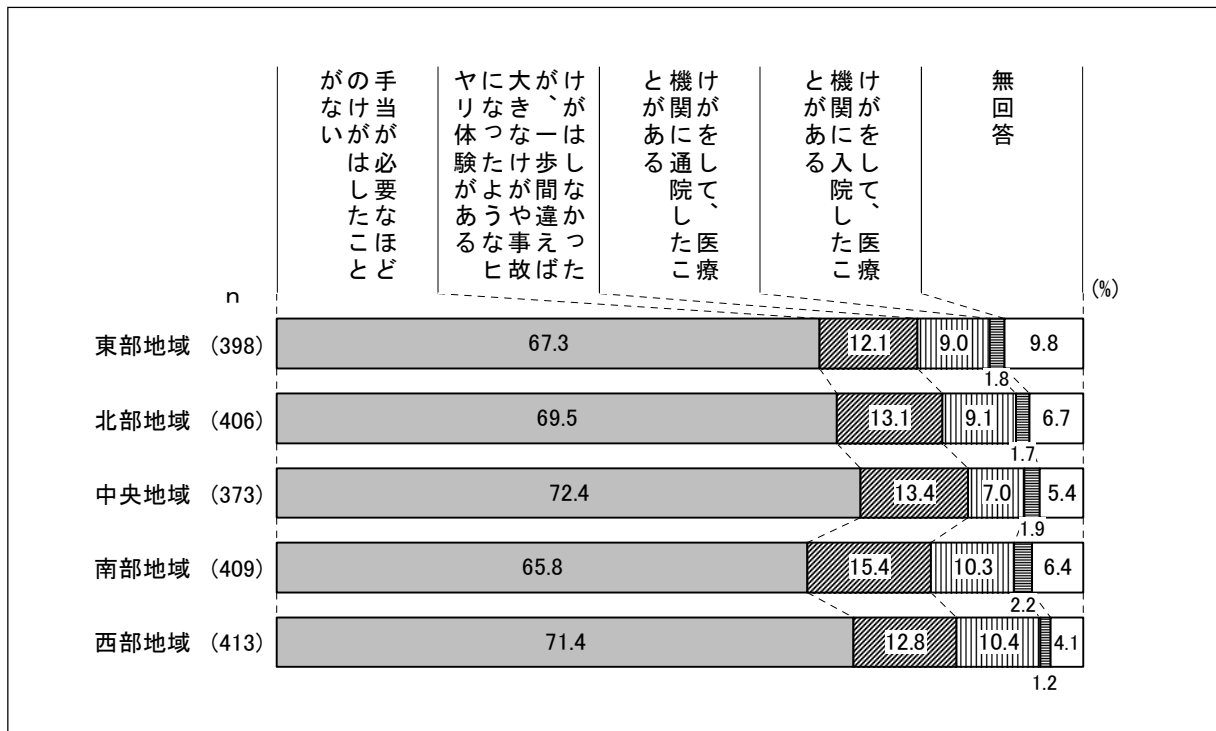
### 【年齢別】

- 「手当が必要なほどのけがはしたことがない」はおおむね年齢が下がるほど高くなる傾向がみられ、18～29歳(78.9%)で約8割となっている。
- 「けがはしなかったが、一歩間違えば大きなけがや事故になったようなヒヤリ体験がある」は30～39歳(18.9%)で約2割となっている。



【地域別】

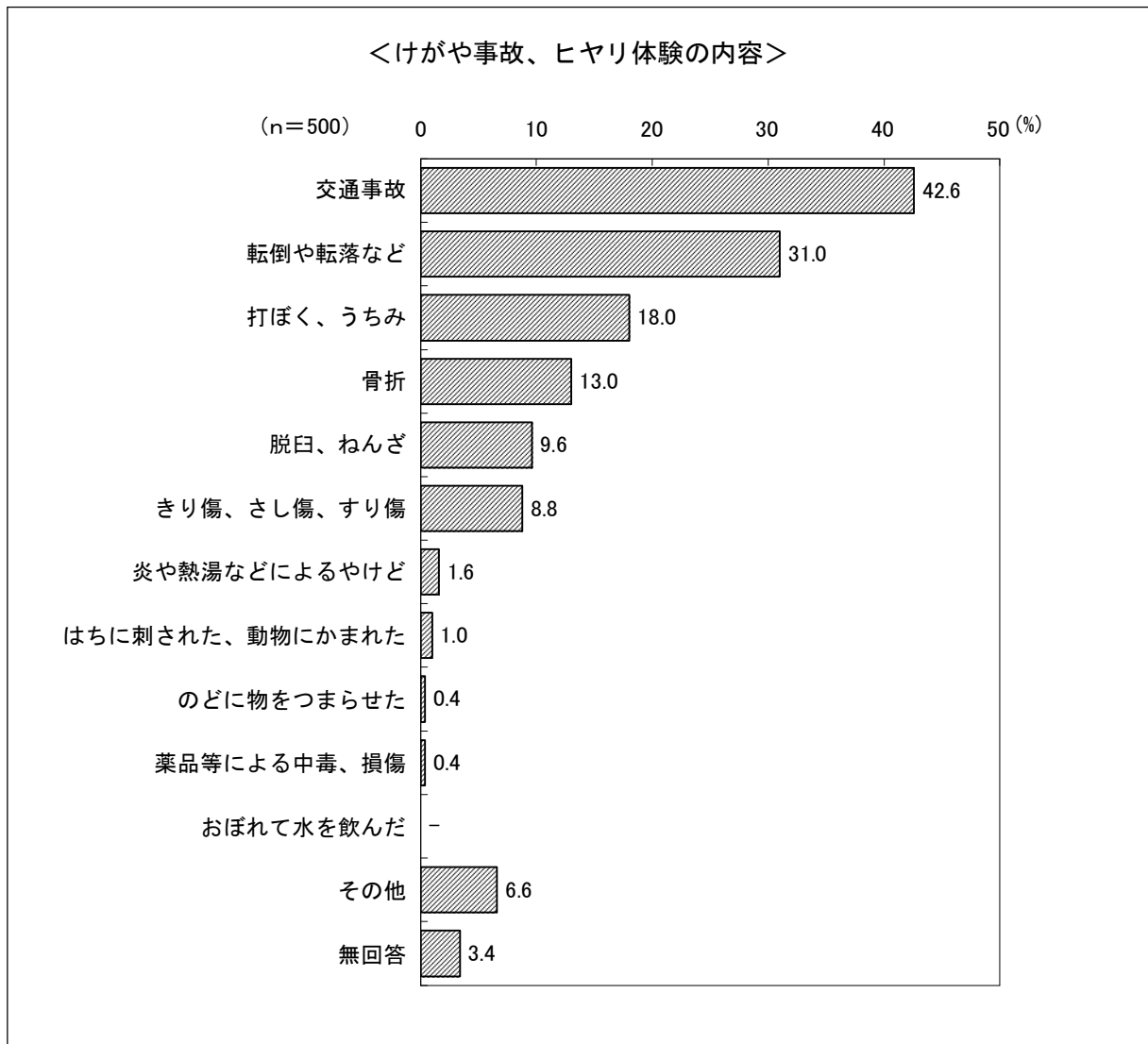
- 「手当が必要なほどのけがはしたことがない」は中央地域（72.4%）と西部地域（71.4%）で7割を超えている。
- その他の項目では、大きな違いはみられない。



※ 地域の具体的区分は3ページの(6)居住地域名を参照

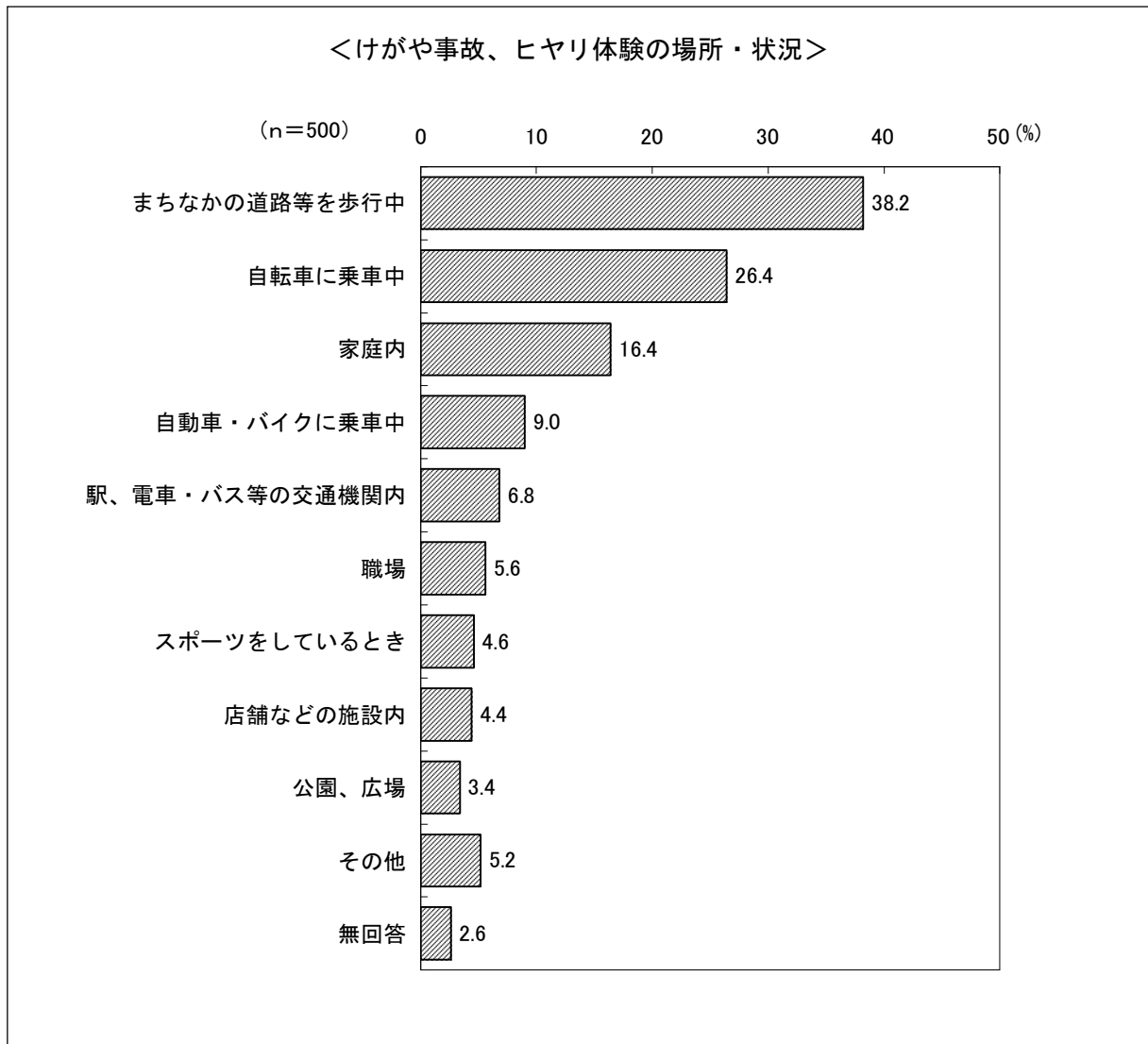
## 6-② けがや事故、ヒヤリ体験の内容と場所〔問10-1〕

- 〔問10〕の過去1年間のなかで最も印象に残っているけがや事故の設問に対し、「けがはしなかったが、一歩間違えば大きなけがや事故になったようなヒヤリ体験がある」「けがをして、医療機関に通院したことがある」「けがをして、医療機関に入院したことがある」と答えた方に、「けがや事故、ヒヤリ体験の内容について聞いたところ、「交通事故」(42.6%)が4割を超え最も高く、以下、「転倒や転落など」(31.0%)、「打ぼく、うちみ」(18.0%)などとなっている。



※あてはまるものすべて選択

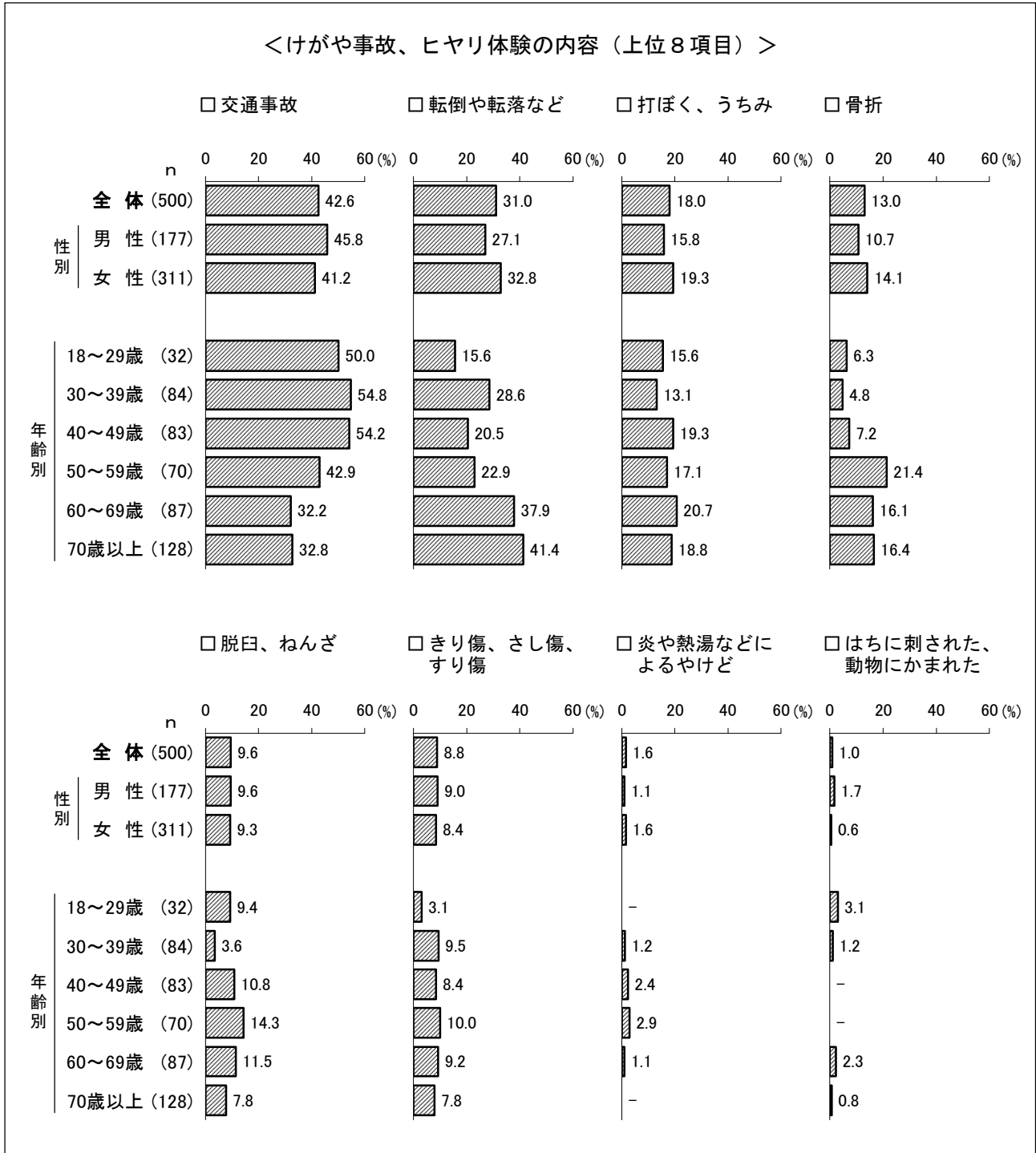
- けがや事故、ヒヤリ体験をした場所について聞いたところ、「まちなかの道路等を歩行中」(38.2%) が約4割と最も高く、以下、「自転車に乗車中」(26.4%)、「家庭内」(16.4%) などとなっている。



※あてはまるものすべて選択

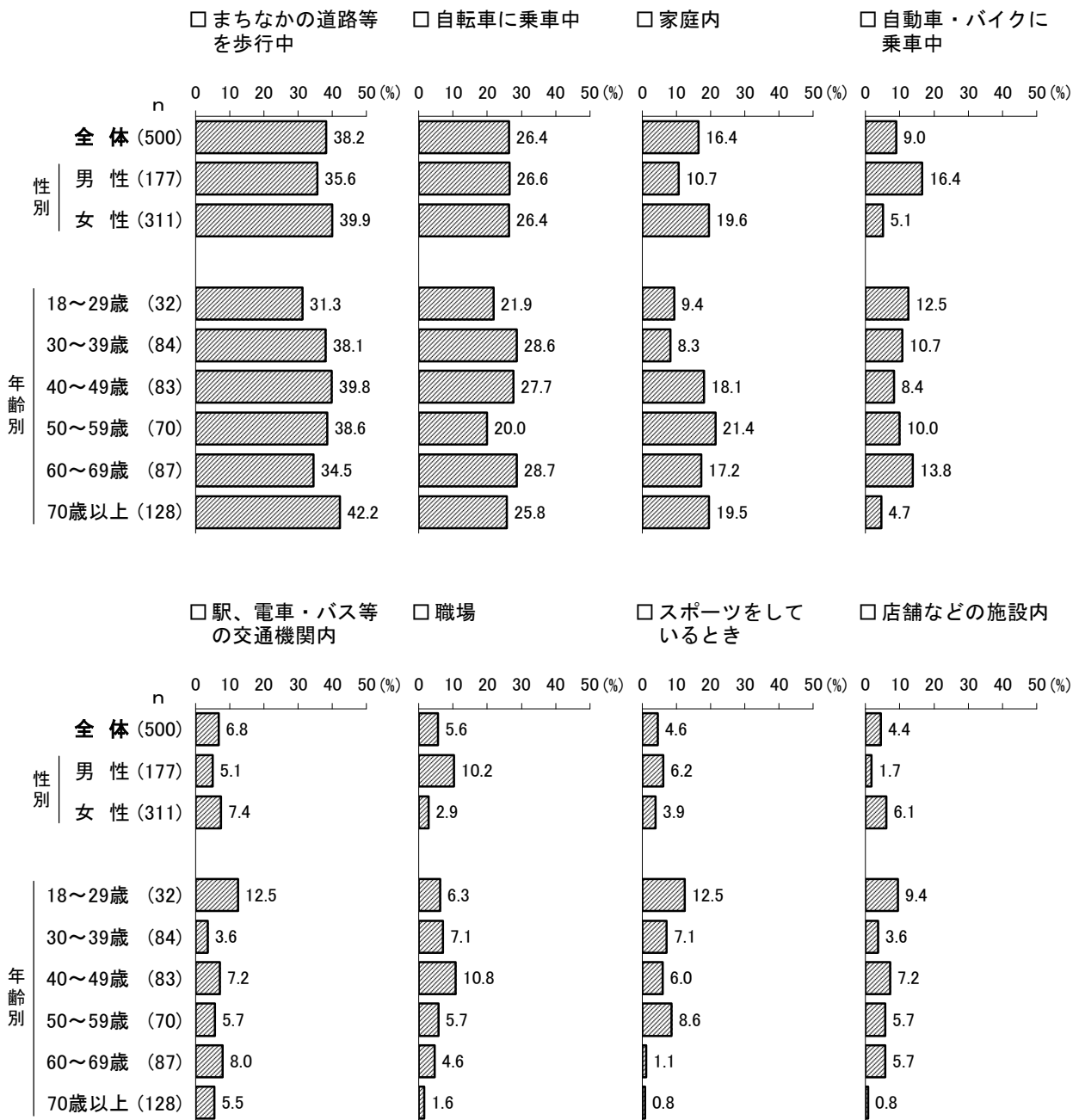
【性別・年齢別】

- 性別で見ると、「転倒や転落など」は女性が（32.8%）が男性（27.1%）よりも5.7ポイント高くなっている。
- 年齢別で見ると、「交通事故」は30～39歳（54.8%）と40～49歳（54.2%）で5割台半ばとなっている。「転倒や転落など」は70歳以上（41.4%）で唯一4割を超えている。



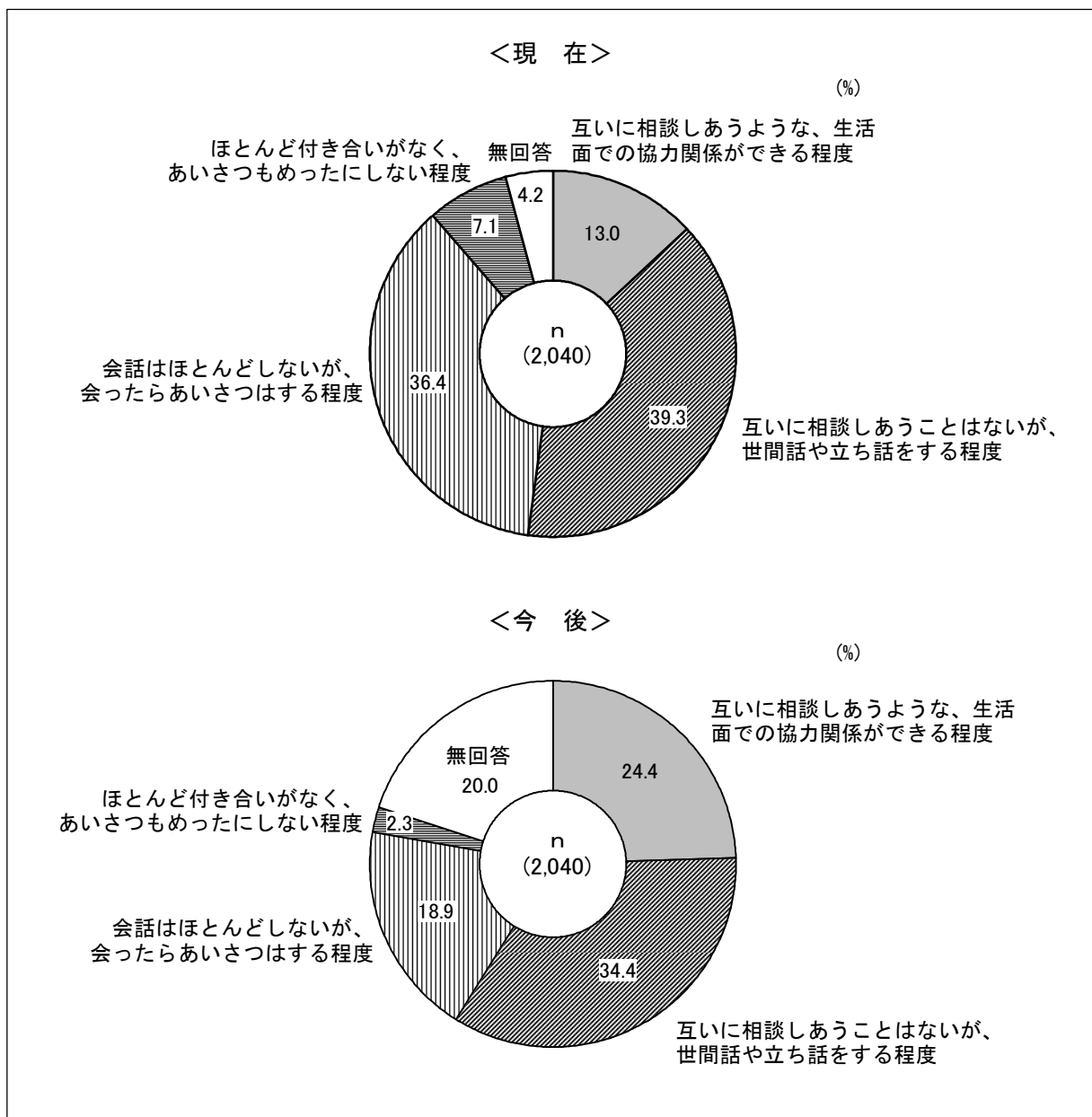
- 性別で見ると、「まちなかの道路等を歩行中」は女性が（39.9%）が男性（35.6%）よりも4.3ポイント高くなっている。「家庭内」でも女性（19.6%）が男性（10.7%）よりも8.9ポイント高くなっている。逆に、「自転車・バイクに乗車中」は男性（16.4%）が女性（5.1%）よりも11.3ポイント高くなっている。
- 年齢別で見ると、「まちなかの道路等を歩行中」は70歳以上（42.2%）で唯一4割を超えている。「自転車に乗車中」は60～69歳（28.7%）と30～39歳（28.5%）で約3割となっている。

<けがや事故、ヒヤリ体験の場所・状況（上位8項目）>



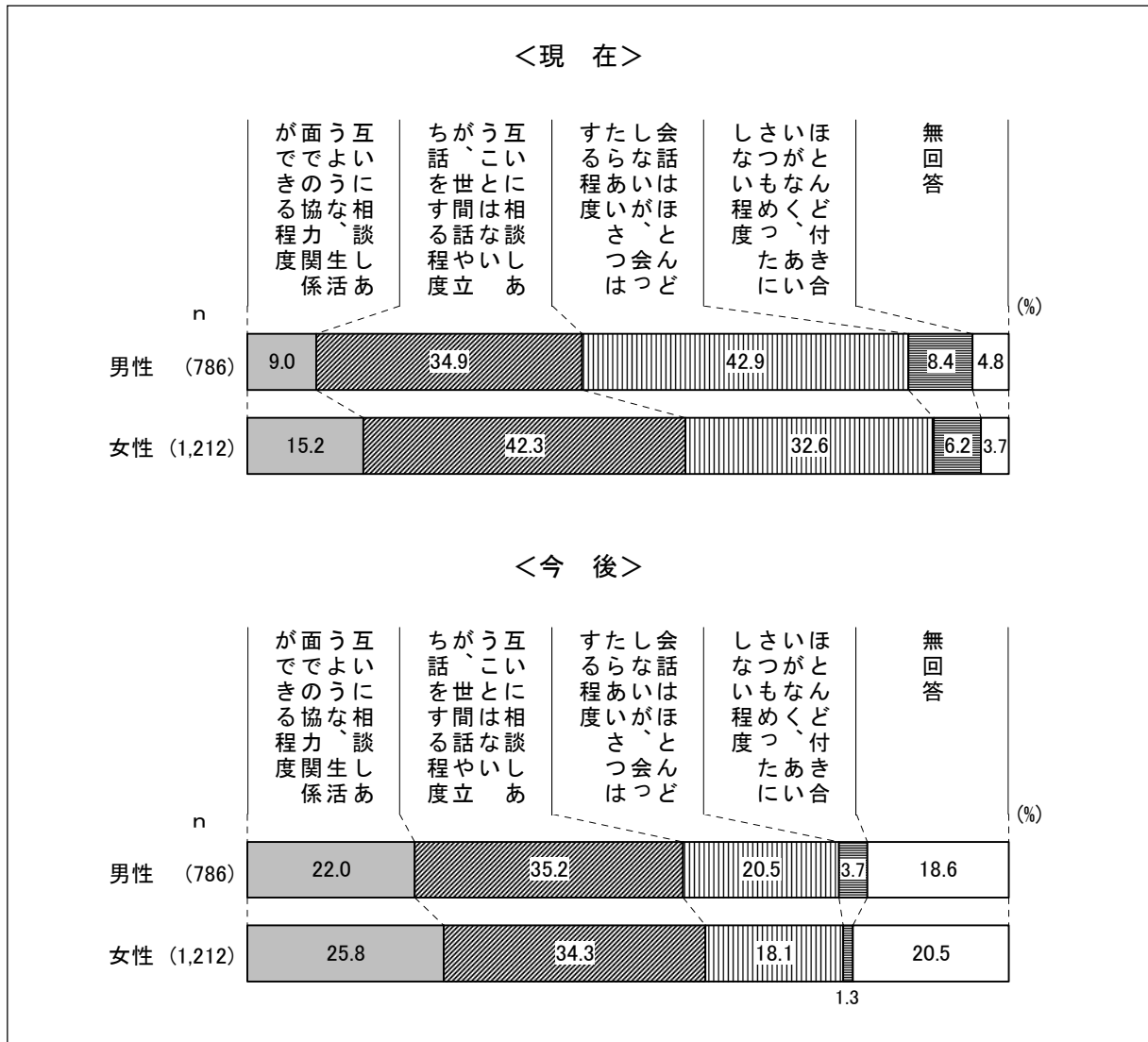
## 7 近所の方との付き合いの程度〔問11〕

- 近所の方との付き合いの程度について聞いたところ、現在では、「互いに相談しあうことはないが、世間話や立ち話をする程度」(39.3%)が約4割と最も高く、以下、「会話はほとんどしないが、会ったらあいさつはする程度」(36.4%)、「互いに相談しあうような、生活面での協力関係ができる程度」(13.0%)などとなっている。
- 今後では、「互いに相談しあうことはないが、世間話や立ち話をする程度」(34.4%)が3割台半ばと最も高く、以下、「互いに相談しあうような、生活面での協力関係ができる程度」(24.4%)、「会話はほとんどしないが、会ったらあいさつはする程度」(18.9%)などとなっている。
- 現在と今後を比較すると、「互いに相談しあうような、生活面での協力関係ができる程度」は、現在よりも今後の方が11.4ポイント高くなっている。



【性別】

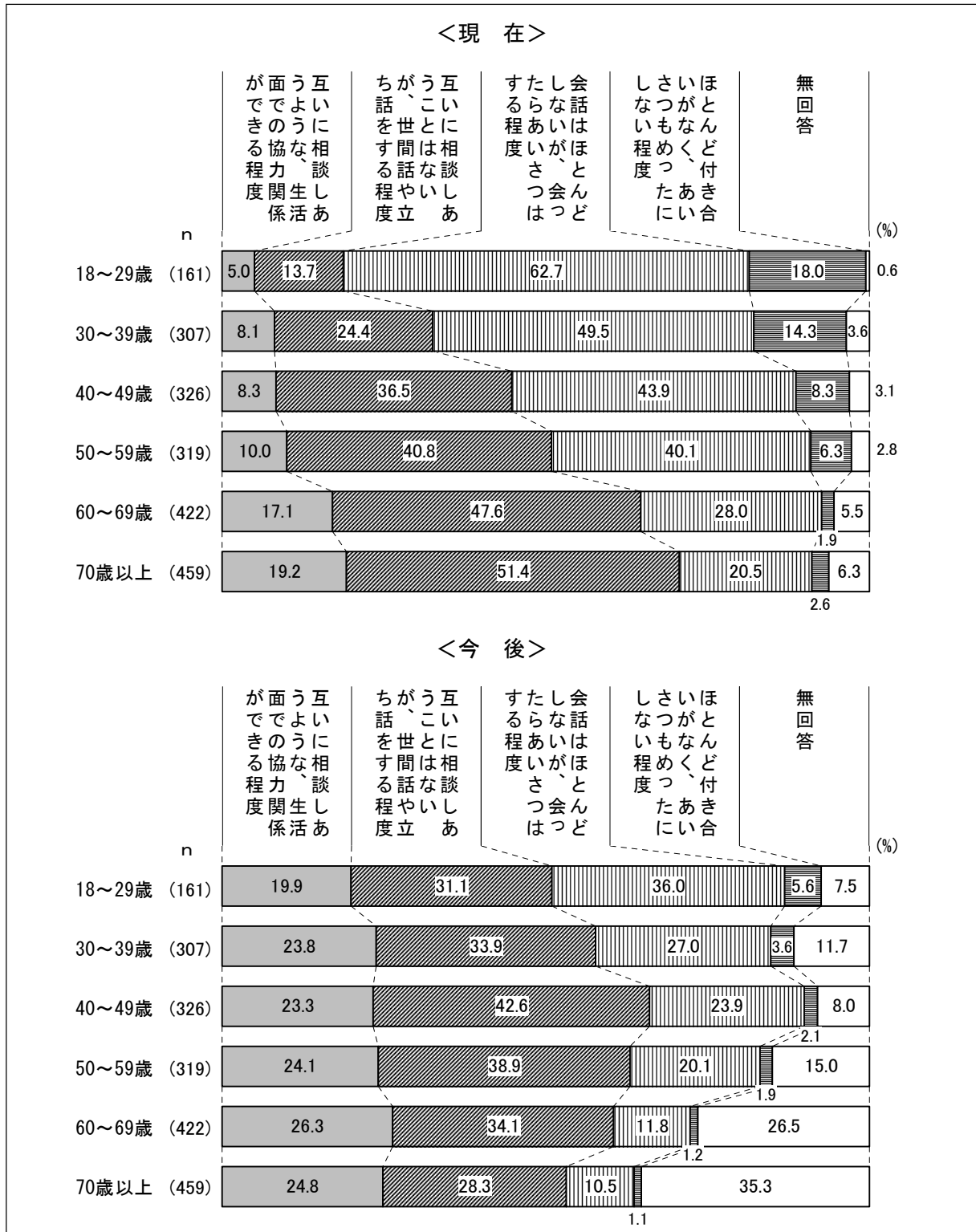
- 現在では、「互いに協力しあうような、生活面での協力関係ができる程度」は女性（15.2%）が男性（9.0%）よりも6.2ポイント高く、「互いに相談しあうことはないが、世間話や立ち話をする程度」でも女性（42.3%）が男性（34.9%）よりも7.4ポイント高くなっている。逆に、「会話はほとんどしないが、ちょっとした会話はほとんどない程度」は男性（42.9%）が女性（32.6%）よりも10.3ポイント高くなっている。
- 今後では、「互いに相談しあうような、生活面での協力関係ができる程度」は男女で<現在>よりも高くなっている。





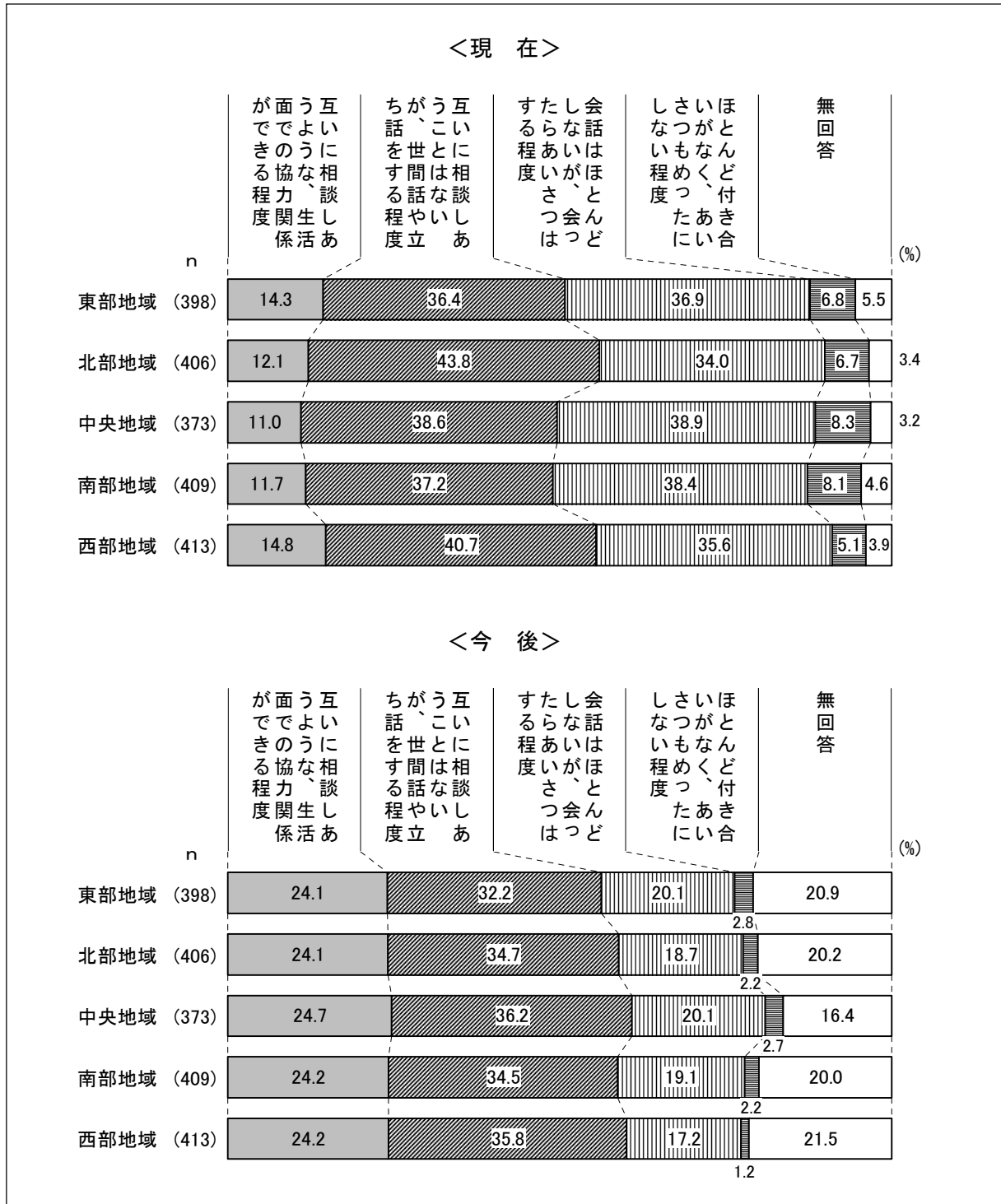
【年齢別】

- <現在>では、「互いに相談しあうような、生活面での協力関係ができる程度」は年齢が上がるほど高くなり、70歳以上（19.2%）で約2割となっている。また、「互いに相談しあうことはないが、世間話や立ち話をする程度」も同様の傾向がみられ70歳以上（51.4%）で唯一5割を超えている。
- <今後>では、「互いに相談しあうような、生活面での協力関係ができる程度」は<現在>よりも全ての年代で高くなっており、20歳代（19.9%）を除く全ての年代で2割台となっている。「互いに相談しあうことはないが、世間話や立ち話をする程度」は40～49歳（42.6%）で唯一4割を超えている。



【地域別】

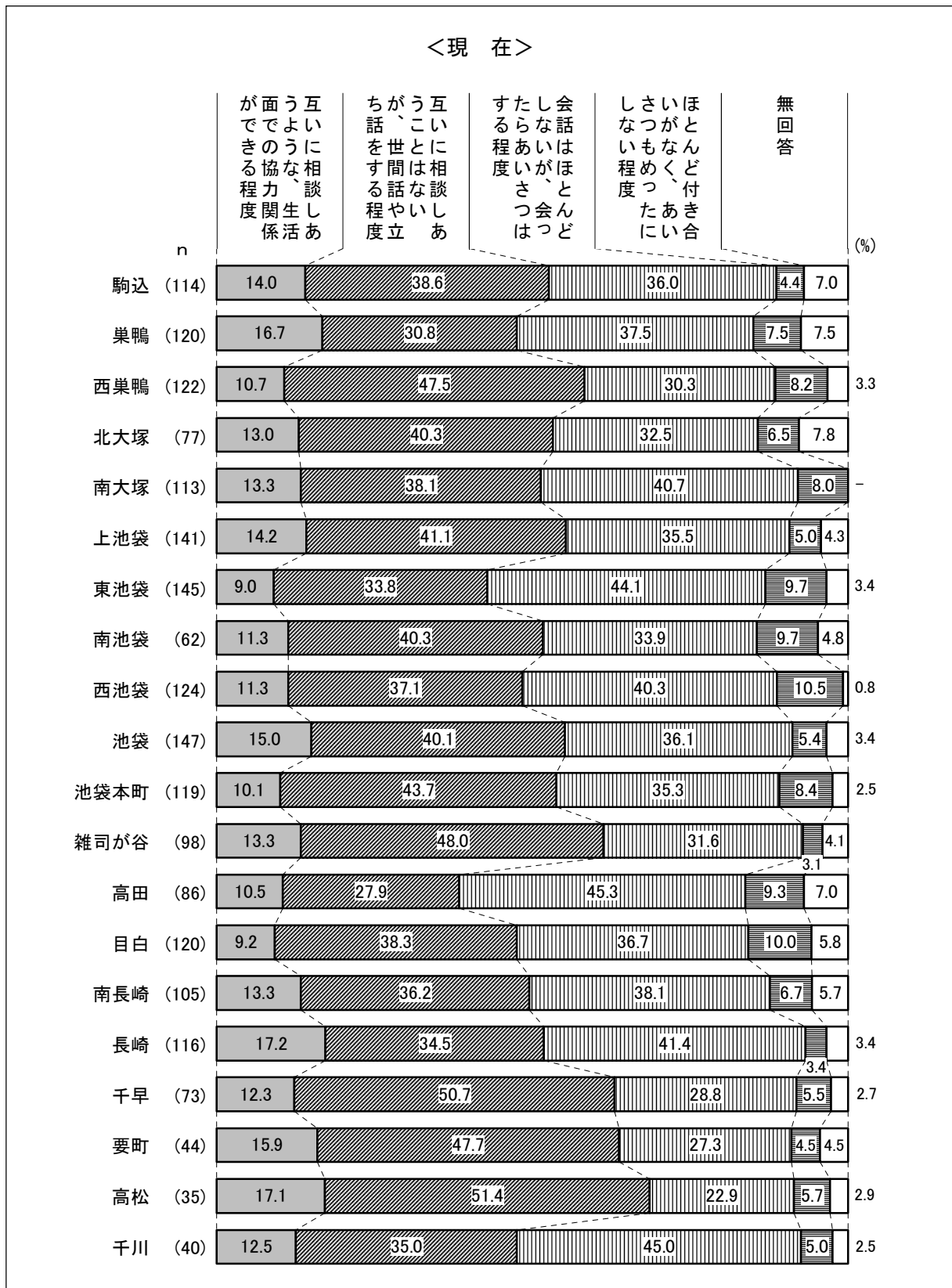
- <現在>では、「互いに相談しあうことはないが、世間話や立ち話をする程度」は北部地域（43.8%）と西部地域（40.7%）で4割台となっている。
- <今後>では、「互いに協力しあうような、生活面での協力関係ができる程度」はどの地域でも現在よりも高くなっている。



※ 地域の具体的区分は3ページの(6)居住地域名を参照

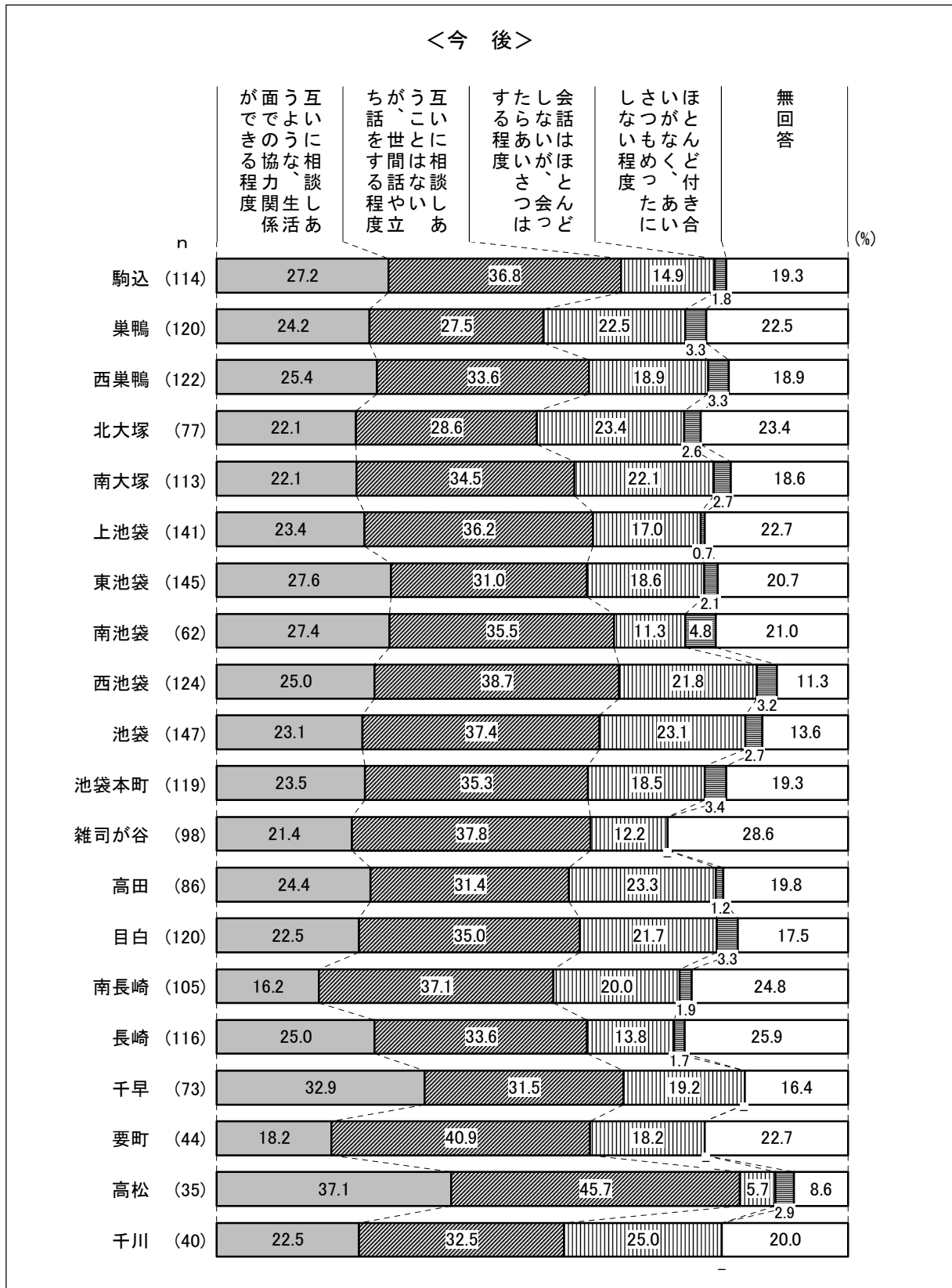
【町別】

- <現在>では、「互いに相談しあうような、生活面での協力関係ができる程度」は長崎（17.2%）と高松（17.1%）、巢鴨（16.7%）で1割台後半となっている。



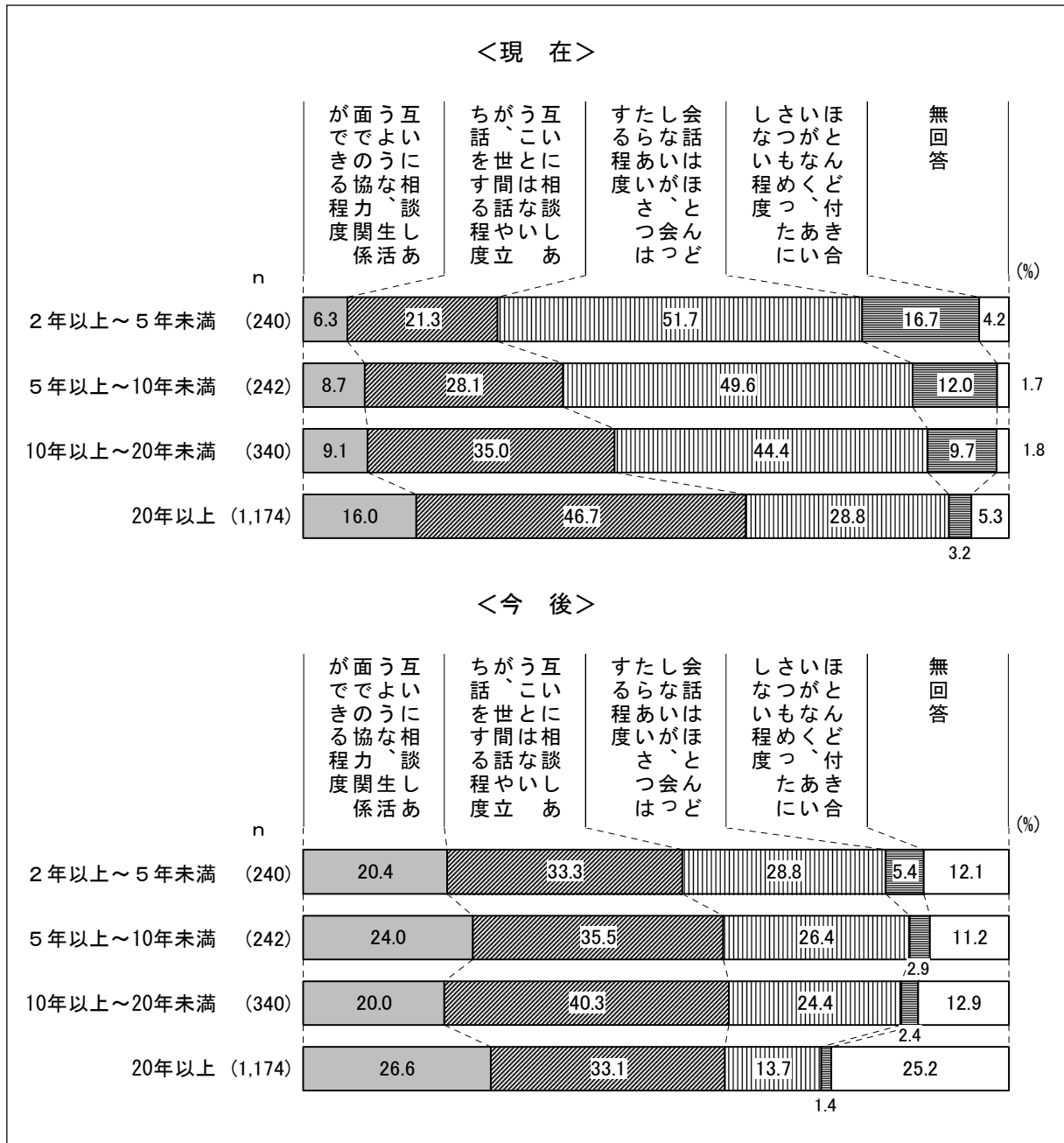
【町別】

- <今後>では、全ての町で「互いに相談しあうような、生活面での協力関係ができる程度」は<現在>よりも高くなっている。



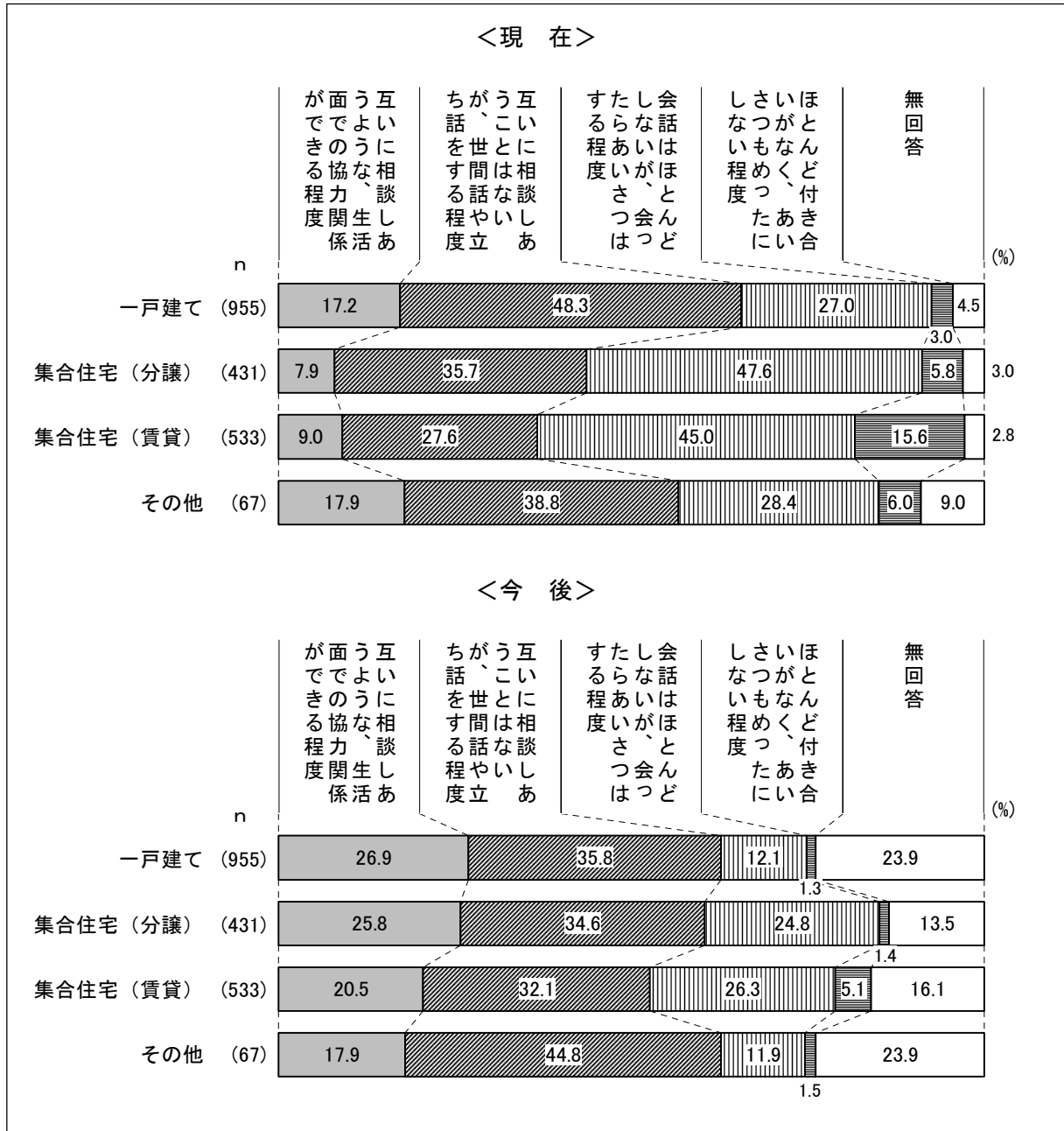
【居住年数別】

- <現在>では、「互いに協力しあうような、生活面での協力関係ができる程度」は居住年数が長くなるほど高くなり、「互いに相談しあうことはないが、世間話や立ち話をする程度」も同様の傾向がみられ、20年以上では合計すると62.7%と高い割合となっている。逆に、「会話はほとんどしないが、会ったらいさつはする程度」と「ほとんど付き合いがなく、あいさつもめったにしない程度」は居住年数が短くなるほど高くなっている。
- <今後>では、「互いに相談しあうような、生活面での協力関係ができる程度」は、居住年数の長さに関わらず、<現在>よりも高くなっている。



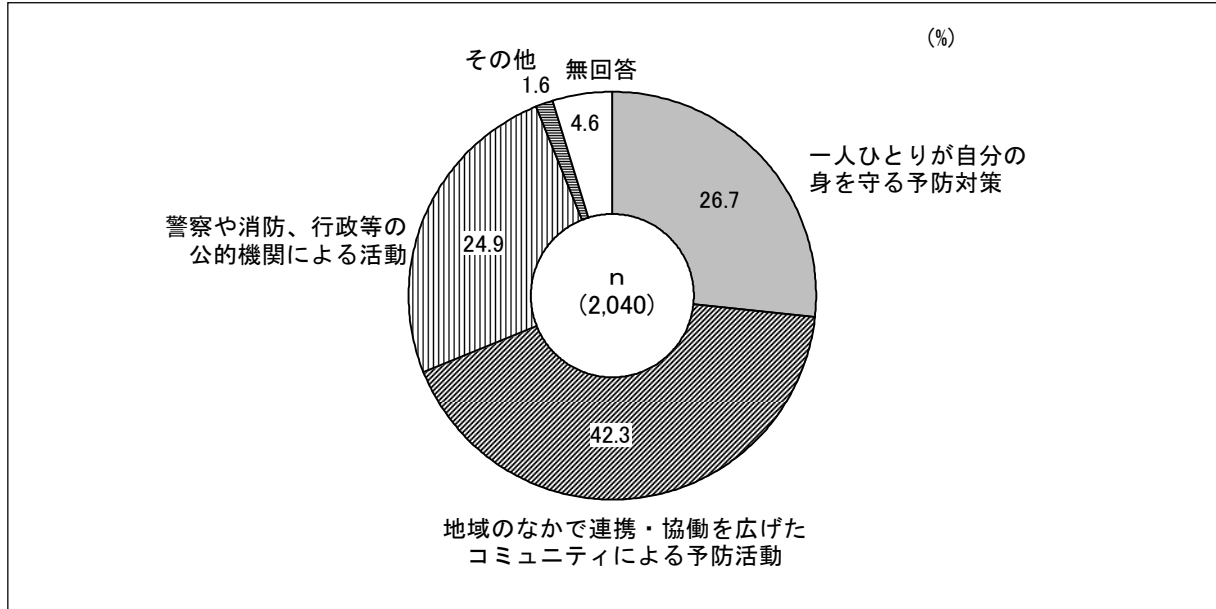
【住まい形態別】

- <現在>では、「互いに相談しあうような、生活面での協力関係ができる程度」と「互いに相談しあうことはないが、世間話や立ち話をする程度」の合計では一戸建てが65.5%と最も高くなっている。
- <今後>では、「互いに相談しあうような、生活面での協力関係ができる程度」はどの住まい形態でも<現在>よりも高くなっている。



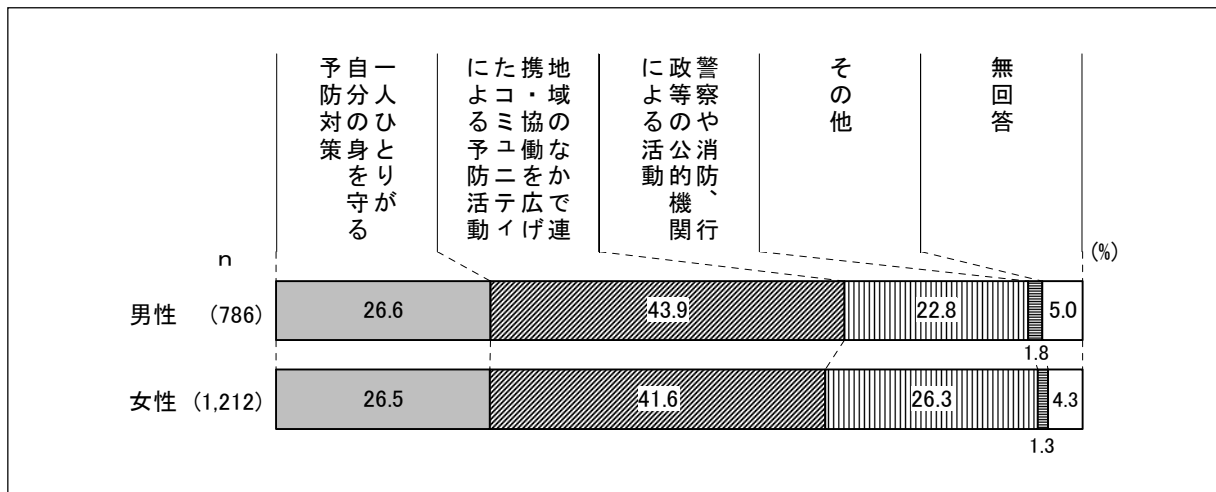
## 8 地域の安全・安心を守るために重要になること〔問12〕

- 地域の安全・安心を守るために重要になることについて聞いたところ、「地域のなかで連携・協働を広げたコミュニティによる予防活動」(42.3%)が4割を超えて最も高く、以下、「一人ひとりが自分の身を守る予防対策」(26.7%)、「警察や消防、行政等の公的機関による活動」(24.9%)などとなっている。



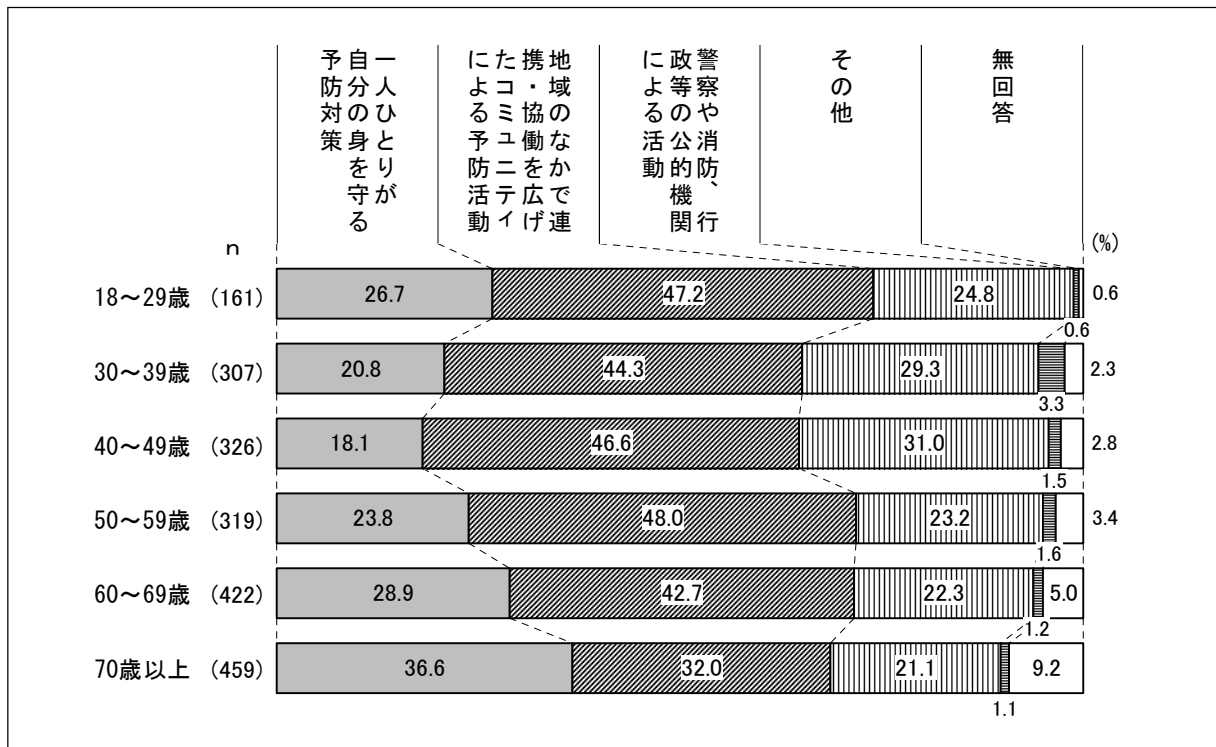
### 【性別】

- 全ての項目で大きな違いはみられない。



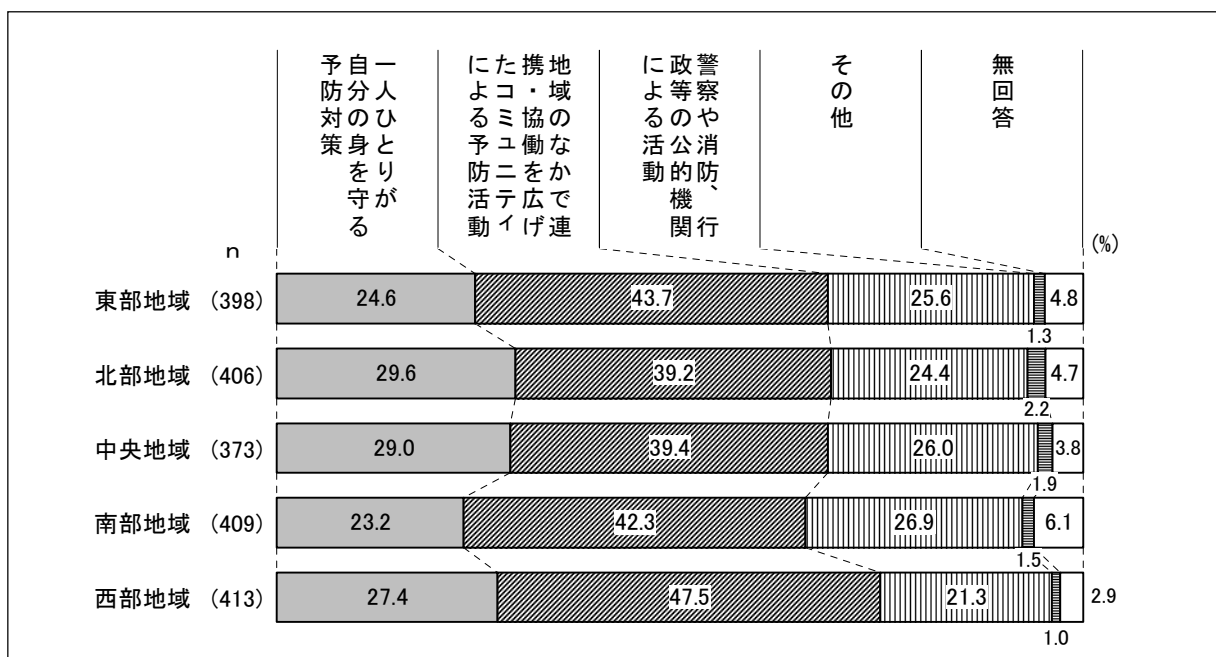
【年齢別】

- 「一人ひとりが自分の身を守る予防対策」は70歳以上（36.6%）で3割台半ばとなっている。
- 70歳以上を除き、「地域のなかで連携・協働を広げたコミュニティによる予防活動」が「一人ひとりが自分の身を守る予防対策」よりも高くなっている。



【地域別】

- 「一人ひとりが自分の身を守る予防対策」は北部地域（29.6%）と中央地域（29.0%）で約3割となっている。
- 「地域のなかで連携・協働を広げたコミュニティによる予防活動」は西部地域（47.5%）が最も高くなっている。

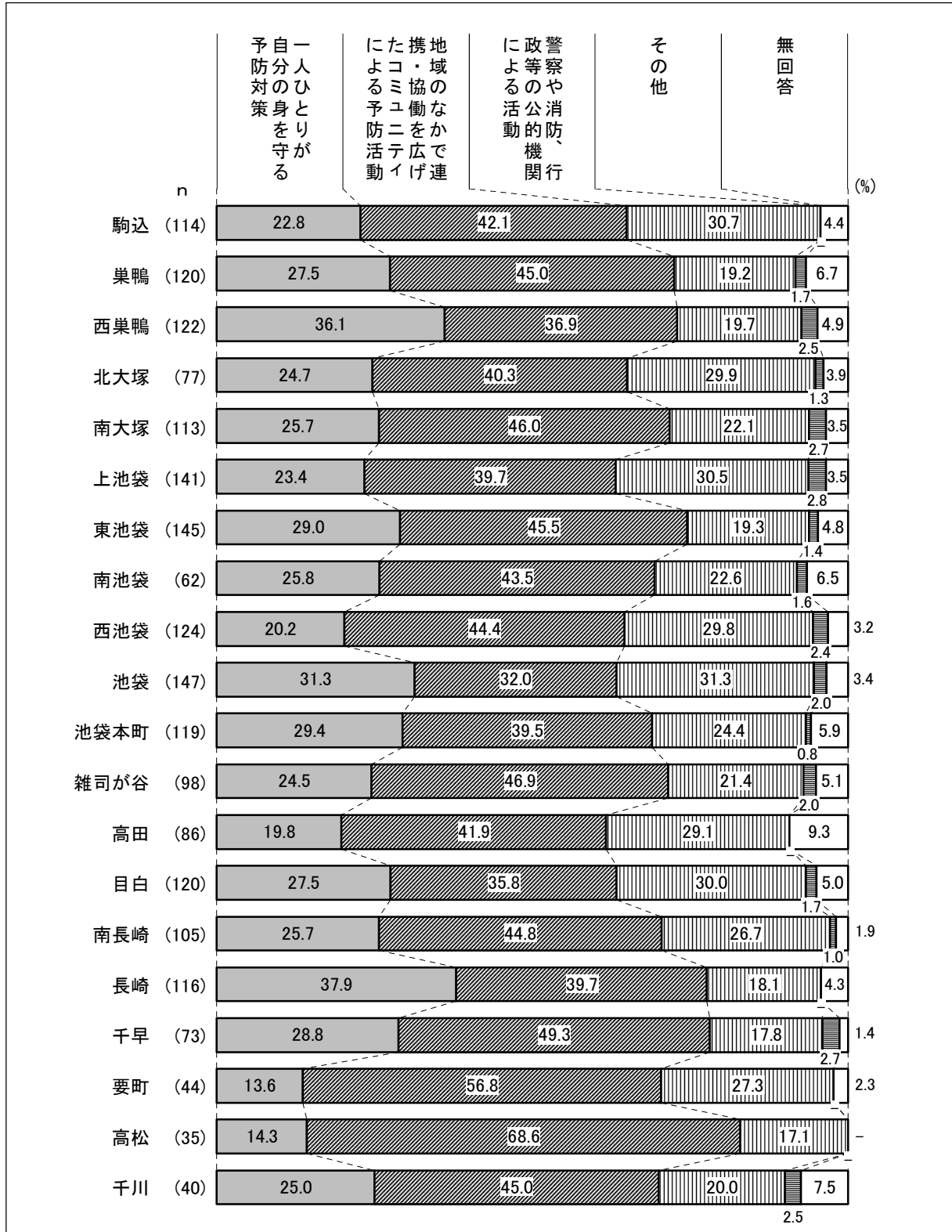


※ 地域の具体的区分は3ページの(6)居住地域名を参照



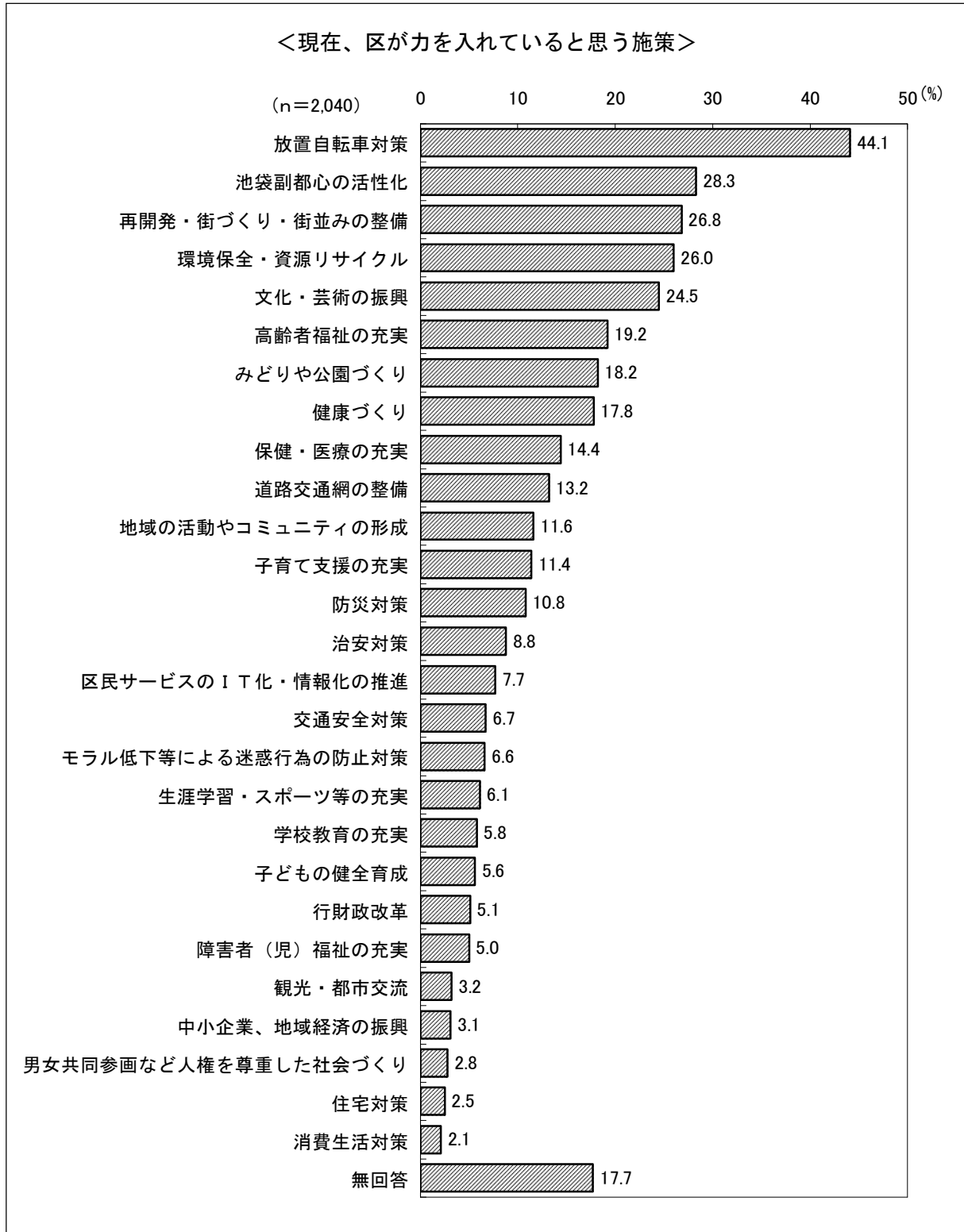
【町別】

- 「一人ひとりが自分の身を守る予防対策」は長崎（37.9%）と西巣鴨（36.1%）で高くなっている。
- 「地域のなかで連携・協働を広げたコミュニティによる予防活動」は高松（68.6%）で約7割と最も高くなっている。

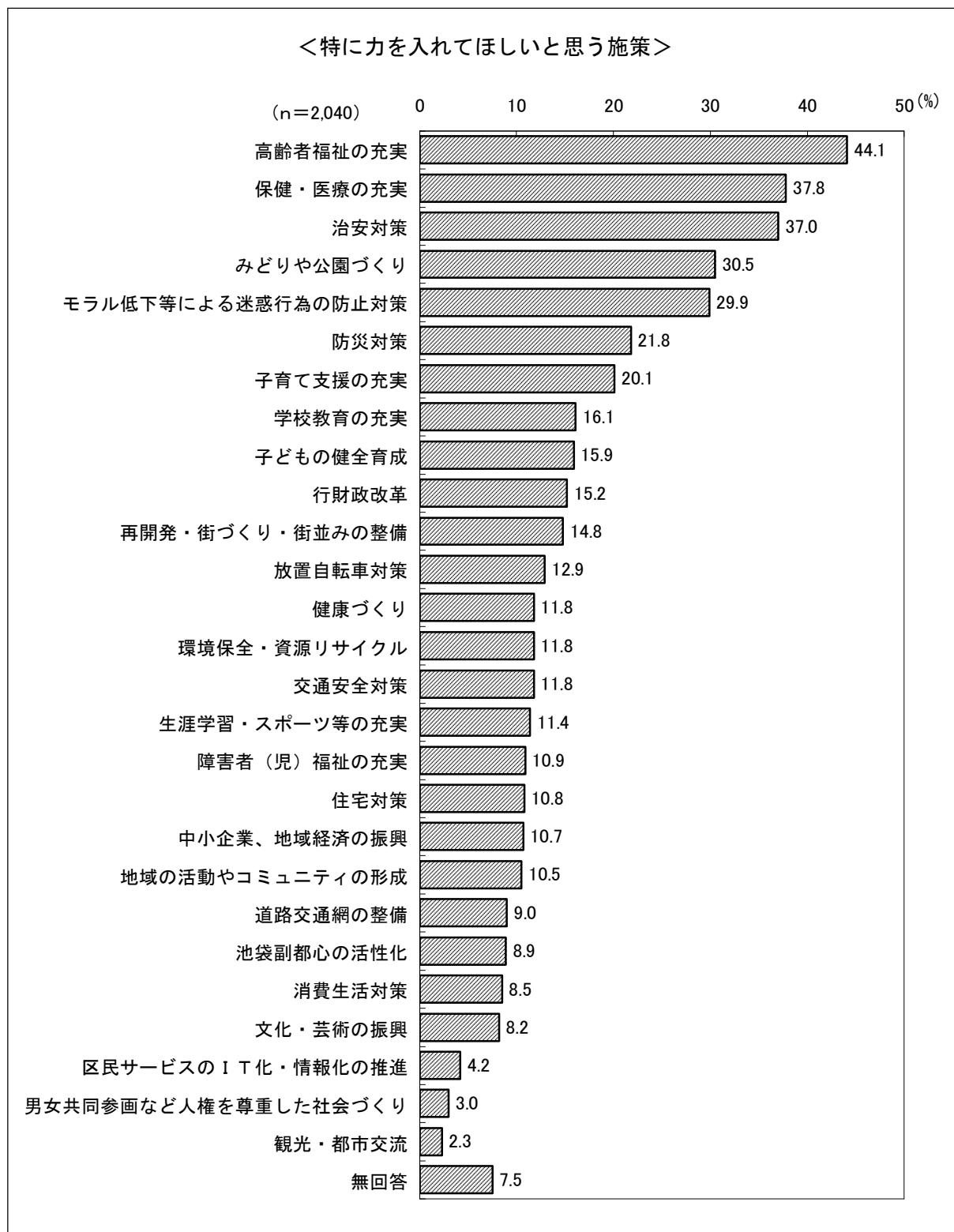


## 9 区政全般への要望〔問13〕

- 区政全般への要望について聞いたところ、現在、区が力を入れていると思う施策は、「放置自転車対策」(44.1%)が4割台半ばと最も高く、以下、「池袋副都心の活性化」(28.3%)、「再開発・街づくり・街並みの整備」(26.8%)などとなっている。



- 特に力を入れてほしいと思う施策は、「高齢者福祉の充実」(44.1%)が4割台半ばと最も高く、「保健・医療の充実」(37.8%)、「治安対策」(37.0%)などとなっている。



【経年比較】

- 前回の調査と比較すると、上位10項目中で、平成19年度よりも順位が高くなったものは、「保健・医療の充実」「みどりや公園づくり」「子育て支援の充実」「学校教育の充実」「行財政改革」となっている。
- 上位10項目中で、平成19年度よりも順位が低くなったものは、「治安対策」「モラル低下等による迷惑行為の防止対策」「防災対策」「子どもの健全育成」となっている。

<平成22年度>

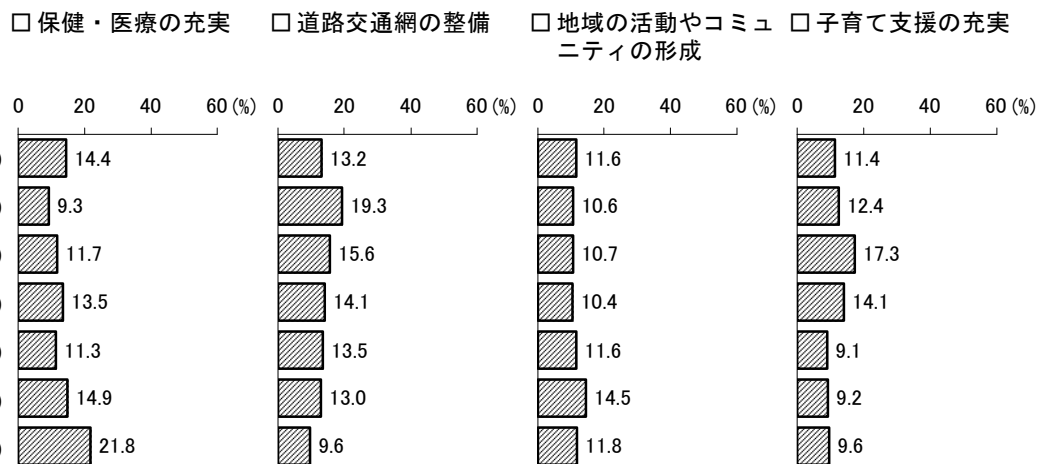
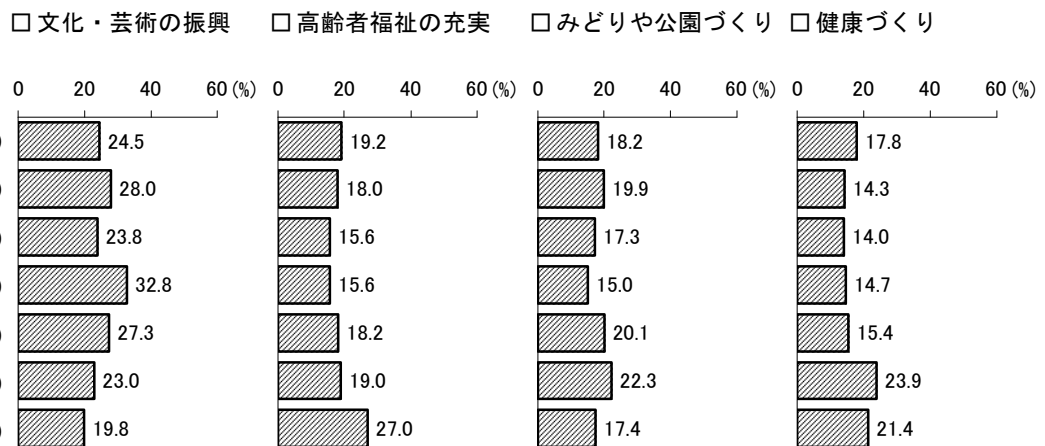
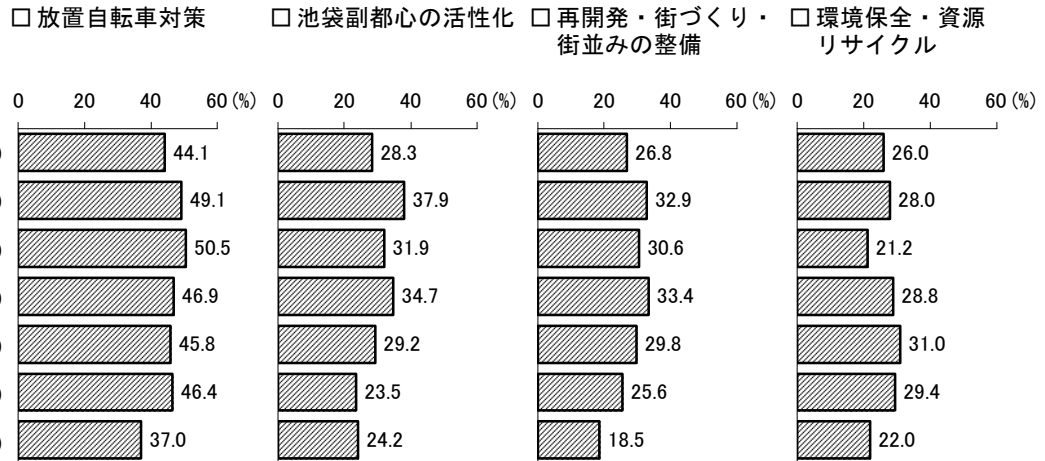
<平成19年度>

順位	施策	%	順位比較	順位	%
1	高齢者福祉の充実	44.1	←	1	45.5
2	保健・医療の充実	37.8	↑	4	35.3
3	治安対策	37.0	↓	2	43.0
4	みどりや公園づくり	30.5	↑	6	33.1
5	モラル低下等による迷惑行為の防止対策	29.9	↓	3	37.9
6	防災対策	21.8	↓	5	34.9
7	子育て支援の充実	20.1	↑	9	19.3
8	学校教育の充実	16.1	↑	10	19.0
9	子どもの健全育成	15.9	↓	8	19.9
10	行財政改革	15.2	↑	13	14.1
11	再開発・街づくり・街並みの整備	14.8	↑	12	17.0
12	放置自転車対策	12.9	↓	7	25.8
13	健康づくり	11.8	↑	17	11.8
14	環境保全・資源リサイクル	11.8	↓	11	18.0
15	交通安全対策	11.8	↑	19	10.9
16	生涯学習・スポーツ等の充実	11.4	↓	14	13.4
17	障害者（児）福祉の充実	10.9	↓	15	13.1
18	住宅対策	10.8	↓	16	12.5
19	中小企業、地域経済の振興	10.7	↓	18	11.3
20	地域の活動やコミュニティの形成	10.5	↑	22	7.7
21	道路交通網の整備	9.0	↑	23	7.7
22	池袋副都心の活性化	8.9	↓	20	9.7
23	消費生活対策	8.5	↑	24	6.9
24	文化・芸術の振興	8.2	↓	21	9.6
25	区民サービスのIT化・情報化の推進	4.2	←	25	5.2
26	男女共同参画など人権を尊重した社会づくり	3.0	↑	27	1.3
27	観光・都市交流	2.3	↓	26	1.6

【年齢別】

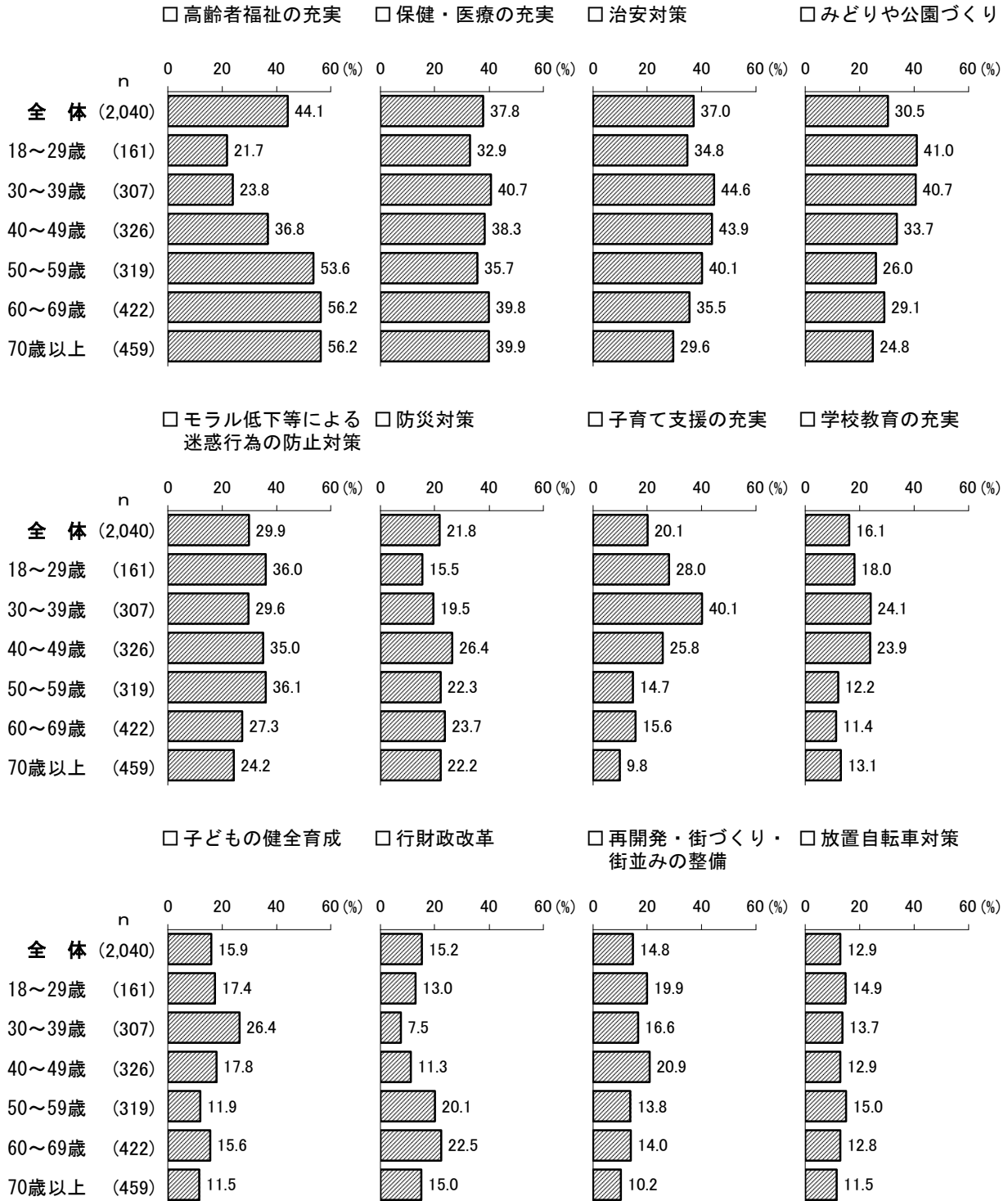
- 「放置自転車対策」は70歳以上（37.0%）を除く全ての年齢で4割を超えている。
- 「池袋副都心の活性化」は18～29歳（37.9%）で最も高く、40～49歳（34.7%）、30～39歳（31.9%）などと続いている。

<現在、区が力を入れていると思う施策（上位12項目）>



- 「高齢者福祉の充実」は年齢が上がるほど高くなり、60歳以上（56.2%）で5割台半ばとなっている。
- 「治安対策」は18～29歳（34.8%）を除いて年齢が下がるほど高くなり、30～39歳（44.6%）と40～49歳（43.9%）で4割台半ばとなっている。

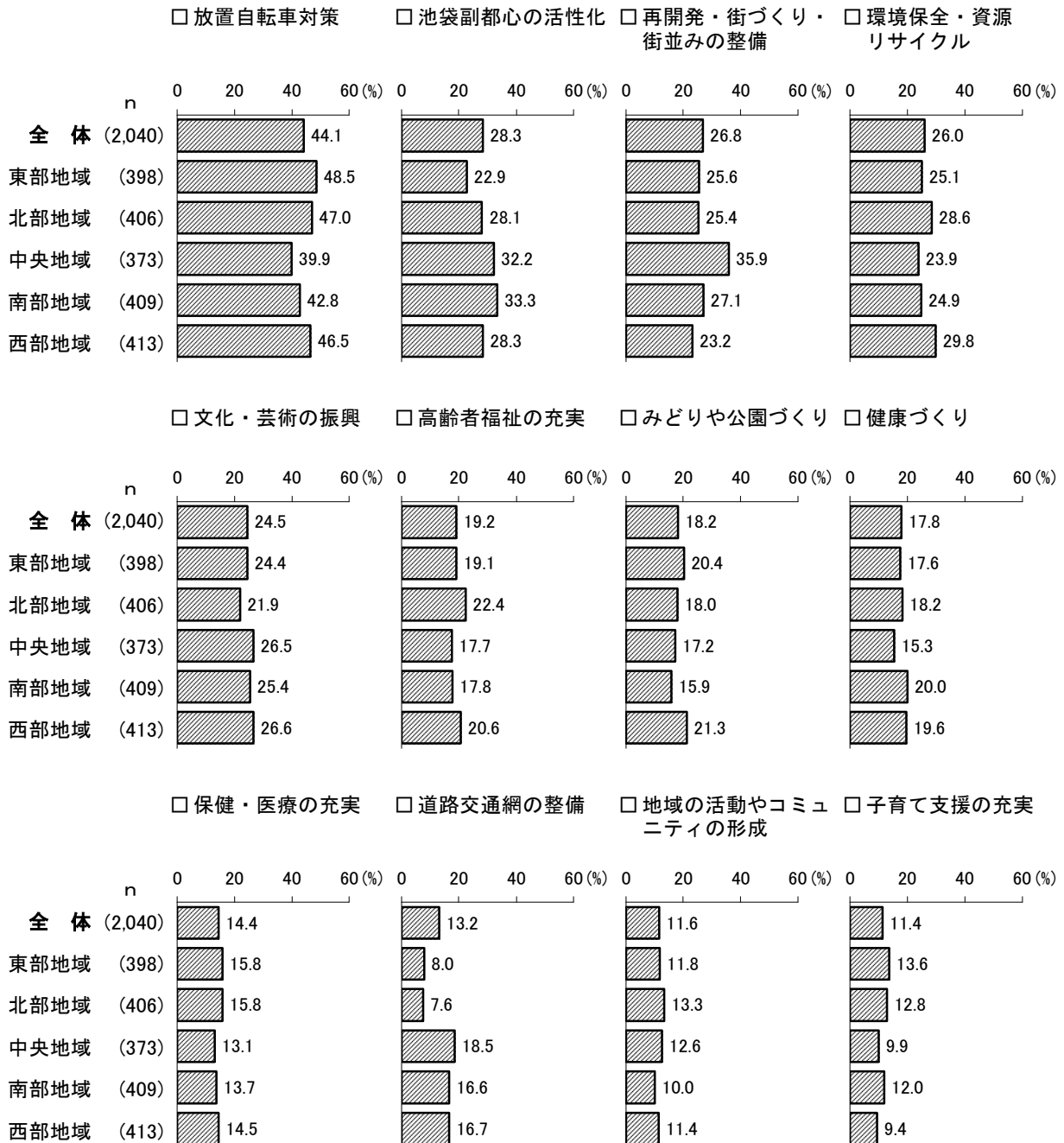
<特に力を入れてほしいと思う施策（上位12項目）>



【地域別】

- 「放置自転車対策」は東部地域（48.5%）で約5割となっている。
- 「池袋副都心の活性化」は南部地域（33.3%）と中央地域（32.2%）で3割台となっている。
- 「再開発・街づくり・街並みの整備」は中央地域（35.9%）で3割台半ばとなっている。

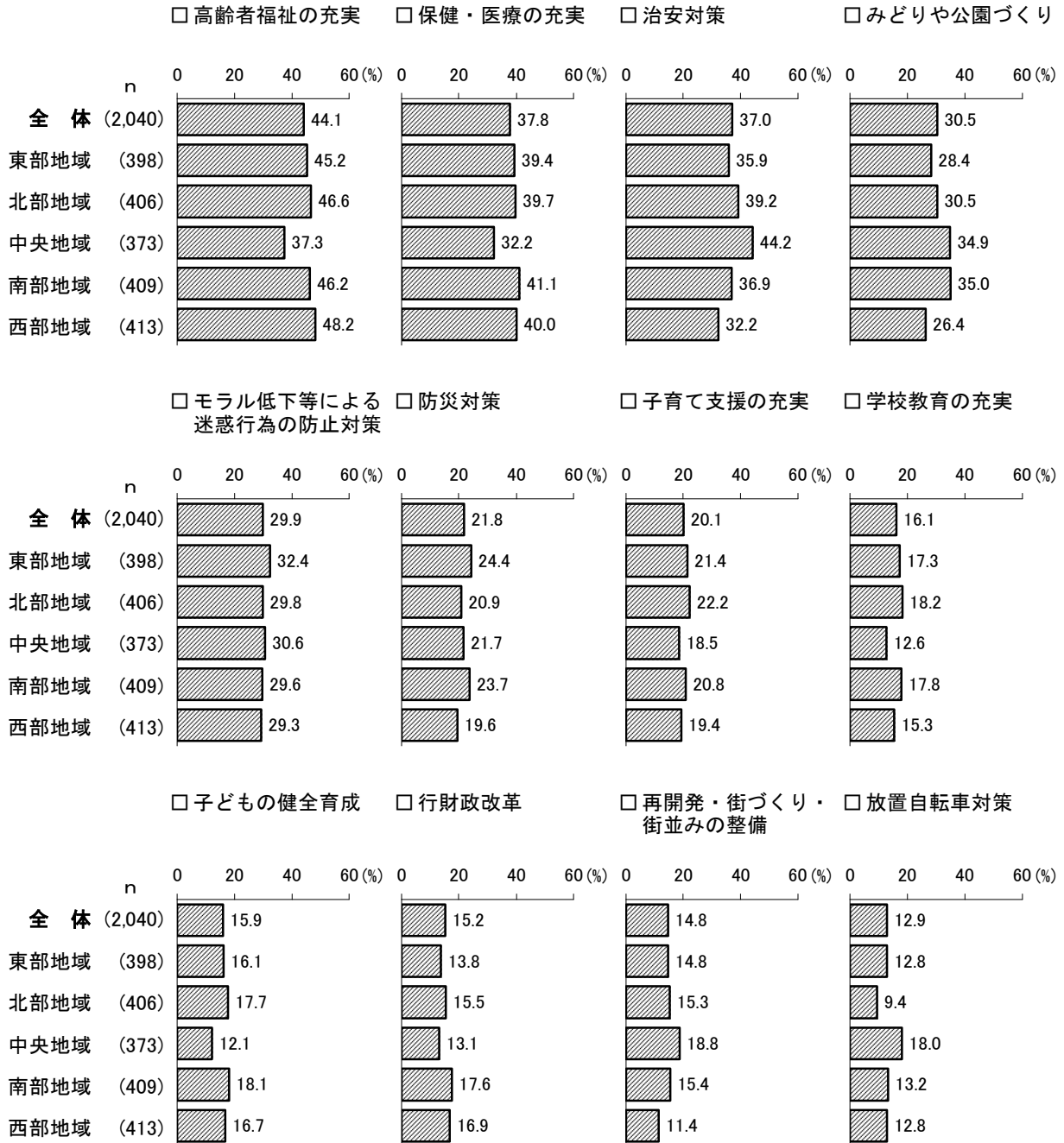
<現在、区が力を入れていると思う施策（上位12項目）>



※ 地域の具体的な区分は3ページの(6)居住地域名を参照

- 「高齢者福祉の充実」は中央地域（37.3%）で唯一3割台となっている。
- 「保健・医療の充実」も中央地域（32.3%）で唯一3割台前半となっている。

<特に力を入れてほしいと思う施策（上位12項目）>



※ 地域の具体的区分は3ページの(6)居住地域名を参照



## ● 総合分析

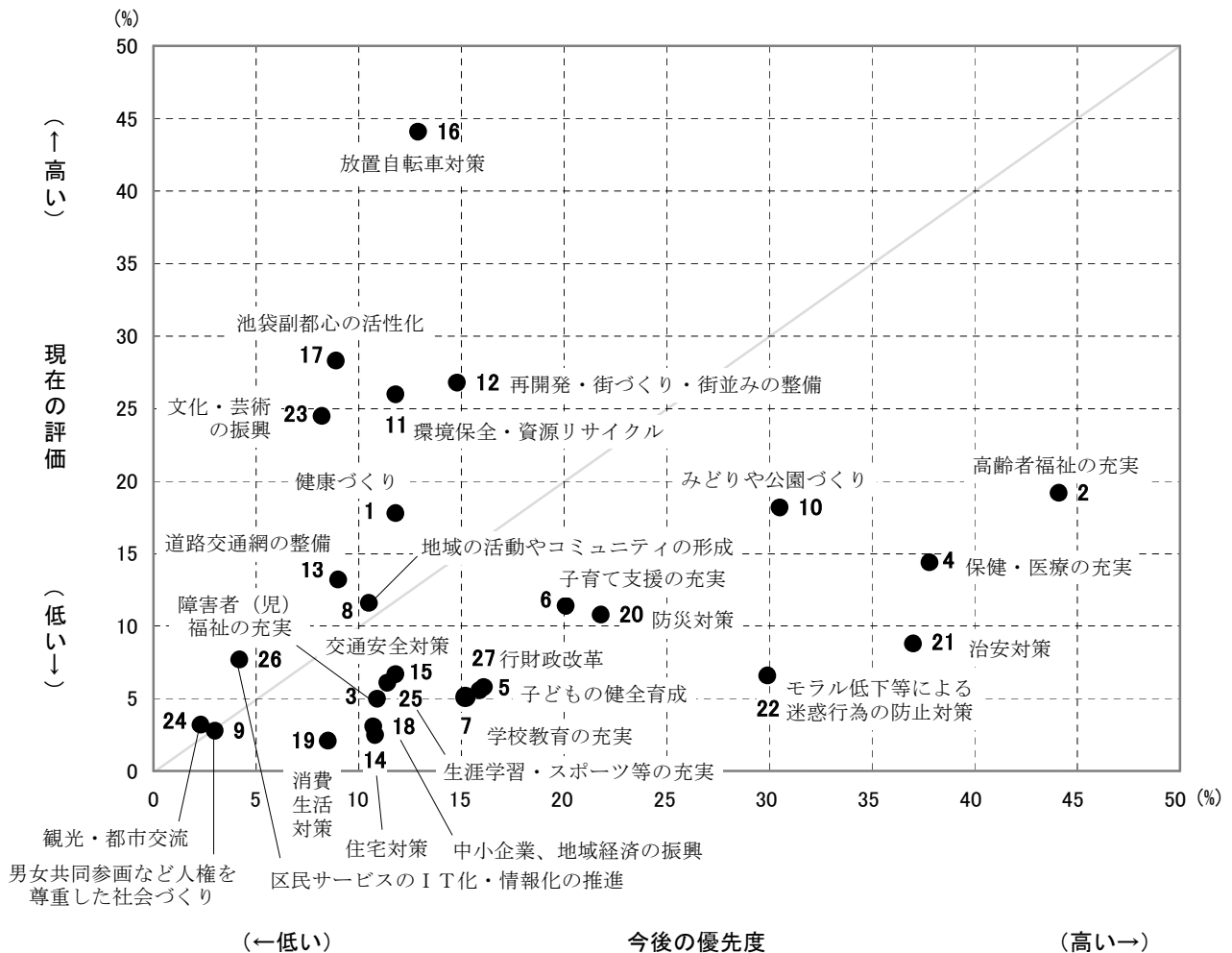
「現在、区が力を入れていると思う施策（現在の評価）」と「特に力を入れてほしいと思う施策（今後の優先度）」の調査結果を下記により数値化し、この二つの評価を軸として、総合分析を行った。

**【数値化の方法】**  
 それぞれの設問について、下記のとおり数値化した。

- 現在の評価  
各項目の回答割合（％）
- 今後の優先度  
各項目の回答割合（％）

このグラフで右下に位置していればいるほど、「現在の評価が低い、今後の優先度は高い」ことになり、改善に向けて力を入れていく必要があるということになる。

- 現在の評価が低い、今後の優先度は高い項目は、優先度が高い順に「高齢者福祉の充実」「保健・医療の充実」「治安対策」となっている。





## Ⅲ. 調査票



# 協働のまちづくりに関する区民意識調査

～ 調査ご協力をお願い ～

区民の皆さまには、日ごろから区政の運営にご理解とご協力をいただきありがとうございます。豊島区では、一人ひとりの区民をはじめ、町会や自治会、NPO、学校など、地域の多様な主体の参加と協働の仕組みづくりに取り組んでいます。

この調査は、日常生活のなかで感じになっている地域の生活環境、区の政策等について、広くご意見・ご要望をおうかがいし、これからの計画づくりや行政サービスのあり方の検討、区民との協働の仕組みづくり等の基礎として、活かしていくために実施するものです。

これからの豊島区をつくるのは、ほかでもない、区民一人ひとりのまちづくりへの参加、そして協働であると思います。

お忙しいこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

平成22年6月

豊島区長 高野之夫



## 《ご記入にあたって》

1. この調査は、区内在住の18歳以上の方から無作為に選ばせていただいた5,000人を対象として実施するものです。なお、2、3年前と比べた最近の地域の生活環境についての設問があることから、居住年数2年以上の方を対象としています。
2. アンケートのご回答は、原則としてあて名のご本人が行ってください。  
(ご本人の回答が困難な場合には、ご家族の方に相談いただいても結構です。)
3. 回答の内容は、全て統計的に処理し、回答者が特定されることはありません。また、郵送に使用した皆様の個人情報、他の目的に流用することはありません。お考えになっていることや、感じになっていることをお答えください。

※ご記入いただいた調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒に入れ、

**6月30日(水)** までにポストにご投函ください。

封筒には、バーコードがついていますが、これは返送先の郵便番号を示すもので、個人を特定するものではありません。

記入上の不明な点、調査についてのお問い合わせは下記までお願いします。

【連絡先】 豊島区 政策経営部 企画課 企画調整グループ

【電話】 03-3981-4201 (直通)

【FAX】 03-3981-1021

# I. 豊島区の印象について

## 1. 住み心地

問1-1 あなたにとって現在お住まいの地域の住み心地はどうか。(1つに○)

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1. 住み良い         | 3. どちらかといえば住みにくい |
| 2. どちらかといえば住み良い | 4. 住みにくい         |
|                 | 5. わからない         |

問1-2 以前と比べて住み心地に変化はありますか。(1つに○)

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| 1. 以前より住み良くなった  | 3. 変わらない |
| 2. 以前より住みにくくなった | 4. わからない |

▶「問1-2で「1. 以前より住み良くなった」または「2. 以前より住みにくくなった」とお答えの方におたずねします」

問1-3 住み良くなった、または、住みにくくなったと考える理由は何ですか。代表的なことについて1つお答えください。(自由回答)

## 2. 定住意向

問2 あなたはこれからも現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

- |                          |
|--------------------------|
| 1. いつまでも住み続けたいと思っている     |
| 2. 当分住み続けたいと思っている        |
| 3. 住み続けたいが転居せざるをえない事情がある |
| 4. 他の地域・区市町村に転居したいと思っている |
| 5. わからない                 |

## 3. 地域への愛着

問3 あなたは現在お住まいの地域に愛着を感じますか。(1つに○)

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| 1. 愛着を感じている   | 3. あまり愛着を感じていない |
| 2. やや愛着を感じている | 4. 愛着を感じていない    |
|               | 5. どちらともいえない    |

## II. 地域の生活環境について

### 1. 地域の生活環境の評価と今後の優先度

問4 以下の設問は、地域の生活環境を10のグループに分けた上で、そのグループごとに評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿を表したものです。

あなたの生活実感やイメージにもとづき、最も近いと思われるものを選んでください。

- ◎ 「最近の評価」の欄は、2、3年前と比べた評価で、あてはまるところに1つずつ○をつけてください。
- ◎ 「今後の優先度」の欄は、各グループから今後優先的に良くしていくべきと考える項目の番号をご記入ください。
- ◎ もし、回答がわからない場合は、空欄のままにしてください。



グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	2、3年前と比べた最近の評価			今後の優先度
			とど そち うら 思か うと いう	いど えち なら いと も	とど そち うら 思か わと ない いう	
① 福祉	1	地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある	1	2	3	各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んでください。  ※1～8の中から3つ選んで、番号を書いてください。  <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
	2	高齢者等一人ひとりの状態に合わせた、きめ細やかな介護や生活支援サービスが受けられる	1	2	3	
	3	民間事業者等による介護や福祉のサービスの質が高く、安心して利用できる	1	2	3	
	4	生活保護など、生活の保障がなされ、安定した生活をおくることができる	1	2	3	
	5	必要な支援を受けながら、高齢者や障害者が自立した生活を営むことができる	1	2	3	
	6	高齢者や障害者が、社会参加し、交流しながら、いきいきと自己実現している	1	2	3	
	7	要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある	1	2	3	
	8	グループホームや特別養護老人ホームなどが地域の中に整備されている	1	2	3	
② 健康	9	子どもから高齢者まで、健康づくりに取り組むための、多様な機会や場、情報がある	1	2	3	※9～12の中から2つ選んで、番号を書いてください。  <input type="text"/> <input type="text"/>
	10	健康診断や保健指導、相談など、疾病を予防するための保健サービスが充実している	1	2	3	
	11	感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない	1	2	3	
	12	地域の医療機関やサービスが充実している	1	2	3	

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	2、3年前と比べた最近の評価			今後の優先度
			とど そち うら 思か う いう	いど えち なら ない とも	とど そち うら 思か わと ない いう	
③ 子育て	13	家庭・学校・地域の中で、子どもの視点に立った子育てが行われている	1	2	3	※13～18の中から2つ選んで、番号を書いてください。  <input type="text"/> <input type="text"/>
	14	いじめや虐待から子どもを守る体制が整備されている	1	2	3	
	15	子どもが、友だちと交流しながらのびのびと遊ぶことができる	1	2	3	
	16	子育ての悩みを一人で抱えることなく、気軽に相談したり、親同士が交流する場や機会がある	1	2	3	
	17	一時保育や延長保育、医療費助成など、多様な子育てサービスが利用できる	1	2	3	
	18	地域ぐるみで子どもを見守り、子育てを支援するような意識が広がり、活動が行われている	1	2	3	
④ 教育	19	地域・家庭と幼稚園・保育園等が協力しあい、充実した幼児教育が行われている	1	2	3	※19～25の中から2つ選んで、番号を書いてください。  <input type="text"/> <input type="text"/>
	20	子どもの基礎的な学力や豊かな人間性が身についている	1	2	3	
	21	学校づくりに保護者や地域住民が関心を持ち、積極的に連携を深めている	1	2	3	
	22	小・中学校の施設が適切に維持され、教育設備が整っている	1	2	3	
	23	学校の周辺及び通学路が安全である	1	2	3	
	24	家庭が主体となり、子どもに社会道徳やモラルを身に付けさせている	1	2	3	
	25	学校施設が地域に開放され、活動の場として活用されている	1	2	3	
⑤ コミュニティ・協働	26	地域の課題に対する関心が高まり、地域活動やまちづくりへの参加が広がっている	1	2	3	※26～32の中から2つ選んで、番号を書いてください。  <input type="text"/> <input type="text"/>
	27	地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している	1	2	3	
	28	町会等の活動やボランティア活動など様々な地域活動が活発に行われている	1	2	3	
	29	さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	30	地域で外国人との交流がある	1	2	3	
	31	地域社会において平和と人権が尊重されている	1	2	3	
	32	男女が共同で社会に参画できる	1	2	3	



グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	2、3年前と比べた最近の評価			今後の優先度
			とど そち うら か う か う か う	い ど え ち ら な い も	とど そち うら か わ と な い う	
⑥環境	33	運動ができ、災害時にも有効な比較的規模の大きな公園がある	1	2	3	各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んでください。  ※33～39の中から3つ選んで、番号を書いてください。
	34	街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い	1	2	3	
	35	騒音、大気汚染などに悩まされることがない	1	2	3	
	36	ヒートアイランド対策や地球温暖化対策など、環境に配慮した行動が広がっている	1	2	3	
	37	道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである	1	2	3	
	38	ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている	1	2	3	
	39	地域実態に応じたごみの効率的な収集・運搬業務が行われている	1	2	3	
⑦都市再生	40	地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている	1	2	3	※40～49の中から3つ選んで、番号を書いてください。
	41	まちの中で地域の個性や文化、歴史を感じることができる	1	2	3	
	42	駅及び駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている	1	2	3	
	43	公営住宅など、住宅に困窮する世帯が、地域に住みつづけるためのセーフティネットが確保されている	1	2	3	
	44	单身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている	1	2	3	
	45	身近な生活道路が快適に通行できる	1	2	3	
	46	駅周辺に駐輪場が整備され、放置自転車が少ない	1	2	3	
	47	鉄道・バス等の交通が便利である	1	2	3	
	48	広場、道路等がバリアフリー化され、池袋駅を中心とした東西の行き来がしやすくなっている	1	2	3	
	49	池袋周辺で、新宿、渋谷などない魅力あるまちづくりが進んでいる	1	2	3	



グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	2、3年前と比べた最近の評価			今後の優先度
			とど そち うら か う という	い ど え ち ら な い も	とど そち う ら か わ と な い う	
⑧ 安心・安全	50	家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている	1	2	3	各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んでください。  ※50～55の中から2つ選んで、番号を書いてください。
	51	震災時の避難、救援体制など、街全体として災害への備えができています	1	2	3	
	52	建物の耐火・耐震化や、狭い路地の解消など、災害に強いまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	53	集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない	1	2	3	
	54	治安がよく、安心して暮らせる	1	2	3	
	55	交通事故が少ない	1	2	3	
⑨ 観光・産業	56	商業地や鉄道駅周辺地域がにぎわい、多くの人を訪れている	1	2	3	※56～61の中から2つ選んで、番号を書いてください。
	57	テレビや新聞・雑誌で、豊島区をイメージアップする情報がよく紹介される	1	2	3	
	58	観光情報や物産など、地方の情報に接することができる	1	2	3	
	59	新たに区内で事業を起こそうとする人が増えている	1	2	3	
	60	地域のなかで商店街、地場産業が活発に事業展開している	1	2	3	
	61	消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している	1	2	3	
⑩ 文化	62	文化・芸術活動が生活やまちに活力を与えている	1	2	3	※62～69の中から2つ選んで、番号を書いてください。
	63	文化イベントなどによる新たな文化・芸術の育成、発信が活発である	1	2	3	
	64	歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている	1	2	3	
	65	劇場や美術館、博物館など、文化・芸術を鑑賞する施設や機会が多い	1	2	3	
	66	文化・芸術活動に参加できる場があり、リーダーとなる人材も育っている	1	2	3	
	67	図書館や公開講座など、多様な生涯学習を選択する機会がある	1	2	3	
	68	地域のなかで自主的に生涯学習活動を行う人材が育っている	1	2	3	
	69	地域でスポーツに親しむ環境や機会がある	1	2	3	

### Ⅲ. 区の政策について

#### 1. 区に関する情報について

問5 あなたは、区に関する情報をどのような方法で入手していますか。

(あてはまるものすべてに○)

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1. 広報紙（広報としま）     | (→問5-1をお答えください) |
| 2. 区のホームページ       | (→問5-2をお答えください) |
| 3. テレビ広報          |                 |
| 4. 区の掲示板          |                 |
| 5. 町会などの回覧板       |                 |
| 6. 知人・家族から        |                 |
| 7. 区の窓口や電話での問い合わせ |                 |
| 8. 入手できない         |                 |
| 9. 入手したことがない      |                 |
| 10. その他（具体的に：     | ）               |

《問5で「1. 広報紙（広報としま）」とお答えの方におたずねします》

問5-1 あなたは、広報紙をどのような方法で入手していますか。（あてはまるものすべてに○）

- |             |                 |
|-------------|-----------------|
| 1. 新聞折り込み   | 5. 公衆浴場         |
| 2. 区の施設     | 6. 区ホームページで見ている |
| 3. 駅の広報スタンド | 7. その他（具体的に：    |
| 4. ファミリーマート | ）               |

《問5で「2. 区のホームページ」とお答えの方におたずねします》

問5-2 あなたは、豊島区公式ホームページを見るために何を使用しますか。

(あてはまるものすべてに○)

- |            |              |         |
|------------|--------------|---------|
| 1. 自宅のパソコン | 2. 自宅以外のパソコン | 3. 携帯電話 |
|------------|--------------|---------|

《すべての方におたずねします》

問6 としまテレビでは、区が作成した行政情報番組を放送しています。あなたは、この番組をご自宅や職場でご覧になったことがありますか。（1つに○）

- |                              |
|------------------------------|
| 1. よく見ている                    |
| 2. たまに見ている                   |
| 3. 見たことがある                   |
| 4. ケーブルテレビに接続しているが見たことがない    |
| 5. ケーブルテレビに接続していないため、見たことがない |

## 2. セーフコミュニティについて

問7 平成22年2月、豊島区はWHO（世界保健機関）が提唱する「セーフコミュニティ」の認証取得に向けて取り組みをスタートしました。セーフコミュニティとは、「けがや事故等は、偶然の結果ではなく、予防することができる」という考え方のもと、地域のコミュニティや絆を広げながら、生活の安全と質を高めていくまちづくり活動のことです。

あなたは、この取り組みを知っていますか。（1つに○）

1. 考え方や活動内容を知っている	3. 知らなかった
2. 言葉は聞いたことがある	

問8 あなたがお住まいの地域における、事故やけが、犯罪、災害などに対する安心感について、以前と比べて、全体としてどのように変化していると感じていますか。（1つに○）

1. 安心感が高まった	3. あまり変わらない	4. やや不安感が大きくなった
2. やや安心感が高まった	5. 不安感が大きくなった	

問9 あなた（あなたの家族）が生活するなかで、下記の項目について、以前と比べて、どのように変化していると感じていますか。（各項目のあてはまる番号に1つずつ○）

項 目	改善方向	変わらない	悪化方向
1. 自転車や自動車による交通事故の不安	1	2	3
2. 暴行や傷害、強盗などの粗暴、凶悪犯罪の不安	1	2	3
3. テロに巻き込まれる不安	1	2	3
4. 家庭内暴力や児童虐待などが増えていることへの不安	1	2	3
5. 空き巣や自転車の盗難、ひったくりなど、窃盗犯罪の不安	1	2	3
6. 痴漢やわいせつ、のぞきなどの性犯罪の不安	1	2	3
7. 振り込め詐欺や悪質商法などの被害の不安	1	2	3
8. インターネットや携帯電話などによる詐欺などの被害の不安	1	2	3
9. 子どもや女性への不審者の声かけやつきまといの不安	1	2	3
10. 学校や登下校時に子どもが事故や事件にあう不安	1	2	3
11. 客引きやキャッチセールス等による繁華街の環境の不安	1	2	3
12. 落書きやポイ捨てなどによるまちの環境の不安	1	2	3
13. マナーやルールを守らない行動が目につくことへの不安	1	2	3
14. 犯罪の低年齢化に対する不安	1	2	3
15. 独り暮らし高齢者が事件や事故にあってしまうことへの不安	1	2	3
16. 自殺やうつ病が増える傾向にあることへの不安	1	2	3
17. 地震災害や水害、火災などの危険に対する不安	1	2	3
18. 緊急時に必要な近隣との交流や付き合いが薄れてきていること	1	2	3
19. 上記以外で、最近、不安を感じるがあればご記入ください。 ( )			

問10 過去1年間のなかで最も印象に残っている、あなた自身のけがや事故の経験についてお聞きします。(1つに○)

- |  |
|--|
| 1. 手当が必要なほどのけがはしたことがない                     |
| 2. けがはしなかったが、一歩間違えば大きなけがや事故になったようなヒヤリ体験がある |
| 3. けがをして、医療機関に通院したことがある                    |
| 4. けがをして、医療機関に入院したことがある                    |

▶◀問10で「2」～「4」とお答えの方におたずねします▶

問10—1 問10でお答えいただいたけがや事故、ヒヤリ体験の内容と場所はどのようなものでしたか。(内容と場所・状況それぞれに、あてはまるものすべてに○)

内 容	1. 交通事故	7. はちに刺された、動物にかまれた
	2. 転倒や転落など	8. きり傷、さし傷、すり傷
	3. のどに物をつまらせた	9. 打ぼく、うちみ
	4. おぼれて水を飲んだ	10. 脱臼、ねんざ
	5. 薬品等による中毒、損傷	11. 骨折
	6. 炎や熱湯などによるやけど	12. その他(具体的に: )

場 所 ・ 状 況	1. 家庭内	6. まちなかの道路等を歩行中
	2. 職場	7. 自動車・バイクに乗車中
	3. 駅、電車・バス等の交通機関内	8. 自転車に乗車中
	4. 公園、広場	9. スポーツをしているとき
	5. 店舗などの施設内	10. その他(具体的に: )

問11 あなたは、ご近所の方とどの程度お付き合いがありますか。また、今後はどの程度お付き合いをしていきたいですか。(現在、今後、それぞれ該当する欄の番号1つに○)

お付き合いの程度	現在	今後
(1) 互いに相談しあうような、生活面での協力関係ができる程度	1	1
(2) 互いに相談しあうことはないが、世間話や立ち話をする程度	2	2
(3) 会話はほとんどしないが、会ったらあいさつはする程度	3	3
(4) ほとんど付き合いがなく、あいさつもめったにしない程度	4	4

問12 これから先、地域の安全・安心を守るために何が重要になると思いますか。(1つに○)

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1. 一人ひとりが自分の身を守る予防対策            |
| 2. 地域のなかで連携・協働を広げたコミュニティによる予防活動 |
| 3. 警察や消防、行政等の公的機関による活動          |
| 4. その他(具体的に: )                  |

### 3. 区政全般への要望

問13 区政全体について考えた場合、ここに掲げた項目のうち、あなたが「現在、区が力を入れていると思う施策」、「特に力を入れてほしいと思う施策」はどのようなことですか。

(〇はそれぞれ5つまで)

施 策	現在、区が力を入れていると思う施策 (5つまで)	特に力を入れてほしいと思う施策 (5つまで)
(1) 健康づくり	1	1
(2) 高齢者福祉の充実	2	2
(3) 障害者(児)福祉の充実	3	3
(4) 保健・医療の充実	4	4
(5) 子どもの健全育成	5	5
(6) 子育て支援の充実	6	6
(7) 学校教育の充実	7	7
(8) 地域の活動やコミュニティの形成	8	8
(9) 男女共同参画など人権を尊重した社会づくり	9	9
(10) みどりや公園づくり	10	10
(11) 環境保全・資源リサイクル	11	11
(12) 再開発・街づくり・街並みの整備	12	12
(13) 道路交通網の整備	13	13
(14) 住宅対策	14	14
(15) 交通安全対策	15	15
(16) 放置自転車対策	16	16
(17) 池袋副都心の活性化	17	17
(18) 中小企業、地域経済の振興	18	18
(19) 消費生活対策	19	19
(20) 防災対策	20	20
(21) 治安対策	21	21
(22) モラル低下等による迷惑行為の防止対策	22	22
(23) 文化・芸術の振興	23	23
(24) 観光・都市交流	24	24
(25) 生涯学習・スポーツ等の充実	25	25
(26) 区民サービスのIT化・情報化の推進	26	26
(27) 行財政改革	27	27

#### IV. あなたご自身のことについて (※ 統計的に分析するために使用します。)

①あなたの性別をお答えください。(1つに○)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

②あなたの年齢について、お答えください。(1つに○)

1. 18～19歳	4. 40～49歳	7. 70歳以上
2. 20～29歳	5. 50～59歳	
3. 30～39歳	6. 60～69歳	

③あなたの職業について、お答えください。(1つに○)

1. 自営業主	5. 専業の主婦(主夫)
2. 家族従業	6. 学生
3. 勤め(全日)	7. 無職
4. 勤め(パートタイム)	8. その他(具体的に: )

④あなたは生まれてからずっと豊島区にお住まいですか。(1つに○)

1. ずっと住んでいる (一時的に豊島区を離れた人も含む)	2. 他の地域からきた
----------------------------------	-------------

⑤あなたの豊島区にお住まいの年数について、お答えください。(1つに○)

1. 2年以上～5年未満	3. 10年以上～20年未満
2. 5年以上～10年未満	4. 20年以上

⑥あなたのお住まいの町名について、お答えください。(番号に○印を付け、( )内に数字もお書きください。)

記入例 (○) 駒込 ( 2 ) 丁目

1. 駒込 ( ) 丁目	8. 南池袋 ( ) 丁目	15. 南長崎 ( ) 丁目
2. 巢鴨 ( ) 丁目	9. 西池袋 ( ) 丁目	16. 長崎 ( ) 丁目
3. 西巢鴨 ( ) 丁目	10. 池袋 ( ) 丁目	17. 千早 ( ) 丁目
4. 北大塚 ( ) 丁目	11. 池袋本町 ( ) 丁目	18. 要町 ( ) 丁目
5. 南大塚 ( ) 丁目	12. 雑司が谷 ( ) 丁目	19. 高松 ( ) 丁目
6. 上池袋 ( ) 丁目	13. 高田 ( ) 丁目	20. 千川 ( ) 丁目
7. 東池袋 ( ) 丁目	14. 目白 ( ) 丁目	

⑦あなたの世帯の構成について、お答えください。（1つに〇）

1. 単身者	3. 親と子	5. その他
2. 夫婦のみ	4. 三世代	(具体的に： )

▶《⑦で「3. 親と子」または「4. 三世代」とお答えの方におたずねします》

⑧あなたの家族に中学生以下のお子さんは何人いらっしゃいますか。（1つに〇）

1. いない	2. 1人	3. 2人	4. 3人以上
--------	-------	-------	---------

⑨あなたのお住まいの形態について、お答えください。（1つに〇）

1. 一戸建て	3. 集合住宅（賃貸）
2. 集合住宅（分譲）	4. その他（具体的に： )

豊島区では、より一層の区民サービスの向上、個性豊かなまちづくりをめざし、さまざまな取り組みを行っています。あなたが日々暮らしていく中で最近「豊島区が変わったな」と感じる事（豊島区が良くなったこと、悪くなったこと、取り組みをもっと進めてほしいことなど）についてご自由にお書きください。


調査にご協力いただき大変ありがとうございました。

この調査票は、同封の返信用封筒に入れて6月30日（水）までにお近くのポストに投函してください。（切手を貼る必要はありません。）





## 協働のまちづくりに関する区民意識調査

平成 22（2010）年 9 月発行

（平成 22 年 6 月実施）

豊島区政策経営部企画課

東京都豊島区東池袋 1 - 1 8 - 1

電話 03（3981）1111